

高齢者の介護予防・日常生活アンケート調査

要介護高齢者・家族等介護者実態調査

(武蔵野市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画策定に係る調査)

報告書

令和5年3月

武蔵野市

■ □ 目 次 □ ■

はじめに	1
1. 調査の実施概要	2
2. 報告書の記載に関する注意点	2
第1章 高齢者の介護予防・日常生活アンケート	3
第1節 調査結果（概要版）	4
第2節 調査結果（本編）	13
1. 回答者（978人）の属性	13
2. 家族や生活状況	16
3. からだを動かすことについて	24
4. 食べることについて	32
5. 毎日の生活について	36
6. 地域での活動やたすけあいについて	38
7. 健康について	46
8. 今後の暮らしについて	57
第2章 要介護高齢者・家族等介護者実態調査（在宅介護実態調査）	67
第1節 調査結果（概要版）	69
第2節 調査・分析手法の概要	78
第3節 調査結果（本編）	80
1. 本人の属性	80
2. 支援・サービスの利用状況・利用意向	85
3. 在宅生活の状況	101
4. 傷病状況など	103
5. 施設等への入所・入居の検討状況	105
6. 主な介護者の状況	114
7. 在宅生活の継続に向けて介護者が不安に感じる介護	136
8. サービス水準と保険料の関係に係る希望	140
9. 介護保険制度及び本市の高齢者施策等について	141
資料：使用した調査票	143
高齢者の介護予防・日常生活アンケート 調査票	144
要介護高齢者・家族等介護者実態調査（在宅介護実態調査） 調査票	156

はじめに

1. 調査の実施概要

武蔵野市では、「武蔵野市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定（令和5年度）するにあたりその基礎資料を得るため、高齢者の介護予防・日常生活アンケート、要介護高齢者・家族等介護者実態調査を実施した。調査の実施概要は以下のとおりである。

（1）高齢者の介護予防・日常生活アンケート

市内在住の要介護1から5の要介護認定を受けていない65歳以上市民1,500名（要支援1、要支援2、総合事業対象者を含む。令和4年10月1日時点の住民基本台帳より無作為抽出。）を対象に、高齢者の生活実態、地域活動への参加意向、介護保険事業の利用意向、その他高齢者施策全般に係る意見・要望等を把握するための調査を実施した。（厚生労働省の指針に基づく実態調査）

調査期間は令和4年12月7日から12月23日まで、有効回答数は978件（有効回収率65.2%）であった。

（2）要介護高齢者・家族等介護者実態調査

要介護1から要介護5の在宅の方で「要介護認定の更新申請・変更申請」をし、本調査の調査期間内に要介護認定調査を受けた方を対象に、「要介護者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方等を検討するための調査を実施した（ただし、調査時点では新型コロナウイルス感染症の影響により面会が困難な場合は、要介護認定（更新）の有効期間を延長する臨時的な取扱いが行われていたことから、一部の対象者については電話による聞き取り調査とした）。（厚生労働省の指針に基づく実態調査）

調査期間は令和4年9月1日から令和5年2月10日まで、有効回答数は336件であった。（ただし、認定調査の結果、「非該当」、「要支援1」および「要支援2」の認定結果であった調査対象者については、集計から除外している。）

2. 報告書の記載に関する注意点

- （1）図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- （2）調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示している。そのため、その合計値が100.0%にならない場合がある。
- （3）複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100.0%を超える場合がある。
- （4）図表中「無回答」とあるものは、回答が示されていないものである。

第 1 章 高齢者の介護予防・日常生活アンケート

第1節 調査結果（概要版）

1 調査の実施概要

- ◇ 調査目的： 「武蔵野市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定（令和5年度）するにあたりその基礎資料を得るため、高齢者の生活実態、地域活動への参加意向、介護保険事業の利用意向、その他高齢者施策全般に係る意見・要望等を把握する。
- ◇ 調査対象者： 市内在住の要介護1～要介護5の要介護認定を受けていない65歳以上市民1,500名（要支援1、要支援2、総合事業対象者を含む。厚生労働省の指針に基づく実態調査。）
※令和4年10月1日時点の住民基本台帳より無作為抽出
- ◇ 調査期間： 令和4年12月7日～12月23日
- ◇ 調査方法： 郵送配付・郵送回収（督促を兼ねたお礼状を1回発送）
- ◇ 回収状況： 配付数：1,500件 回収数：978件（回収率65.2%）

＜参考：令和元年度「武蔵野市高齢者の介護予防・日常生活アンケート」の実施概要＞

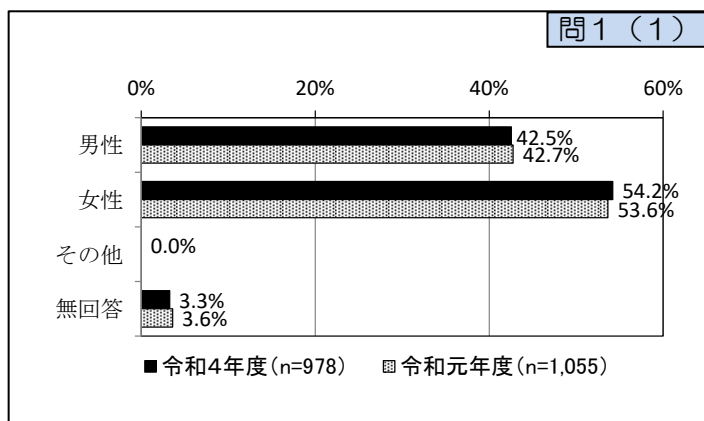
ここでは、本調査（以下「令和4年度調査」という。）の結果と比較するため、令和元年12月に実施された「武蔵野市高齢者の介護予防・日常生活アンケート」（以下「令和元年度調査」という。）の結果も表示している。

- ◇ 調査対象者： 市内在住の要介護1～要介護5の要介護認定を受けていない65歳以上市民1,500名（要支援1、要支援2、総合事業対象者を含む。厚生労働省の指針に基づく実態調査。） ※令和元年10月1日時点の住民基本台帳より無作為抽出
- ◇ 調査期間： 令和元年12月6日～12月23日
- ◇ 調査方法： 郵送配付・郵送回収（督促を兼ねたお礼状を1回発送）
- ◇ 回収状況： 配付数：1,500件 回収数：1,055件（回収率70.3%）

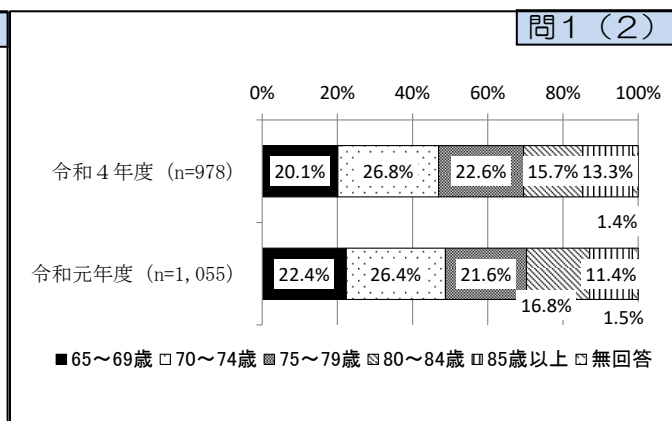
2 調査結果の概要

(1) 回答者の属性や生活状況について

《図1 性別》（単数回答）

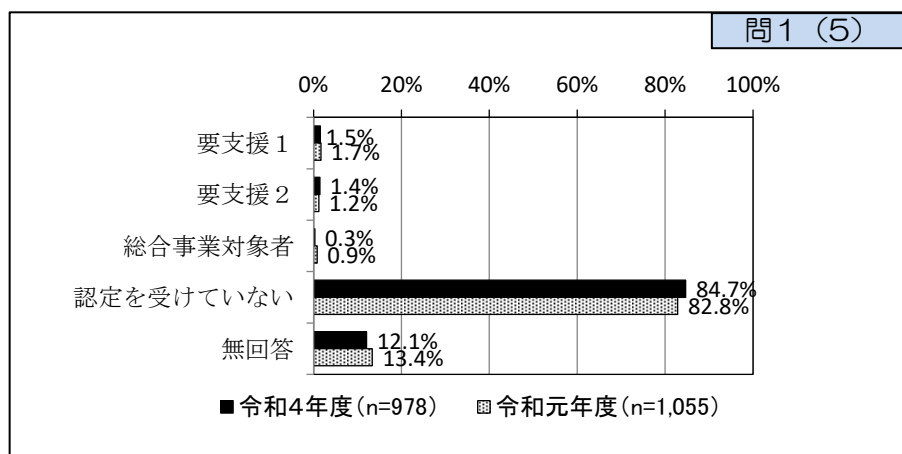


《図2 年齢》（単数回答）



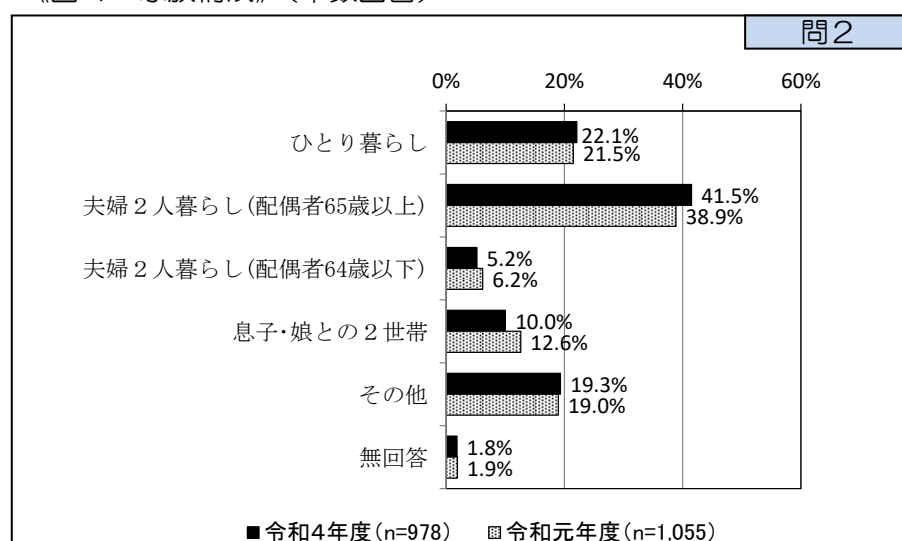
- ・性別は「男性」が42.5%、「女性」が54.2%だった。
- ・年齢は「70～74歳」が26.8%、「75～79歳」が22.6%だった。

《図3 要支援（介護）認定》（単数回答）



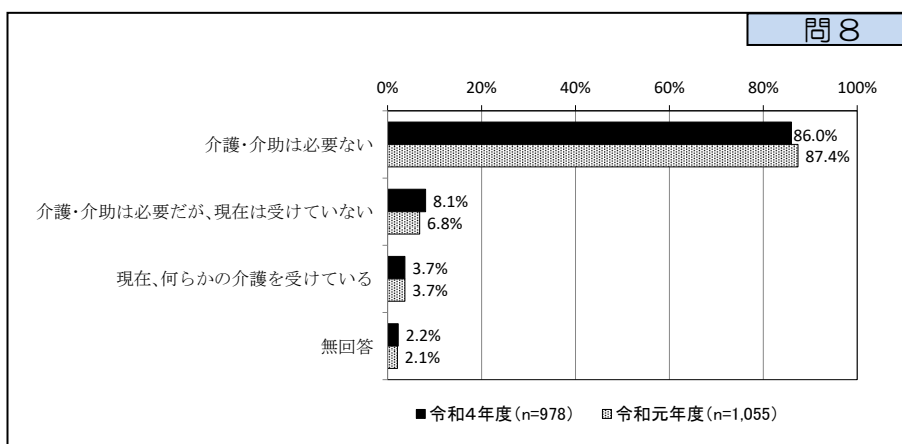
・要支援（介護）認定の状況は、「要支援1」が1.5%、「要支援2」が1.4%と要支援認定を受けている人は少なく、「認定を受けていない」人が84.7%だった。

《図4 家族構成》（単数回答）



・家族構成は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が41.5%、「ひとり暮らし」が22.1%となっている。

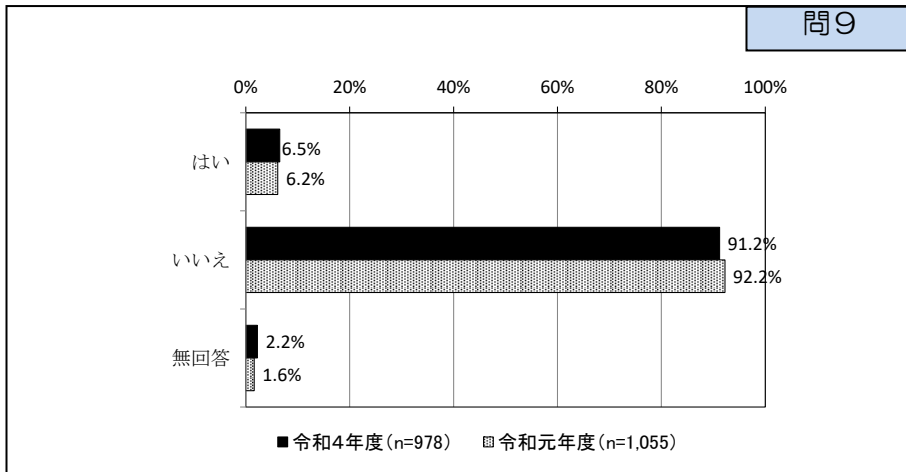
《図5 介護・介助の必要性》（単数回答）



・介護・介助については、「介護・介助は必要ない」の割合が高く、86.0%となっている。

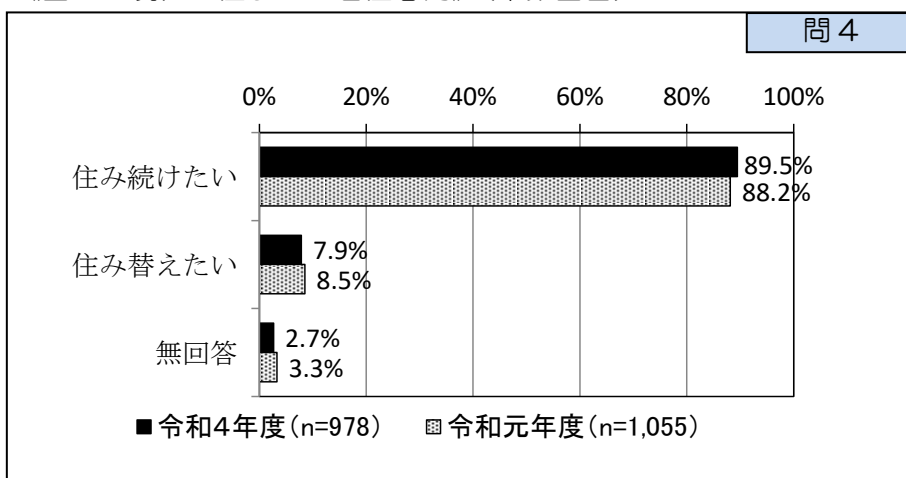
・「介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は8.1%となっている。

《図6 認知症の症状の有無》（単数回答）



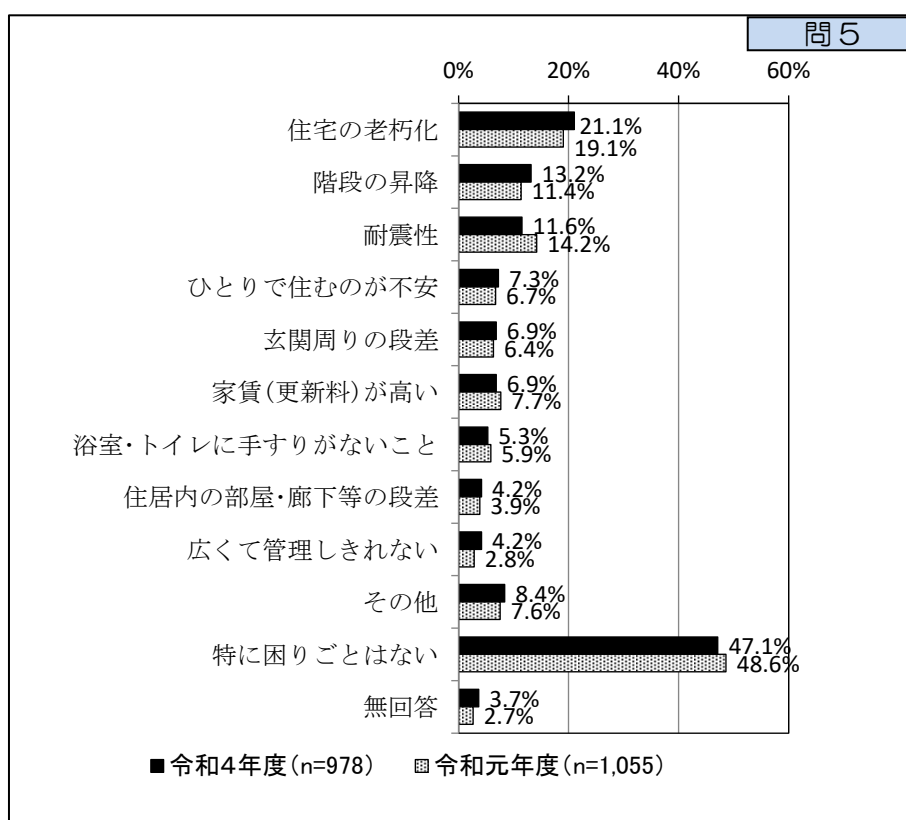
・認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人は、全体の6.5%（64人）だった。

《図7 現在の住まいの居留意向》（単数回答）



・現在の住まいの居留意向は高く、「住みたい」が89.5%にのぼる。

《図8 現在の住まいに住み続ける上での困りごと》（複数回答）

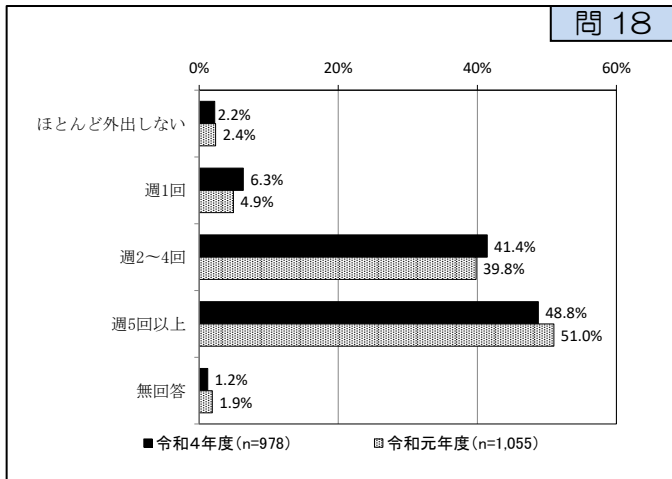


・現在の住まいに住み続ける上での困りごとは、「特に困りごとはない」が最も多く、47.1%となっている。

・次いで、「住宅の老朽化」が21.1%、「階段の昇降」が13.2%、「耐震性」が11.6%となっている。

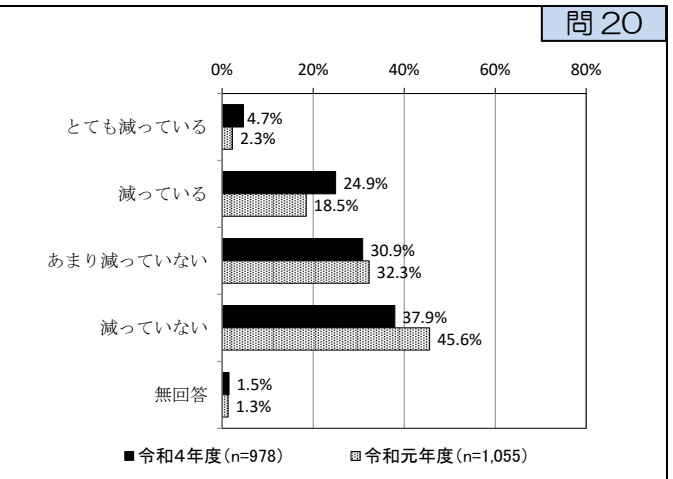
《図9 週1回以上外出しているか》

(単数回答)



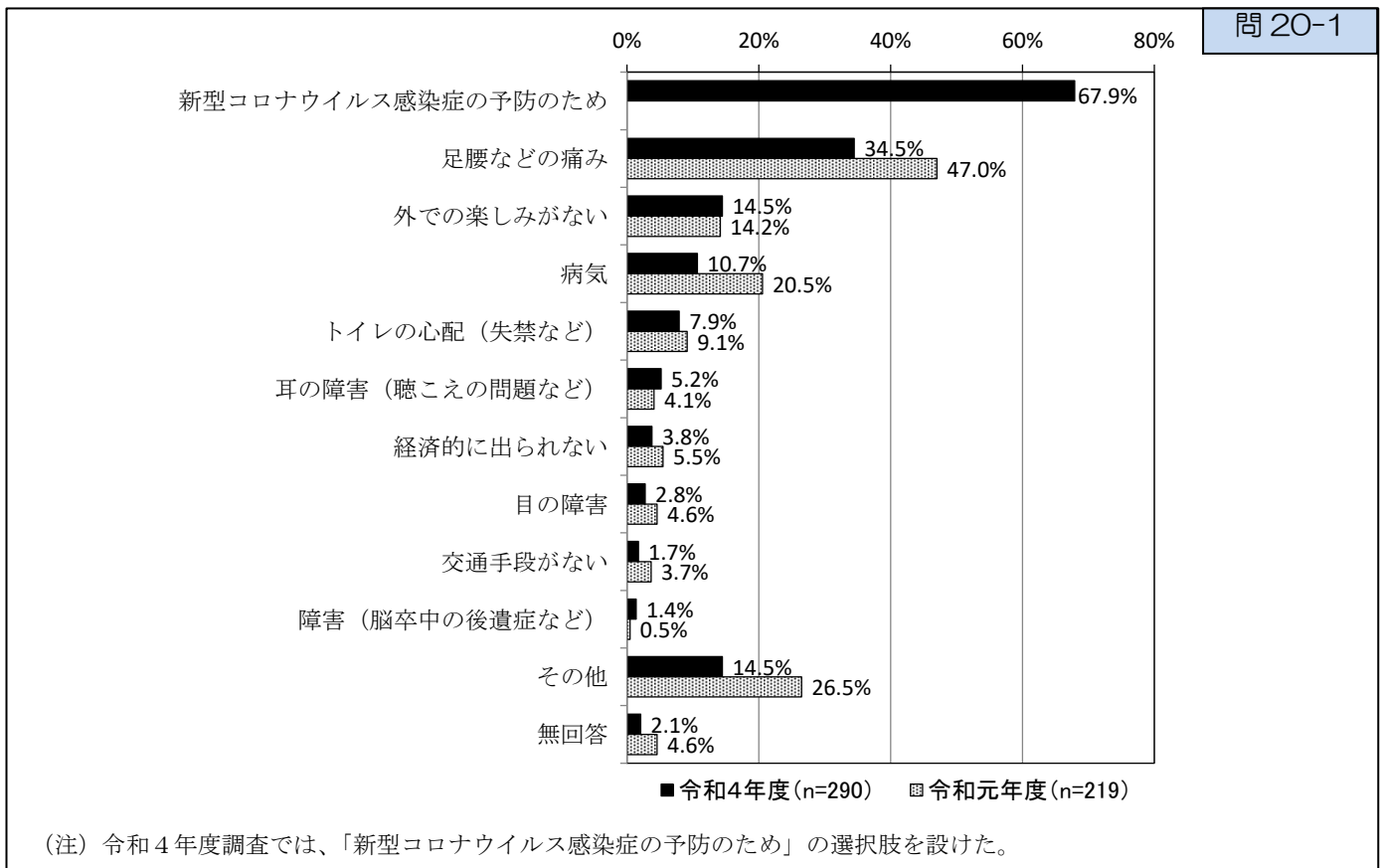
《図10 昨年と比べて外出回数は減っているか》

(単数回答)



- ・外出の状況については、「週5回以上」が48.8%と約半数、次いで「週2~4回」が41.4%だった。「ほとんど外出しない」は2.2%にとどまっている。
- ・外出回数を昨年と比べると、「減っていない」が37.9%、「あまり減っていない」が30.9%であった。他方、「とても減っている」(4.7%)、「減っている」(24.9%)の回答もみられた。

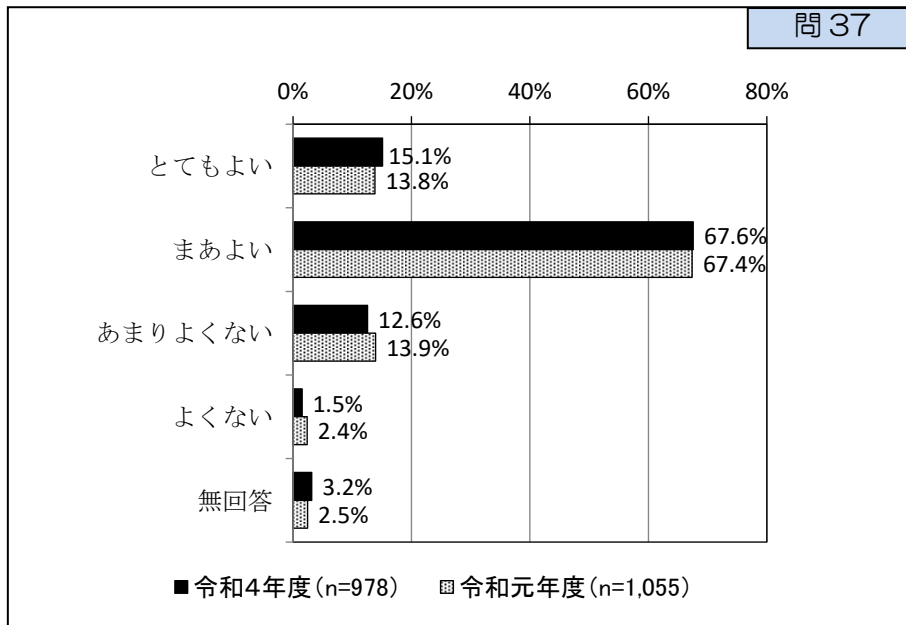
《図11 外出が減っている理由》(複数回答)



- ・外出が減っている理由については、「新型コロナウイルス感染症の予防のため」の割合が最も高く、67.9%だった。次いで、「足腰などの痛み」が34.5%、「外での楽しみがない」が14.5%だった。

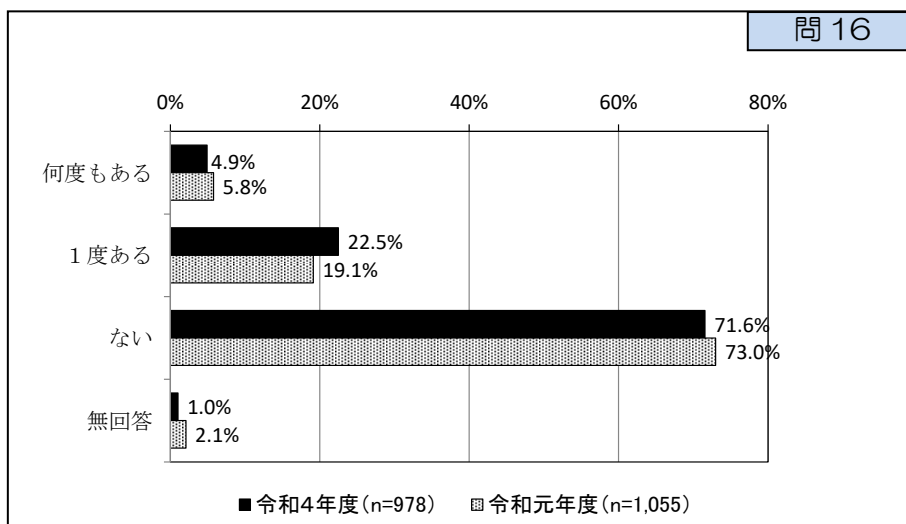
(2) 健康やからだを動かすことについて

《図 12 健康状態》(単数回答)



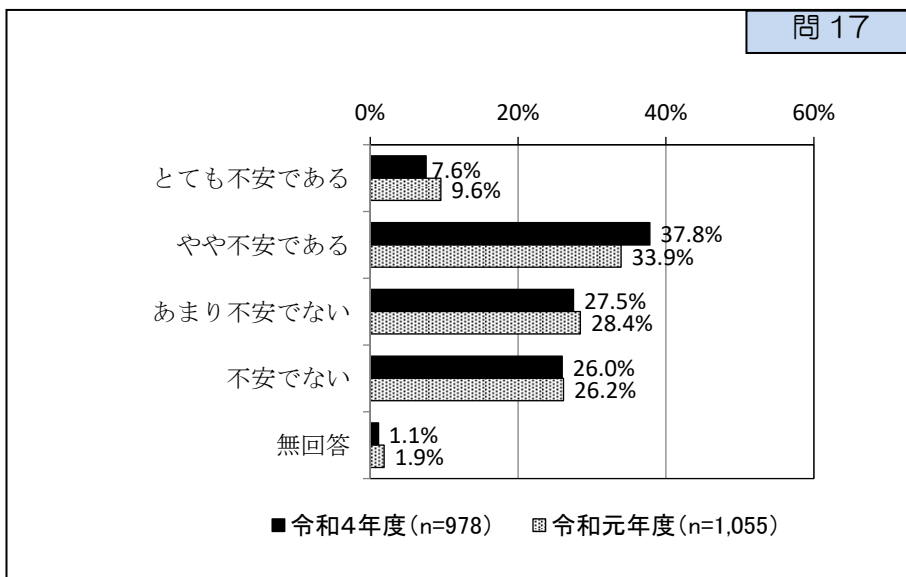
- ・健康状態は、「とてもよい」と「まあよい」の合計が 82.7% を占めている。
- ・他方、「あまりよくない」と「よくない」の合計は、14.1% であった。

《図 13 過去1年間の転倒の経験》(単数回答)



- ・過去1年間に転んだ経験は「ない」が 71.6% となっている。

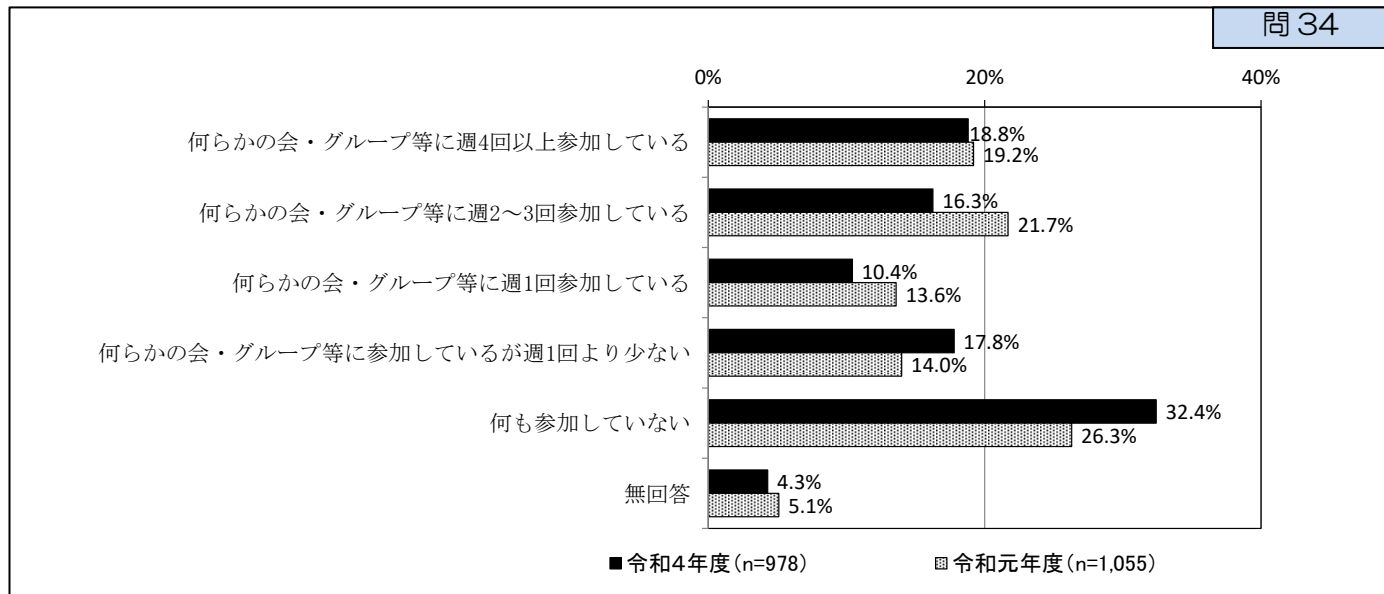
《図 14 転倒に対する不安》(単数回答)



- ・転倒に対する不安は、「とても不安である」と「やや不安である」の合計が 45.4% となっている。

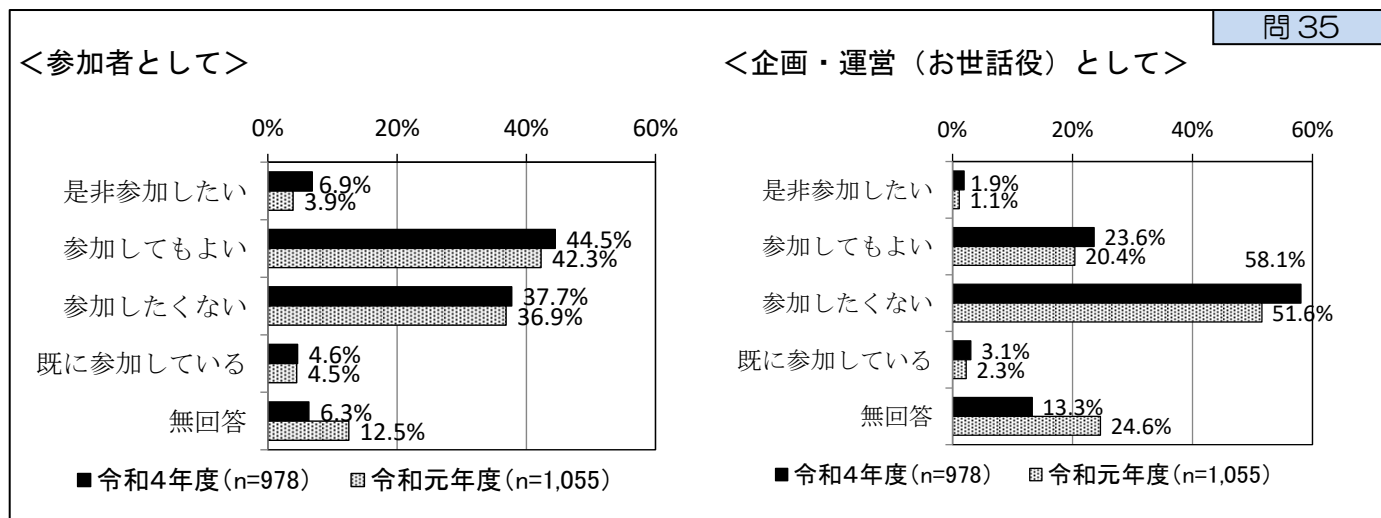
(3) 地域での活動やたすけあいについて

《図 15 地域で行われている会・グループ等への参加頻度》(単数回答)



- ・何らかの会・グループ等に週1回以上参加している割合は減少傾向がみられる。
- ・何も参加していない人の割合は32.4%と、増加傾向がみられる。

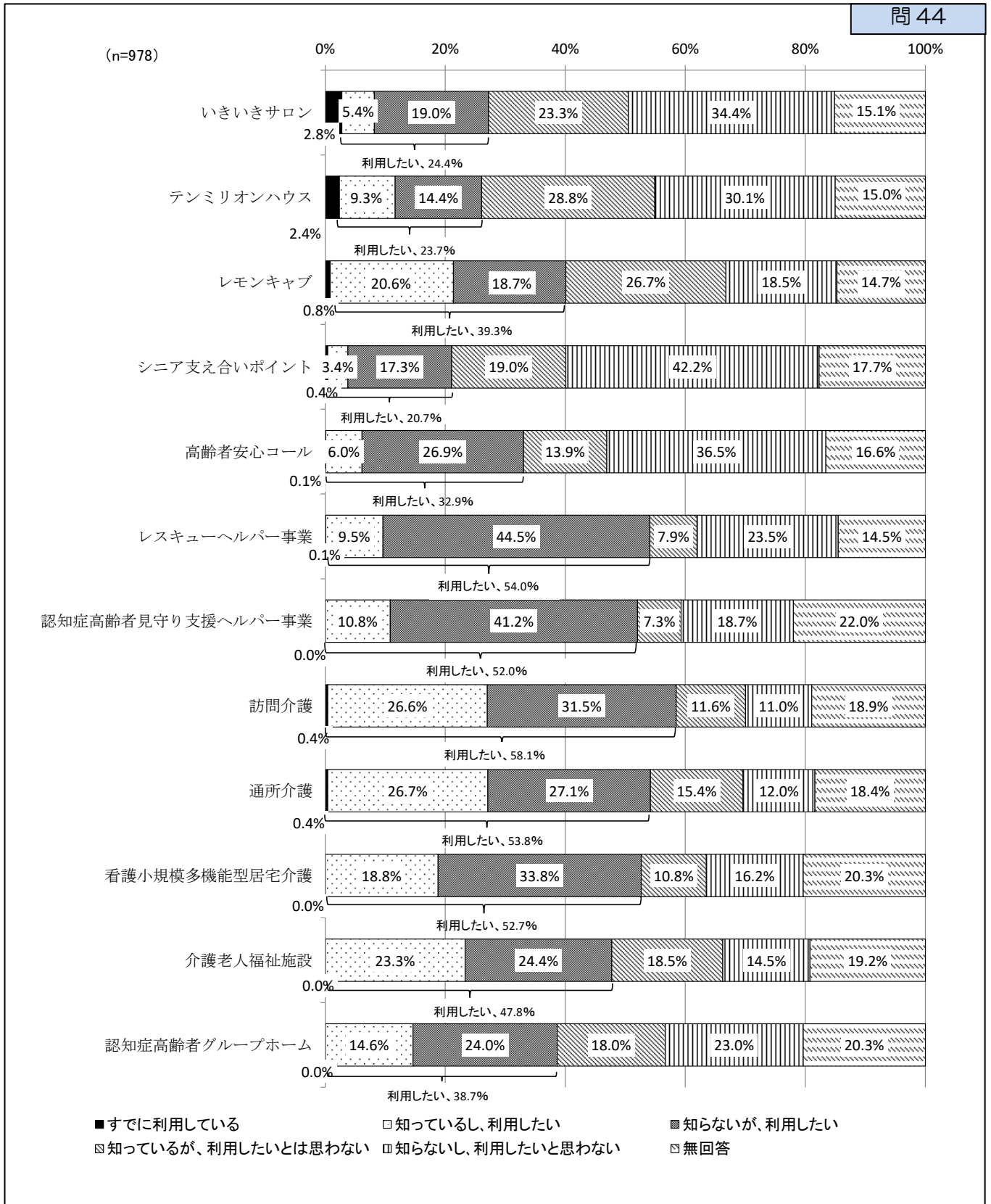
《図 16 地域住民の有志による地域づくりへの参加意向》(単数回答)



- ・地域住民の有志による、健康づくり活動を趣味等のグループを通じた、いきいきとした地域づくりについて、「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計は、参加者としては51.4%、企画・運営(お世話役)としては25.5%となっている。

(4) サービスの認知・利用意向について

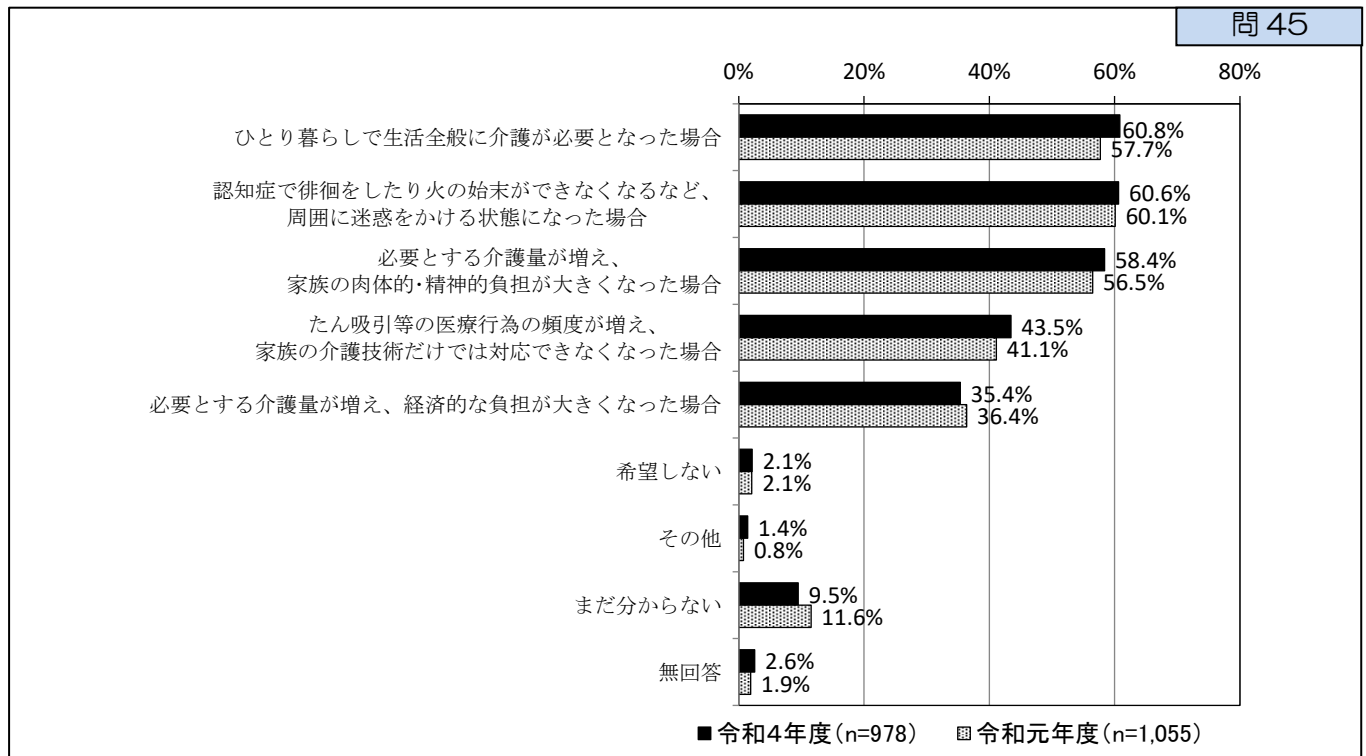
《図 17 サービスの認知・利用意向》(単数回答)



・「知っているし、利用したい」と「知らないが、利用したい」の合計（「利用したい」の割合）をみると、訪問介護が 58.1%、レスキューヘルパーが 54.0%、通所介護が 53.8%となっている。

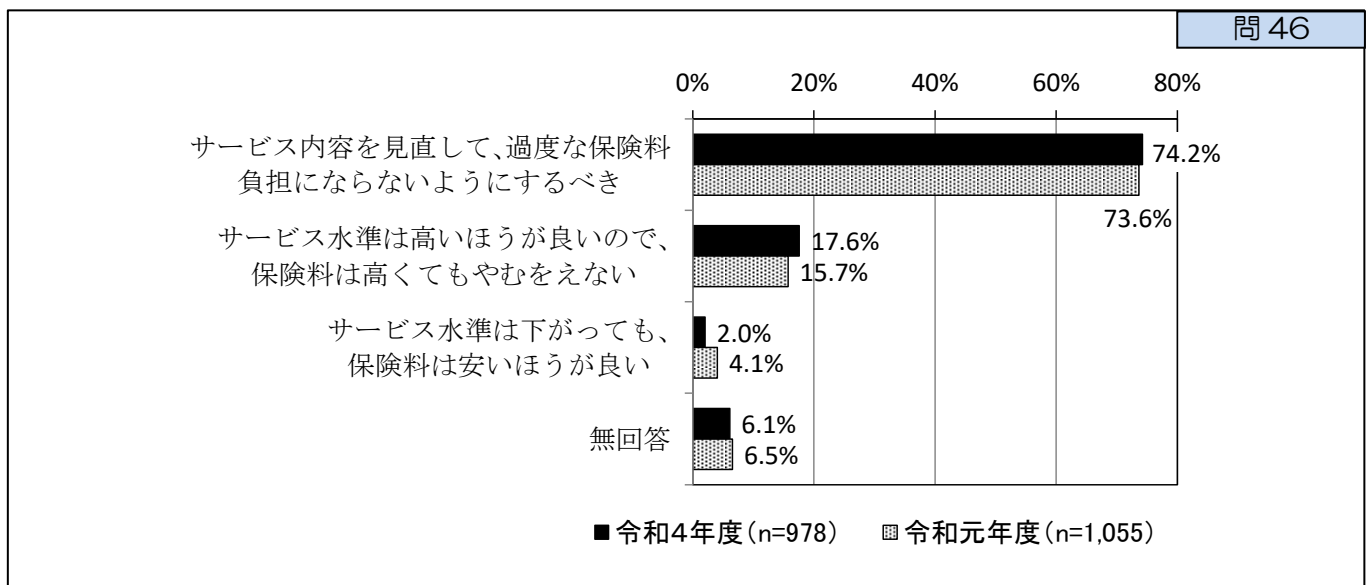
(5) 今後の暮らしについて

《図 18 自分がどのような状態になったら施設入所を希望するか》(複数回答)



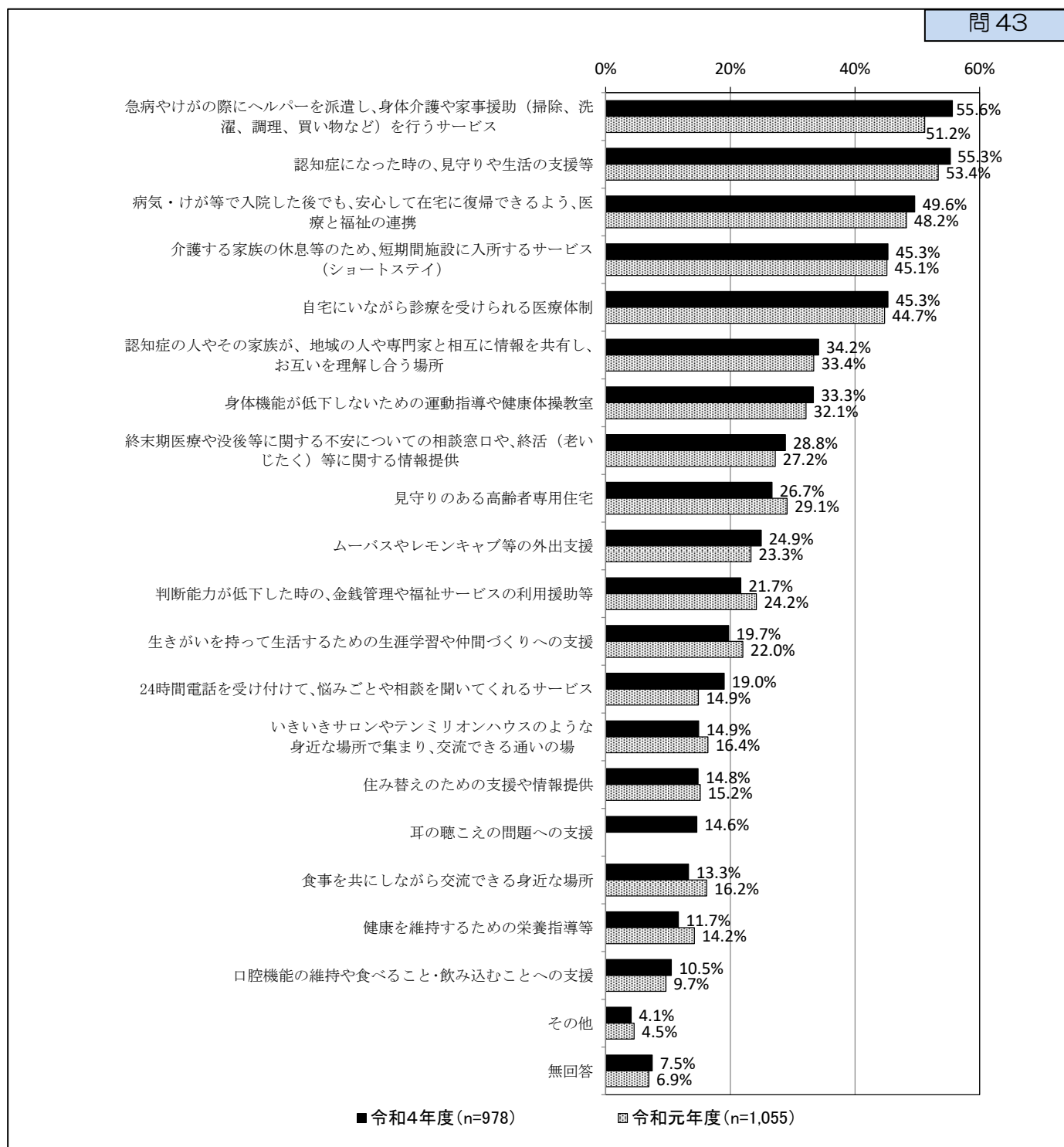
・「ひとり暮らしで生活全般に介護が必要となった場合」(60.8%)、「認知症で徘徊をしたり火の始末ができなくなるなど、周囲に迷惑をかける状態になった場合」(60.6%)、「必要とする介護量が増え、家族の肉体的・精神的負担が大きくなった場合」(58.4%)に施設入所を希望するという回答がいずれも5割を超えている。

《図 19 サービス水準と保険料の関係について》(単数回答)



・介護サービスの水準と保険料の関係は、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにするべき」の割合が最も高く、74.2%となっている。「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない」は17.6%である。

《図 20 今後住み慣れた地域で暮らし続けるために充実してほしい施策や支援》（複数回答）



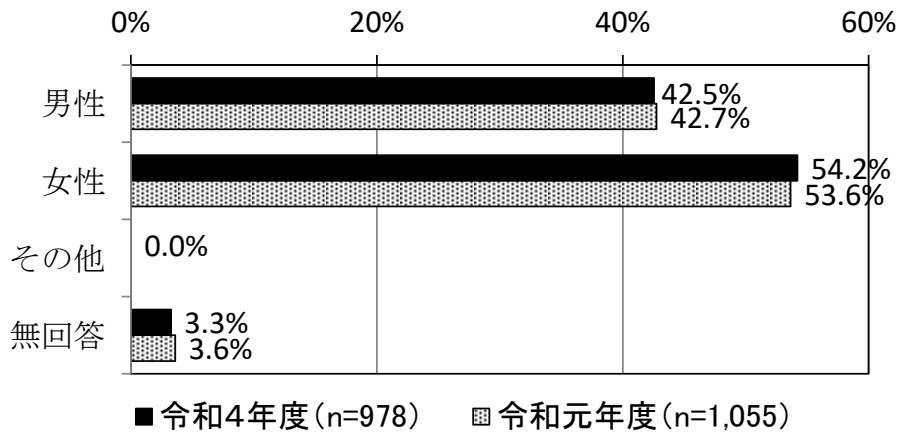
- ・「急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助を行うサービス」の割合が最も高い（55.6%）。次いで、「認知症になった時の、見守りや生活の支援等」（55.3%）、「病気・けが等で入院した後でも、安心して在宅に復帰できるよう、医療と福祉の連携」（49.6%）が続く。これらは令和元年度調査でも上位3項目を占めており、令和元年度調査と比べて「急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助を行うサービス」は4.4ポイント、「認知症になった時の、見守りや生活の支援等」は1.9ポイント、「病気・けが等で入院した後でも、安心して在宅に復帰できるよう、医療と福祉の連携」は1.4ポイント、割合が高くなっている。
- ・また、令和4年度調査から選択肢を追加した「耳の聴こえの問題への支援」は14.6%だった。

第2節 調査結果（本編）

1. 回答者（978人）の属性

問1 あなたの性別と年齢、身長・体重等について教えてください。（令和4年12月1日時点。それぞれ○は1つ）。

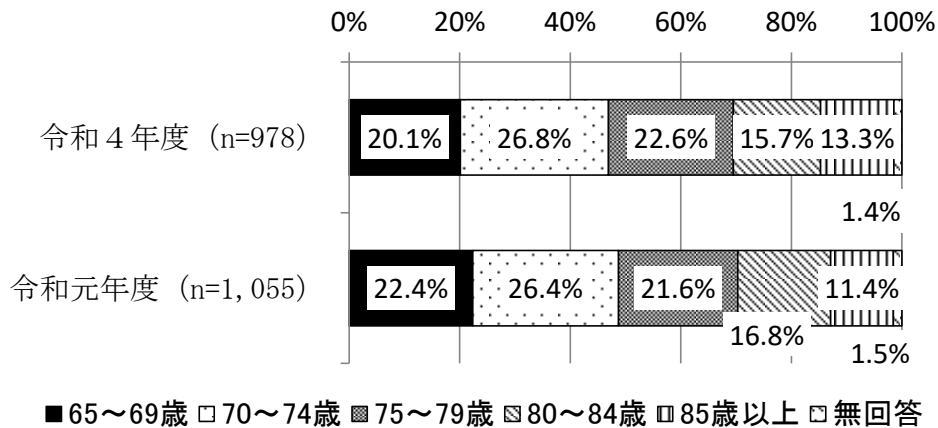
<性別>



（注）令和4年度調査では「その他」の選択肢を設けた。

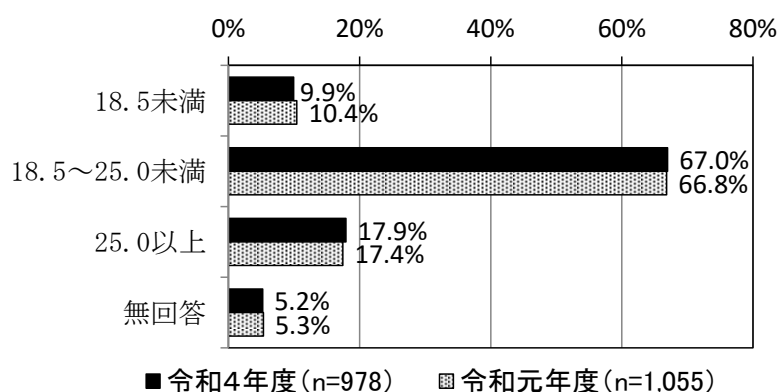
性別は「男性」が42.5%、「女性」が54.2%だった。

<年齢>



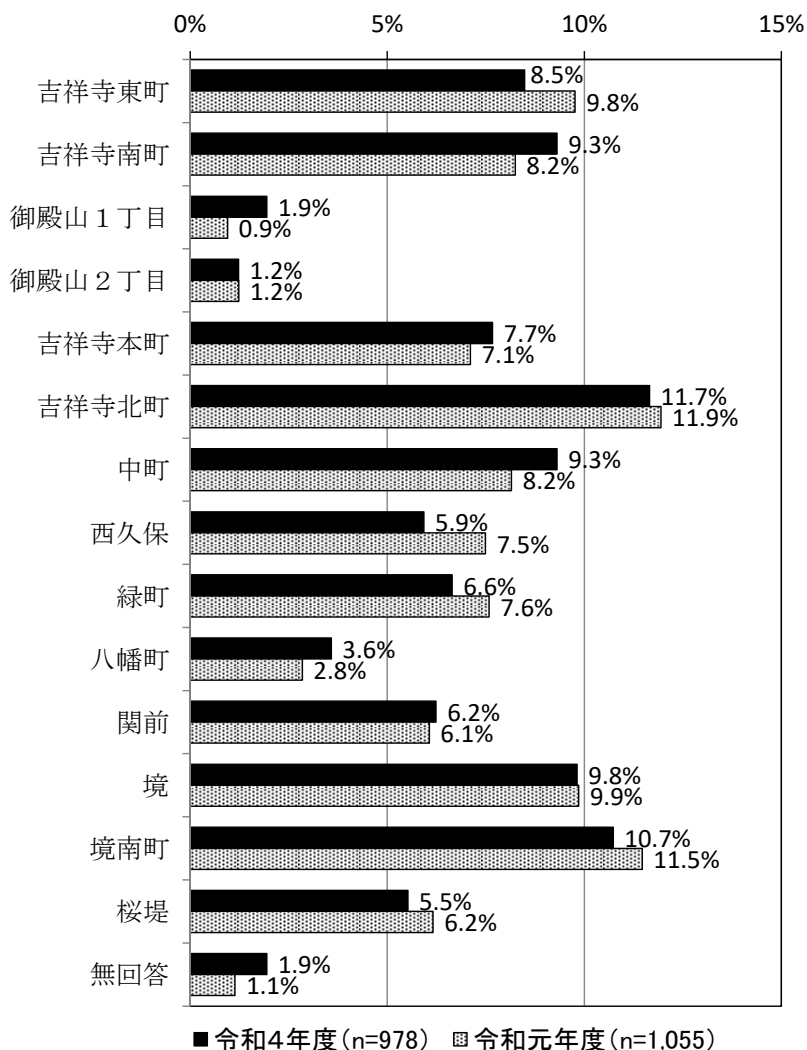
年齢は「70~74歳」の割合が最も高く26.8%、次いで「75~79歳」が22.6%だった。令和元年度調査の結果と比べると「65~69歳」の割合がやや低く、「85歳以上」の割合がやや高い。

< BMI (身長・体重から算出) >

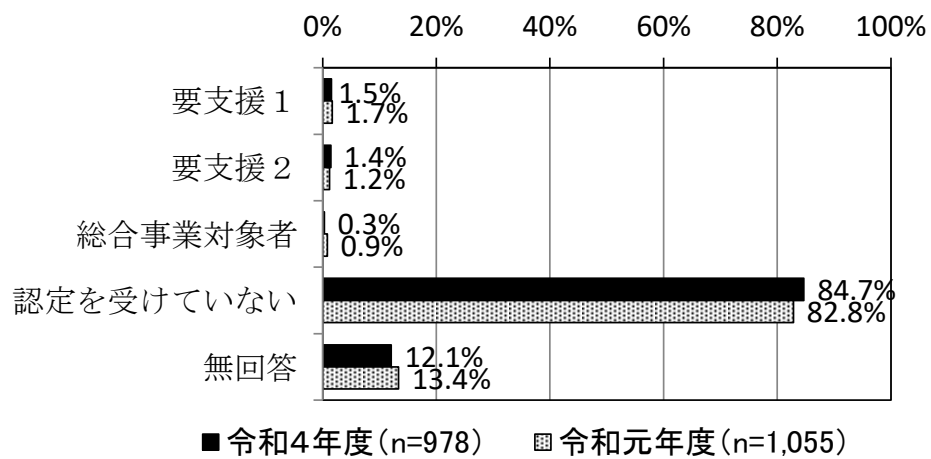


身長・体重からBMIを算出したところ、「18.5 未満 (やせ)」が 9.9%、「25.0 以上 (肥満)」が 17.9%となっている。(BMI = 体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)})

< 居住地域 >



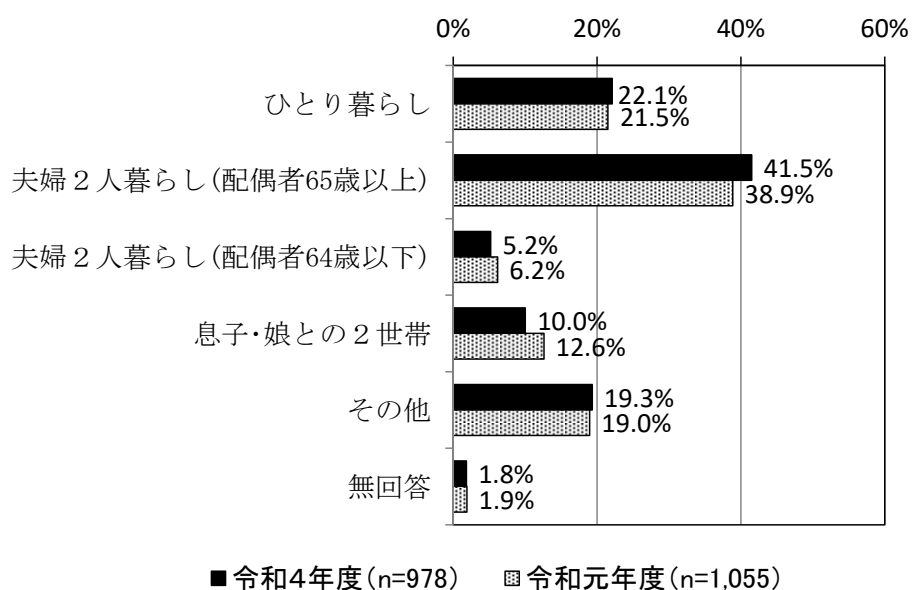
<要支援（介護）認定の状況>



要支援（介護）認定の状況は、「要支援 1」が 1.5%、「要支援 2」が 1.4%と要支援認定を受けている人は少なく、「認定を受けていない」人が 84.7%となっている。

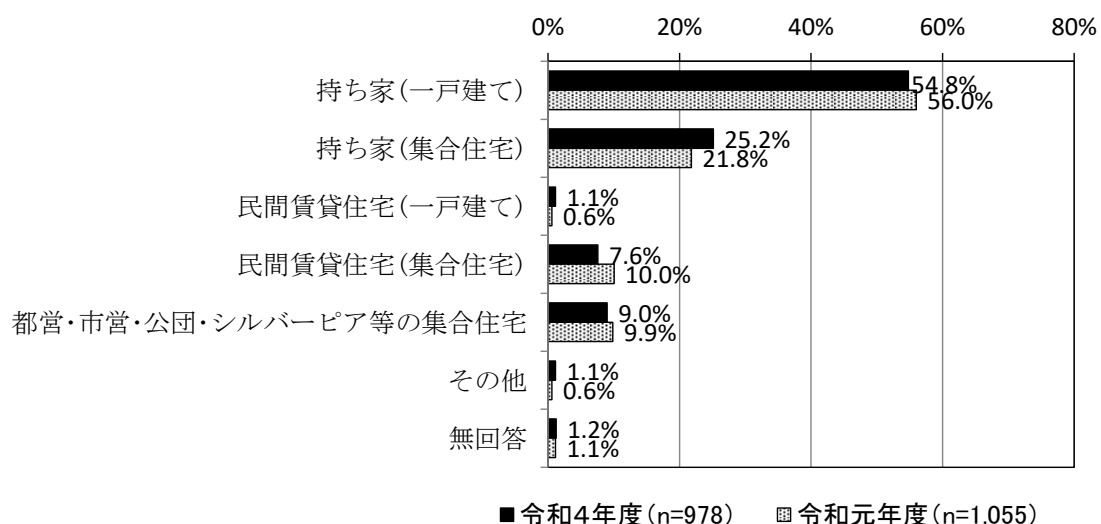
2. 家族や生活状況

問2 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)



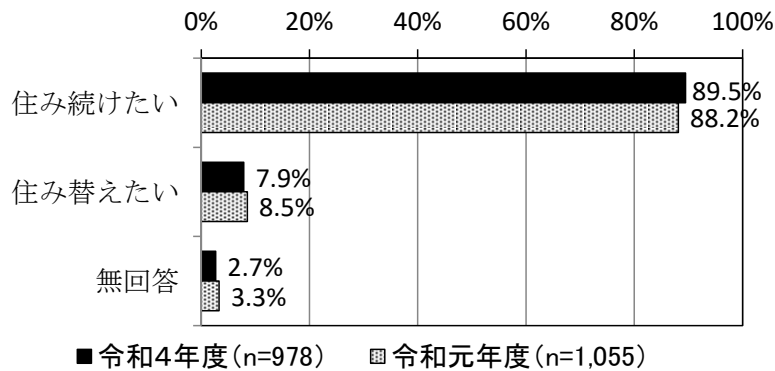
家族構成は「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が41.5%、「ひとり暮らし」が22.1%となっている。

問3 現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)



現在の住まいは「持ち家(一戸建て)」の割合が高く、54.8%である。

問4 現在のお住まいに住み続けたいですか。(○は1つ)



(単位：件)

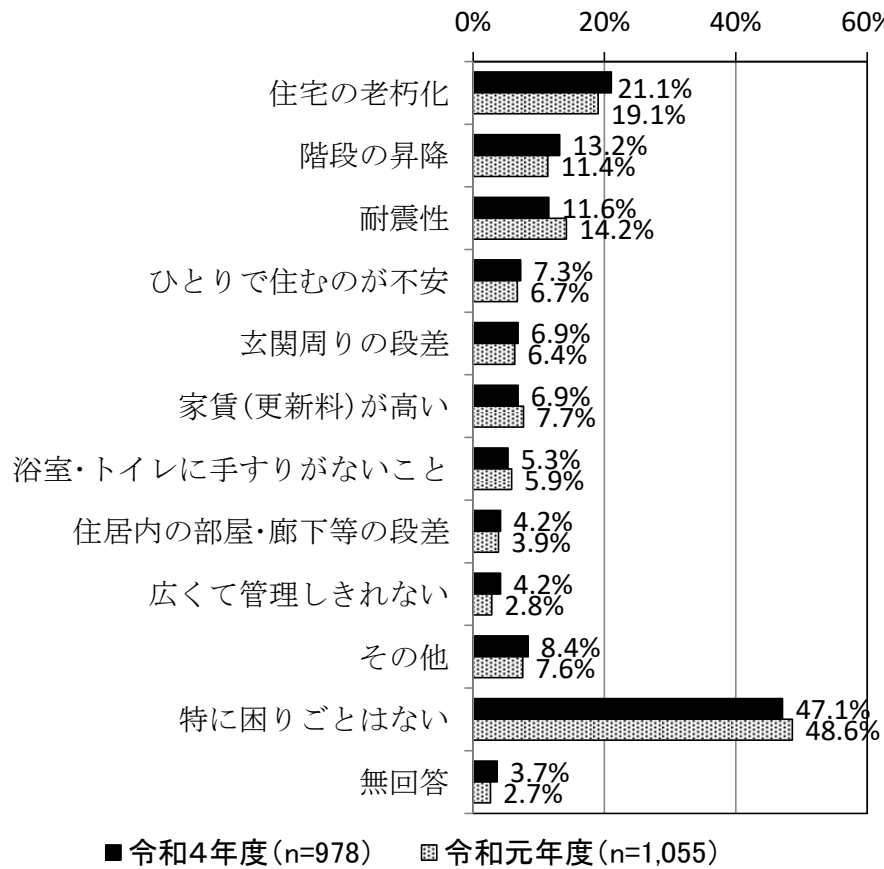
		問4 現在の住まいでの居住継続意向			
		合計	住み続けたい	住み替えたい	無回答
全体		978 100.0%	875 89.5%	77 7.9%	26 2.7%
問3 現在の住まい	持ち家(一戸建て)	536 100.0%	501 93.5%	27 5.0%	8 1.5%
	持ち家(集合住宅)	246 100.0%	236 95.9%	9 3.7%	1 0.4%
	民間賃貸住宅(一戸建て)	11 100.0%	7 63.6%	3 27.3%	1 9.1%
	民間賃貸住宅(集合住宅)	74 100.0%	41 55.4%	30 40.5%	3 4.1%
	都営・市営・公団・ シルバーピア等の集合住宅	88 100.0%	79 89.8%	7 8.0%	2 2.3%
	その他	11 100.0%	10 90.9%	1 9.1%	0 0.0%

現在の住まいの居住意向は高く、「住み続けたい」が89.5%にのぼる。

現在の住まいの形態別にみると、持ち家(一戸建て)、持ち家(集合住宅)では「住み続けたい」の割合が高く、それぞれ93.5%、95.9%となっている。

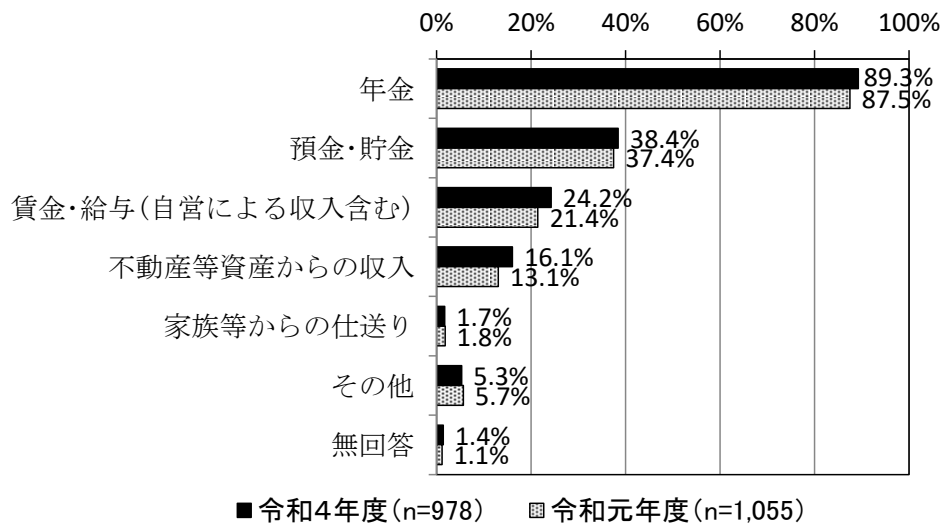
民間賃貸住宅(集合住宅)では、「住み続けたい」が55.4%、「住み替えたい」が40.5%となっている。

問5 現在のお住まいに住み続けるうえでの困りごとは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



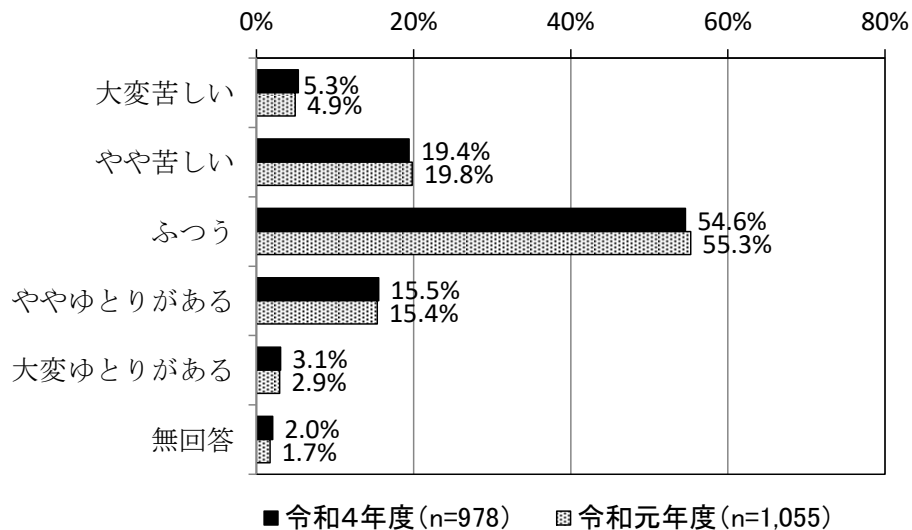
現在の住まいに住み続ける上での困りごとについては、「特に困りごとはない」の割合が最も高く、47.1%となっている。次いで、「住宅の老朽化」が21.1%、「階段の昇降」が13.2%、「耐震性」が11.6%となっている。

問6 生活費等を何から支出していますか。(あてはまるものすべてに○)



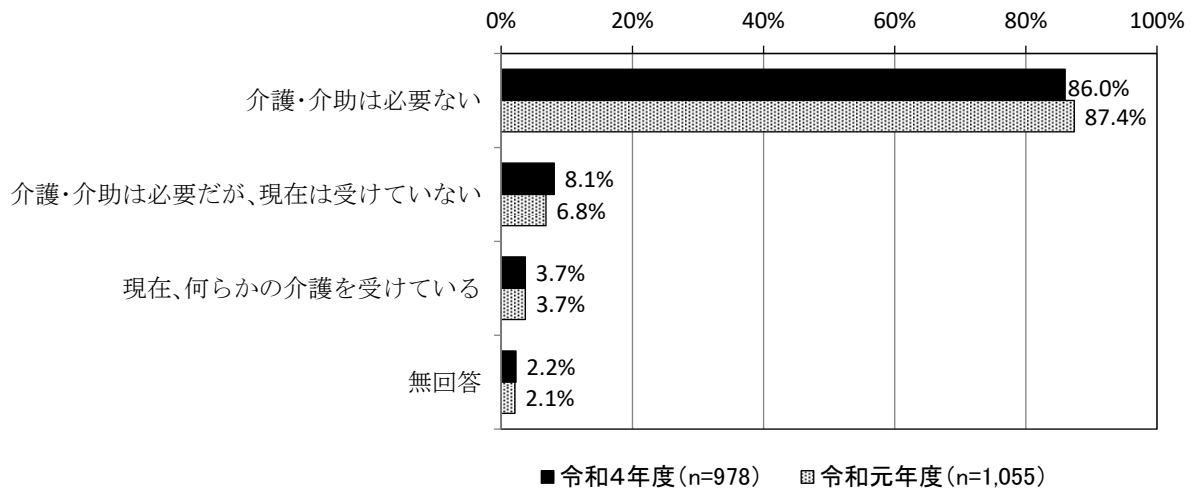
生活費等は「年金」から支出している人の割合が最も高く 89.3%、次いで、「預金・貯金」が 38.4%となっている。

問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)



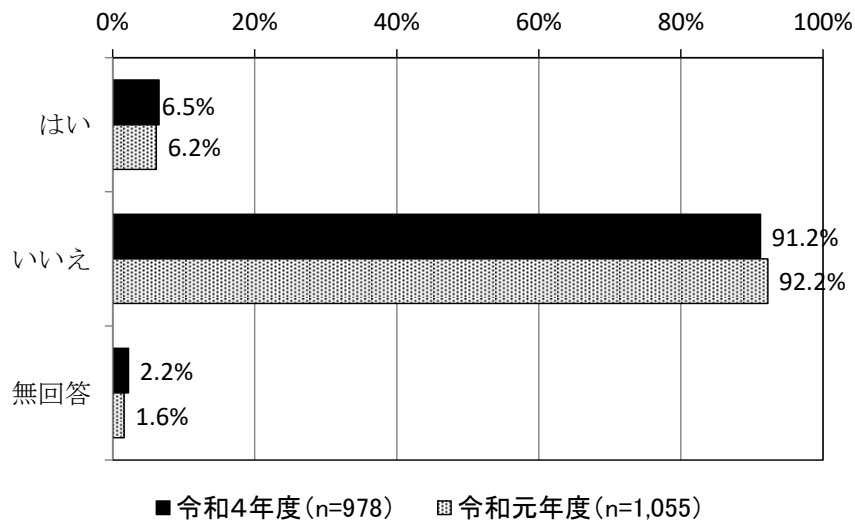
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」の割合が高く、54.6%となっている。「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計は 24.7%となっている。

問8 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)



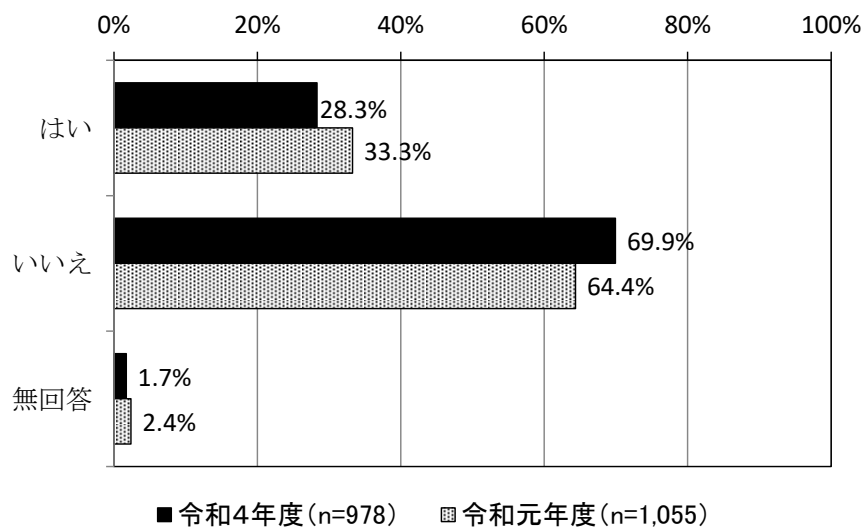
普段の生活においては「介護・介助は必要ない」が86.0%となっている。

問9 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)



認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人は、全体の6.5% (64人) だった。

問10 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇は1つ)



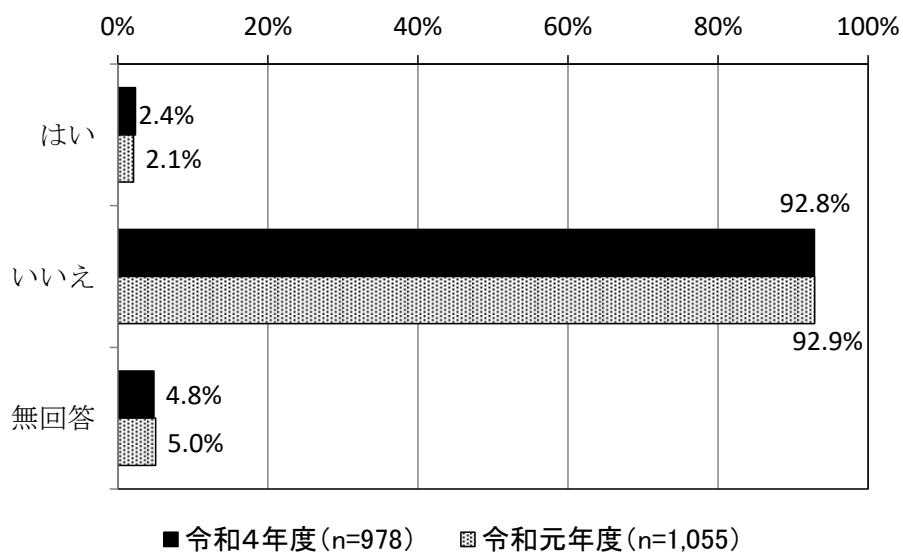
認知症に関する相談窓口を知っている人は28.3%、知らない人は69.9%だった。

(単位：件)

		問10 認知症に関する相談窓口の認知			
		合計	はい (知っている)	いいえ (知らない)	無回答
全体		978 100.0%	277 28.3%	684 69.9%	17 1.7%
問9 認知症の有無 (本人又は家族)	はい (いる)	64 100.0%	31 48.4%	33 51.6%	0 0.0%
	いいえ (いない)	892 100.0%	244 27.4%	644 72.2%	4 0.4%

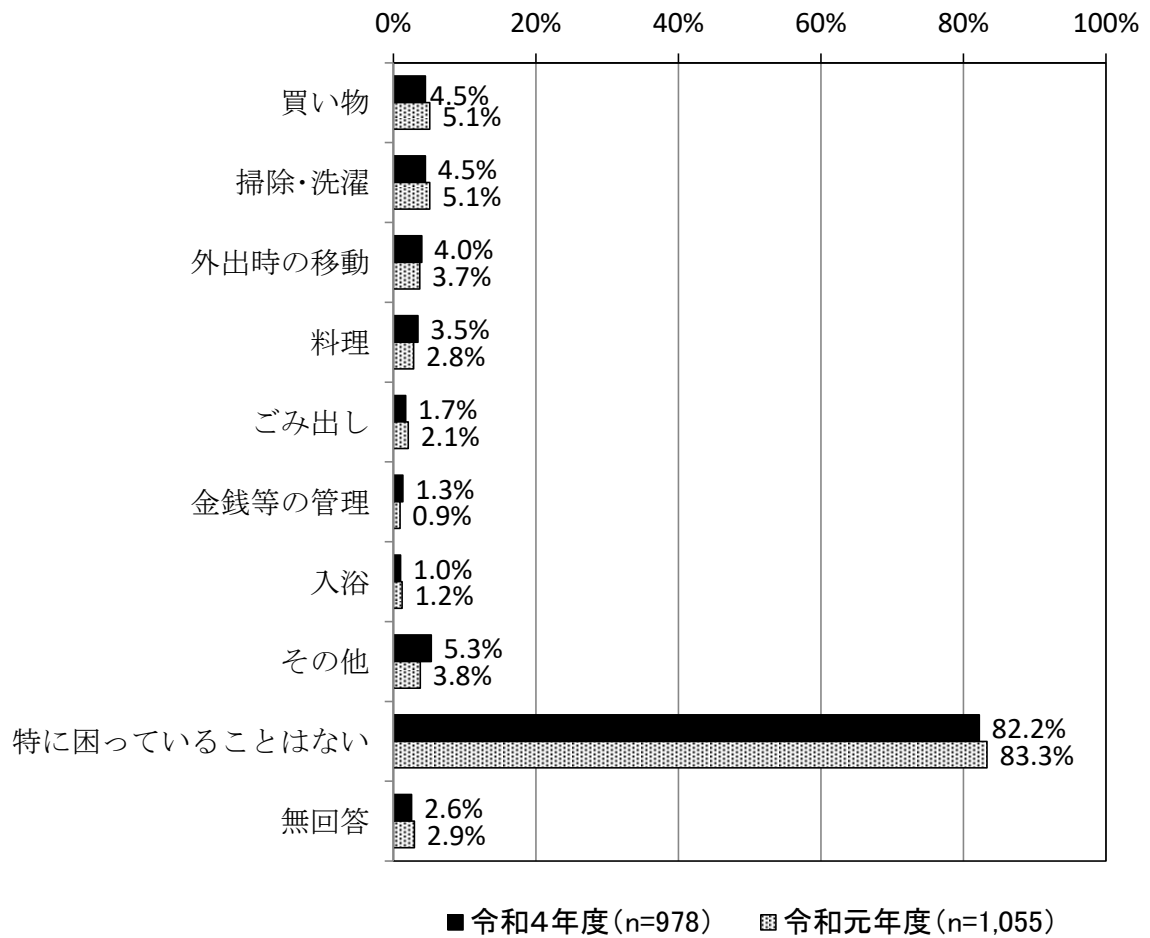
認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状があると回答した64人のうち、認知症に関する相談窓口を知らないのは51.6% (33人) だった。

問 11 65 歳未満の家族の中に「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6 か月以上続けて自宅にひきこもっている」状態の人がいますか。(○は1つ)



65 歳未満の家族の中に「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6 か月以上続けて自宅にひきこもっている」状態の人がいるのは 2.4% (23 人) だった。

問 12 日常生活の中で困っていること（支援が必要だと思っていること）はありますか。
 （あてはまるものすべてに○）

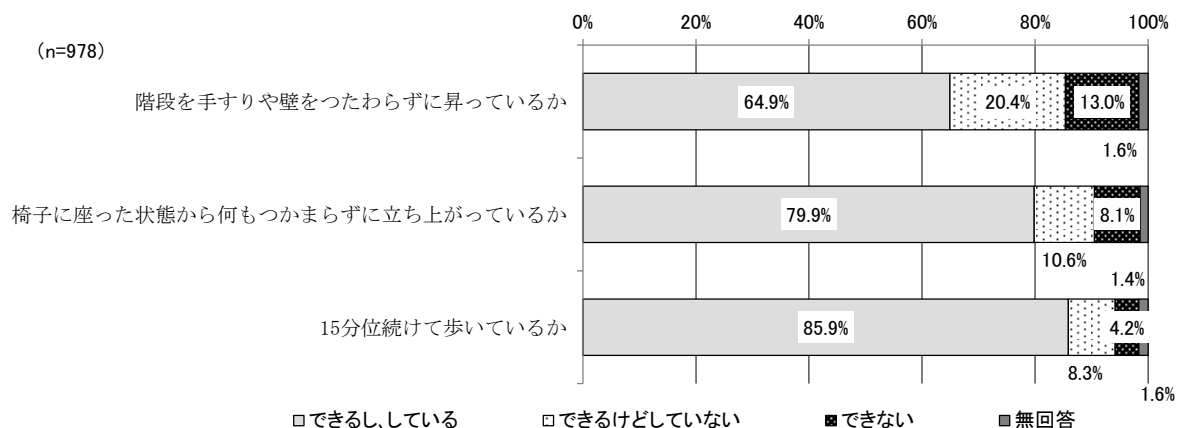


日常生活の中で困っていること（支援が必要だと思っていること）については、「特に困っていることはない」の割合が最も高く、82.2%となっている。

3. からだを動かすことについて

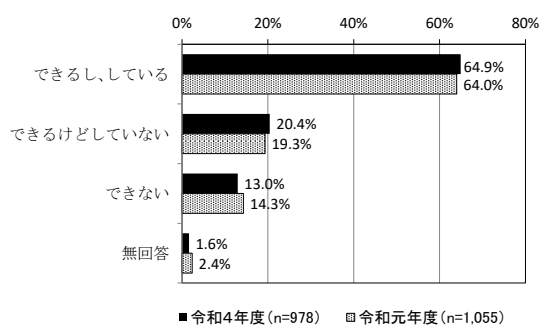
(1) 階段の昇降や立ち上がり、歩行について

- 問 13 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)
 問 14 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)
 問 15 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

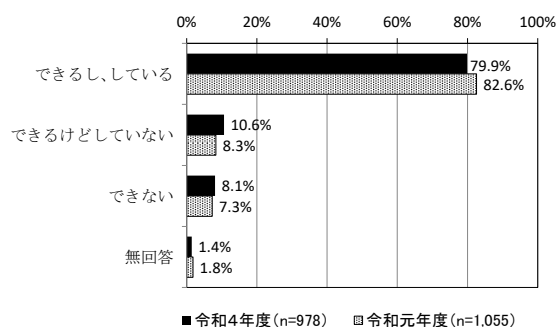


階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか、15分位続けて歩いているかのいずれの設問においても、「できるし、している」の割合が高く、それぞれ64.9%、79.9%、85.9%となっている。

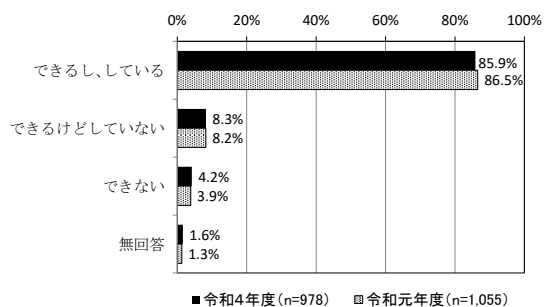
(問 13 階段を昇ること)



(問 14 椅子からの立ち上がり)

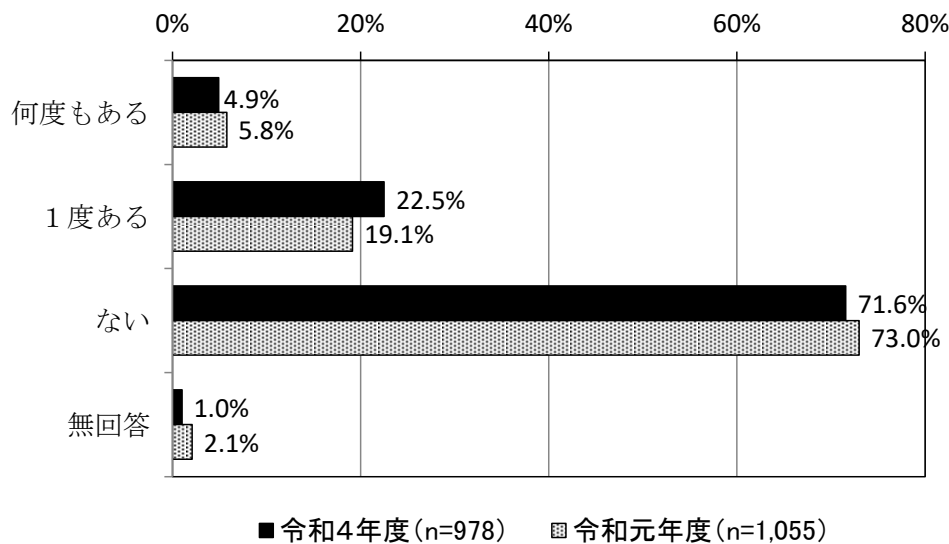


(問 15 15分続けての歩行)



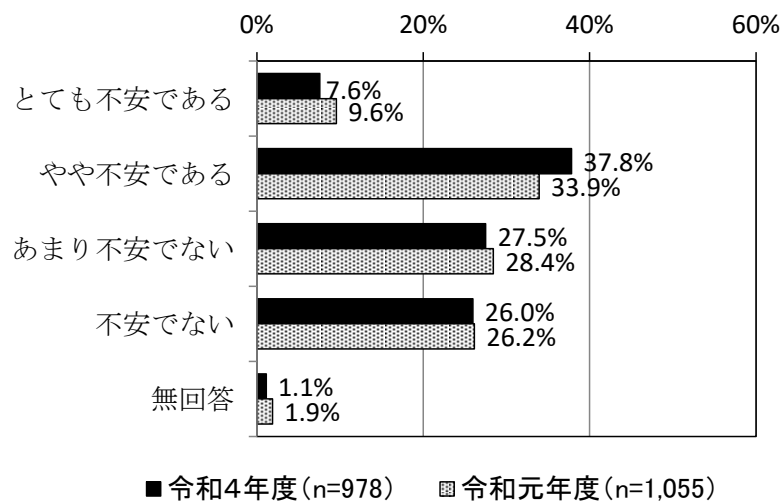
(2) 転倒について

問 16 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)



過去1年間に転んだ経験は「ない」が71.6%となっている。

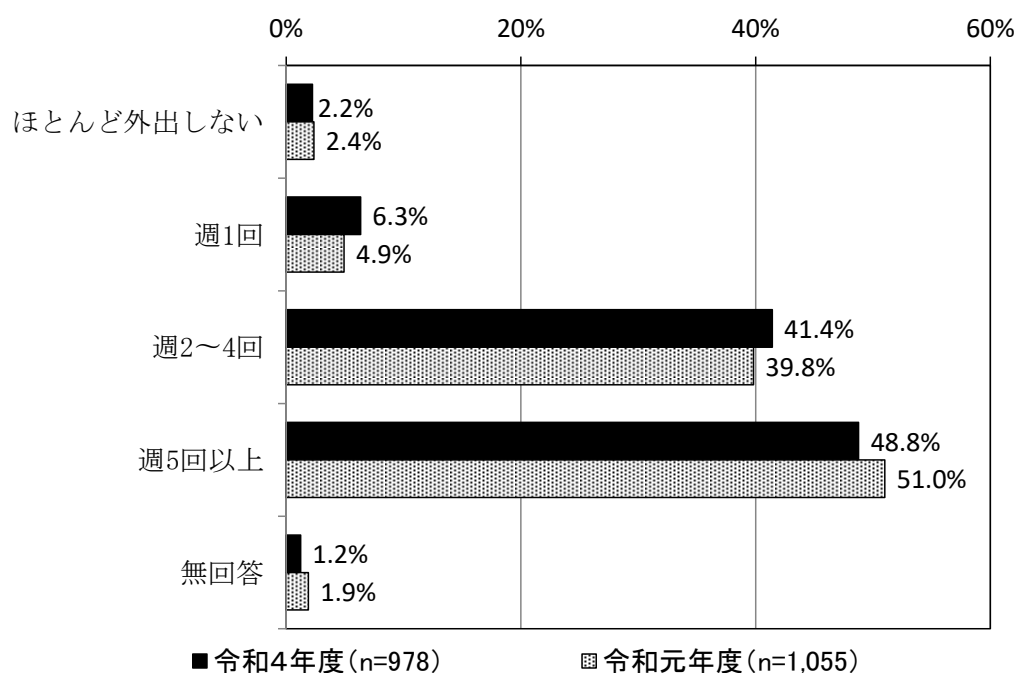
問 17 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)



転倒に対する不安については、「とても不安である」(7.6%)と「やや不安である」(37.8%)の合計が45.4%となっている。他方、「あまり不安でない」(27.5%)と「不安でない」(26.0%)の合計は53.5%である。

(3) 外出の状況

問18 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)



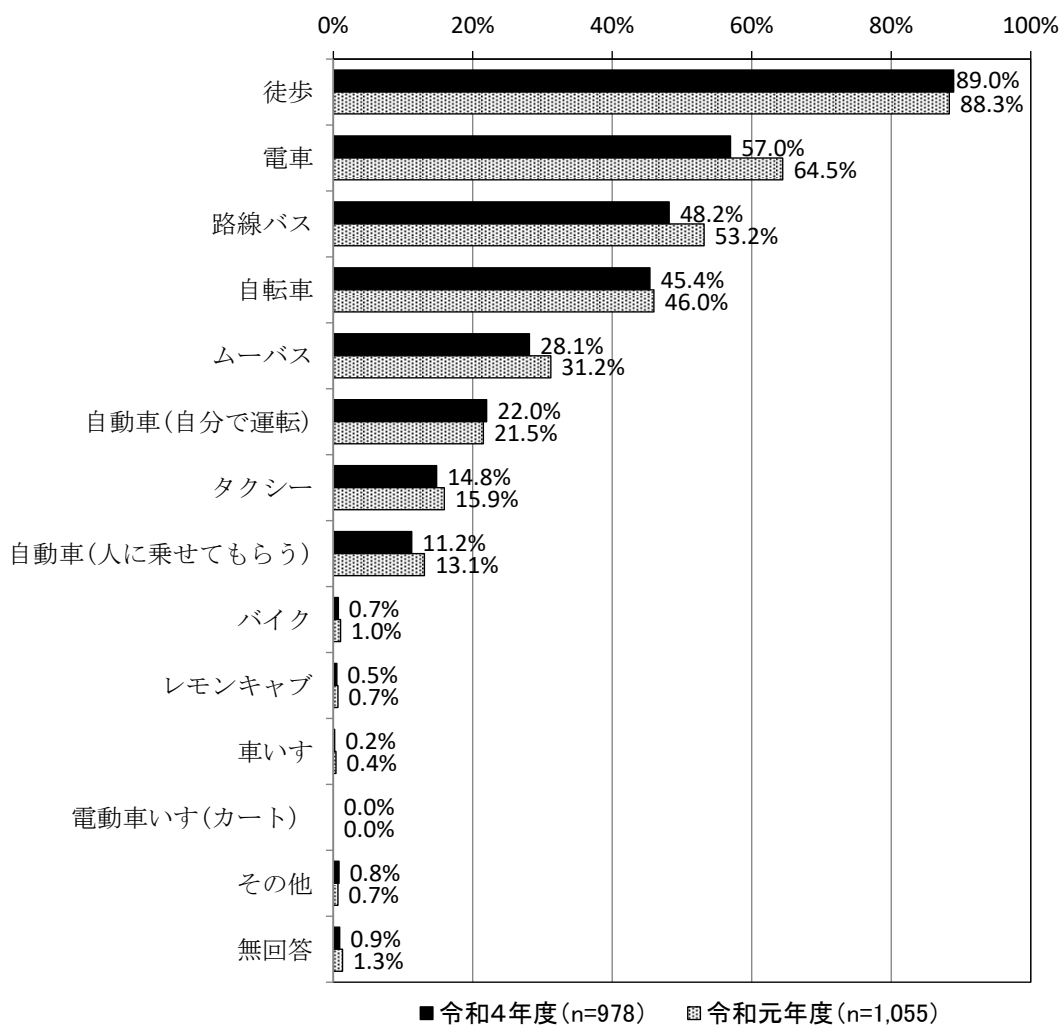
(単位：件)

		問18 週に1回以上は外出していますか。					
		合計	ほとんど 外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体		978 100.0%	22 2.2%	62 6.3%	405 41.4%	477 48.8%	12 1.2%
問1(2) 年齢	65～69歳	197 100.0%	2 1.0%	9 4.6%	68 34.5%	115 58.4%	3 1.5%
	70～74歳	262 100.0%	4 1.5%	13 5.0%	104 39.7%	138 52.7%	3 1.1%
	75～79歳	221 100.0%	3 1.4%	11 5.0%	97 43.9%	108 48.9%	2 0.9%
	80～84歳	154 100.0%	4 2.6%	11 7.1%	66 42.9%	70 45.5%	3 1.9%
	85歳以上	130 100.0%	9 6.9%	17 13.1%	65 50.0%	38 29.2%	1 0.8%

外出の状況については、「週5回以上」が48.8%と約半数、次いで「週2～4回」が41.4%となっている。「ほとんど外出しない」は2.2%にとどまっている。

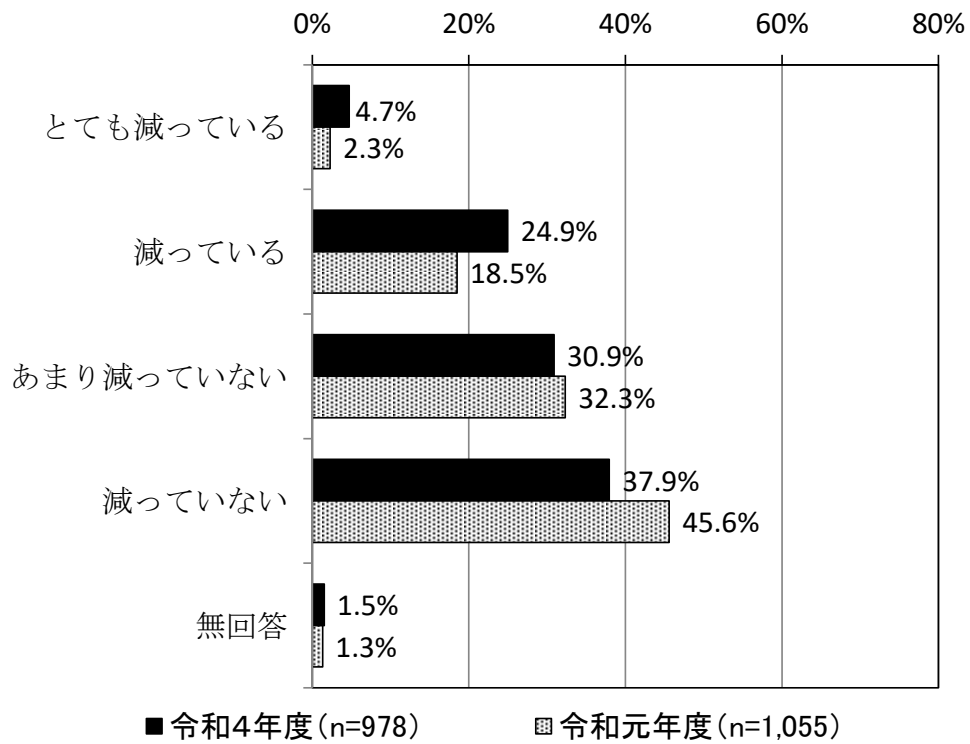
年齢別にみると、65～69歳、70～74歳、75～79歳、80～84歳では「週5回以上」の割合が最も高く、それぞれ58.4%、52.7%、48.9%、45.5%となっている。85歳以上では「週2～4回」の割合が最も高く50.0%となっている。

問 19 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



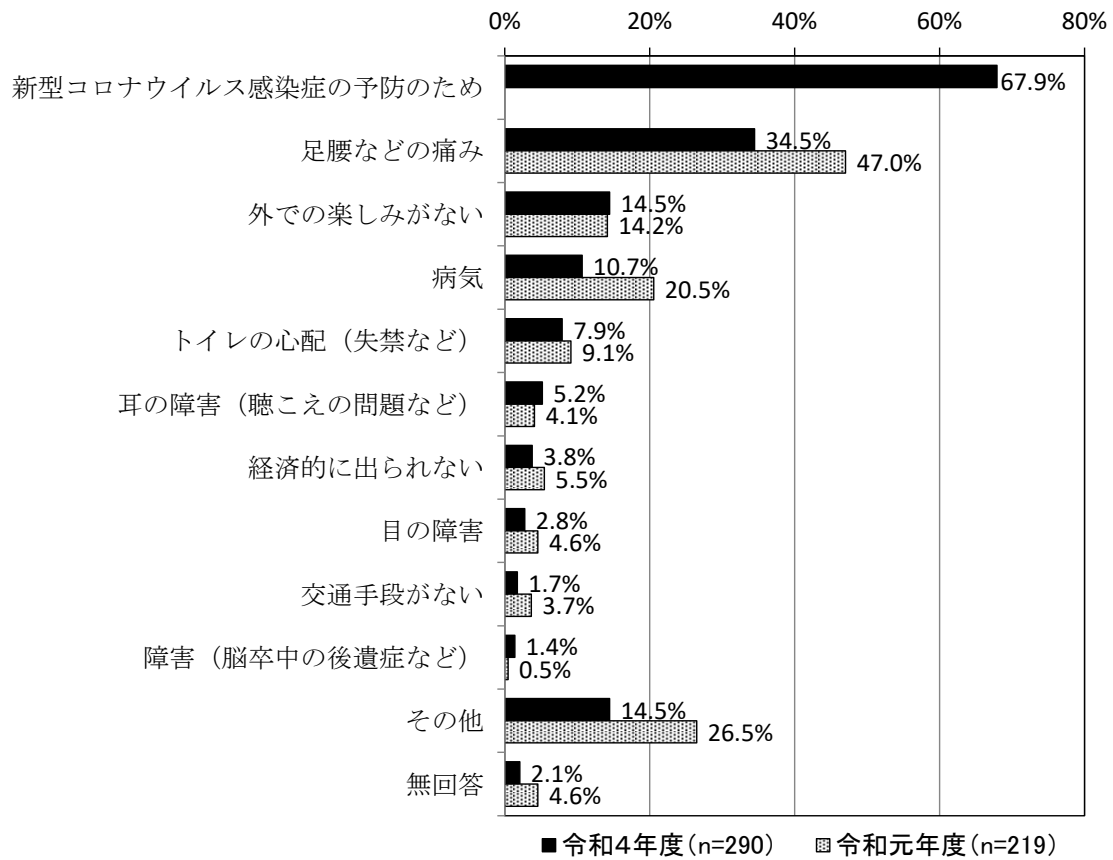
外出する際の移動手段は、「徒歩」が89.0%、「電車」が57.0%だった。令和元年度調査の結果と比べると「電車」の割合が7.5ポイント、「路線バス」の割合が5ポイント低くなっている。

問 20 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)



外出回数を昨年と比べると、「減っていない」が37.9%、「あまり減っていない」が30.9%である。令和元年度調査の結果と比べると、「減っている」の割合が6.4ポイント増加している。一方、「減っていない」の割合は7.7ポイント減少している。

問 20-1 問 20 で「1. とても減っている」「2. 減っている」と回答した方にお伺いします。
 外出が減っているのは何故ですか。(あてはまるものすべてに○)



(注) 令和4年度調査では、「新型コロナウイルス感染症の予防のため」の選択肢を設けた。

昨年と比べて外出が「とても減っている」あるいは「減っている」と回答した 290 人に外出が減っている理由を尋ねたところ、「新型コロナウイルス感染症の予防のため」の割合が最も高く、67.9%だった。次いで、「足腰などの痛み」が 34.5%、「外での楽しみがない」が 14.5%だった。

令和元年度調査の結果と比較すると、「足腰などの痛み」の割合は 12.5 ポイント、「病気」の割合は 9.8 ポイント減少している。

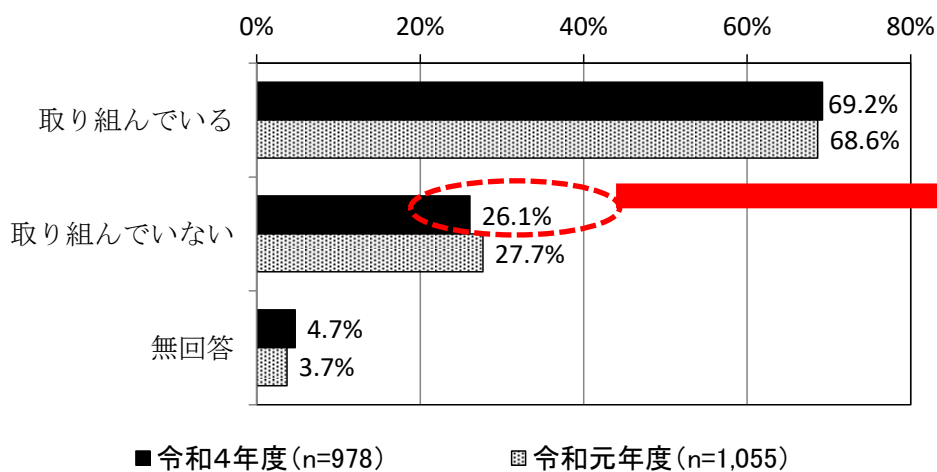
「その他」には、「仕事をやめたため」、「家族の病気、介護のため」、「疲れやすい、気力の衰え」などの回答がみられた。

(4) 健康維持や介護予防の取組み

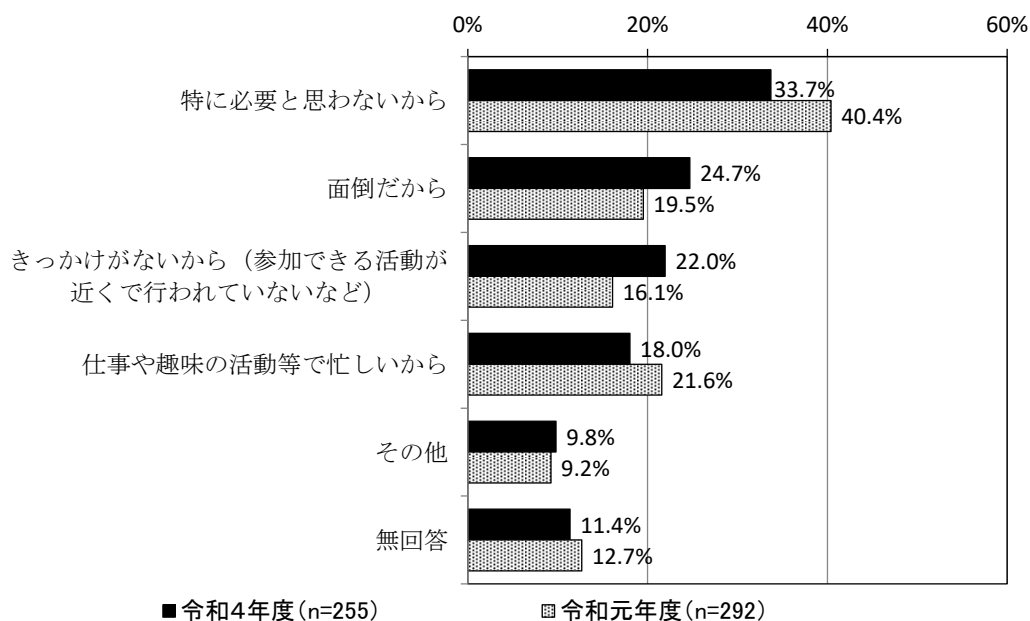
問 21 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいますか。(○は1つ)

問 21-1 問 21 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

問 21-2 問 21 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。どのような内容のものがあれば取り組んでみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

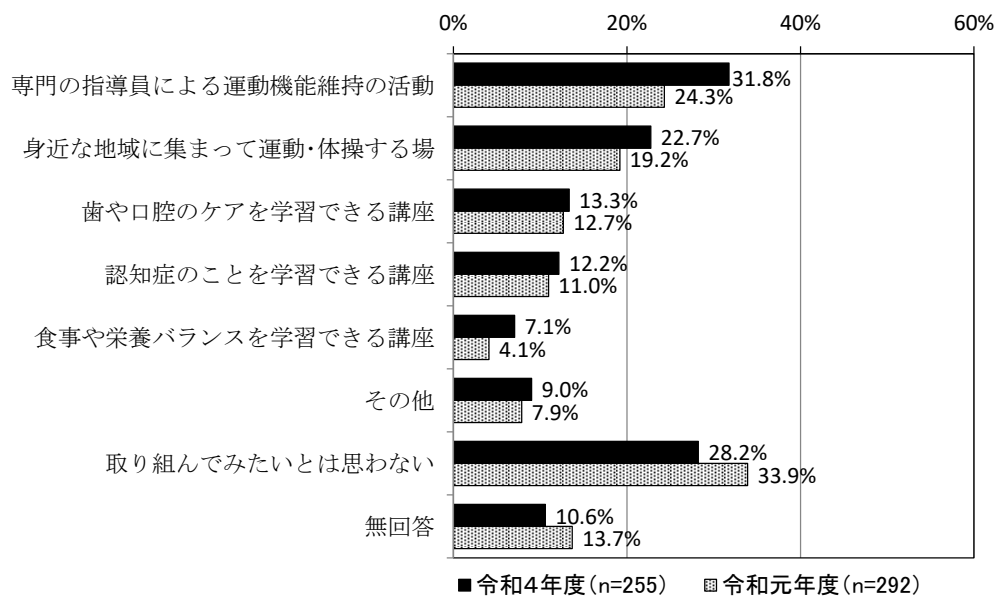


<取り組んでいない理由>



健康維持や介護予防に「取り組んでいる」割合は69.2%だった。取り組んでいないと回答した人 (26.1%、255人) に、その理由を尋ねたところ、「特に必要と思わないから」が33.7%となっているが、令和元年度調査の結果と比べると6.7ポイント減少している。

<どのようなものであれば取り組んでみたいか>



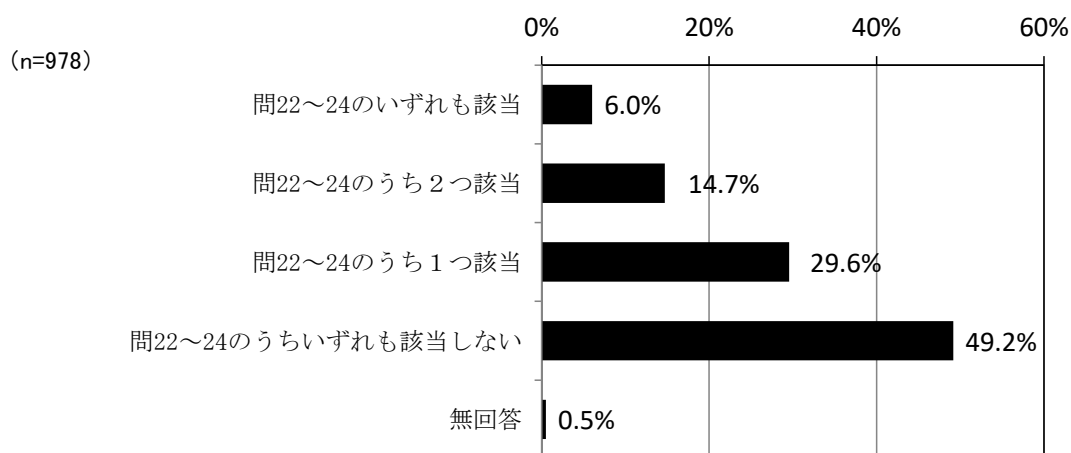
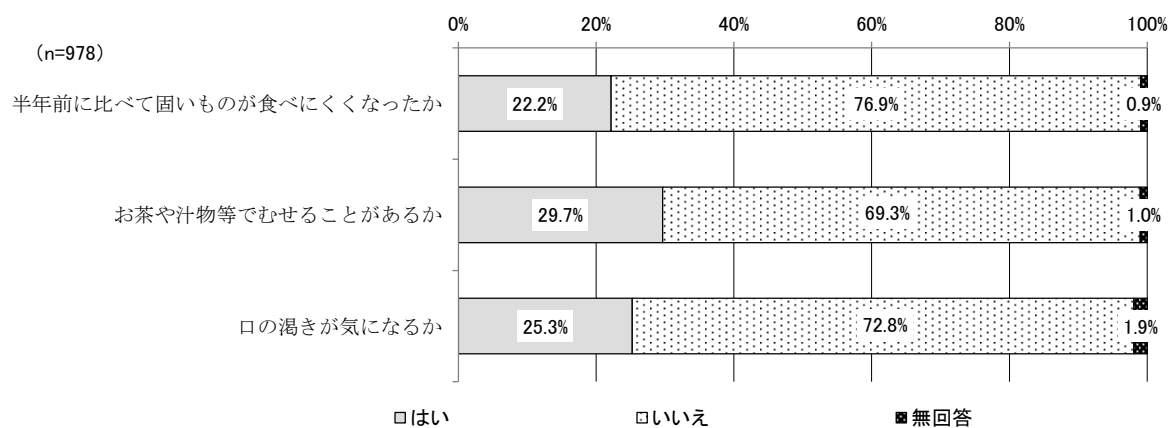
また、どのような内容のものがあれば取り組んでみたいか尋ねたところ、「専門の指導員による運動機能維持の活動」が31.8%だった。

4. 食べることについて

問 22 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

問 23 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

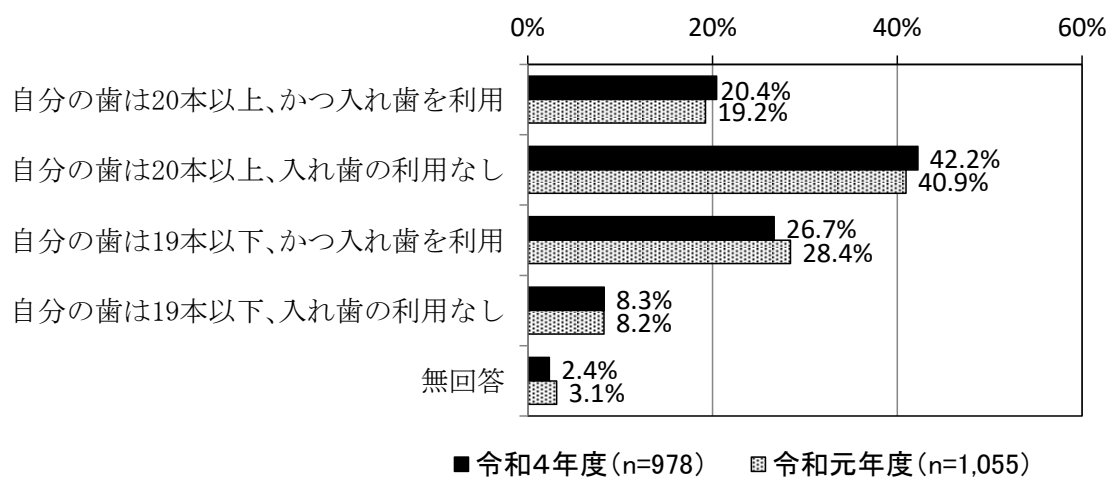
問 24 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)



半年前に比べて固いものが食べにくくなったかを尋ねたところ、「はい」が22.2%となっている。お茶や汁物等でむせることがあるかについては「はい」が29.7%となっている。また、口の渇きが気になるかについては、「はい」が25.3%となっている。

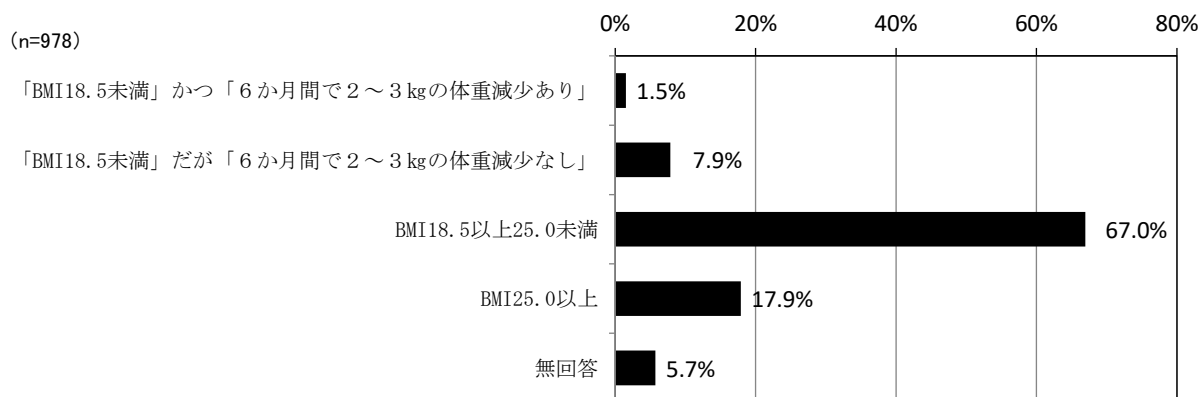
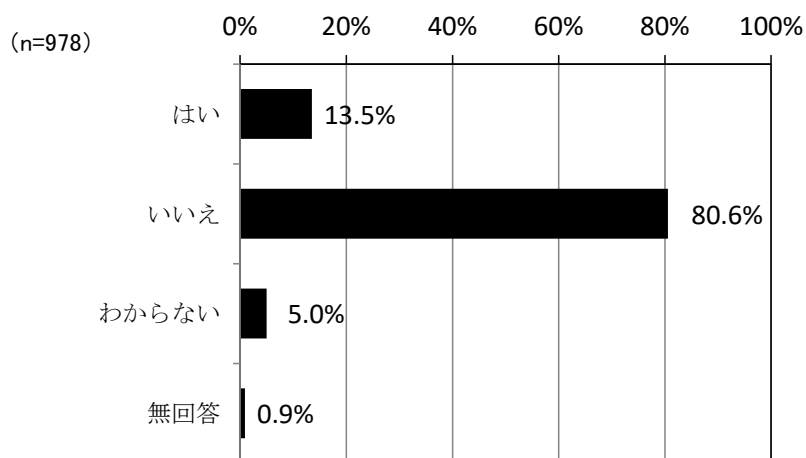
問 22 から問 24 の全てに「はい」と回答したのは6.0% (59人) だった。

問 25 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (〇は1つ)



歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が42.2%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が26.7%だった。

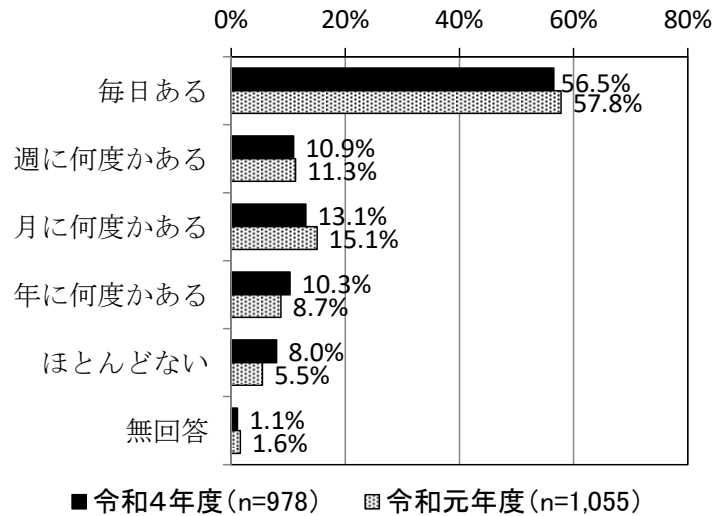
問 26 6 か月間で 2 ～ 3 kg の体重減少がありましたか。(○は 1 つ)



6 か月間で 2 ～ 3 kg の体重減少があったかを尋ねたところ、「はい」が 13.5%、「いいえ」が 80.6%となっている。

「BMI18.5 未満」かつ「6 か月間で 2 ～ 3 kg の体重減少あり」(低栄養)は 1.5% (15 人) だった。

問 27 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)



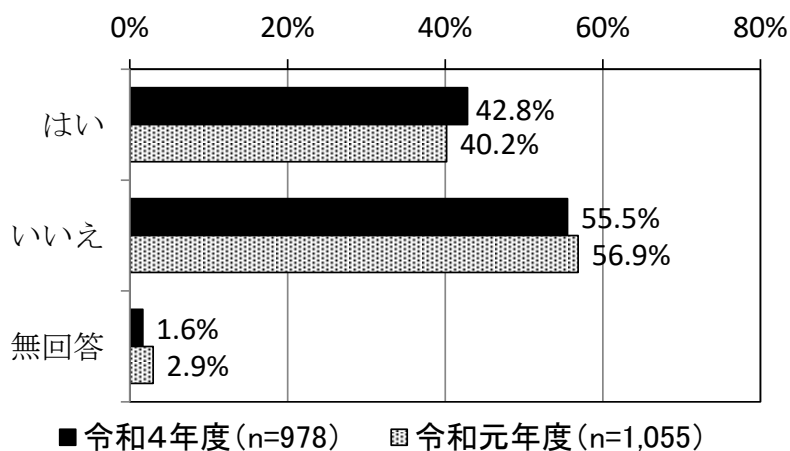
(単位：件)

		問27 他の人と食事をとにもする機会						
		合計	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体		978	553	107	128	101	78	11
		100.0%	56.5%	10.9%	13.1%	10.3%	8.0%	1.1%
問2 家族構成	ひとり暮らし	216	6	41	78	40	48	3
		100.0%	2.8%	19.0%	36.1%	18.5%	22.2%	1.4%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	406	305	27	23	40	10	1
		100.0%	75.1%	6.7%	5.7%	9.9%	2.5%	0.2%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	51	34	4	3	2	7	1
	100.0%	66.7%	7.8%	5.9%	3.9%	13.7%	2.0%	
	息子・娘との2世帯	98	68	12	8	5	4	1
		100.0%	69.4%	12.2%	8.2%	5.1%	4.1%	1.0%
	その他	189	129	20	14	14	8	4
		100.0%	68.3%	10.6%	7.4%	7.4%	4.2%	2.1%

誰かと食事をとにもする機会については、「毎日ある」の割合が高く、56.5%となっている。
 家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「毎日ある」の割合が2.8%と低く、「月に何度かある」が36.1%、「ほとんどない」が22.2%となっている。

5. 毎日の生活について

問 28 もの忘れが多いと感じますか。(○は1つ)



もの忘れが多いと感じるかについては、「はい」が 42.8%、「いいえ」が 55.5%となっている。

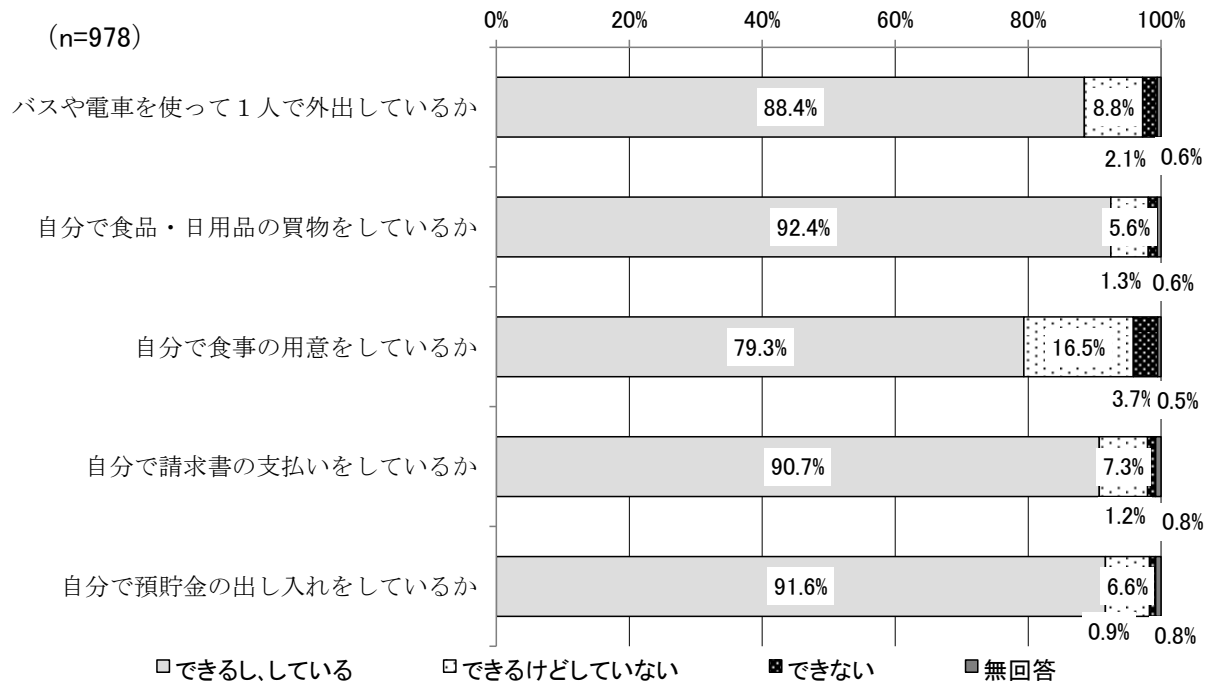
問 29 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つ)

問 30 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

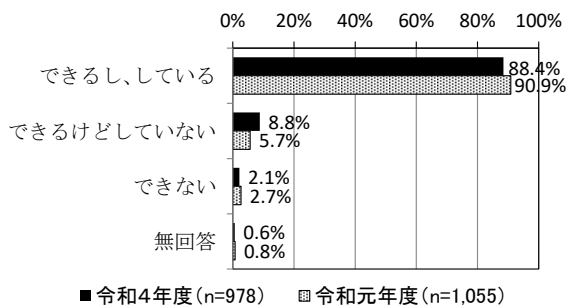
問 31 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

問 32 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

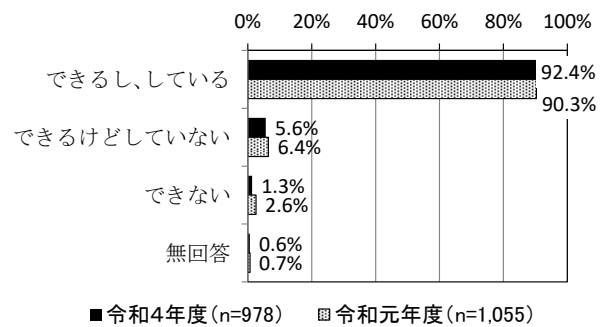
問 33 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)



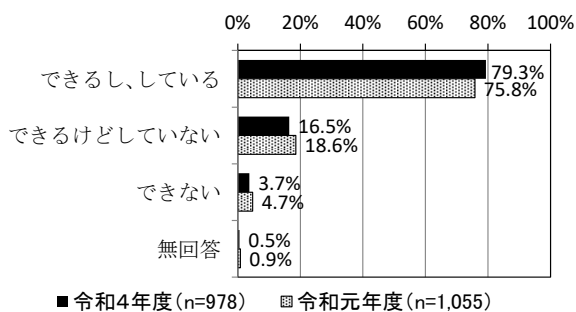
(バスや電車を使って1人で外出)



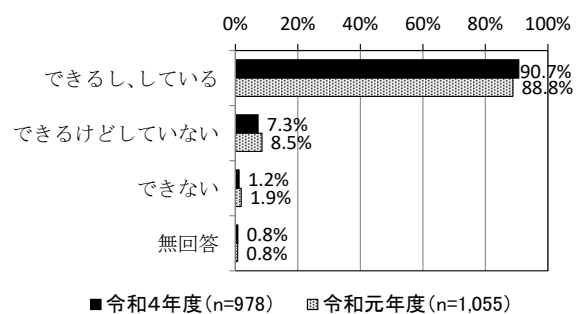
(食品・日用品の買物)



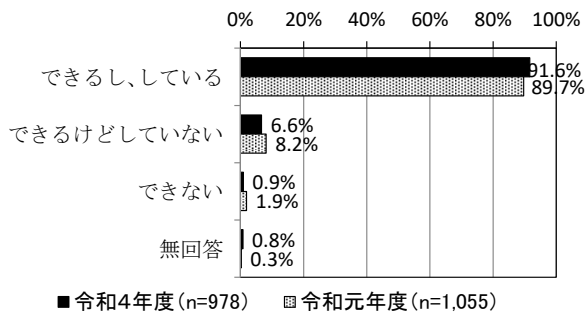
(食事の用意)



(請求書の支払い)



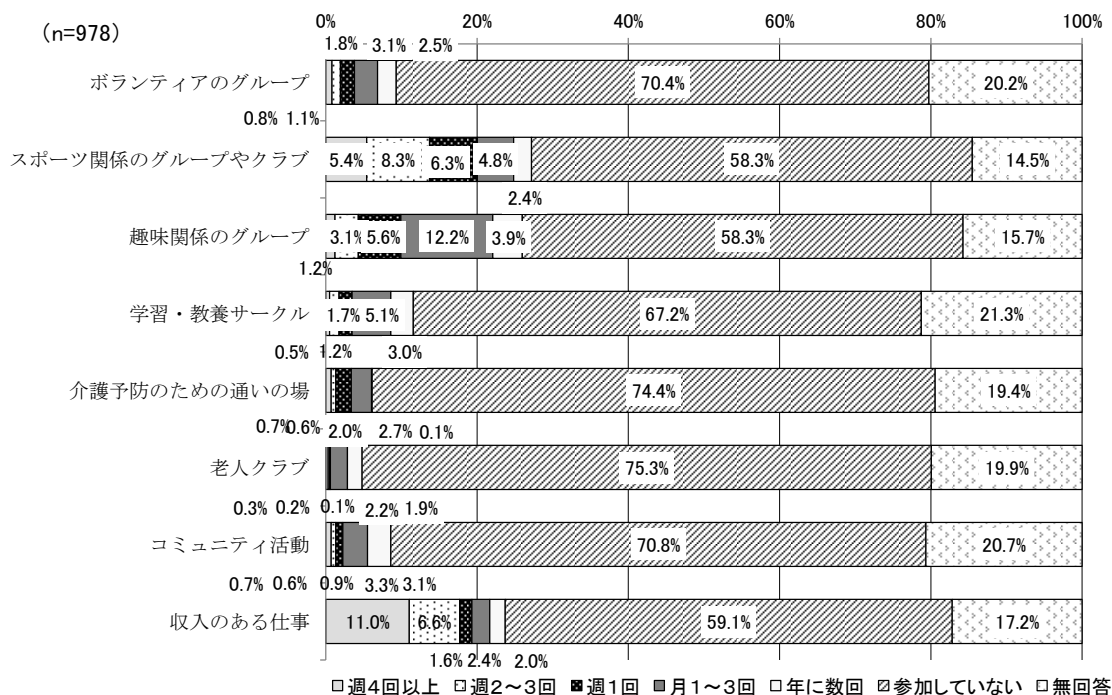
(預貯金の出し入れ)



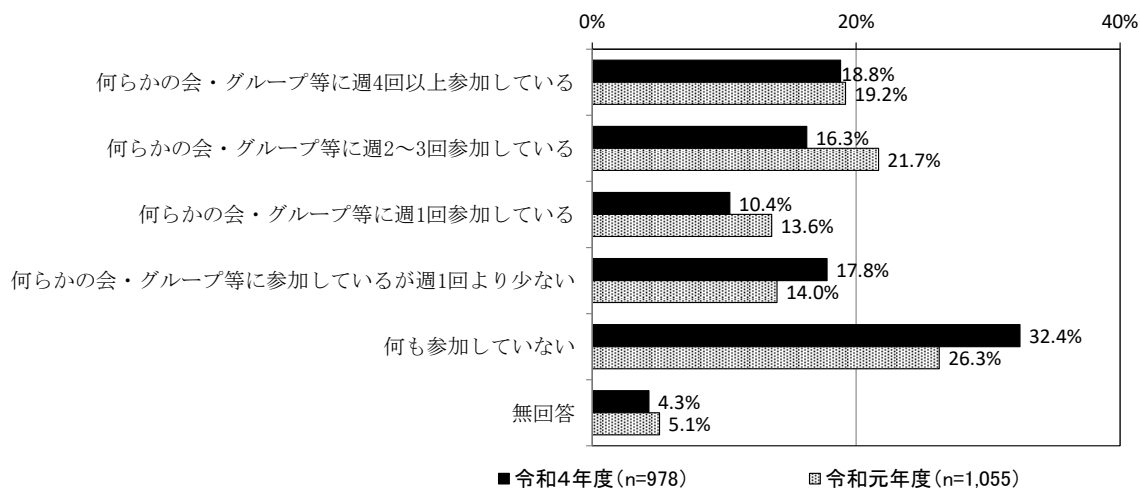
バスや電車を使って1人で外出、食品・日用品の買物、食事の用意、請求書の支払い、預貯金の出し入れのいずれも「できるし、している」の割合が高く、それぞれ88.4%、92.4%、79.3%、90.7%、91.6%である。食事の用意については、「できるし、している」に次いで、「できるけどしていない」が16.5%となっている。

6. 地域での活動やたすけあいについて

問 34 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれについて○は1つ)



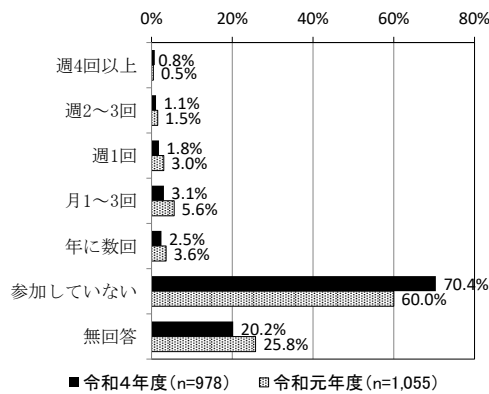
(注) 「週4回以上」、「週2~3回」、「週1回」、「月1~3回」、「年に数回」の和を「参加している」とした。



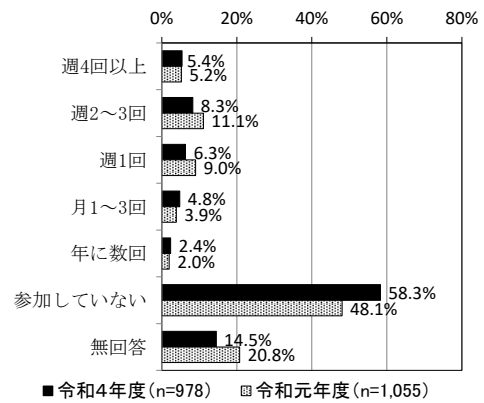
会・グループ等に、年に数回以上参加している割合は、「スポーツ関係のグループやクラブ」27.2%、「趣味関係のグループ」26.0%、「収入のある仕事」23.7%の順に割合が高くなっている。

他方、「コミュニティ活動」は8.6%、「介護予防のための通いの場」は6.1%、「老人クラブ」は4.8%にとどまっている。令和元年度調査の結果と比べると、何らかの会・グループ等に週1回以上参加している割合は減少傾向がみられる。また、どの会・グループにも参加していない（何も参加していない）人の割合は32.4%と、増加傾向がみられる。

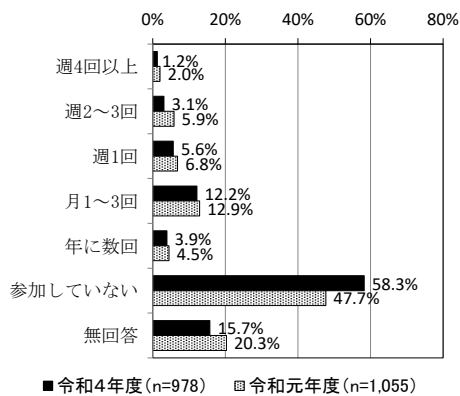
(ボランティア)



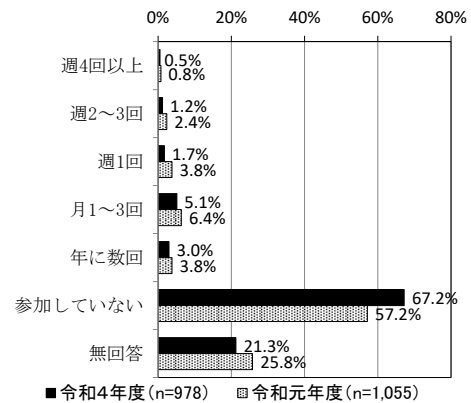
(スポーツ関係)



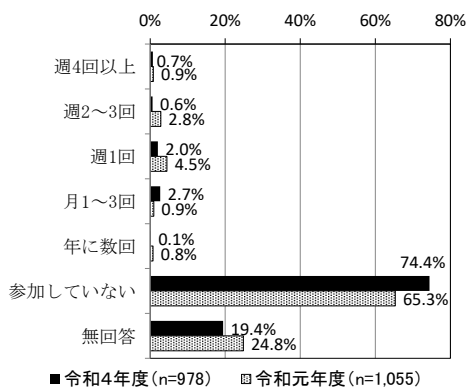
(趣味関係)



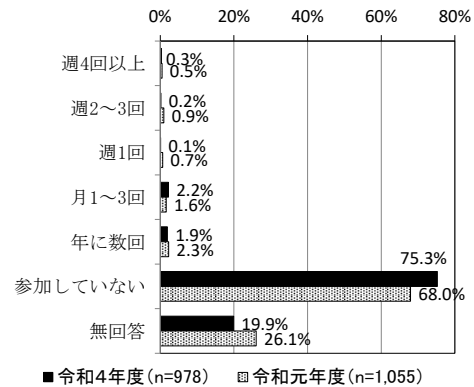
(学習・教養サークル)



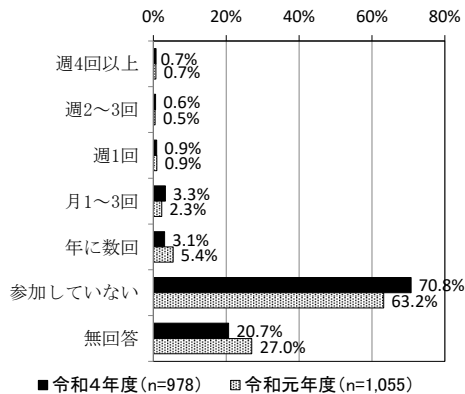
(介護予防のための通いの場)



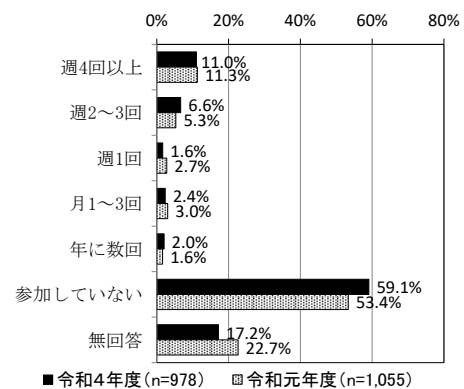
(老人クラブ)



(コミュニティ活動)

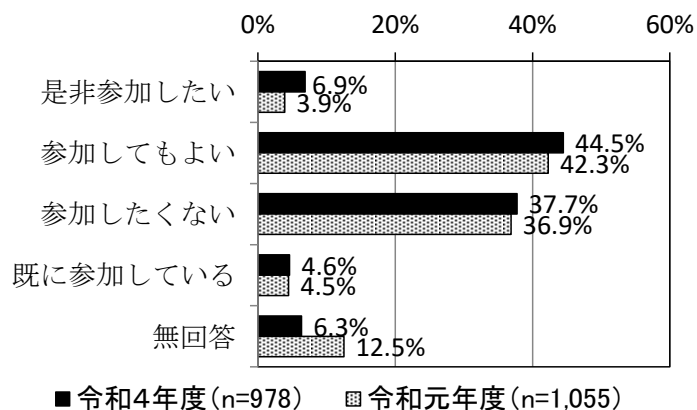


(収入のある仕事)

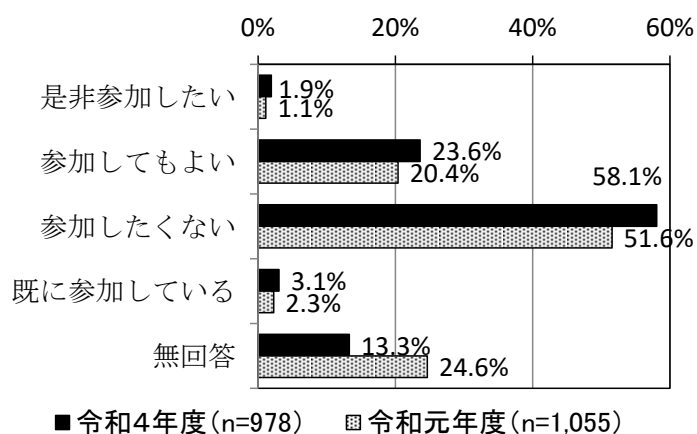


問 35 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者、企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（それぞれについて〇は1つ）

（参加者）



（企画・運営（お世話役））



地域住民の有志による、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を通じた、いきいきとした地域づくりについて、「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計をみると、参加者としては51.4%、企画・運営（お世話役）としては25.5%となっている。

令和元年度調査の結果と比べると、企画・運営（お世話役）としては「参加したくない」割合が58.1%と、6.5ポイント増加している。

(年齢別)

(単位：件)

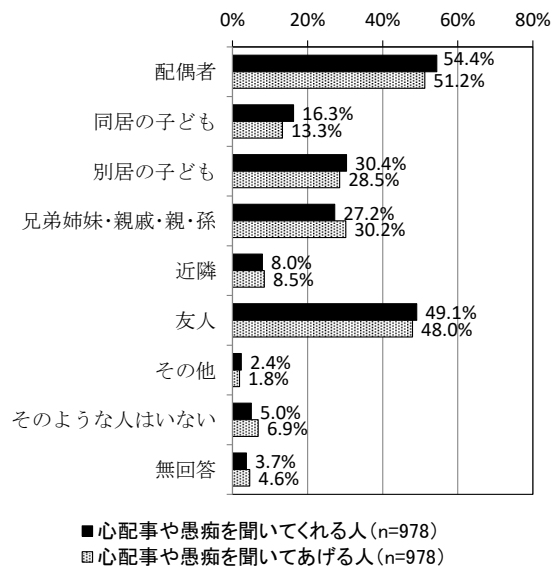
		合計	是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答
全体		978 100.0%	67 6.9%	435 44.5%	369 37.7%	45 4.6%	62 6.3%
参加者として	65～69歳	197 100.0%	10 5.1%	97 49.2%	77 39.1%	5 2.5%	8 4.1%
	70～74歳	262 100.0%	19 7.3%	126 48.1%	93 35.5%	14 5.3%	10 3.8%
	75～79歳	221 100.0%	16 7.2%	102 46.2%	77 34.8%	15 6.8%	11 5.0%
	80～84歳	154 100.0%	11 7.1%	61 39.6%	62 40.3%	6 3.9%	14 9.1%
	85歳以上	130 100.0%	11 8.5%	43 33.1%	57 43.8%	4 3.1%	15 11.5%
全体		978 100.0%	19 1.9%	231 23.6%	568 58.1%	30 3.1%	130 13.3%
企画・運営として	65～69歳	197 100.0%	4 2.0%	62 31.5%	116 58.9%	6 3.0%	9 4.6%
	70～74歳	262 100.0%	9 3.4%	72 27.5%	152 58.0%	9 3.4%	20 7.6%
	75～79歳	221 100.0%	3 1.4%	52 23.5%	129 58.4%	9 4.1%	28 12.7%
	80～84歳	154 100.0%	1 0.6%	26 16.9%	95 61.7%	4 2.6%	28 18.2%
	85歳以上	130 100.0%	2 1.5%	15 11.5%	69 53.1%	2 1.5%	42 32.3%

年齢別にみると、「65～69歳」では、参加者として、企画・運営（お世話係）としてのいずれにおいても、「参加してもよい」の割合が比較的高い（それぞれ49.2%、31.5%）。また、「85歳以上」では、参加者として「参加したくない」の割合が比較的高い（43.8%）。

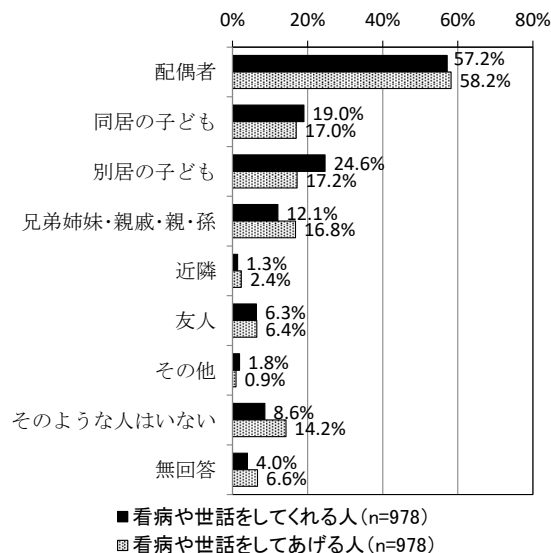
問 36 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。(①から④のそれぞれについてあてはまるものすべてに○)

- ①あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人
- ②反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人
- ③あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
- ④反対に、看病や世話をしてあげる人

(心配事や愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人)

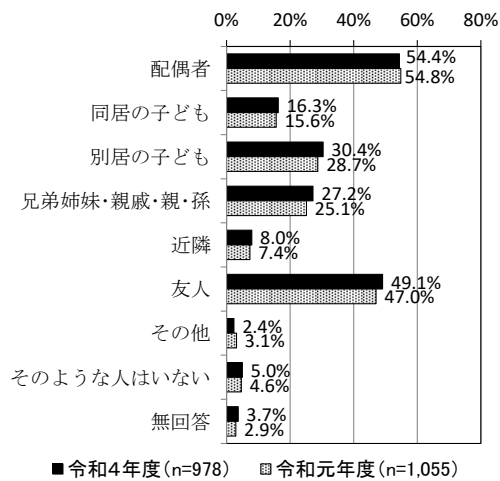


(病気で数日間寝込んだときの看病や世話をしてくれる人・してあげる人)

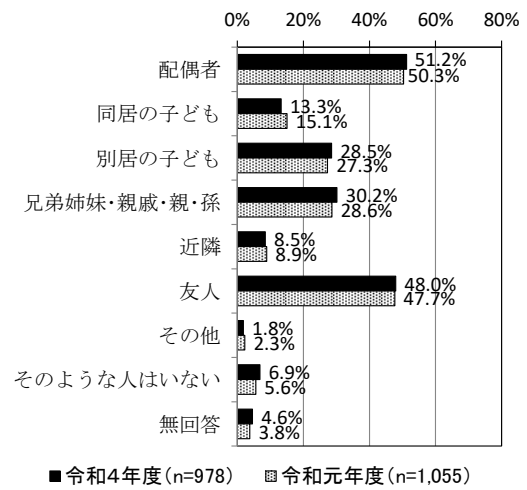


心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人のいずれも「配偶者」の割合が高く、それぞれ54.4%、51.2%だった。病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人、してあげる人も同様に「配偶者」の割合が高く、それぞれ57.2%、58.2%だった。

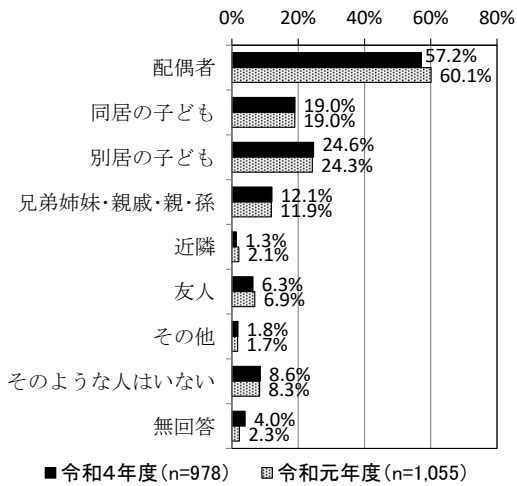
(心配事や愚痴を聞いてくれる人)



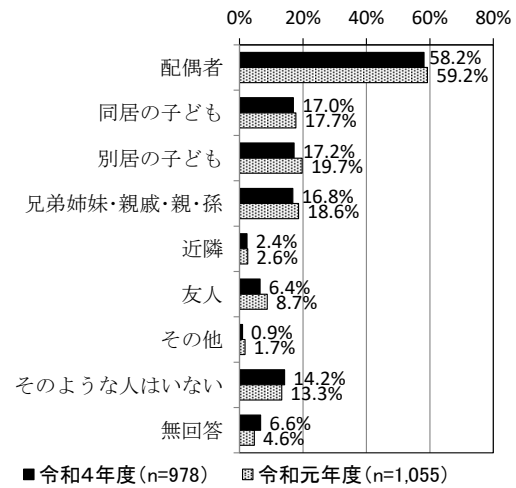
(心配事や愚痴を聞いてあげる人)



(看病や世話をしてくれる人)



(看病や世話をしてあげる人)



(家族構成別 心配事や愚痴をきいてくれる人)

(単位：件)

		合計	問36① あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		978 100.0%	532 54.4%	159 16.3%	297 30.4%	266 27.2%	78 8.0%	480 49.1%	23 2.4%	49 5.0%	36 3.7%
問2 家族構成	ひとり暮らし	216 100.0%	1 0.5%	0 0.0%	67 31.0%	77 35.6%	28 13.0%	125 57.9%	9 4.2%	27 12.5%	9 4.2%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	406 100.0%	346 85.2%	7 1.7%	153 37.7%	92 22.7%	25 6.2%	192 47.3%	3 0.7%	6 1.5%	15 3.7%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	51 100.0%	42 82.4%	0 0.0%	16 31.4%	11 21.6%	4 7.8%	19 37.3%	5 9.8%	3 5.9%	2 3.9%
	息子・娘との2世帯	98 100.0%	41 41.8%	56 57.1%	19 19.4%	29 29.6%	12 12.2%	46 46.9%	1 1.0%	5 5.1%	2 2.0%
	その他	189 100.0%	91 48.1%	92 48.7%	38 20.1%	55 29.1%	8 4.2%	91 48.1%	4 2.1%	8 4.2%	6 3.2%

(家族構成別 心配事や愚痴をきいてあげる人)

(単位：件)

		合計	問36② あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		978 100.0%	501 51.2%	130 13.3%	279 28.5%	295 30.2%	83 8.5%	469 48.0%	18 1.8%	67 6.9%	45 4.6%
問2 家族構成	ひとり暮らし	216 100.0%	2 0.9%	0 0.0%	56 25.9%	78 36.1%	23 10.6%	122 56.5%	4 1.9%	35 16.2%	13 6.0%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	406 100.0%	323 79.6%	6 1.5%	146 36.0%	111 27.3%	30 7.4%	183 45.1%	3 0.7%	13 3.2%	14 3.4%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	51 100.0%	42 82.4%	0 0.0%	15 29.4%	10 19.6%	4 7.8%	19 37.3%	4 7.8%	2 3.9%	2 3.9%
	息子・娘との2世帯	98 100.0%	41 41.8%	46 46.9%	22 22.4%	30 30.6%	10 10.2%	46 46.9%	2 2.0%	5 5.1%	5 5.1%
	その他	189 100.0%	82 43.4%	75 39.7%	37 19.6%	64 33.9%	13 6.9%	93 49.2%	2 1.1%	12 6.3%	9 4.8%

心配事や愚痴をきいてくれる人について家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「友人」(57.9%)、夫婦2人暮らしでは「配偶者」(配偶者65歳以上85.2%、配偶者64歳以下82.4%)、息子・娘との2世帯では「同居の子ども」(57.1%)の割合が高い。

心配事や愚痴をきいてあげる人についても、同様の傾向がみられる。

(家族構成別 あなたの看病や世話をしてくれる人)

(単位：件)

		問36③ あなたの看病や世話をしてくれる人									
		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		978 100.0%	559 57.2%	186 19.0%	241 24.6%	118 12.1%	13 1.3%	62 6.3%	18 1.8%	84 8.6%	39 4.0%
問2 家族構成	ひとり暮らし	216 100.0%	2 0.9%	3 1.4%	74 34.3%	52 24.1%	4 1.9%	37 17.1%	8 3.7%	63 29.2%	9 4.2%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	406 100.0%	361 88.9%	6 1.5%	113 27.8%	26 6.4%	6 1.5%	9 2.2%	3 0.7%	9 2.2%	15 3.7%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	51 100.0%	45 88.2%	0 0.0%	14 27.5%	4 7.8%	0 0.0%	2 3.9%	0 0.0%	0 0.0%	4 7.8%
	息子・娘との2世帯	98 100.0%	45 45.9%	68 69.4%	11 11.2%	9 9.2%	1 1.0%	2 2.0%	1 1.0%	3 3.1%	3 3.1%
	その他	189 100.0%	94 49.7%	104 55.0%	25 13.2%	26 13.8%	2 1.1%	11 5.8%	6 3.2%	8 4.2%	6 3.2%

(家族構成別 あなたが看病や世話をしてあげる人)

(単位：件)

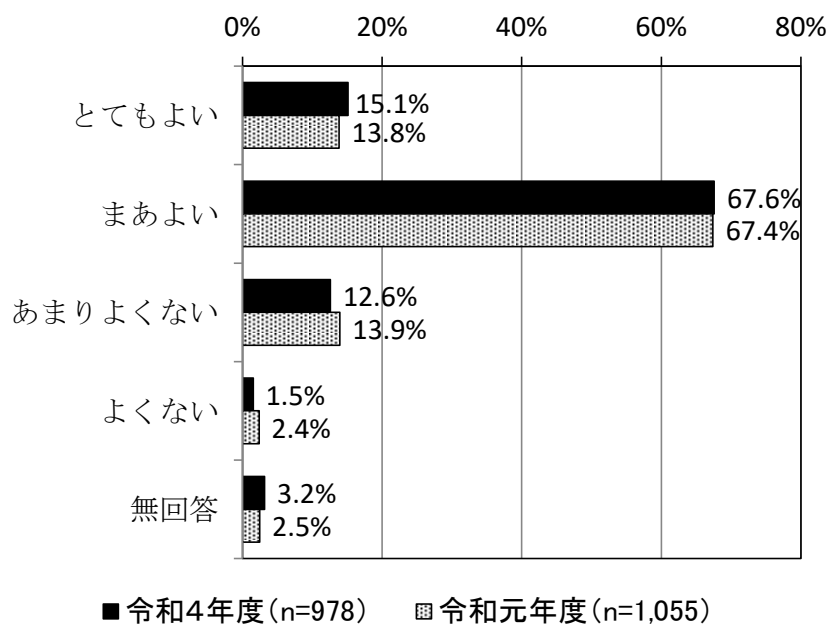
		問36④ あなたが看病や世話をしてあげる人									
		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		978 100.0%	569 58.2%	166 17.0%	168 17.2%	164 16.8%	23 2.4%	63 6.4%	9 0.9%	139 14.2%	65 6.6%
問2 家族構成	ひとり暮らし	216 100.0%	0 0.0%	2 0.9%	39 18.1%	57 26.4%	7 3.2%	33 15.3%	3 1.4%	86 39.8%	20 9.3%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	406 100.0%	363 89.4%	9 2.2%	84 20.7%	47 11.6%	11 2.7%	12 3.0%	2 0.5%	16 3.9%	18 4.4%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	51 100.0%	47 92.2%	0 0.0%	8 15.7%	5 9.8%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	1 2.0%	3 5.9%
	息子・娘との2世帯	98 100.0%	49 50.0%	53 54.1%	16 16.3%	12 12.2%	4 4.1%	6 6.1%	0 0.0%	11 11.2%	9 9.2%
	その他	189 100.0%	99 52.4%	99 52.4%	20 10.6%	41 21.7%	1 0.5%	9 4.8%	3 1.6%	22 11.6%	13 6.9%

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について家族構成別にみると、ひとり暮らしで「そのような人はいない」の割合が高く、29.2%となっている。

看病や世話をしてあげる人についても同様の傾向がみられ、ひとり暮らしで「そのような人はいない」は39.8%となっている。

7. 健康について

問 37 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)



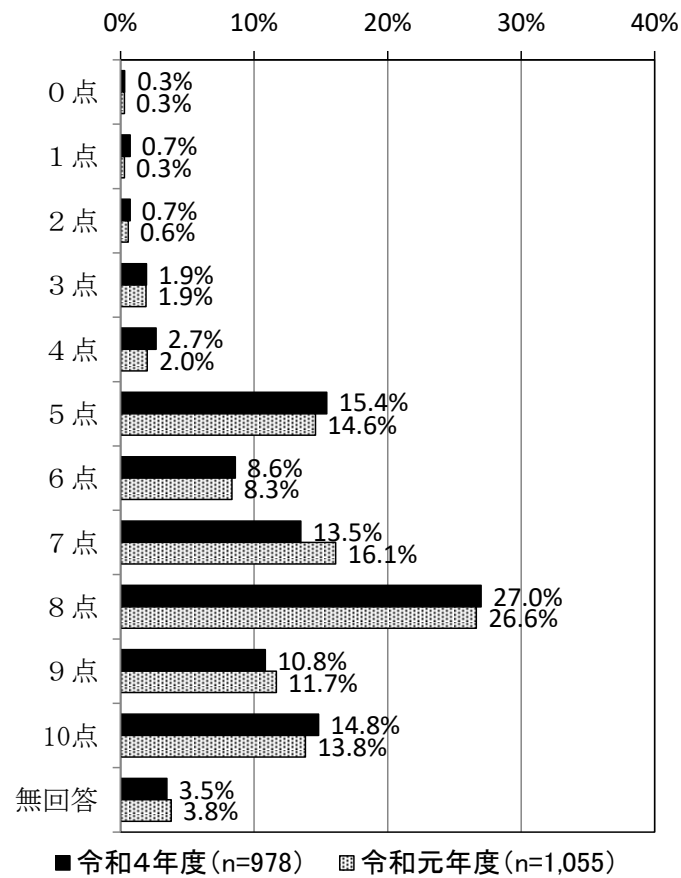
(単位：件)

		合計	問37 現在の健康状態				
			とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体		978	148	661	123	15	31
		100.0%	15.1%	67.6%	12.6%	1.5%	3.2%
問42 治療中、または後遺症のある病気の有無	ある	763	88	539	113	15	8
		100.0%	11.5%	70.6%	14.8%	2.0%	1.0%
	ない	164	49	107	8	0	0
		100.0%	29.9%	65.2%	4.9%	0.0%	0.0%

健康状態は、「とてもよい」と「まあよい」の合計が82.7%を占めている。他方、「あまりよくない」と「よくない」の合計は、14.1%となっている。

現在治療中、または後遺症のある病気の有無別にみると、病気のある人で「とてもよい」と「まあよい」の和が82.2%となっている。

問 38 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）（いずれかの数字を1つ選んで○）



(単位: 点)

	件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
令和4年度調査	944	7.3	2.0	8.0	10.0	0.0
令和元年度調査	1,015	7.4	1.9	8.0	10.0	0.0

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、現在どの程度幸せかを尋ねたところ、「8点」の割合が最も高く、27.0%となっている。平均は7.3点である。

(家族構成別)

(単位：件)

		合計	問38 現在の程度幸せか。											
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		978	3	7	7	19	26	151	84	132	264	106	145	34
		100.0%	0.3%	0.7%	0.7%	1.9%	2.7%	15.4%	8.6%	13.5%	27.0%	10.8%	14.8%	3.5%
問2 家族構成	ひとり暮らし	216	2	1	1	5	11	41	25	26	50	15	32	7
		100.0%	0.9%	0.5%	0.5%	2.3%	5.1%	19.0%	11.6%	12.0%	23.1%	6.9%	14.8%	3.2%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	406	0	3	3	6	6	62	32	55	120	48	58	13
		100.0%	0.0%	0.7%	0.7%	1.5%	1.5%	15.3%	7.9%	13.5%	29.6%	11.8%	14.3%	3.2%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	51	0	0	0	1	1	5	1	8	16	6	9	4
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	9.8%	2.0%	15.7%	31.4%	11.8%	17.6%	7.8%
息子・娘との2世帯	98	0	1	1	3	5	17	9	12	22	11	16	2	
	100.0%	0.0%	0.0%	1.0%	3.1%	5.1%	17.3%	9.2%	12.2%	22.4%	11.2%	16.3%	2.0%	
その他	189	0	3	2	3	3	26	16	28	53	24	26	5	
	100.0%	0.0%	1.6%	1.1%	1.6%	1.6%	13.8%	8.5%	14.8%	28.0%	12.7%	13.8%	2.6%	

(単位：点)

		件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
問2 家族構成	ひとり暮らし	209	7.0	2.1	7.0	10.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	393	7.4	1.9	8.0	10.0	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	47	7.8	1.7	8.0	10.0	3.0
	息子・娘との2世帯	96	7.2	2.1	8.0	10.0	2.0
	その他	184	7.3	2.0	8.0	10.0	1.0

家族構成別にみると、「ひとり暮らし」の点数が低い傾向がみられる（平均7.0点）。

(外出の頻度別)

(単位：件)

		合計	問38 現在の程度幸せか。											
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		978	3	7	7	19	26	151	84	132	264	106	145	34
		100.0%	0.3%	0.7%	0.7%	1.9%	2.7%	15.4%	8.6%	13.5%	27.0%	10.8%	14.8%	3.5%
問18 週に1回 以上は外出 しているか。	ほとんど外出しない	22	1	2	0	0	0	7	1	2	2	4	3	0
		100.0%	4.5%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	31.8%	4.5%	9.1%	9.1%	18.2%	13.6%	0.0%
	週1回	62	0	2	0	3	4	11	3	7	13	6	11	2
		100.0%	0.0%	3.2%	0.0%	4.8%	6.5%	17.7%	4.8%	11.3%	21.0%	9.7%	17.7%	3.2%
	週2～4回	405	0	1	4	7	8	69	39	62	113	35	54	13
	100.0%	0.0%	0.2%	1.0%	1.7%	2.0%	17.0%	9.6%	15.3%	27.9%	8.6%	13.3%	3.2%	
週5回以上	477	2	2	3	9	14	63	41	60	135	58	75	15	
	100.0%	0.4%	0.4%	0.6%	1.9%	2.9%	13.2%	8.6%	12.6%	28.3%	12.2%	15.7%	3.1%	

(単位：点)

		件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
問18 週に1回以上 は外出している か。	ほとんど外出しない	22	6.3	3.0	6.5	10.0	0.0
	週1回	60	7.0	2.4	7.5	10.0	1.0
	週2～4回	392	7.2	1.9	8.0	10.0	1.0
	週5回以上	462	7.4	2.0	8.0	10.0	0.0

外出の頻度別にみると、外出が多いほうが点数が高い傾向がみられる。

(いずれかの地域の会・グループ等への参加頻度別)

(単位：件)

	合計	問38 現在どの程度幸せか。											
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	978	3	7	7	19	26	151	84	132	264	106	145	34
	100.0%	0.3%	0.7%	0.7%	1.9%	2.7%	15.4%	8.6%	13.5%	27.0%	10.8%	14.8%	3.5%
問34 いずれかの地域の会・グループへの参加頻度	週4回以上	184	0	1	3	2	8	24	15	19	45	24	32
		100.0%	0.0%	0.5%	1.6%	1.1%	4.3%	13.0%	8.2%	10.3%	24.5%	13.0%	17.4%
	週2～3回	159	1	0	3	5	2	16	12	23	47	15	33
		100.0%	0.6%	0.0%	1.9%	3.1%	1.3%	10.1%	7.5%	14.5%	29.6%	9.4%	20.8%
	週1回	102	0	0	0	4	2	15	12	8	40	11	8
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	2.0%	14.7%	11.8%	7.8%	39.2%	10.8%	7.8%
週1回より少ない	174	0	0	0	1	3	30	17	32	46	17	23	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.7%	17.2%	9.8%	18.4%	26.4%	9.8%	13.2%	
何も参加していない	317	2	5	0	4	11	60	25	48	75	35	41	
	100.0%	0.6%	1.6%	0.0%	1.3%	3.5%	18.9%	7.9%	15.1%	23.7%	11.0%	12.9%	

(単位：点)

		件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
問34 いずれかの地域の会・グループへの参加頻度	週4回以上	173	7.4	2.1	8.0	10.0	1.0
	週2～3回	157	7.5	2.1	8.0	10.0	0.0
	週1回	100	7.2	1.8	8.0	10.0	3.0
	週1回より少ない	169	7.3	1.7	8.0	10.0	3.0
	何も参加していない	306	7.1	2.1	7.0	10.0	0.0

地域の会・グループ等への参加頻度別にみると、「何も参加していない」人の点数が低い傾向がみられる。

(収入のある仕事をしている頻度別)

(単位：件)

	合計	問38 現在どの程度幸せか。											
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	978	3	7	7	19	26	151	84	132	264	106	145	34
	100.0%	0.3%	0.7%	0.7%	1.9%	2.7%	15.4%	8.6%	13.5%	27.0%	10.8%	14.8%	3.5%
問34⑧ 収入のある仕事をしている頻度	週4回以上	108	0	1	3	2	3	17	7	10	27	17	12
		100.0%	0.0%	0.9%	2.8%	1.9%	2.8%	15.7%	6.5%	9.3%	25.0%	15.7%	11.1%
	週2～3回	65	1	0	1	2	0	7	4	9	20	5	16
		100.0%	1.5%	0.0%	1.5%	3.1%	0.0%	10.8%	6.2%	13.8%	30.8%	7.7%	24.6%
	週1回	16	0	0	0	0	1	3	2	3	3	1	2
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	18.8%	12.5%	18.8%	18.8%	6.3%	12.5%
	月1～3回	23	0	0	0	0	0	6	0	3	7	1	6
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.1%	0.0%	13.0%	30.4%	4.3%	26.1%
年に数回	20	0	0	0	0	1	5	1	3	6	1	2	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	25.0%	5.0%	15.0%	30.0%	5.0%	10.0%	
参加していない	578	2	5	0	9	16	86	56	90	165	60	73	
	100.0%	0.3%	0.9%	0.0%	1.6%	2.8%	14.9%	9.7%	15.6%	28.5%	10.4%	12.6%	

「月1～3回」あるいは「週2～3回」の頻度で収入のある仕事をしている人の点数が高い傾向がみられる。

(個別の地域の会・グループ等への参加頻度別)

(単位：点)

	件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値	
全体	944	7.3	2.0	8.0	10.0	0.0	
問34① ボランティアの グループ	週4回以上	8	8.0	1.4	8.0	10.0	6.0
	週2～3回	10	6.8	2.3	6.5	10.0	3.0
	週1回	18	8.1	1.8	8.0	10.0	5.0
	月1～3回	30	7.4	1.7	8.0	10.0	4.0
	年に数回	23	7.7	1.4	8.0	10.0	5.0
	参加していない	667	7.3	1.9	8.0	10.0	0.0
問34② スポーツ関係の グループやクラ ブ	週4回以上	51	7.9	1.8	8.0	10.0	4.0
	週2～3回	80	7.6	1.9	8.0	10.0	2.0
	週1回	61	7.3	1.6	8.0	10.0	3.0
	月1～3回	45	7.2	2.0	8.0	10.0	2.0
	年に数回	21	7.4	1.9	8.0	10.0	4.0
	参加していない	551	7.2	2.0	8.0	10.0	0.0
問34③ 趣味関係の グループ	週4回以上	12	7.8	2.2	8.0	10.0	4.0
	週2～3回	28	7.9	1.5	8.0	10.0	5.0
	週1回	53	7.1	1.9	8.0	10.0	2.0
	月1～3回	116	7.6	1.7	8.0	10.0	3.0
	年に数回	37	7.2	1.4	7.0	10.0	4.0
	参加していない	552	7.2	2.0	8.0	10.0	0.0
問34④ 学習・教養 サークル	週4回以上	5	8.2	2.7	10.0	10.0	4.0
	週2～3回	11	7.6	2.2	8.0	10.0	3.0
	週1回	17	7.4	2.2	8.0	10.0	3.0
	月1～3回	49	7.8	1.7	8.0	10.0	3.0
	年に数回	28	8.0	1.5	8.0	10.0	5.0
	参加していない	636	7.2	1.9	8.0	10.0	0.0
問34⑤ 介護予防のため の通いの場	週4回以上	7	7.3	2.6	8.0	10.0	4.0
	週2～3回	6	4.7	1.9	5.0	7.0	2.0
	週1回	20	6.5	2.1	6.0	10.0	2.0
	月1～3回	25	7.3	2.0	8.0	10.0	3.0
	年に数回	1	8.0	-	8.0	8.0	8.0
	参加していない	704	7.3	1.9	8.0	10.0	0.0
問34⑥ 老人クラブ	週4回以上	3	7.7	2.5	8.0	10.0	5.0
	週2～3回	2	9.0	1.4	9.0	10.0	8.0
	週1回	1	6.0	-	6.0	6.0	6.0
	月1～3回	22	7.0	1.7	7.5	10.0	3.0
	年に数回	18	6.9	1.8	6.5	10.0	5.0
	参加していない	712	7.3	1.9	8.0	10.0	0.0
問34⑦ コミュニティ 活動	週4回以上	7	7.9	1.8	8.0	10.0	5.0
	週2～3回	5	7.6	1.1	8.0	9.0	6.0
	週1回	9	7.7	1.7	8.0	10.0	5.0
	月1～3回	31	7.7	1.7	8.0	10.0	4.0
	年に数回	30	7.5	1.6	8.0	10.0	5.0
	参加していない	669	7.2	1.9	8.0	10.0	0.0
問34⑧ 収入のある仕事	週4回以上	99	7.2	2.1	8.0	10.0	1.0
	週2～3回	65	7.6	2.2	8.0	10.0	0.0
	週1回	15	7.0	1.9	7.0	10.0	4.0
	月1～3回	23	7.7	1.9	8.0	10.0	5.0
	年に数回	19	7.0	1.8	7.0	10.0	4.0
	参加していない	562	7.3	1.9	8.0	10.0	0.0

(心配事や愚痴を聞いてくれる人の有無別)

(単位：件)

		合計	問38 現在の程度幸せか。											
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		978	3	7	7	19	26	151	84	132	264	106	145	34
		100.0%	0.3%	0.7%	0.7%	1.9%	2.7%	15.4%	8.6%	13.5%	27.0%	10.8%	14.8%	3.5%
問36① 心配事や愚痴を聞いてくれる人の有無	いる	893	1	4	5	17	22	141	78	124	253	101	139	8
	いない	49	2	2	2	2	4	8	6	8	8	3	4	0
		100.0%	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%	8.2%	16.3%	12.2%	16.3%	16.3%	6.1%	8.2%	0.0%

(看病や世話をしてくれる人の有無別)

(単位：件)

		合計	問38 現在の程度幸せか。											
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		978	3	7	7	19	26	151	84	132	264	106	145	34
		100.0%	0.3%	0.7%	0.7%	1.9%	2.7%	15.4%	8.6%	13.5%	27.0%	10.8%	14.8%	3.5%
問36③ 看病や世話をしてくれる人の有無	いる	855	1	4	6	15	16	124	77	120	249	103	133	7
	いない	84	2	1	1	4	10	22	7	10	11	3	12	1
		100.0%	2.4%	1.2%	1.2%	4.8%	11.9%	26.2%	8.3%	11.9%	13.1%	3.6%	14.3%	1.2%

まわりの人との「助け合い」との関係についてみると、心配事や愚痴を聞いてくれる人、病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人がいない人の点数が低い。

(現在の健康状態別)

(単位：件)

		合計	問38 現在の程度幸せか。											
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		978	3	7	7	19	26	151	84	132	264	106	145	34
		100.0%	0.3%	0.7%	0.7%	1.9%	2.7%	15.4%	8.6%	13.5%	27.0%	10.8%	14.8%	3.5%
問37 現在の健康状態	とてもよい	148	0	0	1	1	1	8	3	10	38	27	58	1
		100.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	0.7%	5.4%	2.0%	6.8%	25.7%	18.2%	39.2%	0.7%
	まあよい	661	2	1	4	9	16	98	65	107	200	72	79	8
		100.0%	0.3%	0.2%	0.6%	1.4%	2.4%	14.8%	9.8%	16.2%	30.3%	10.9%	12.0%	1.2%
あまりよくない		123	1	3	2	5	8	39	14	14	24	6	7	0
		100.0%	0.8%	2.4%	1.6%	4.1%	6.5%	31.7%	11.4%	11.4%	19.5%	4.9%	5.7%	0.0%
よくない		15	0	3	0	4	1	3	1	1	1	0	0	1
		100.0%	0.0%	20.0%	0.0%	26.7%	6.7%	20.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%

現在の健康状態別にみると、健康状態のよい人ほど点数が高い傾向がみられる。

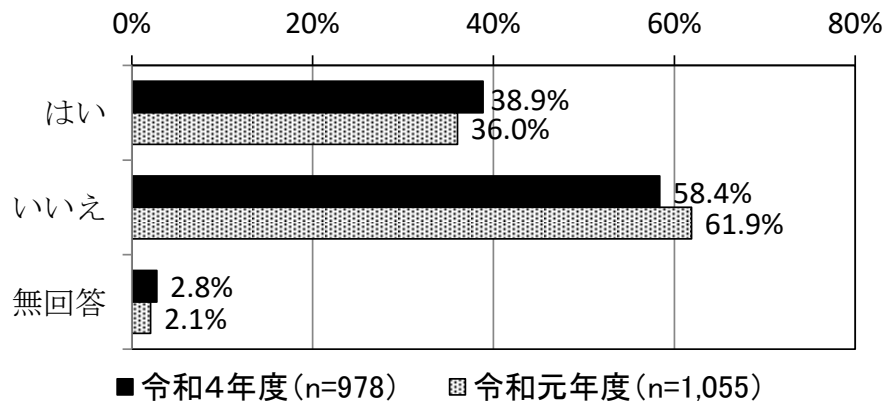
(現在治療中、または後遺症のある病気の有無別)

(単位：件)

		合計	問38 現在の程度幸せか。											
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		978	3	7	7	19	26	151	84	132	264	106	145	34
		100.0%	0.3%	0.7%	0.7%	1.9%	2.7%	15.4%	8.6%	13.5%	27.0%	10.8%	14.8%	3.5%
問42 治療中または後遺症のある病気の有無	ない	164	1	1	2	3	3	17	14	22	44	16	35	6
		100.0%	0.6%	0.6%	1.2%	1.8%	1.8%	10.4%	8.5%	13.4%	26.8%	9.8%	21.3%	3.7%
あり		763	2	6	5	16	23	133	67	105	212	85	104	5
		100.0%	0.3%	0.8%	0.7%	2.1%	3.0%	17.4%	8.8%	13.8%	27.8%	11.1%	13.6%	0.7%

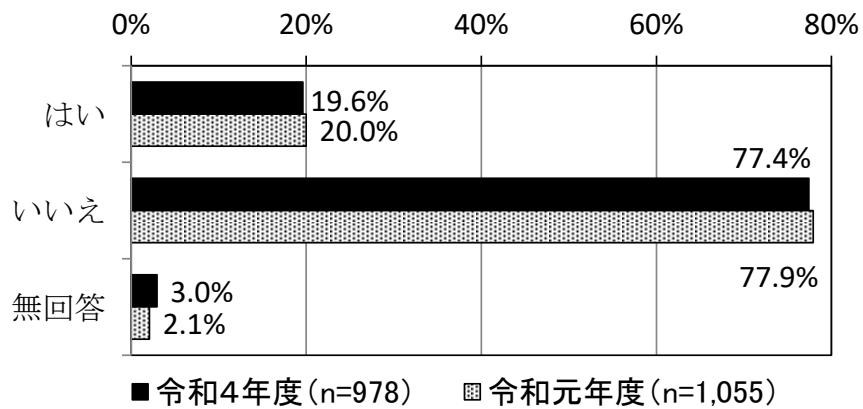
現在治療中、または後遺症のある病気の有無別にみると、病気がない人のほうが点数が高い傾向がみられる。

問 39 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
 (○は1つ)



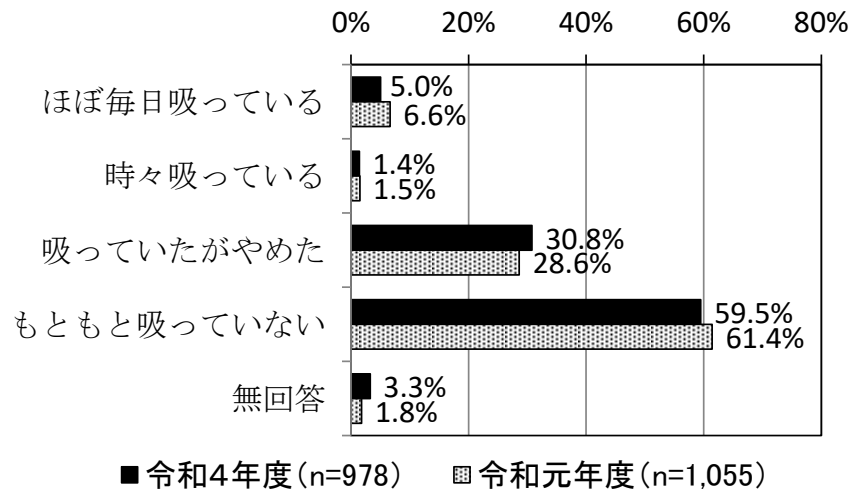
この1か月間で、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が38.9%、「いいえ」が58.4%となっている。

問 40 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)



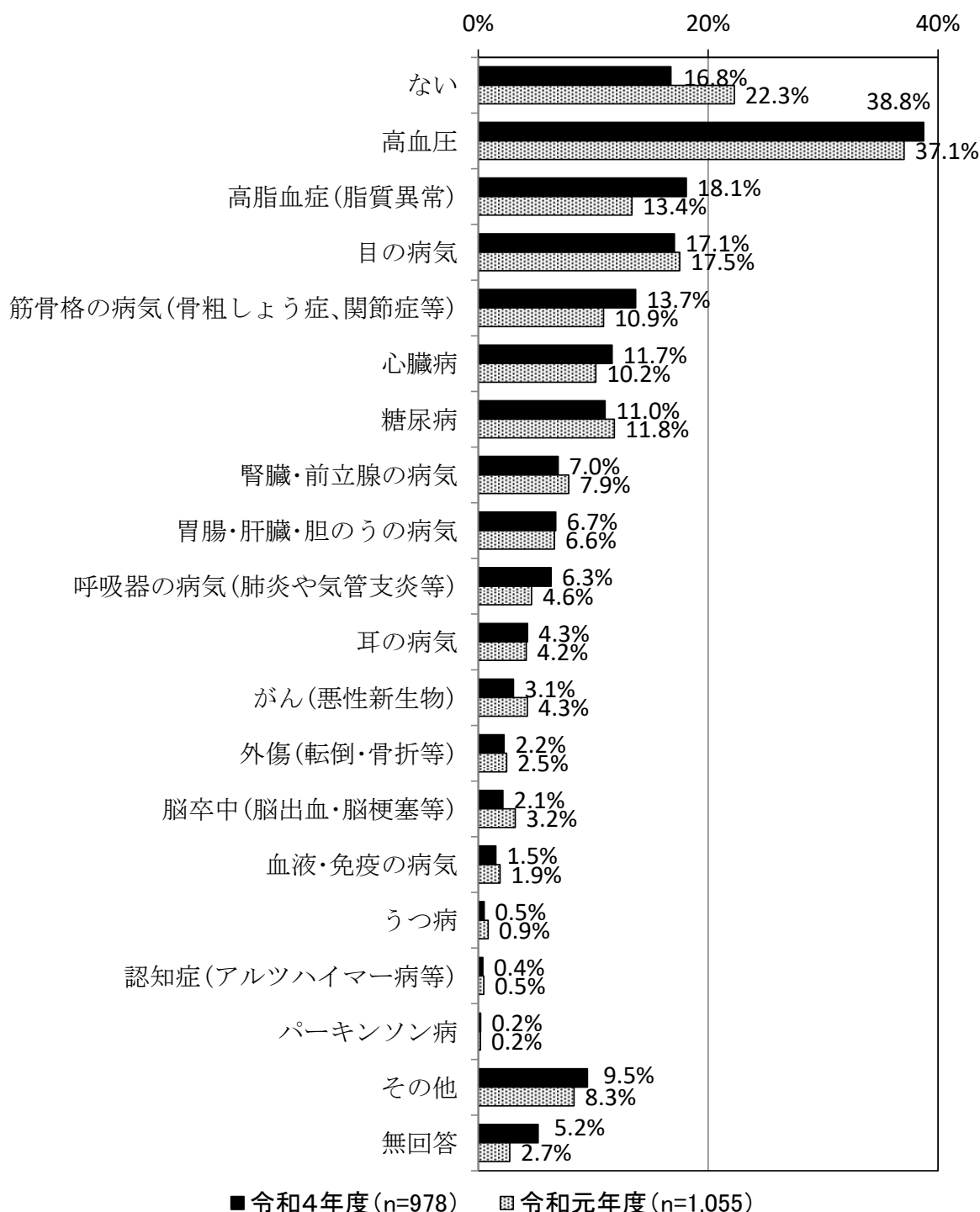
どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が19.6%、「いいえ」が77.4%となっている。

問 41 タバコは吸っていますか。(○は1つ)



喫煙の状況については、「吸っていたがやめた」が30.8%と、令和元年度調査より2.2ポイント上昇している。「ほぼ毎日吸っている」、「時々吸っている」、「もともと吸っていない」の割合はいずれも、令和元年度調査より低くなっている（それぞれ5.0%、1.4%、59.5%）。

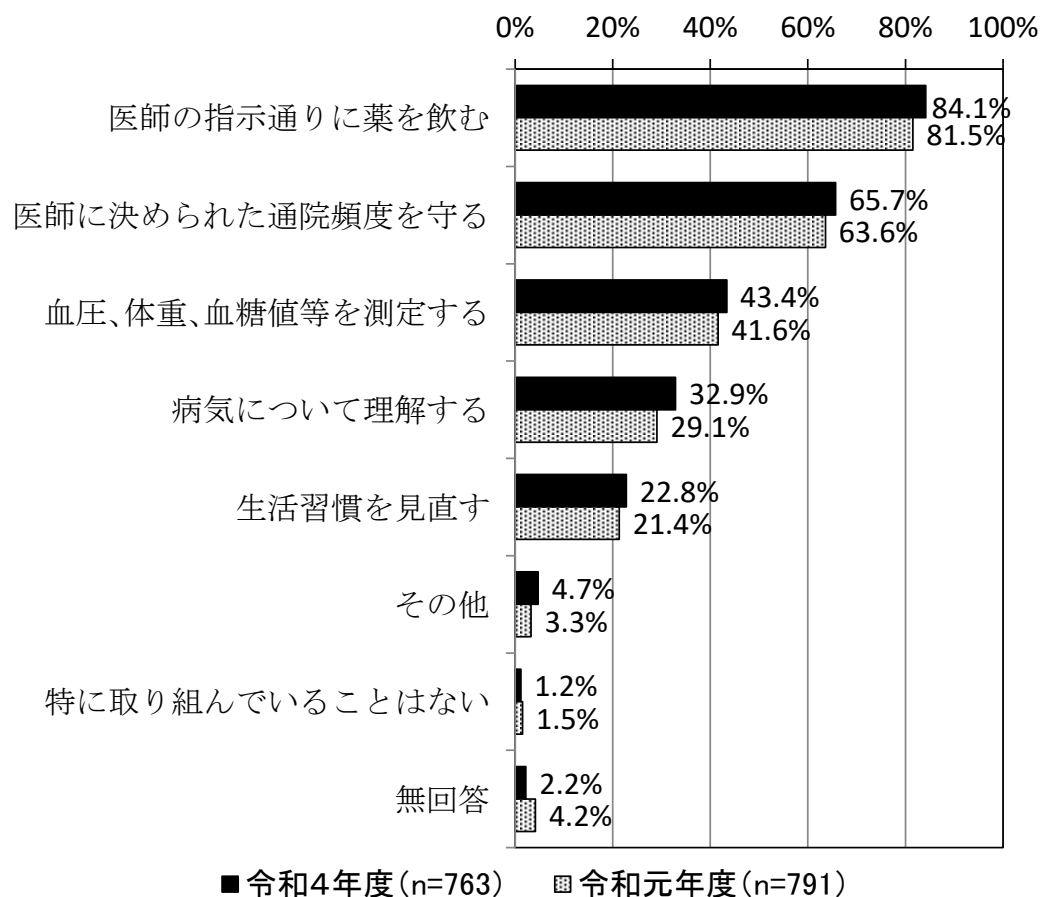
問 42 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)



現在治療中、または後遺症のある病気については「高血圧」が38.8%、次いで「高脂血症(脂質異常)」が18.1%、「目の病気」が17.1%となっている。

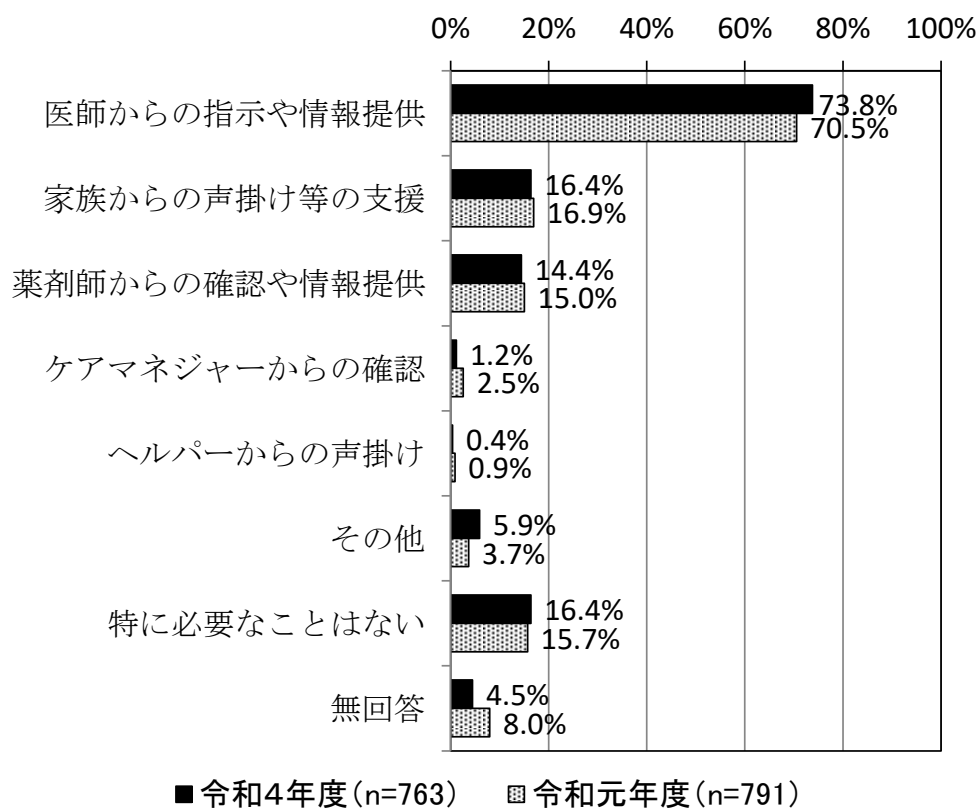
令和元年度調査の結果と比較すると、「ない」の割合が5.5ポイント減少している。また、「高脂血症(脂質異常)」の割合が4.7ポイント上昇している。

問 42-1 問 42 で1つ以上に該当した方にお伺いします。その病気の悪化、再発を予防するために取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)



現在治療中、または後遺症のある病気が1つ以上あると回答した人（763人）に、悪化・再発予防のための取り組みについて尋ねたところ、「医師の指示通りに薬を飲む」が84.1%、「医師に決められた通院頻度を守る」が65.7%と、医師の指示によるものの割合が高い。

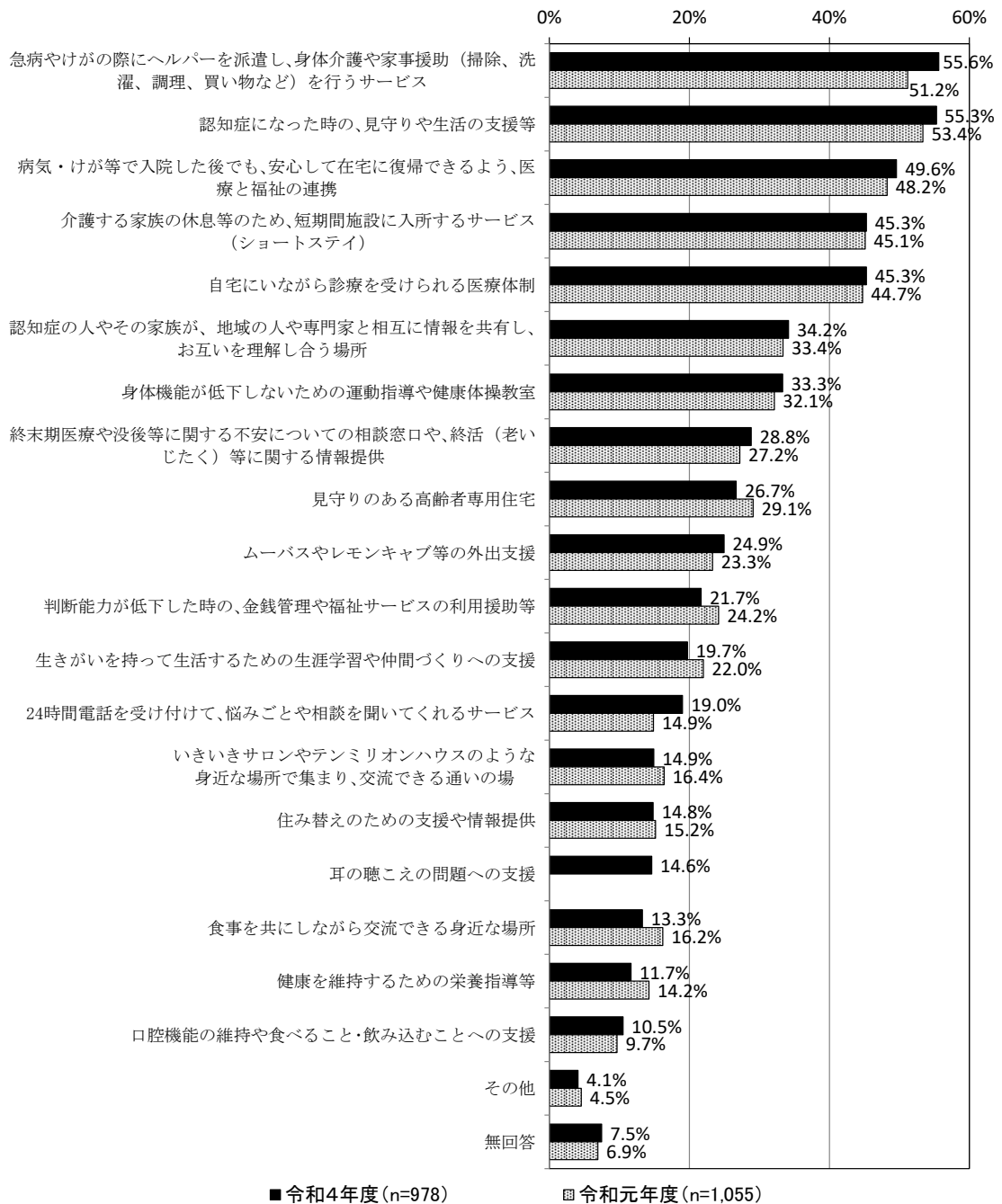
問 42-2 問 42 で1つ以上に該当した方にお伺いします。(その病気の悪化、再発を予防するために) 取り組んでいることを継続するには、どのようなことが必要だと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)



現在治療中、または後遺症のある病気が1つ以上あると回答した人(763人)に、悪化・再発予防のための取組みを継続するために必要なことについて尋ねたところ、「医師からの指示や情報提供」が73.8%と、取り組んでいることと同様、医師の指示によるものの割合が高い。

8. 今後の暮らしについて

問 43 今後、住み慣れた地域で暮らし続けるために、高齢者に対する施策や支援として、充実してほしいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

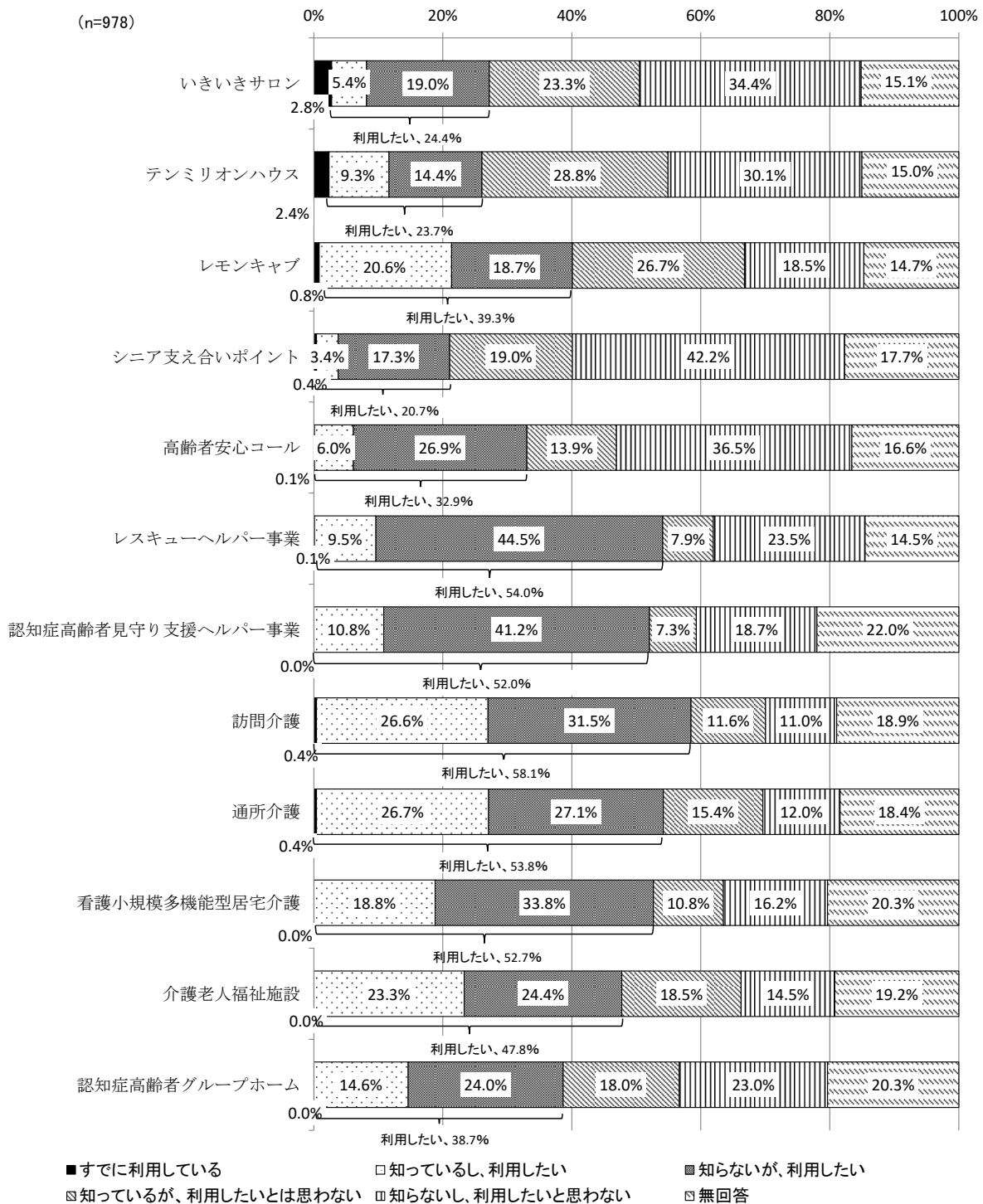


(注) 「耳の聴こえの問題への支援」の選択肢は、令和4年度調査で追加した。

「急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助（掃除、洗濯、調理、買い物など）を行うサービス」の割合が最も高い（55.6%）。次いで、「認知症になった時の、見守りや生活の支援等」（55.3%）、「病気・けが等で入院した後でも、安心して在宅に復帰できるよう、医療と福祉の連携」（49.6%）、「介護する家族の休息等のため、短時間施設に入所するサービス（ショートステイ）」（45.3%）、「自宅にしながら診療を受けられる医療体制」（45.3%）が続く。

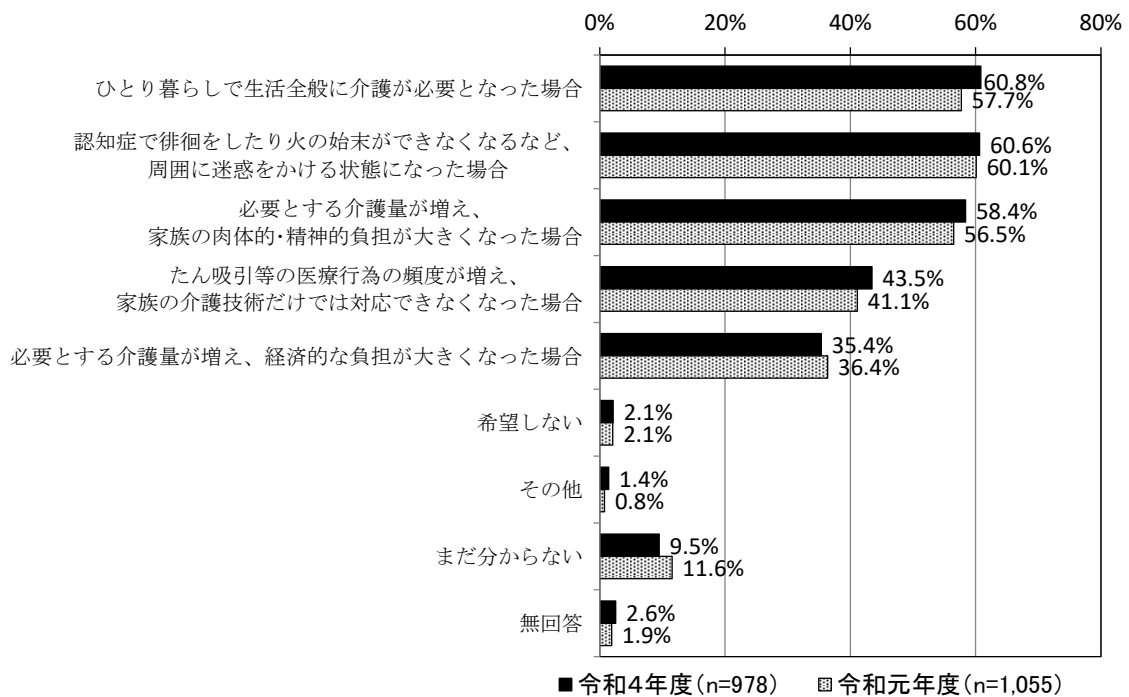
令和元年度調査の結果と比較すると、「急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助（掃除、洗濯、調理、買い物など）を行うサービス」の割合が4.4ポイント、「24時間電話を受け付けて、悩みごとや相談を聞いてくれるサービス」の割合が4.1ポイント上昇している。

問 44 次のサービスについて知っていますか、また、利用したいと思いますか。(それぞれについて○は1つ)



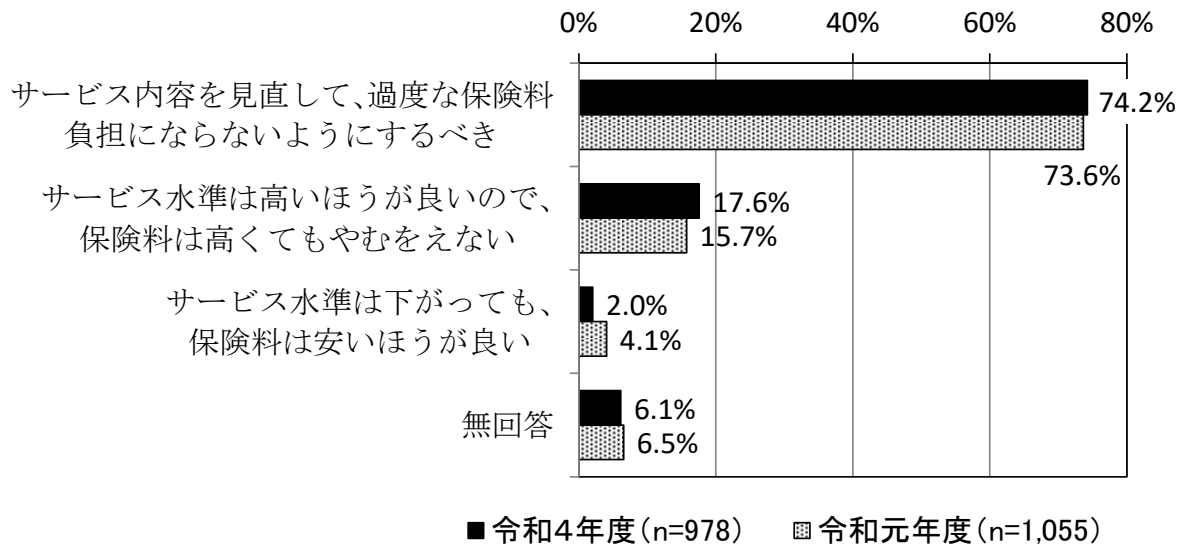
「知っているし、利用したい」と「知らないが、利用したい」の合計（「利用したい」の割合）をみると、訪問介護が58.1%、レスキューヘルパーが54.0%、通所介護が53.8%となっている。

問 45 あなたに介護が必要となった場合、どのような状態になったら施設入所を希望すると思いますか。(あてはまるものすべてに○)



介護が必要となった場合において施設入所を希望する状態については、「ひとり暮らしで生活全般に介護が必要となった場合」が60.8%と最も割合が高くなっている。次いで、「認知症で徘徊をしたり火の始末ができなくなるなど、周囲に迷惑をかける状態になった場合」が60.6%、「必要とする介護量が増え、家族の肉体的・精神的負担が大きくなった場合」が58.4%となっており、いずれも5割を超えている。

問 46 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。(もっともお考えに近いもの1つに○)



介護サービスの水準と保険料の関係は、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにすべき」の割合が最も高く、74.2%となっている。「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない」は17.6%である。

問 47 最後に、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以下では、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業についての主なご意見・ご要望を記載した。

【問 47 (自由記述)】

<高齢者福祉施策や介護保険事業に対する満足度>

- ・ 多くの方が介護保険制度で安心した老後を送れることが望ましいですが、できる限り、自力や家族の助けで頑張ることも、制度を維持して行くために大切と思っています。
- ・ その様な福祉施策や保険事業があることを知り心強く思いました。なるべくサービスを受ける期間を短くするように元気で自分の事が出来たらそうしたいと思っています。
- ・ テンミリオンハウスへ行っています。皆様スタッフの人々にも良くして頂いています。福祉介護色々な事がその時にならないと言えない事が多い。いざその時は病気の事、お金の事、なので頭がいっぱいで気が付かない事だらけだと思います。失礼とは思いますがよろしく教えて下さい。
- ・ 高齢者福祉や、介護保険事業については以前に比べて相当程度充実してきている。今後は自助を支援するシステムを重実視すべきと考える。
- ・ ①IT活用の視点、見守り、情報の伝え、申請など活用すべき（コスト節約、スピードアップ）ところ大。スマホ活用指導を進める。
②敬老の日祝品（お茶）など恒例の行事などを見直し、廃止（費用の捻出）
③各種補助金の点検・廃止。
- ・ 事業内容を精査し、必要でないものは廃止し、最低限のものだけに絞って、推進すべきである。予算については、無限ではないので、対応できる範囲に制限するなど、うまく運用を図ってほしい。取捨選択して、事業内容を見直しすることに賛成です。
- ・ 現状でもかなり高い（手厚い）程度の支援だと思います。
- ・ 介護に頼らずともなるべく自分の力で老後を送れたらと願い健康クラブ・不老体操・老人会のスポーツ等々の行事に参加したり努力をしている。そのような場所や行事を与えて下さる市の健康福祉部、高齢者支援課に感謝している一人です。
- ・ 高齢者が増加する中、こうして我々の意見を取り入れ考えて下さる姿勢に感謝致します。
- ・ 市がすすめている事業はどれも大切です。レスキューヘルパーは安心出来る。それ以上の方々に安心コールは力強いと思います。それらの事業がうまく連携し事業が進んで下さると良いと思います。お便りいただき、自身の年齢介護を見直すチャンスをいただき有難く思います。
- ・ 武蔵野市の高齢者福祉施設や介護保険事業については、すでにお世話になっております。日々体力の落ちて行く現状なので本当に有難いと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- ・ 3年前、大阪の母を武蔵野市内の老人ホーム（特養）に入れる事は、実際不可能でした。せめて、市内に長年住んでいた者が、速やかに入所できるよう、特別養護老人ホームを増やして頂きたい。増々、老人が増えるはず、有料のホームへの入所は、経済的にむずかしくなる

と思う。

- ・ 武蔵野市は住み良い場所だと思っています。これからも、福祉や介護の分野では、更に便利で使いやすくなるように、よろしくお願いします。
- ・ 高齢者が地域で尊厳を持って生活できるよう市がバックアップしていただければ安心して暮らしていけます。

<市の施策の広報・PRの必要性>

- ・ 高齢者が増えて、支援が利用できにくいことにならず、本当にいつも困っている人が、生活しやすい武蔵野市であってくださると嬉しいと思います。アンケートが来てはじめて、いきいきサロン等があることを知りました。テンミリオンハウス（補助）について、もっと知ることができるようにして下さい！何に書いてあるのかわからないです。このアンケートのおかげで知りよかったです。ありがとうございました。
- ・ まだ大丈夫と思っているため福祉や介護についてよく知りません。大丈夫なうちに、事前研修や「～にそなえて」的な講習会があれば参加したい。
- ・ 介護が必要になった場合、入れる施設が市にあるのか分かりません。また市の施設に入れて頂く条件（介護の程度、入所費用）が分かりません。市報等で是非公告して下さい。
- ・ 高齢者関連の市の取組み、文字情報よりも・動画・イラスト写真等、ビジュアル化した情報で伝えて頂ければ、安心で、わかりやすいのではないかと。すでにあるのか。
- ・ 老人にやさしい市と言っているのにこの頃は何かにつけ“ホームページで”とか“インターネット予約”とか老人が理解出来ない、使用出来ない方向に行っているのが不安だ。

<今後の暮らしについての不安>

- ・ 市がすすめている事業のご案内で色々知る事が出来ました。知っているけど今は利用をしないで生活出来る…この状態を長く保って行きたいと思っていますが、生活が変化した時の不安は正直あります。それぞれの事業の問題点を出し合い見直し充実した事業となる事を希望します。
- ・ 今のところ要支援、要介護の状態ではありませんので、具体的要望事項が思いつきません。ただ、要支援、要介護や、認知症になったときの不安を抱えて生活しています。健康寿命をいかに延伸できるか日々努力をしています。
- ・ 今はなんでもできるができなくなった日のことがとても不安。どのようなサービスがうけられるのかが又時間を要するのではないかと 自分がその手続をすることが可能かなど。
- ・ 今は、夫婦とも自立して生活していますが、5年先、10年先、要介護になった時の事を考え施設や事業について内容を知りたいと思いました。できれば健康寿命を延ばす為の日々の努力、食事、運動、規則正しい生活をめざしたいと思っています。
- ・ 団塊の世代が後期高齢に突入しますが、これまでのように行き届いた福祉サービスが受けられるのか心配です。
- ・ 子供がなく、近くにも親族もいないので、認知症になった時の、対応が心配です。体は元気ですが、物忘れが、多くなり、悪くなる前に相談できる、窓口があると安心です。

- ・ 現在は、健康に生活しておりますが、近い将来何が起きてもおかしくない年齢なので、何かが起きた時には、アドバイスをさせていただきたいと思っております
- ・ 今のところ元気なので現実感がなくて分かりません そうなった時（介護が必要）どのようなサービスがあるのか知っておくことが大事かと思いました。集合住宅の独り暮らしの場合、急病、夜間、けが等が少し心配です。
- ・ 最期をひとりで迎えざるをえない。第三者機関へ依頼する選択しかない場合の道筋を作っておきたい。その道筋を作っておきたいその指南がほしい。諸費用、受け入れ先があれば、まずは、最初の相談先を知りたい。公的機関があれば…。

<市の施策の充実>

- ・ 住み慣れた自宅で最期を迎えられるようなサービスを期待しています。
- ・ 介護施設の職員の方々の負担が重くならない様、人数を増やすとか、事故を防ぐ対策等をお願いしたい。
- ・ 在宅療養支援診療所の充実が急務だと思います。
- ・ 現在おかげさまで健康でいますので、いざその時になってみないと実感がありません。市報等に良く載っていますので大変助かります。色々のものが更に充実することを望みます。
- ・ 私を含め多くの方々は、いわゆる「ピンピンコロリ」で人生の最期を迎えたいと思っている。現在高齢者に対する医療、介護のハード面に関してはかなり進歩している（ソフト面で情報、相談など不十分な部分もあるが）。一方、健常者としての生活をいかに延ばすかの施策が不足している。年寄りだけが集まって活動するのではなく、若い人も巻き込んだ活動など。
※結果として、健康寿命と平均寿命との差を縮めることを目標としてもらいたい。
- ・ 高齢者の福祉やサービスは進んでいる方だと思います。高齢化はこれからもさらに進むと思うのでさらに充実を望みます。ひとり暮らしの高齢者を定期的に訪問して様子を見てくれる制度があると良いと思います。（ボランティアの方を募集しても良いと思います）
- ・ 自宅にいながら診療を受けられる医療体制と病気になった時（食事についての相談もできる）電話で相談できる医療体制を希望します。
- ・ なるべく自宅で生活をしたいと考えておりますので、地域のネットワークが充実することを望みます。
- ・ おかげさまで両親とも健康で介護とは無縁の生活をしていますが、「いつ急に起きるか」わからないので車いすの乗せ方や入浴方法などの講習会があると良いと思います。疑似体験などもできたらもっと親に対して優しくなれるかもです。
- ・ 高齢であっても、これまでに培った能力（例えば言語能力）を利用したボランティア活動の窓口、選択技を増やしてほしい。
- ・ 武蔵野市内で89才の母がひとり暮らしをしています。自立して生活できなくなったとき入所できる施設が市内に確保できるかの情報を知りたいです。人により生活に必要な金額は異なると思います。年金と家計についての意識を高めるような支援が必要ではないでしょうか？
- ・ 高齢者だけの場が多い。若い人たち、若い夫婦、子供たちと一緒にコミュニケーションできる場を地域に作るべき。お互いのために良い効果が必ずあると思う。

- ・ いきいきサロン・テンミリオンも自宅から徒歩圏内になければ利用できません。送迎もやっているのかもしれませんが、何かあった時の相談窓口があって支援につながっていけば助かりますので高齢者安心コールをひとり暮らしに限定せず、なんでも電話相談があるのは助かります。
- ・ そろそろ地域の高齢者向け事業を知ることとしたい。多くの事業があるので、いざという時にはワンストップで対応していただくと助かる。
- ・ 民生委員を増やして、各家庭状況を調査し介護を必要とする、人たちへの活動をすべき。
- ・ 地域の方との交流が苦手です。市内のどこでも参加できるプログラムがあると良いです。
- ・ 孤独死はさげたいので、ひとり暮らしになった時1日1回は連絡がつく公的システムがあればいいと思う。
- ・ 現在吉祥寺駅周辺（又三鷹駅周辺）に出掛ける日が多くあるのですが（クレバーケン杖）を使っていますが出来ればタクシー割り引き券などあれば助かります。

<これからのサービス水準と保険料の関係>

- ・ 予算配分に限りがあることは理解していますが、これまで以上の福祉予算配分を望みます。
- ・ 介護保険料が年に増加、年金生活者としては負担が生活に重くのしかかっている。
- ・ 現在元気で毎日仕事をしているので、介護について考えた事がない。家族も元気でそれぞれの仕事をしている。保険料は高いがしかたがないと思っています。
- ・ 国民年金のため、介護保険料金が高くなる事が心配です。子供達は遠くにいるため、必ず市にお世話になると思います。そうならないよう健康に気をつけてまいります。
- ・ 高齢者福祉施策は現状でもいいとしても、介護保険料が非常に高いので困っています。

<その他>

- ・ 自分ではなるべく自立した生活を過ごして行くのを目標としていますので、自分の身体が自律出来る様に身体のメンテナンスをしています。「なるべく長く自律した生活をする！！」を自分自身の目標としています。
- ・ 基本は自助努力ですが、困った時に気軽に援助をお願いできる社会が理想です。誰も自分の将来を予想できないので強がって孤独になるのは避けたいと思います。社会とかかわりながら、互助、他助もできる範囲で。
- ・ お医者様・ケアマネジャー 看護師さん・介護の方々が、とてもよくして下さり、大変助けになりました。母も安心して亡くなったと思います。すべての方々の連携がとてもよかったです。私も、我が家で介護の方々の助けをかりて、安らかに亡くなることができたらと思っています。
- ・ まだ自立して今迄と変らない生活・活動をしているので自分でも元気で健康だと思っています。主人と娘二人と暮しているので何の心配もありません。ゴルフ、歌の練習などに行ってます。
- ・ 来年は、7回の歳男になります。今の所は家内と共になんとか無事生活を送っております。終末期について時折話題に登るのですが…。周囲の友人と比べて耳がよく聞こえるのでたす

かっています。近くに、テンミリオンハウス、花時計があるので一度いってみようと思っています。

- ・ 多分数年後（10年後位かも知れません）ひとり暮らしになった場合に介護が必要になるかもしれません。しかし、まだ具体的にはわかりません。子供に負担をかけずに公的な施設に入所したいと思っています。金銭的に自己負担が少なければと希望しています。
- ・ 高齢夫婦ですが、元気で過ごしており、アンケートに答えると云う機会を得ていろいろ知る事ができました。感謝です。健康診査の項目について①聴力検査②P S Aタンデムの2項目を追加して頂ければと思います。

第2章 要介護高齢者・家族等介護者実態調査 (在宅介護実態調査)

第1節 調査結果（概要版）

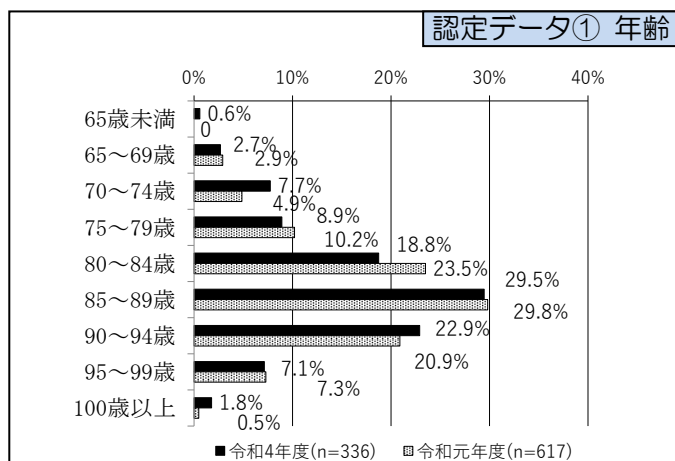
1 調査の実施概要

- ◇ 調査目的： 「武蔵野市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定（令和5年度）するにあたり、「要介護者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方等を検討するため。
- ◇ 調査対象者： 要介護1～要介護5の在宅の方で「要介護認定の更新申請・変更申請」をし、本調査の調査期間内に要介護認定調査を受けた方。
ただし、認定結果が、「非該当」、「要支援1」および「要支援2」であった調査対象者については、集計から除外している。
- ◇ 調査期間： 令和4年9月1日から令和5年2月10日まで
- ◇ 調査方法： 対象者が要介護認定の訪問調査を受ける際に、認定調査員が、主として認定調査の概況調査の内容を質問しながら、本調査の調査票に関連内容を転記する方法で調査を行った。回答票はマークシート方式とし、主な介護者が認定調査に同席している場合は、主な介護者からも聞き取りを行った。
また、調査時に、本人の同意書を提出してもらい、要介護認定データと関連付けた分析を行った。
- ◇ 回収状況： 有効回答数：336件

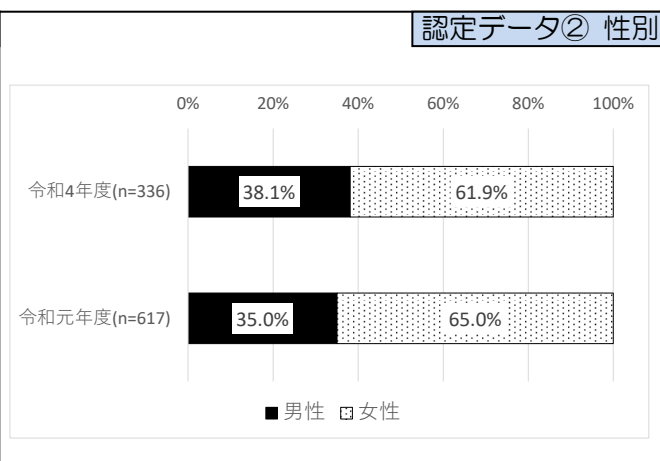
2 調査結果の概要

（1）調査対象要介護高齢者の属性

《図21 年齢》（単数回答）

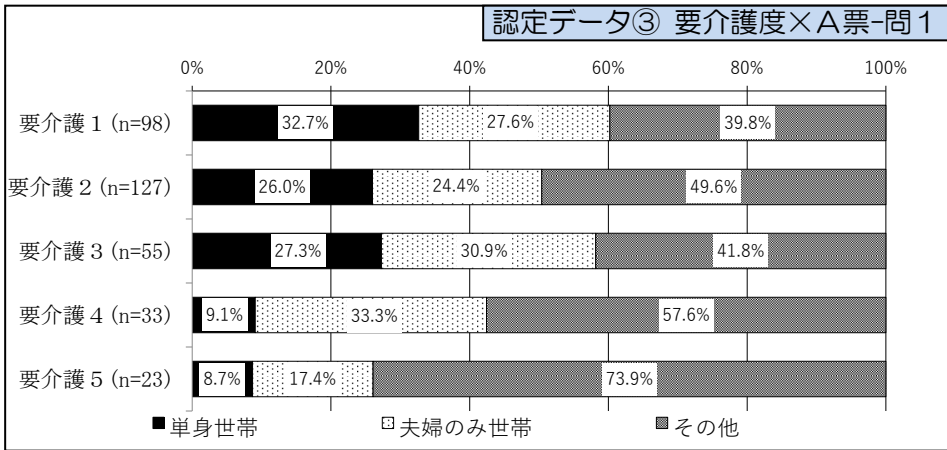


《図22 性別》（単数回答）



- ・在宅で生活している方で要介護者のうち、31.8%が「90歳以上」である。
- ・年齢は「85～89歳」が29.5%、「90～94歳」が22.9%、「80～84歳」が18.8%である。
- ・性別は「男性」が38.1%、「女性」が61.9%である。

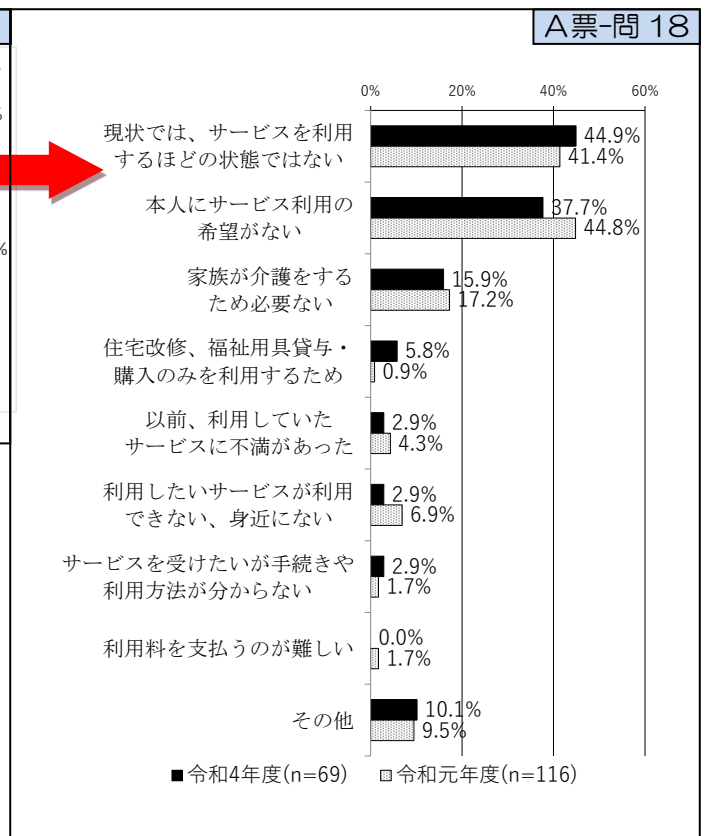
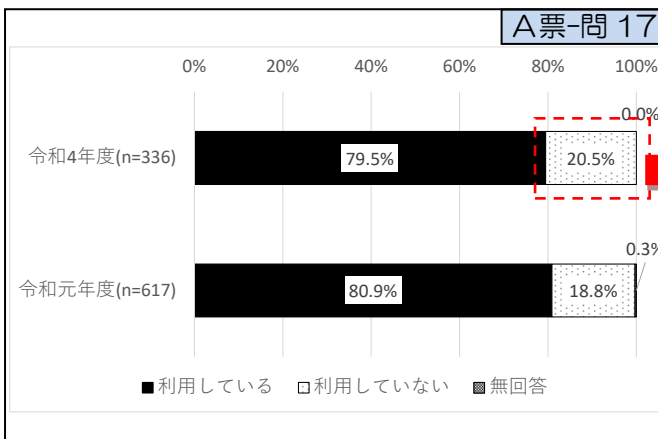
《図 23 要介護度別・世帯類型》(単数回答)



・要介護度別の世帯類型は、要介護1～3と比較して、要介護4～5では「その他」世帯の割合が高い。「単身世帯」の割合は、要介護5が8.7%と最も低く、要介護4では9.1%である。

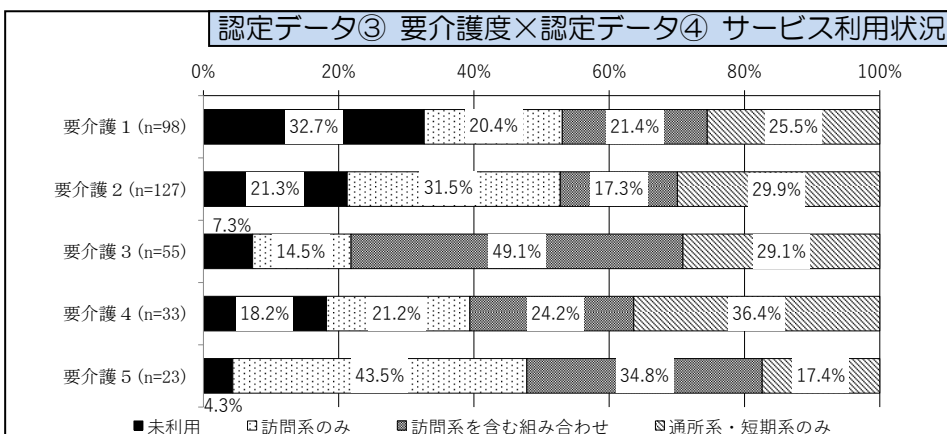
(2) 支援・サービスの利用状況・利用意向

《図 24 介護保険サービス利用の有無》(単数回答) 《図 25 未利用の理由》(複数回答)



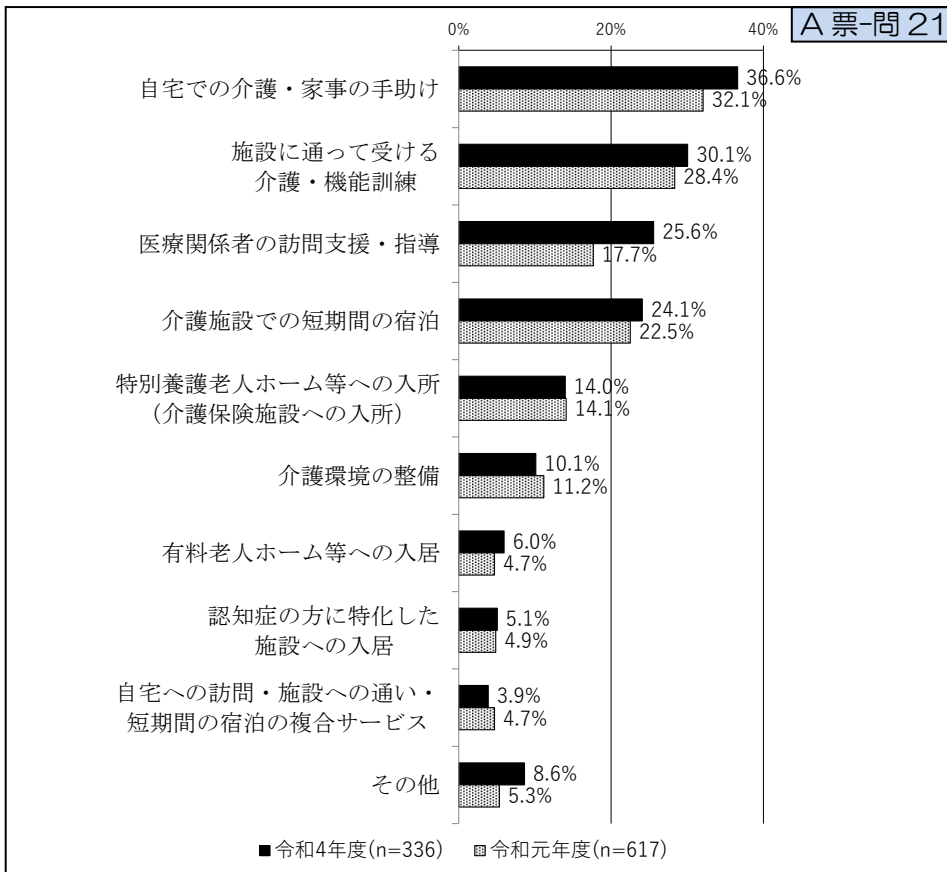
・介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入除く）の利用状況は、「利用している」が79.5%、「利用していない」が20.5%である。
 ・介護保険サービス未利用の理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.9%、「本人にサービス利用の希望がない」が37.7%、「家族が介護するため必要ない」が15.9%である。

《図 26 要介護度別・サービス利用の組み合わせ》



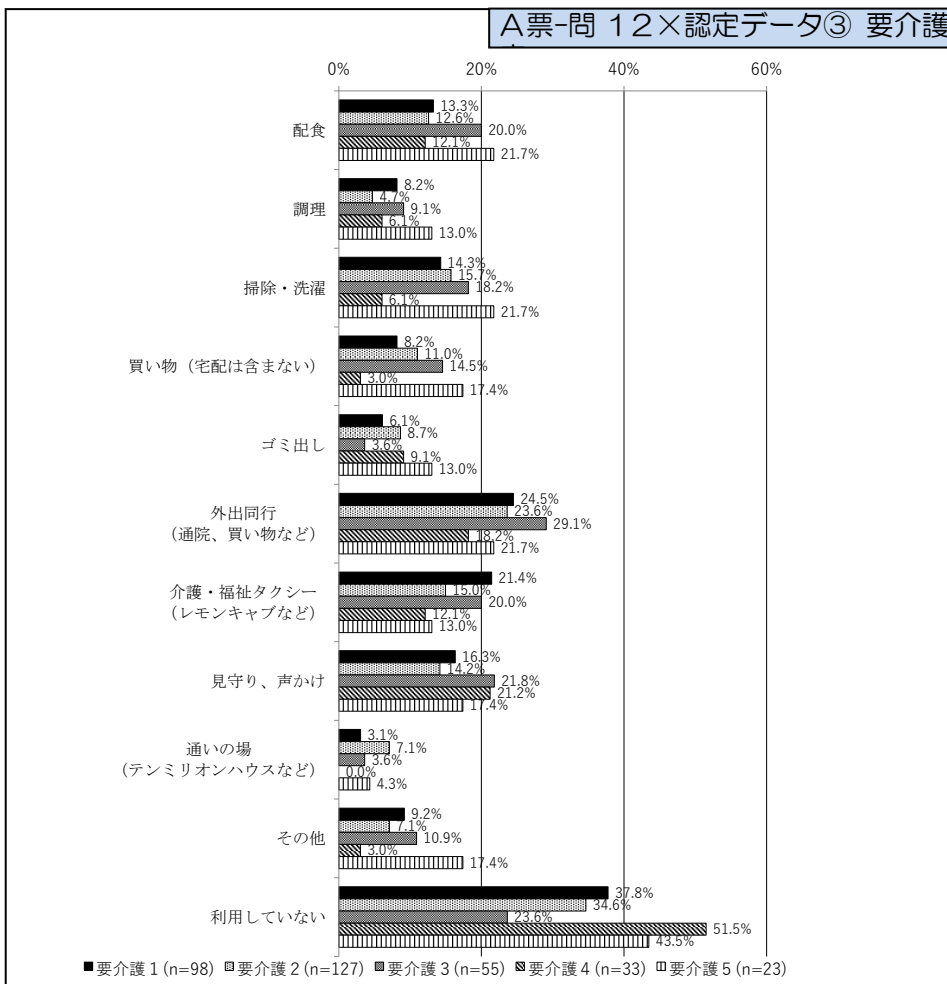
・「要介護3」では「訪問系を含む組み合わせ」の割合が49.1%と最も高い。
 ・「要介護5」では、「訪問系のみ」が43.5%と最も高い。

《図 27 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービス》（複数回答）



・ 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービスは、「自宅での介護・家事の手助け」が36.6%、「施設に通って受ける介護・機能訓練」が30.1%、「医療関係者の訪問支援・指導」が25.6%である。

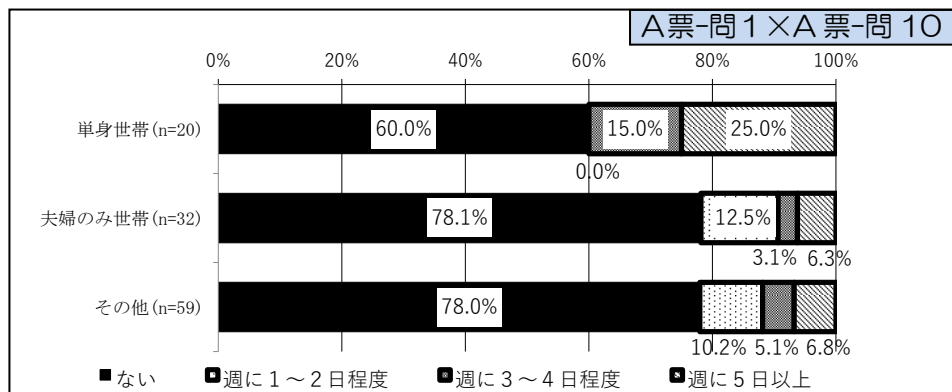
《図 28 要介護度別・今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス》（複数回答）



・ 要介護度別の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービスは、「要介護1」～「要介護3」では「外出同行」、「要介護4」では「見守り、声かけ」が多い。「要介護5」では「配食」、「掃除・洗濯」、「外出同行」が多い。

(3) 在宅生活の状況

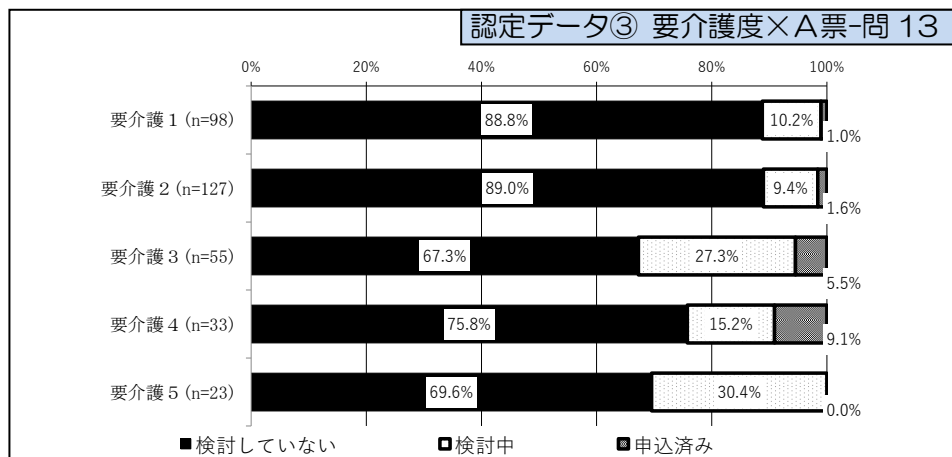
《図 29 世帯類型別・日中独居の有無（要介護3以上）》（単数回答）



・要介護3以上の日中独居の有無について、「週に1日以上日中独居である（週に1~2日程度・週に3~4日程度・週に5日以上）」割合の合計（グラフ内太線）は、「単身世帯」が40.0%、「夫婦のみ世帯」が21.9%、「その他」が22.1%である。

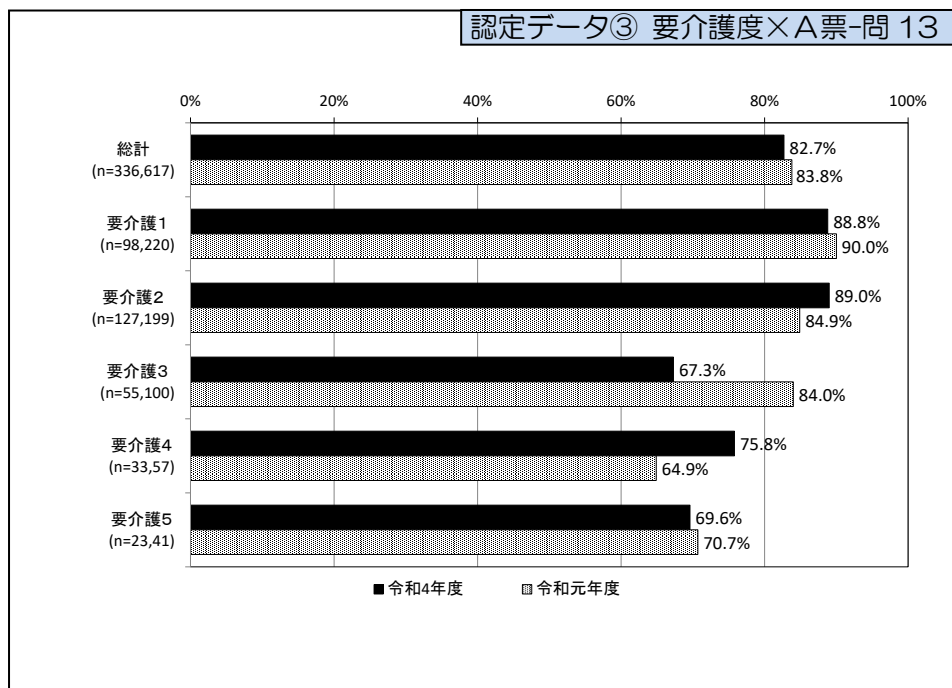
(4) 施設等への入所・入居の検討状況

《図 30 施設等検討の状況・要介護度別》（単数回答）



・施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「要介護1」が11.2%、「要介護2」が11.0%、「要介護3」が32.8%、「要介護4」が24.3%、「要介護5」が30.4%である。

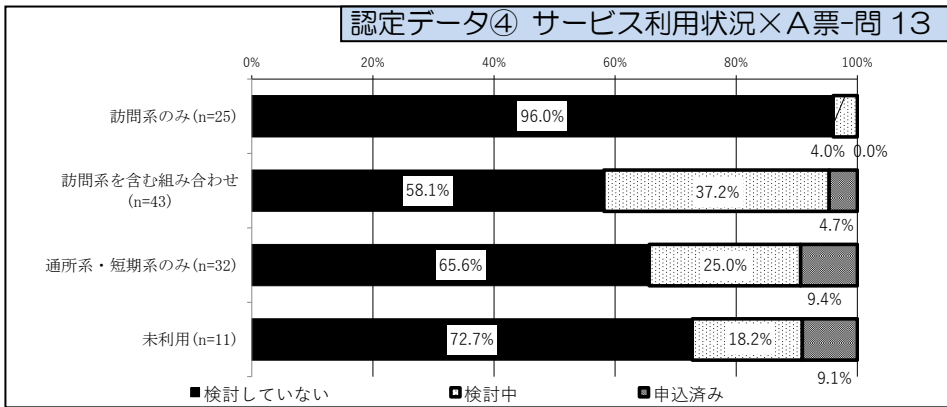
《図 31 施設等検討を「検討していない」割合・要介護度別》（単数回答）



・施設等を「検討していない」の割合を、令和元年度調査と比較すると、「総計」については、令和元年度調査では83.8%、令和4年度調査では82.7%であった。

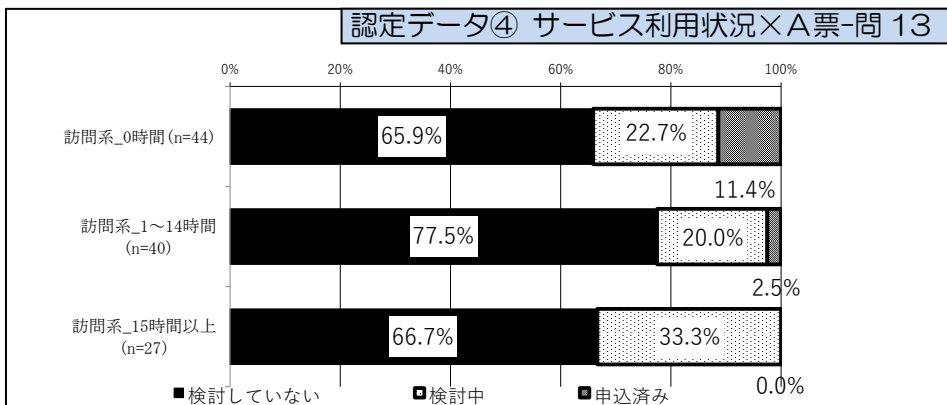
※ n数は、「(n=令和4年度のn数, 令和元年度のn数)」である。

《図 32 施設等検討の状況・サービス利用の組み合わせ別（要介護3以上）》（単数回答）



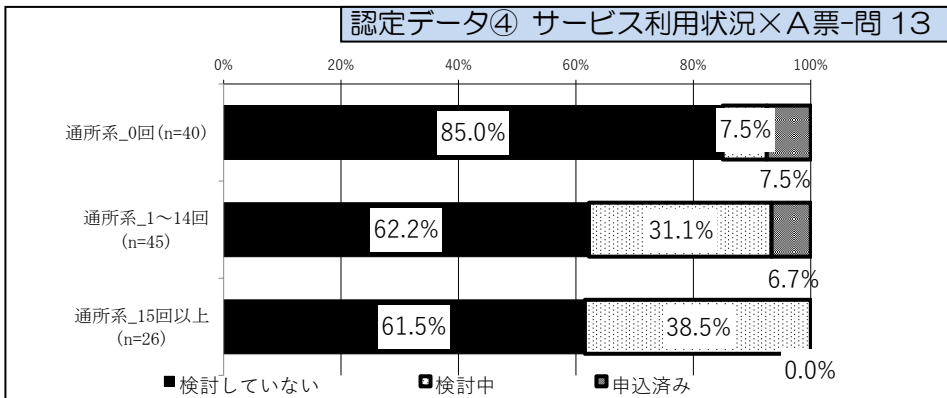
・要介護3以上について、施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系のみ」が4.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が41.9%、「通所系・短期系のみ」が34.4%である。

《図 33 施設等検討の状況・訪問系サービスの利用時間別（要介護3以上）》（単数回答）



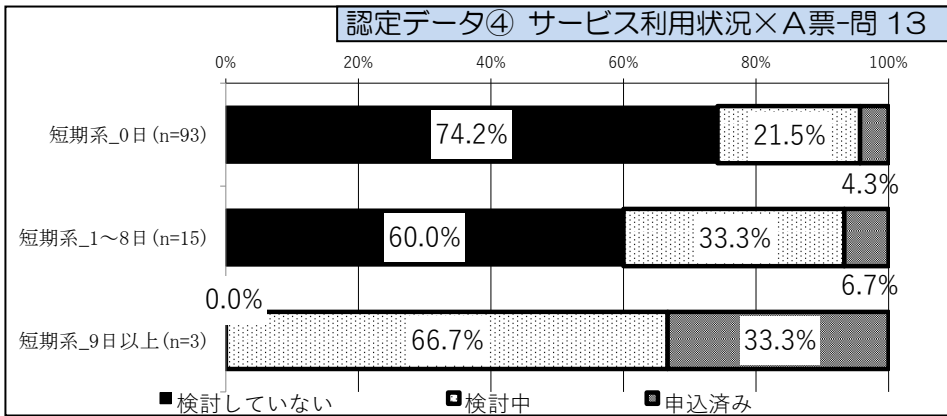
・要介護3以上について、施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系0時間」が34.1%、「訪問系1~14時間」が22.5%、「訪問系15時間以上」が33.3%である。

《図 34 施設等検討の状況・通所系サービスの利用回数別（要介護3以上）》（単数回答）



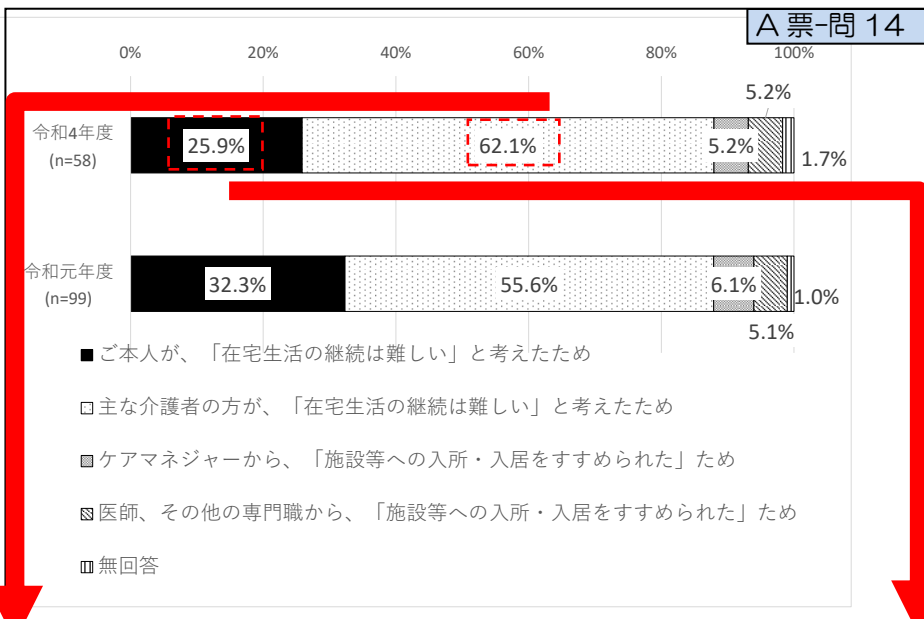
・要介護3以上について、施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「通所系0回」で15.0%、「通所系1~14回」で37.8%、「通所系15回以上」で38.5%である。

《図 35 施設等検討の状況・短期系サービスの利用日数別（要介護3以上）》（単数回答）



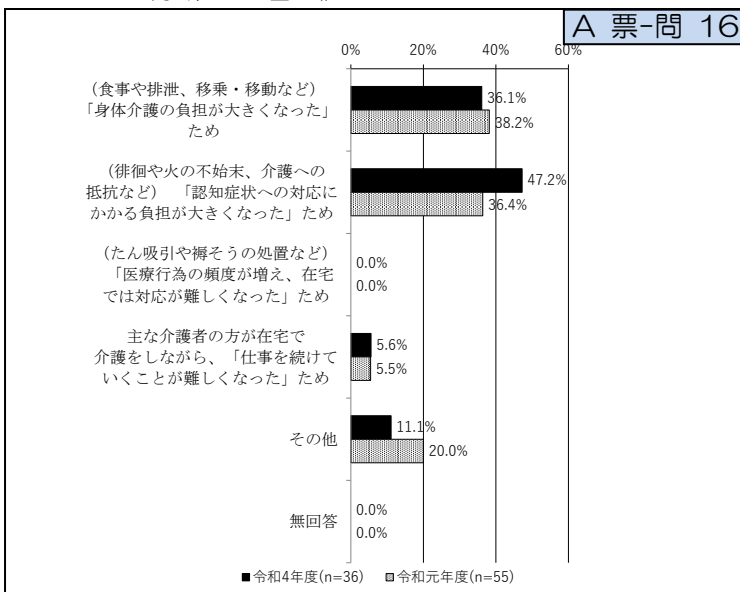
・要介護3以上について、施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「短期系0日」で25.8%、「短期系1~8日」で40.0%、「短期系9日以上」で100.0%である。

《図 36 施設等への入所・入居を検討したきっかけ》（単数回答）

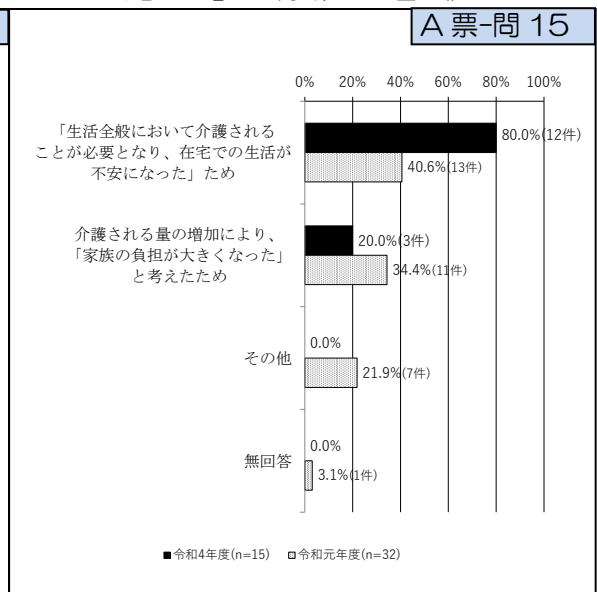


・施設等への入所・入居を「検討中」及び「申請済み」の方（58名）が、入所・入居を検討した一番大きなきっかけは、「主な介護者の方が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が62.1%、「ご本人が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が25.9%、「ケアマネジャーから、『施設等への入所・入居をすすめられた』ため」が5.2%である。

《図 37 主な介護者が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由》



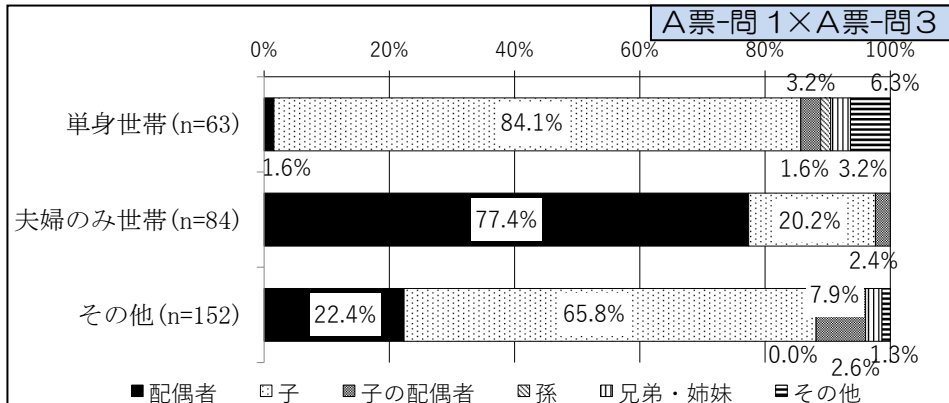
《図 38 本人が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由》



・主な介護者が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由は、「(徘徊や火の不始末、介護への抵抗など)『認知症状への対応にかかる負担が大きくなった』ため」が47.2%と最も多い。
 ・本人が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由は、「『生活全般において介護されることが必要となり、在宅での生活が不安になった』ため」が80.0%と最も多い。

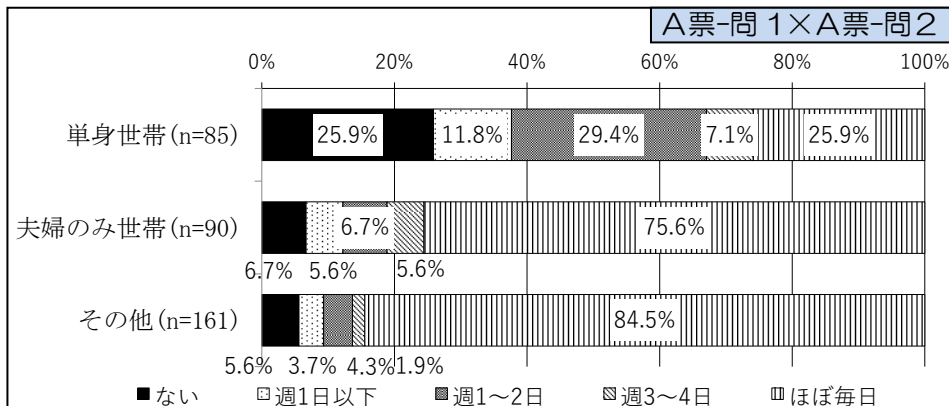
(5) 主な介護者の状況

《図 39 世帯類型別・要介護高齢者と主な介護者との関係》(単数回答)



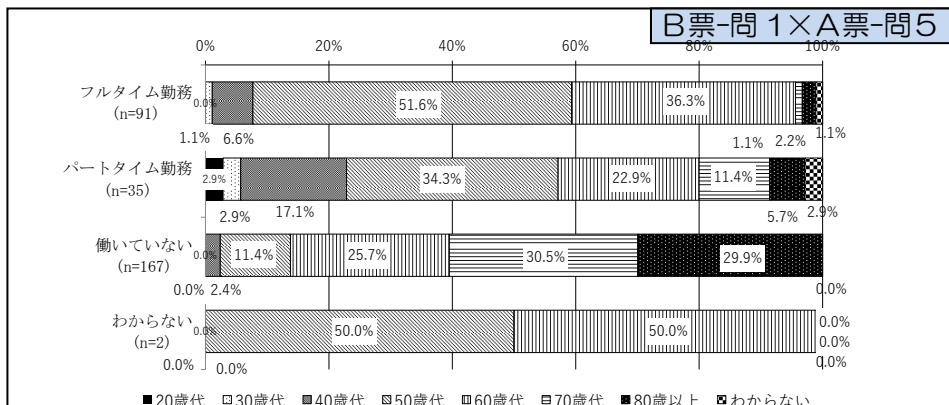
・本人と主な介護者の関係は、「単身世帯」は「子」が84.1%、「夫婦のみ世帯」は「配偶者」が77.4%、「その他」は「子」が65.8%と最も多い。

《図 40 世帯類型別・家族等による介護の頻度》(単数回答)



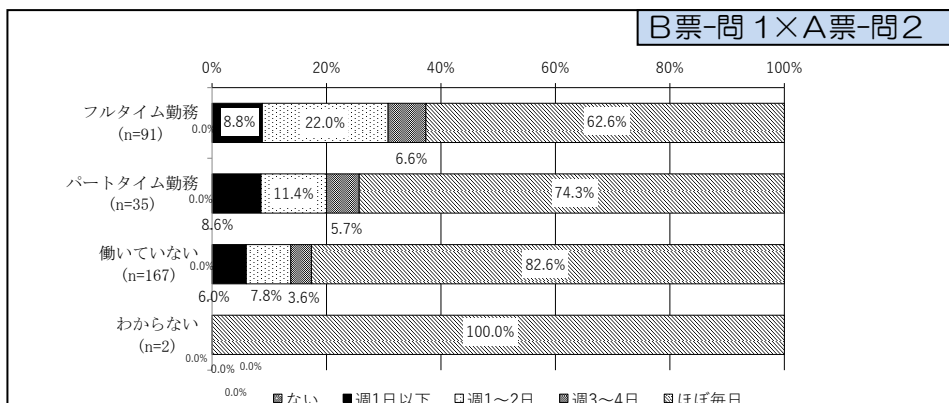
・家族等による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は、「単身世帯」が25.9%、「夫婦のみ世帯」が75.6%、「その他」が84.5%である。

《図 41 主な介護者の就労状況別・主な介護者の年齢 ※無回答除く》(単数回答)



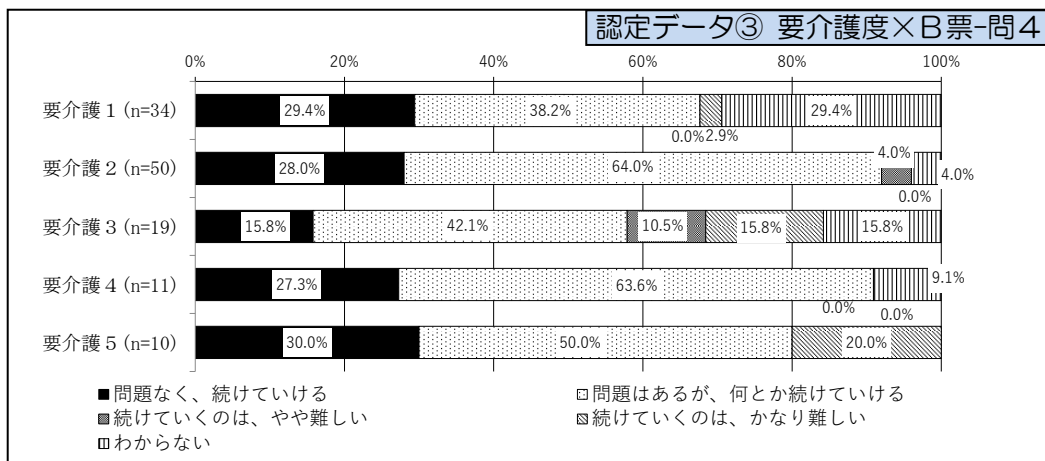
・主な介護者の就労状況別の年齢について、「フルタイム勤務」は「50歳代」が51.6%、「60歳代」が36.3%、「パートタイム勤務」は「50歳代」が34.3%、「60歳代」が22.9%である。

《図 42 主な介護者の就労状況別・家族等による介護の頻度 ※無回答除く》(単数回答)



・主な介護者の就労状況別の家族等による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は、「フルタイム勤務」が62.6%、「パートタイム勤務」が74.3%、「働いていない」が82.6%である。

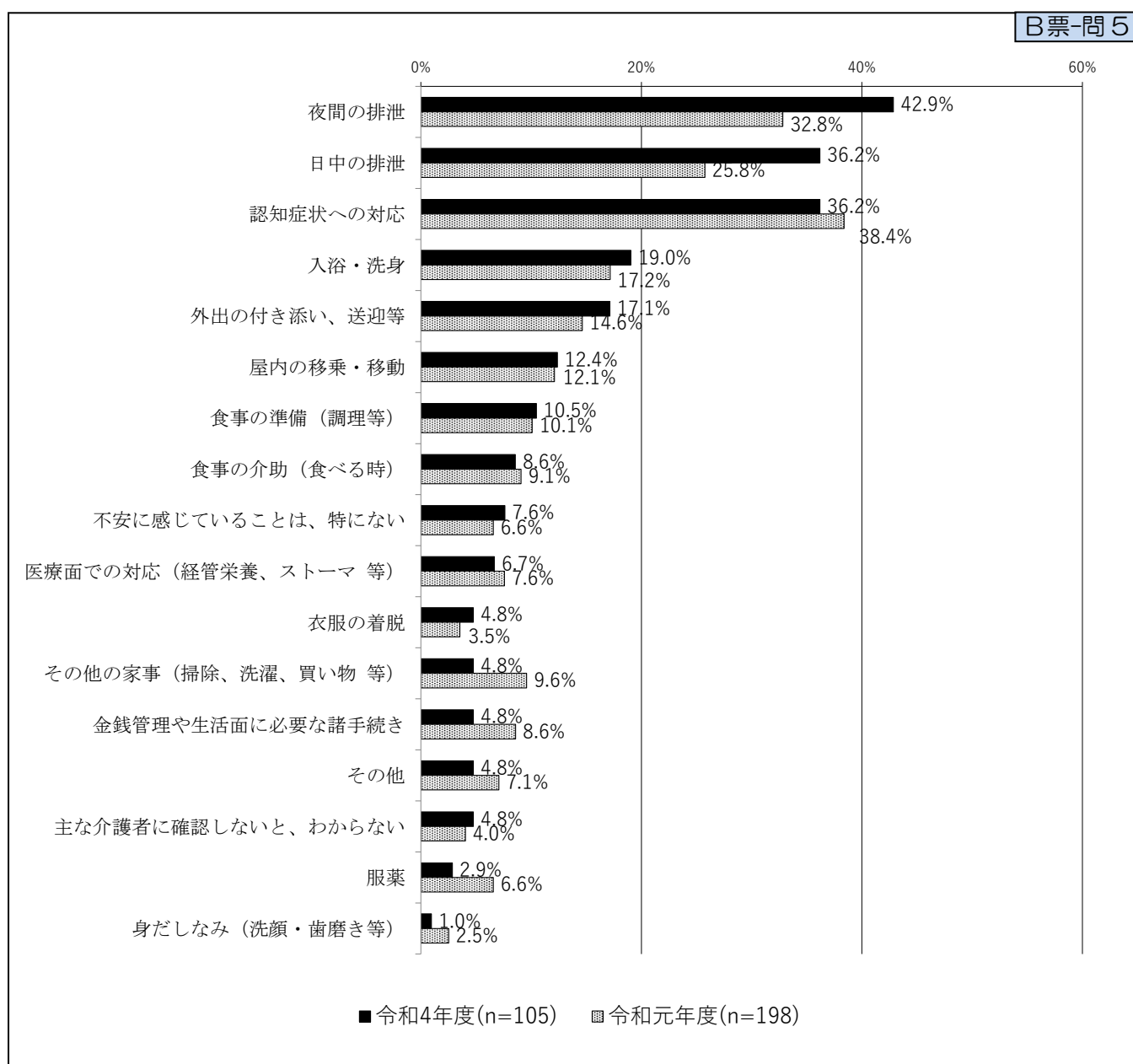
《図 43 要介護度別・就労継続の見込み（フルタイム+パートタイム勤務） ※無回答除く》（単数回答）



・要介護度別の主な介護者の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」の割合は、「要介護3」が15.8%、「要介護4」が0.0%、「要介護5」が20.0%である。

（6）在宅生活の継続に向けて主な介護者が不安に感じる介護

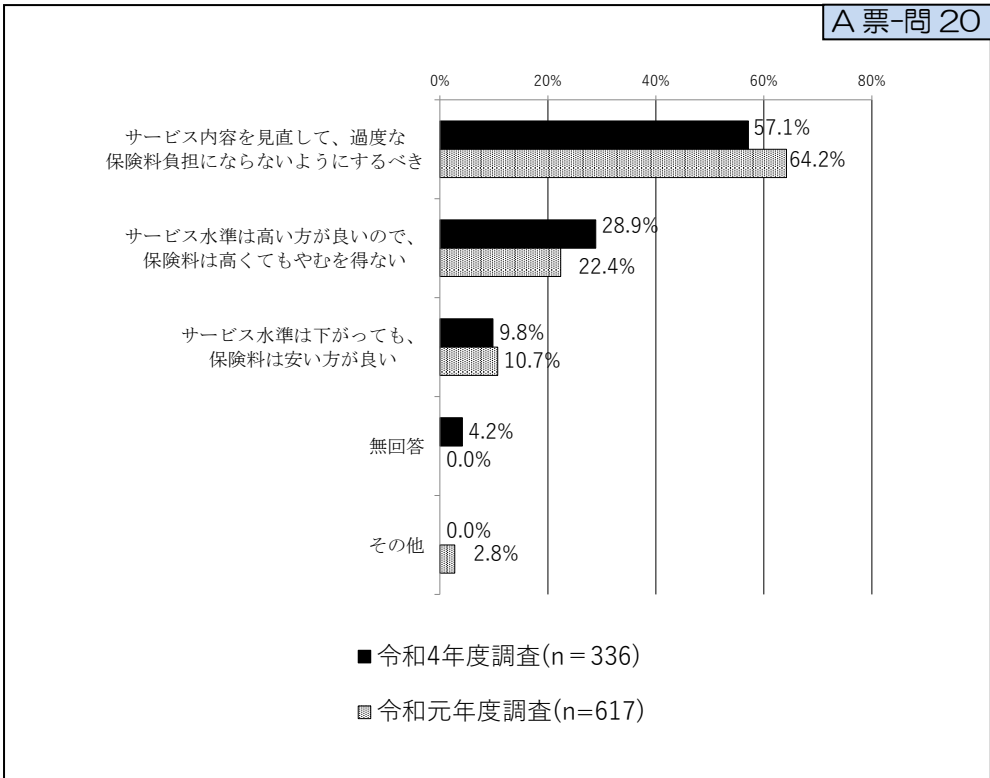
《図 44 主な介護者が不安に感じる介護（要介護3以上）》（3つまで）



・要介護3以上について、主な介護者が不安に感じる介護等をみると、「夜間の排泄」が42.9%、「日中の排泄」が36.2%、「認知症状への対応」が36.2%、である。

(7) サービス水準と保険料の関係に係る希望

《図 45 サービス水準と保険料の関係に係る希望》(単数回答)



・介護サービスの水準と保険料の関係は、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにすべき」の割合が57.1%、「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむを得ない」が28.9%である。

(注) 令和4年度調査、令和元年度調査では「その他」の選択肢は設けなかった。

第2節 調査・分析手法の概要

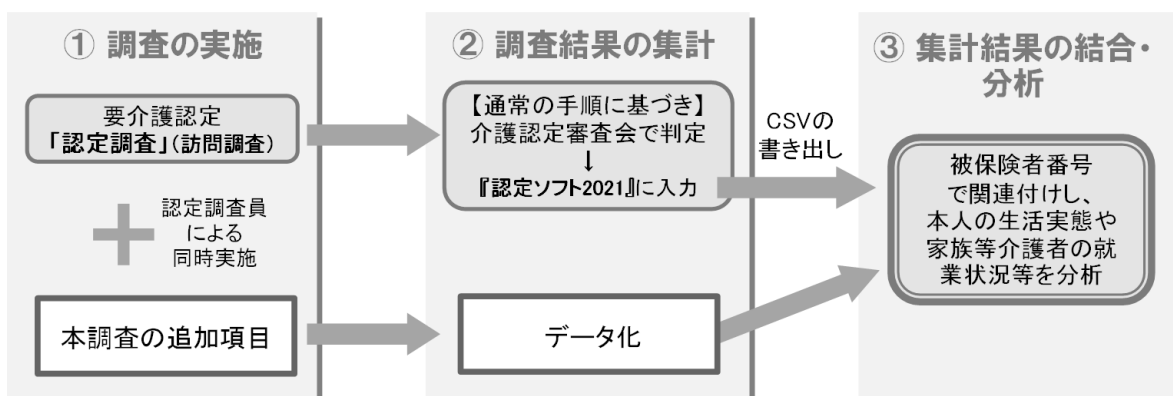
対象者が要介護認定の訪問調査を受ける際に、認定調査員が、主として認定調査の概況調査の内容を質問しながら、本調査の調査票に関連内容を転記する方法で調査を行った。回答票はマークシート方式とし、主な介護者が認定調査に同席している場合は、主な介護者からも聞き取りを行った。

また、調査時に、本人の同意書を提出してもらい、要介護認定データと関連付けた分析を行った。

<調査の方法・手順>

STEP 1	認定調査の訪問時に、本調査を同時に実施し、回答票（紙ベースのマークシート）に記入する。
STEP 2	回答票をデータ化する。
STEP 3	認定調査終了後は、通常の認定事務のプロセスで処理を行い審査会の二次判定を経て、認定結果を認定ソフト 2021 から CSV ファイルで出力する。
STEP 4	アンケート調査の結果と認定結果を「被保険者番号」で関連付けて、両データを合わせた詳細な分析を行う。

<調査の実施から分析までのフロー>



【用語の定義】

本集計・分析では、介護保険サービスの利用時間・回数・日数、および利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計している。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれる。

それぞれ、用語の定義は以下の通りである。

<サービス利用の分析に用いた用語の定義>

用語		定義
未利用		「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		訪問介護・訪問型サービス、(介護予防)訪問入浴介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		通所介護・通所型サービス、(介護予防)通所リハビリテーション、(介護予防)認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	看護多機能	看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

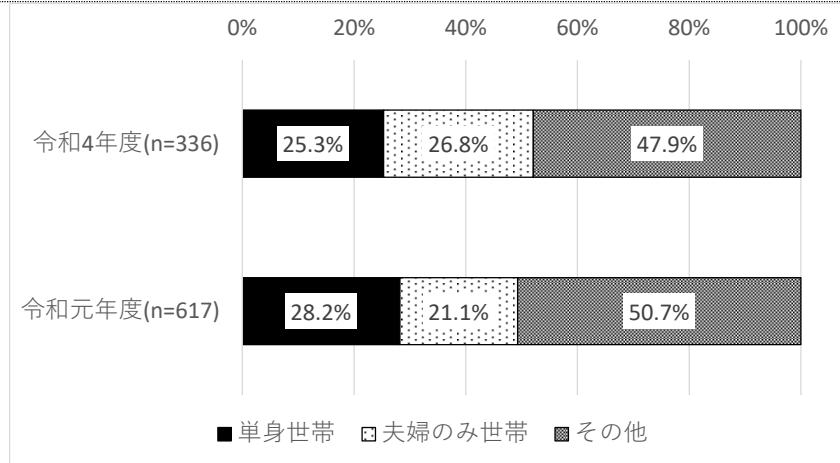
<サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義>

用語	定義
未利用	上表に同じ
訪問系のみ	上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ	上表の「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「短期系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」+「短期系」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計しています。

第3節 調査結果（本編）

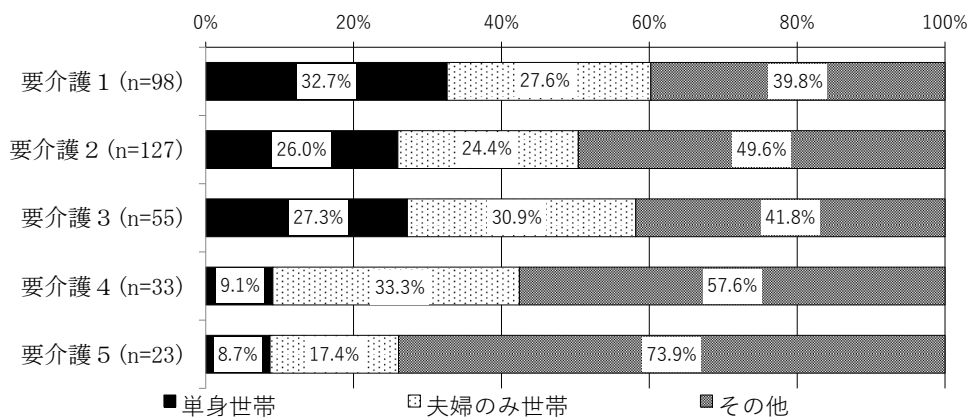
1. 本人の属性

A票-問1 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）。



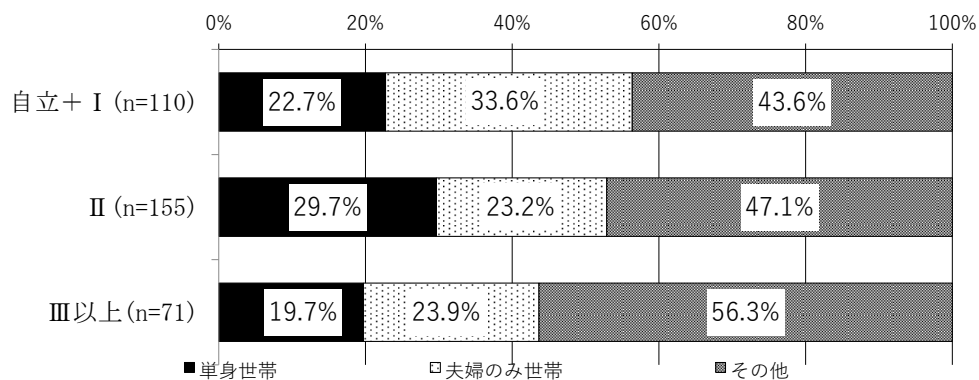
世帯類型は「その他」が47.9%、「夫婦のみ世帯」が26.8%である。

< 要介護度別・世帯類型 >



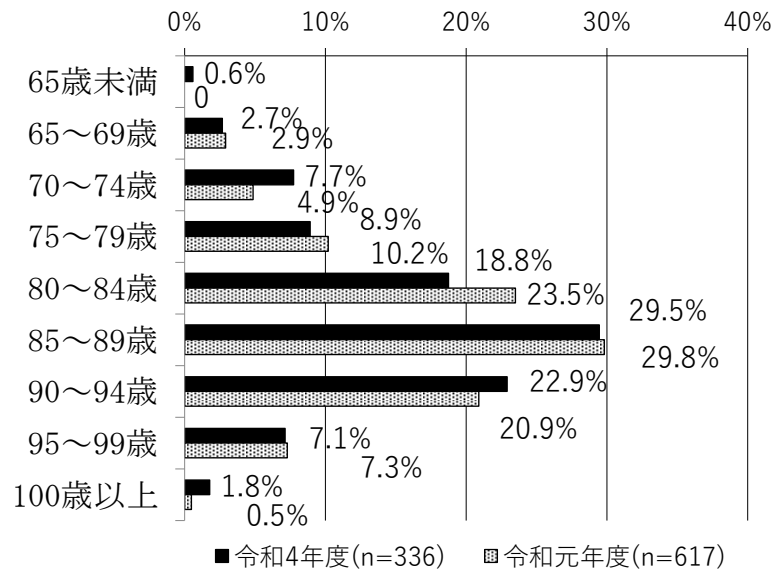
要介護度別の世帯類型は、要介護1～3と比較して、要介護4～5では「その他」世帯の割合が高い。「単身世帯」の割合は、要介護5が8.7%と最も低く、要介護4では9.1%である。

< 認知症自立度別・世帯類型 >



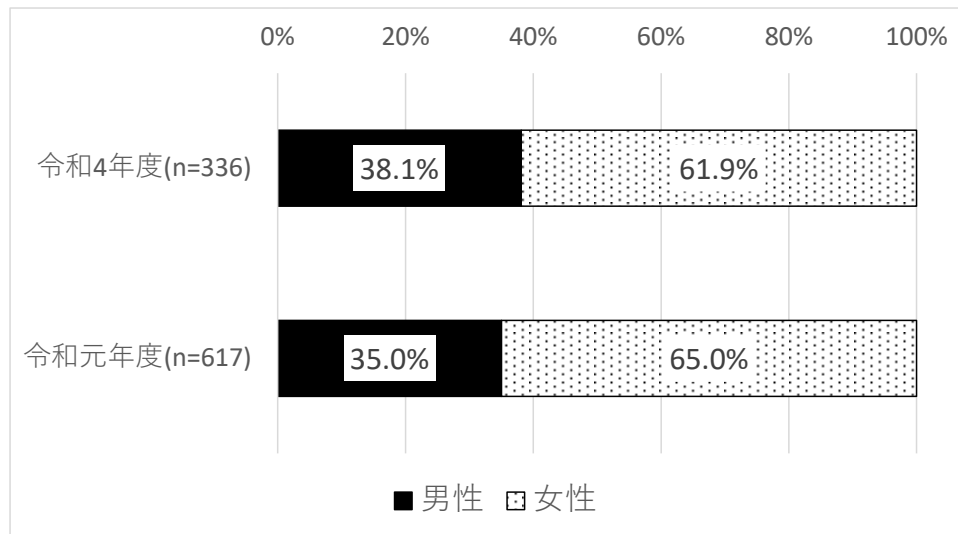
認知症自立度別の世帯類型は、「III以上」では、「単身世帯」の割合が最も低く、また「その他」の割合が最も高い。

認定-① 年齢



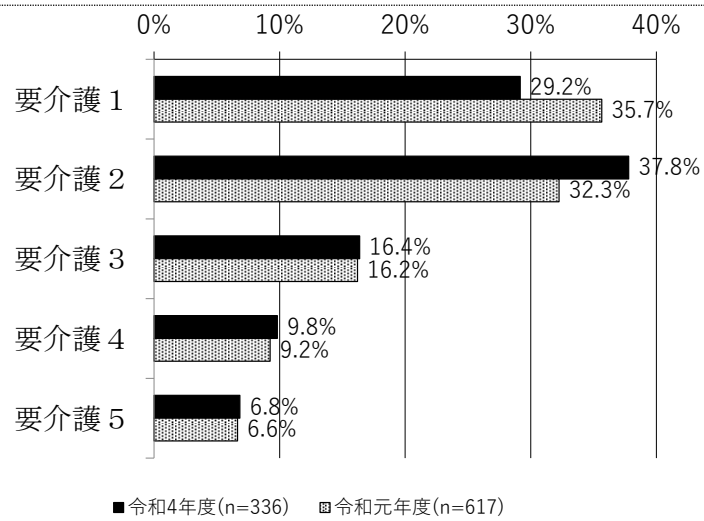
在宅で生活している方で要介護者のうち、31.8%が「90歳以上」である。
 年齢は「85～89歳」が29.5%、「90～94歳」が22.9%、「80～84歳」が18.8%である。

認定-② 性別



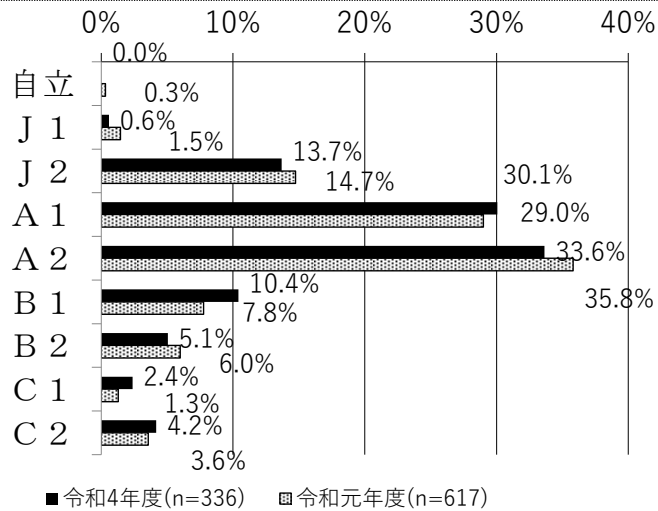
性別は「男性」が38.1%、「女性」が61.9%である。

認定-③ 二次判定結果



二次判定結果は、「要介護2」が37.8%と最も多く、次いで「要介護1」が29.2%となっている。

認定-④ 障害高齢者の日常生活自立度



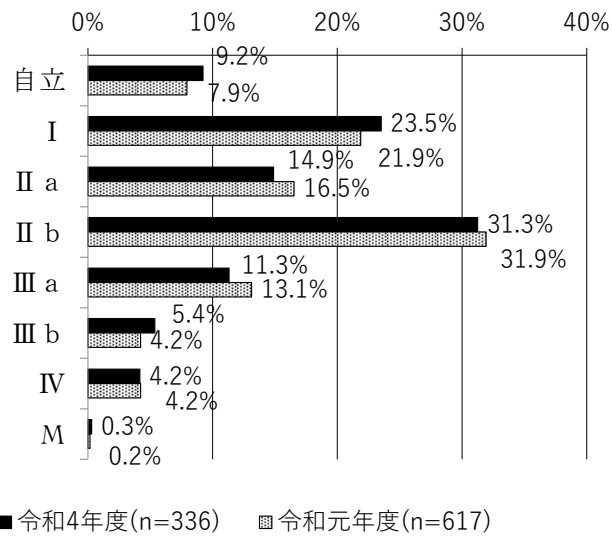
障害高齢者の日常生活自立度は、「A 2」が 33.6%と最も多く、次いで「A 1」が 30.1%となっている。

(参考) 障害高齢者の日常生活自立度

生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1. 交通機関等を利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2. 介助により車いすに移乗する
	ランク C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する 1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りもうてない

(出典) 要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版, P. 155

認定-⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度



認知症高齢者の日常生活自立度は、「IIb」が31.3%と最も多く、次いで「I」が23.5%となっている。

(参考) 認知症高齢者の日常生活自立度

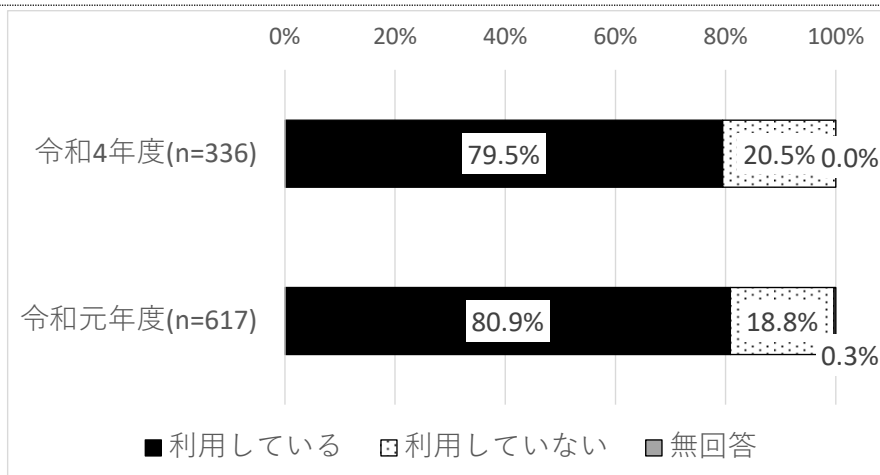
ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。 やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

(出典) 要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版, P. 157

2. 支援・サービスの利用状況・利用意向

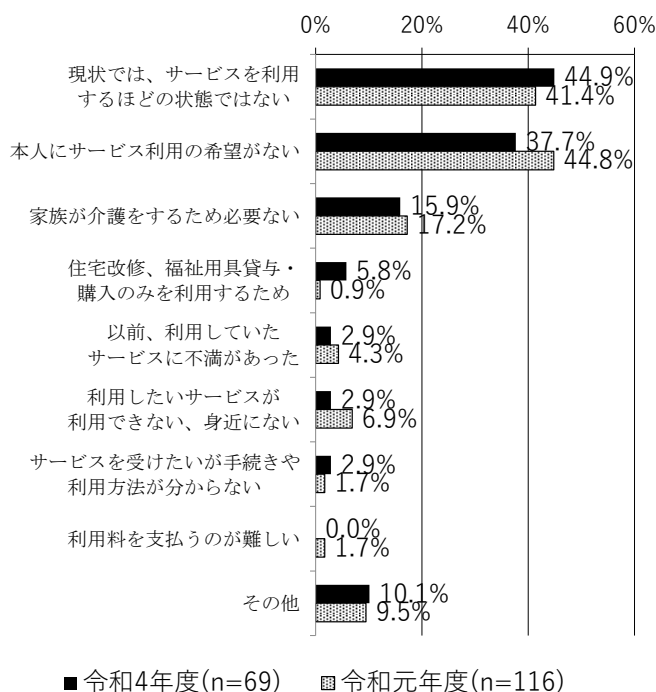
(1) 介護保険サービス

A票-問 17 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか。(1つを選択)



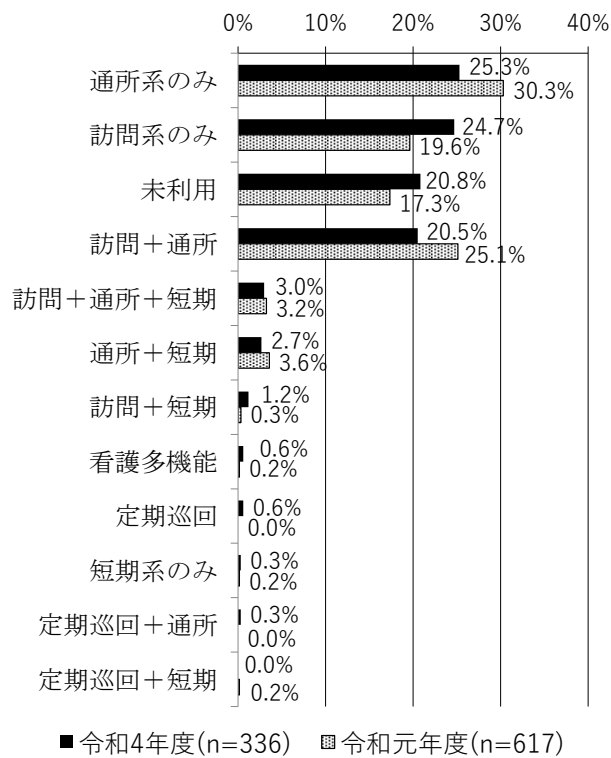
介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外を除く)の利用状況は、「利用している」が79.5%、「利用していない」が20.5%である。

A票-問 18 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)。



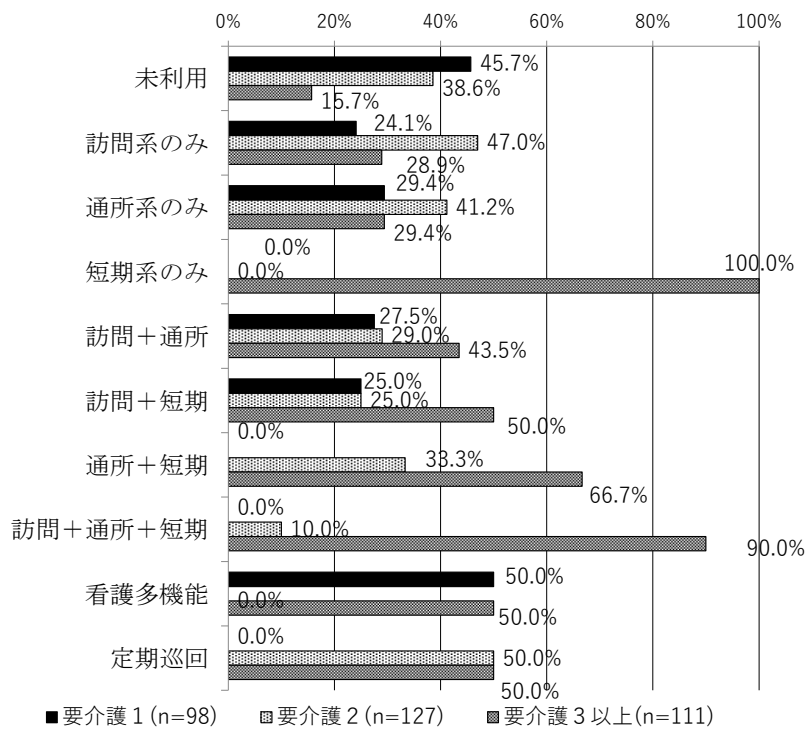
介護保険サービス未利用の理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.9%、「本人にサービス利用の希望がない」が37.7%、「家族が介護するため必要ない」が15.9%である。

認定-④ サービス利用の組み合わせ



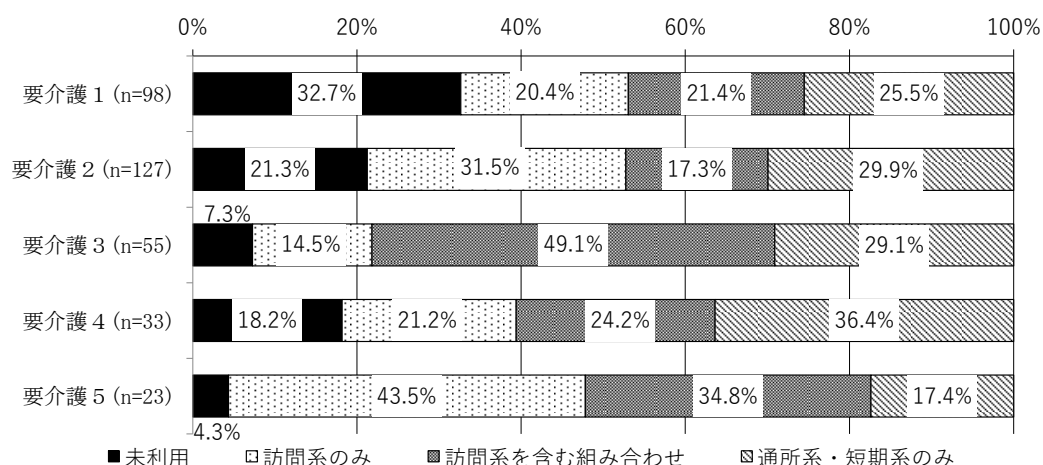
サービス利用の組み合わせは、「通所系のみ」が 25.3%と最も多く、次いで「訪問系のみ」が 24.7%、「未利用」が 20.8%となっている。

<要介護度別・サービス利用の組み合わせ>



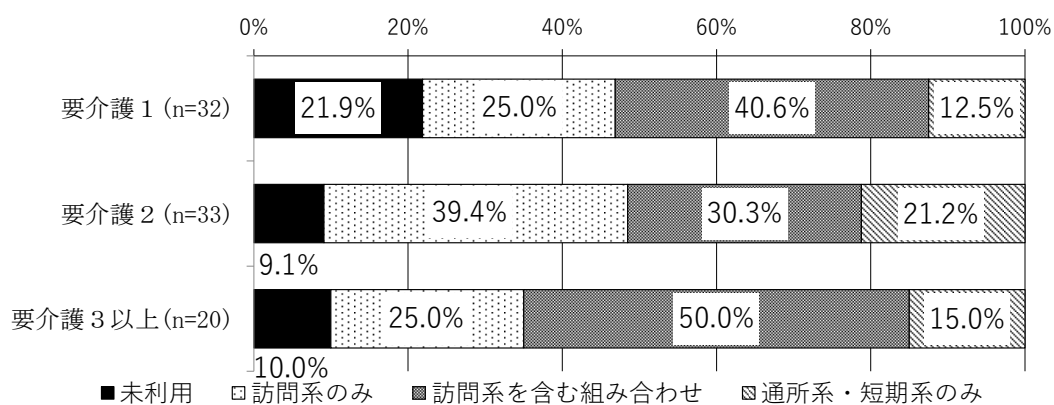
要介護度別のサービス利用の組み合わせは、「要介護1」・「要介護2」と「要介護3以上」を比較すると、「要介護3以上」では、「短期系のみ」、「通所+短期」、「訪問+通所+短期」などの割合が増加している。

<要介護度別・サービス利用の組み合わせ>

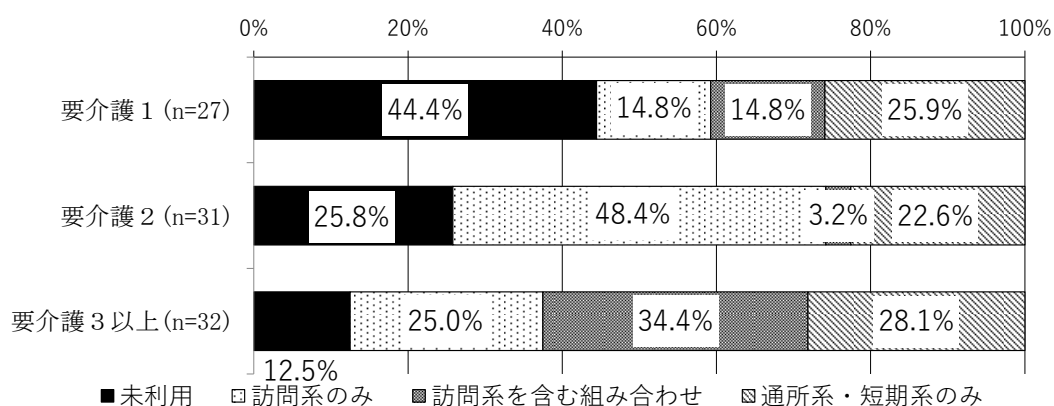


「要介護3」では「訪問系を含む組み合わせ」の割合が49.1%と最も高い。要介護5では、「訪問系のみ」が43.5%と最も多い。

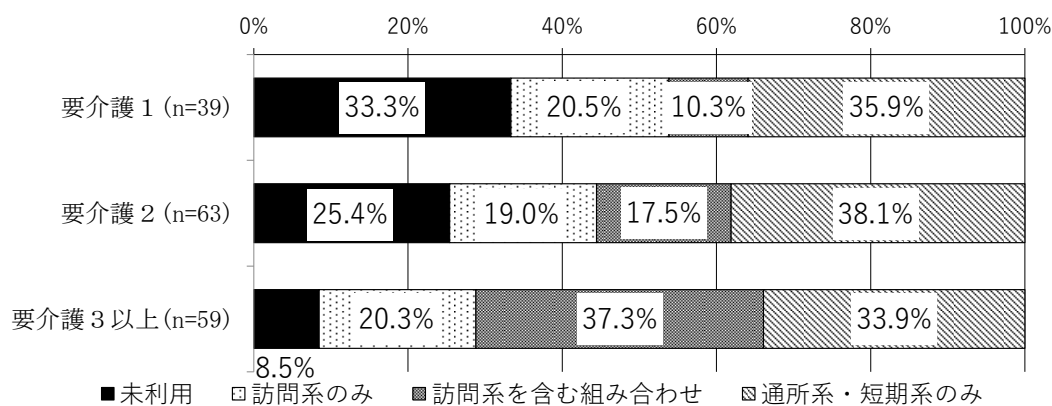
<要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）>



<要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）>

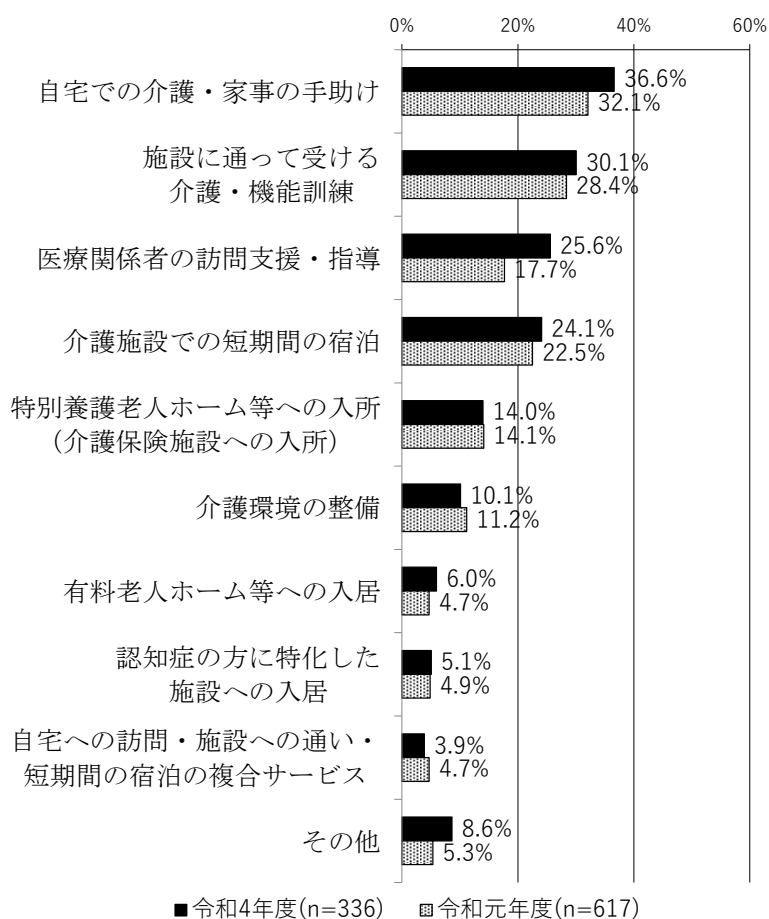


< 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他の世帯） >



世帯類型別に、要介護度別のサービス利用の組み合わせをみると、いずれの世帯類型においても「要介護度 3 以上」の「訪問系を含む組み合わせ」利用の割合が最も高い。

A 票-問 21 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービスはどれですか。（複数選択可）。



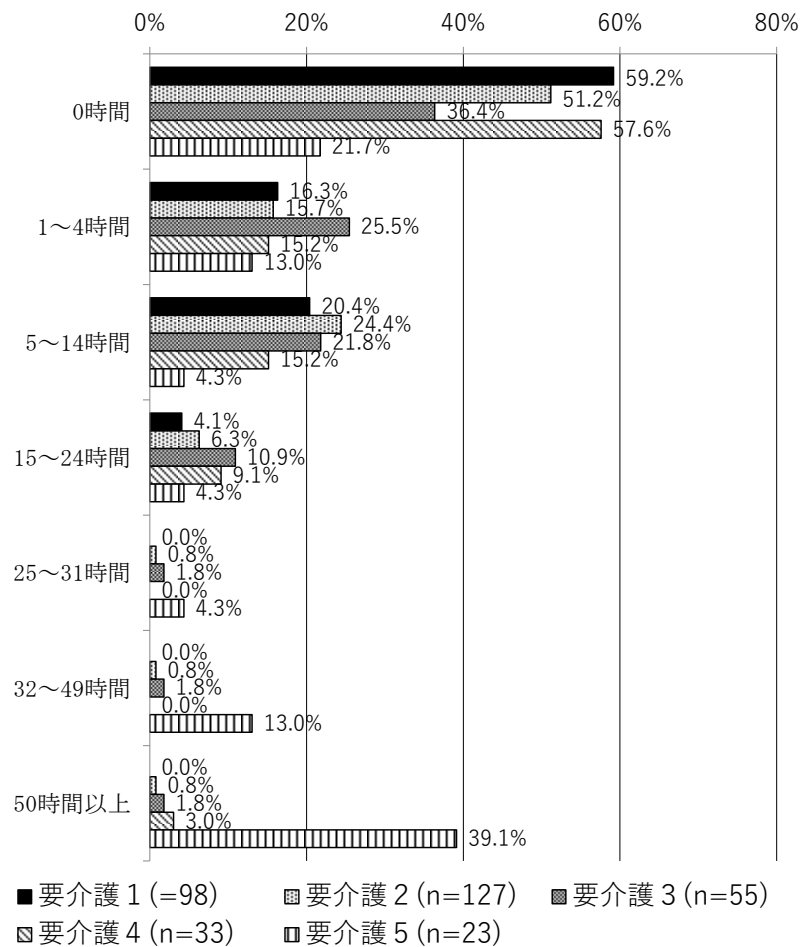
今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービスは、「自宅での介護・家事の手助け」が 36.6%と最も多く、次いで「施設に通って受ける介護・機能訓練」が 30.1%、「医療関係者の訪問支援・指導」が 25.6%となっている。

なお、「その他」についての具体的な内容は、以下の通りである。

- ・ 移送サービス
- ・ 移動サービス
- ・ 通院のための移送サービス（病状が進行したら）訪問診療や訪問系サービスも。
- ・ 緊急のとき、介護者がいなくなった時（動けなくなった時）、ショートステイや施設以外の手立てがほしい。
- ・ ショートステイ
- ・ 同居の夫は介護状態、他親族はなし。私自身ガンの療養中。コロナ、入院となったら夫をみてる人がいない。
- ・ 脳梗塞の後遺症を有する方に特化した通いの場があると良い。
- ・ 理容・美容のサービス（動けなくなったら）
- ・ 自分（妻）が外出時のヘルパー利用など
- ・ 紙オムツ支給。症状が不安定なので、先々の事が予測できない。今の状態であればサービスは増やさなくても大丈夫。
- ・ 安価な有料老人ホームへの入所

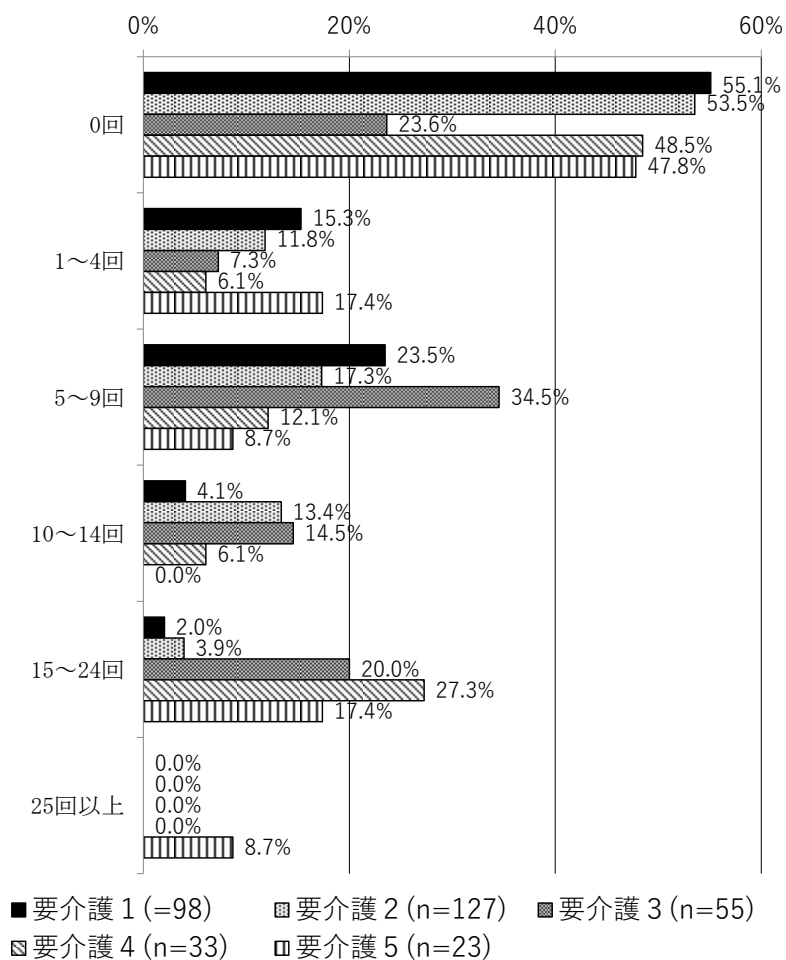
認定-⑤ サービスの利用時間

< 要介護度別・訪問系サービス利用時間/月 >



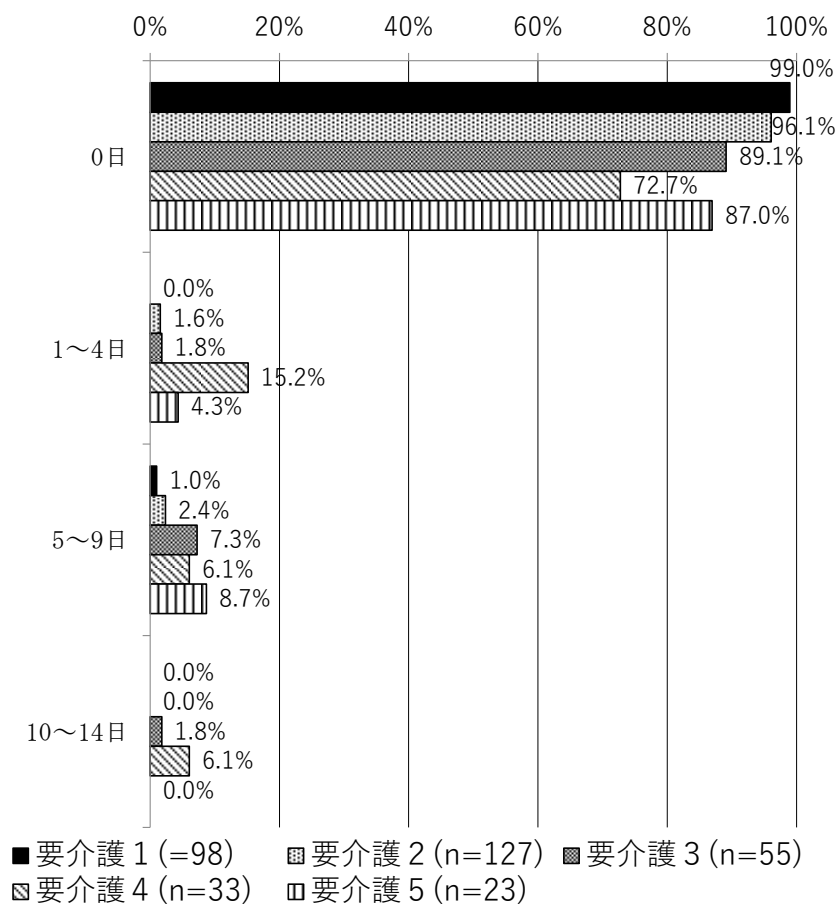
訪問系サービスの利用時間は、0時間を除くと、「要介護1」、「要介護2」は、「5~14時間」が最も多く、「要介護3」では「1~4時間」が最も多い。「要介護4」では「1~4時間」と「5~14時間」が最も多く、「要介護5」では「50時間以上」が39.1%と最も多い。

< 要介護度別・通所系サービス利用回数/月 >



通所系サービスの利用回数は、0回を除くと「要介護1」～「要介護3」では、「5～9回」が最も多く、「要介護4」では「15～24回」が最も多い。「要介護5」では「1～4回」と「15～24回」が最も多い。

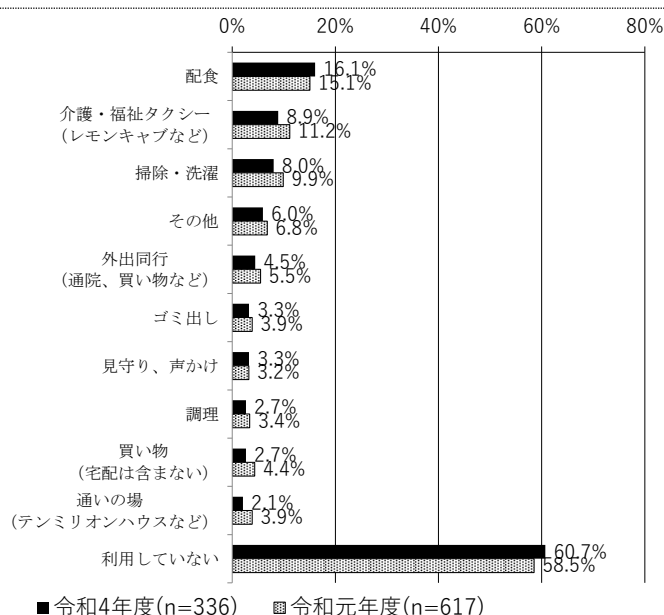
<要介護度別・短期系サービス利用日数/月>



短期系サービスの利用日数は、0日を除くと、「要介護4」では「1~4日」が15.2%と最も多く、「要介護5」では「5~9日」が8.7%と最も多い。

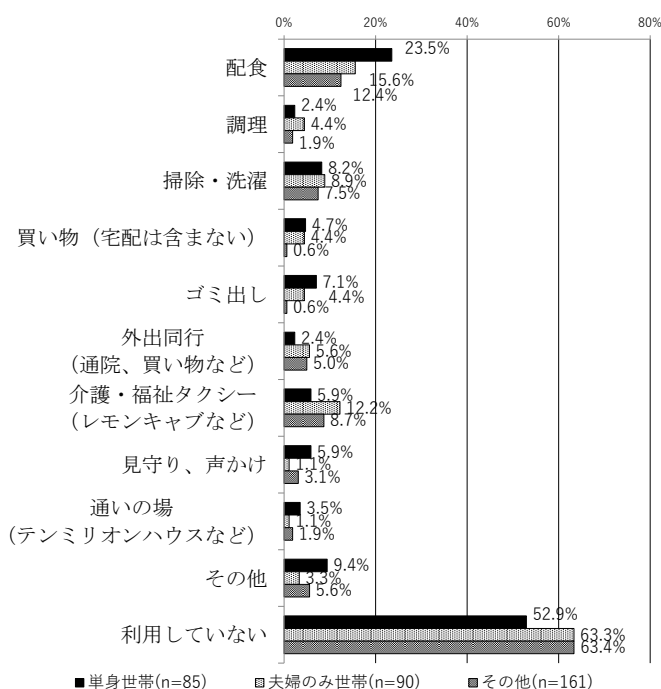
(2) 介護保険サービス以外の支援・サービス

A票-問 11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)。



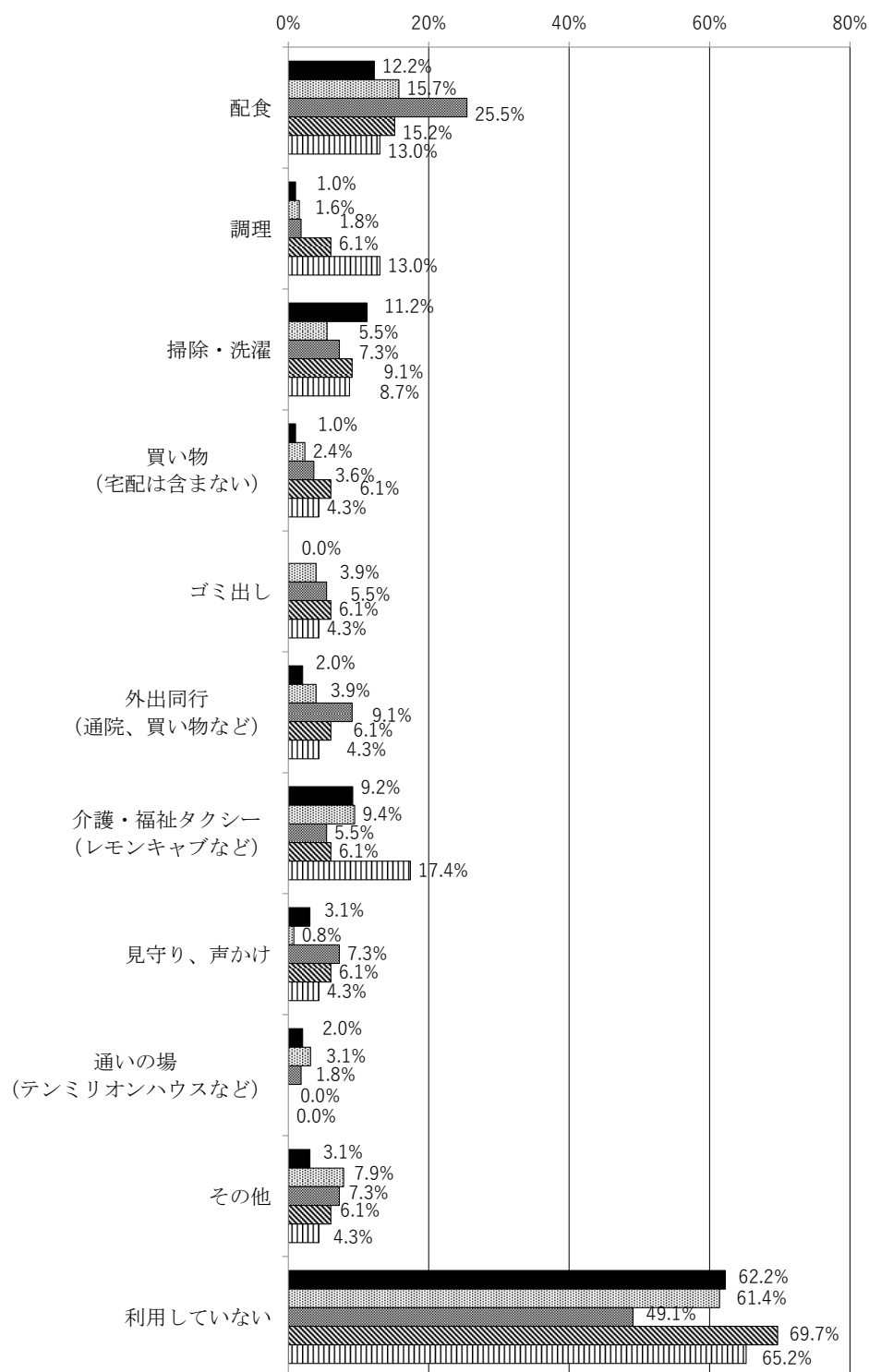
現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「配食」が16.1%と最も多く、次いで「介護・福祉タクシー（※令和元年度：「移送サービス）」が8.9%となっている。

<世帯類型別・保険外の支援・サービスの利用状況>



世帯類型別の保険外の支援・サービスの利用状況は、「利用していない」は「単身世帯」で52.9%、「夫婦のみ世帯」で63.3%、「その他の世帯」では63.4%となっている。「単身世帯」では、「配食」の利用割合が23.5%と多い。

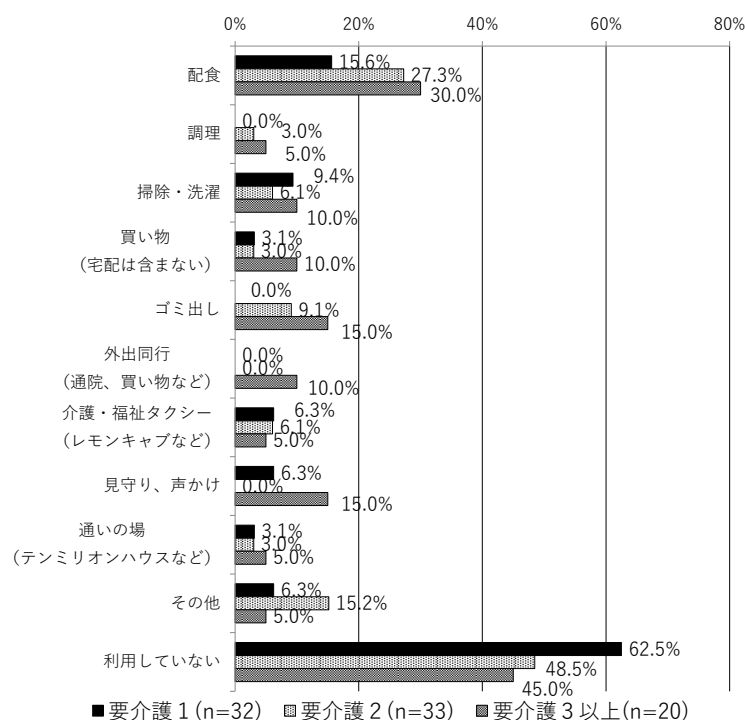
< 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況 >



■ 要介護1 (n=98) ■ 要介護2 (n=127) ■ 要介護3 (n=55) ■ 要介護4 (n=33) ■ 要介護5 (n=23)

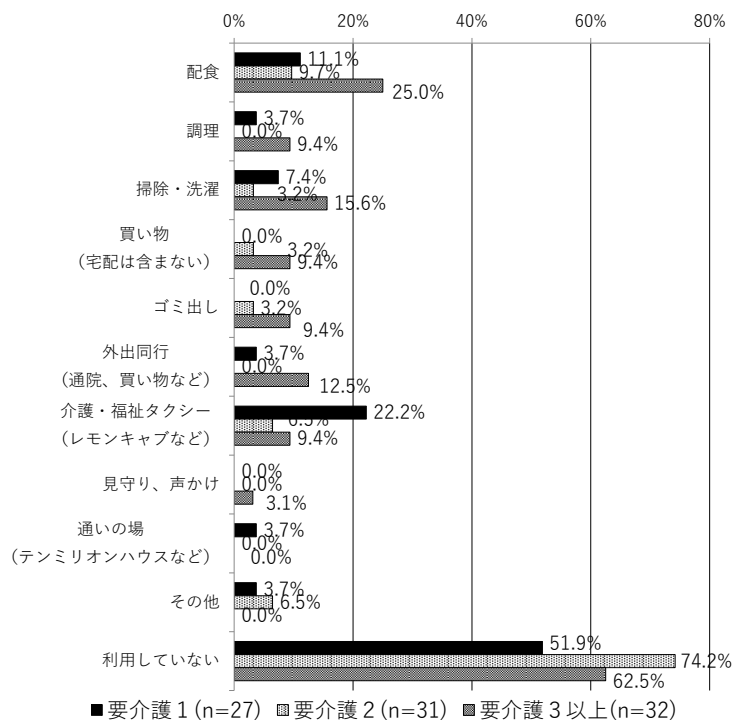
要介護度別の保険外の支援・サービスの利用状況は、「要介護1」～「要介護4」は「配食」、
「要介護5」は「介護・福祉タクシー」の割合が高い。

< 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯） >



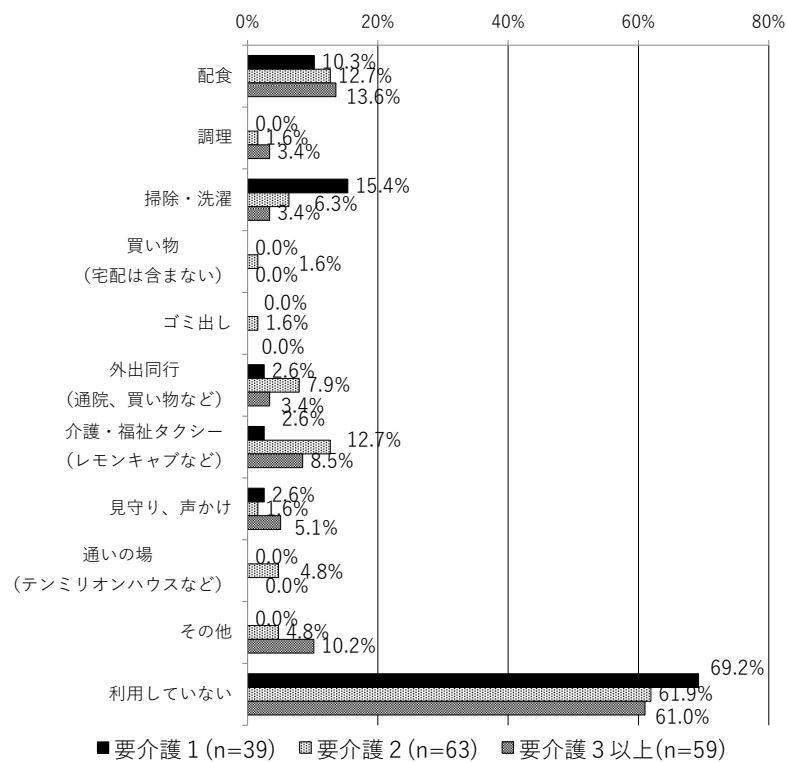
単身世帯での、要介護度別の保険外の支援・サービスの利用状況は、「要介護3以上」では、「外出同行」、「見守り、声かけ」の割合が他と比べて高い。

< 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯） >



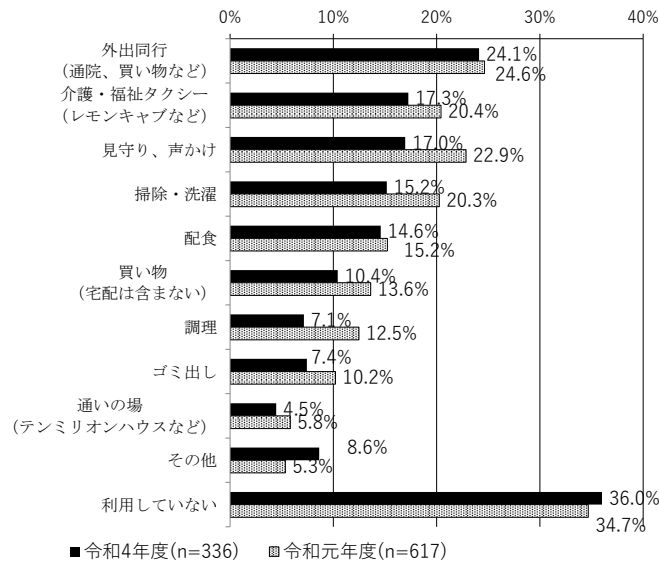
夫婦のみ世帯での、要介護度別の保険外の支援・サービスの利用割合は、「要介護3以上」で「配食」が25.0%と最も多く、次いで「掃除・洗濯」が15.6%となっている。

< 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（その他の世帯） >



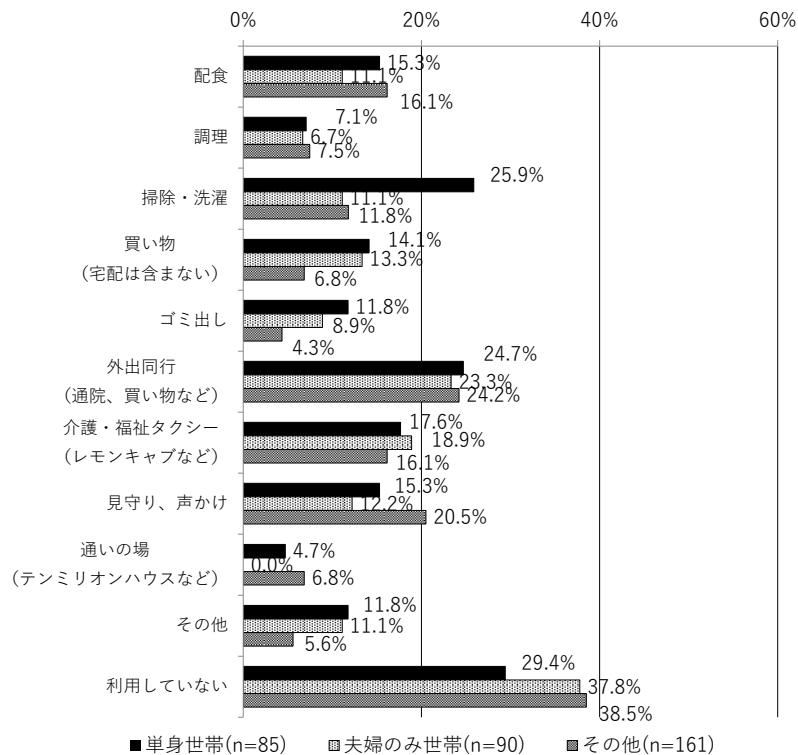
その他の世帯での、要介護度別の保険外の支援・サービスの利用割合は、「要介護3以上」で「配食」が13.6%と最も多く、次いで「その他」が10.2%となっている。

A票-問 12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）



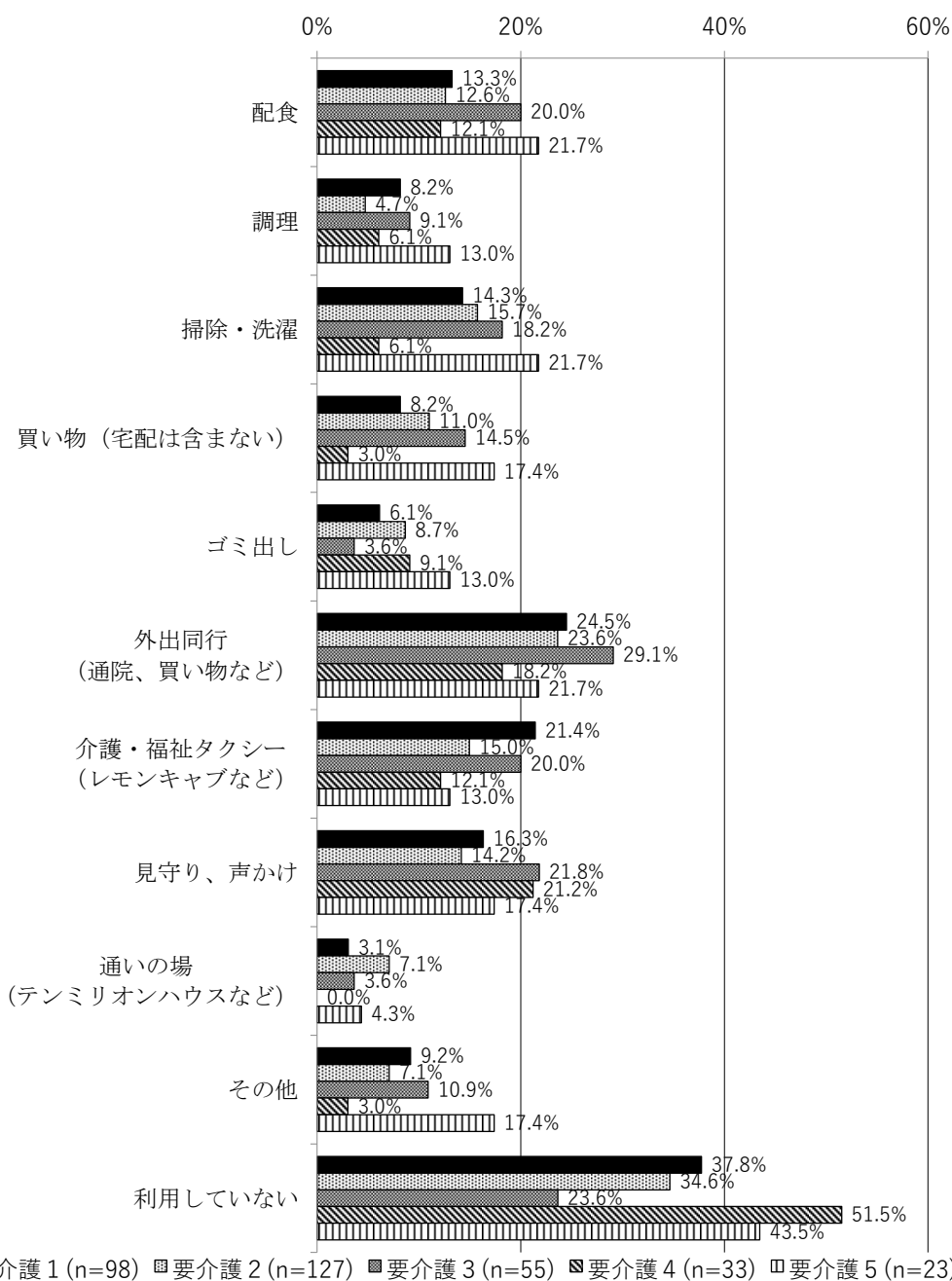
今後の在宅生活の継続に向けて必要と感じる支援・サービスは、「外出同行」が24.1%と最も多く、次いで「介護・福祉タクシー」が17.3%であった。

<世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス>



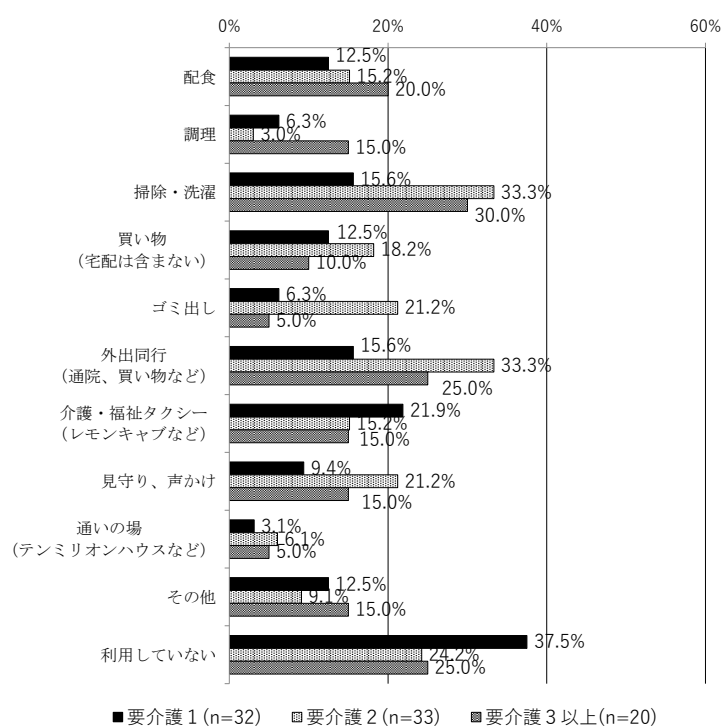
世帯類型別の今後の在宅生活の継続に向けて必要と感じる支援・サービスは、「単身世帯」では「掃除・洗濯」が25.9%、「外出同行」が24.7%、「夫婦のみ世帯」では「外出同行」が23.3%、「介護・福祉タクシー」が18.9%、「その他の世帯」では「外出同行」が24.2%、「見守り・声かけ」が20.5%と多い。

<要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス>



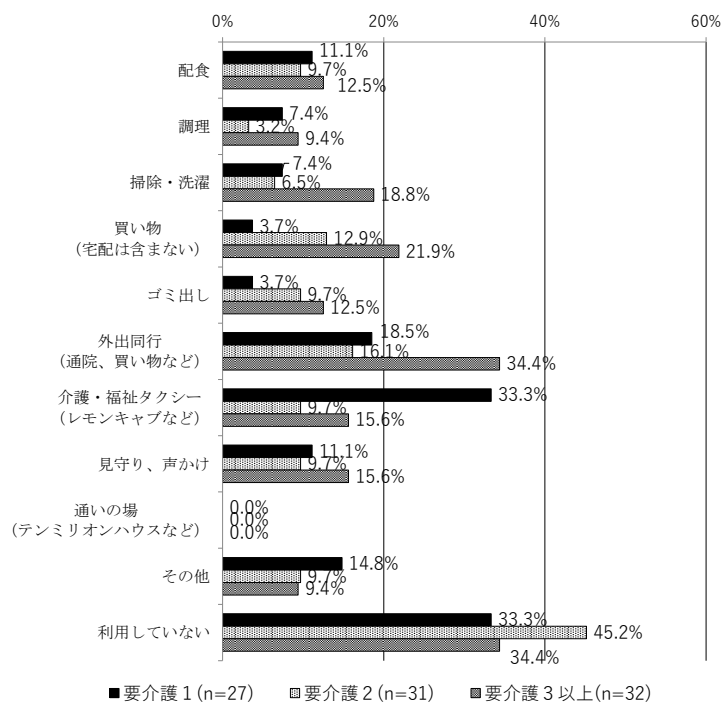
要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護1」～「要介護3」では「外出同行」、「要介護4」では「見守り、声かけ」が多い。「要介護5」では「配食」、「掃除・洗濯」、「外出同行」が多い。

< 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯） >



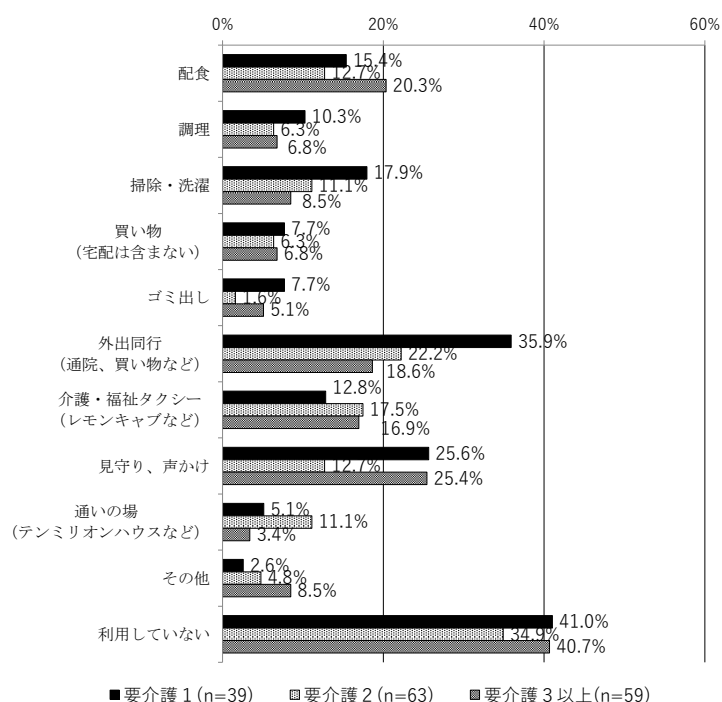
単身世帯での、要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護3以上」では「掃除・洗濯」が30.0%と最も多い。

< 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯） >



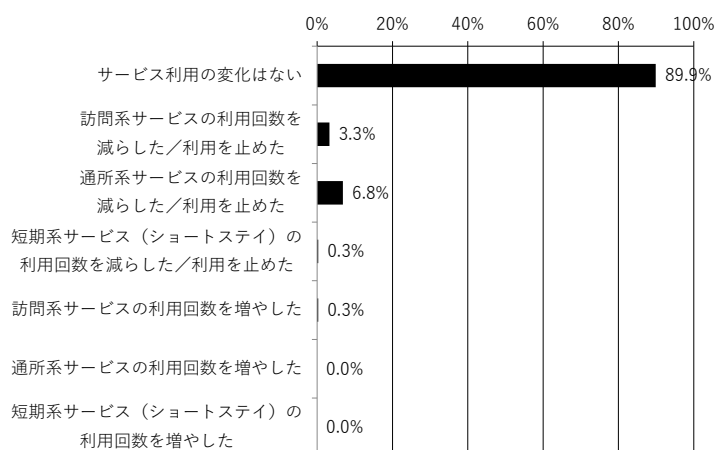
夫婦のみ世帯での、要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護3以上」では「外出同行」が34.4%と最も多く、次いで「買い物」が21.9%となっている。

< 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他の世帯） >



その他の世帯での、要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護3以上」では「見守り、声かけ」が25.4%と最も多く、次いで「配食」が20.3%となっている。

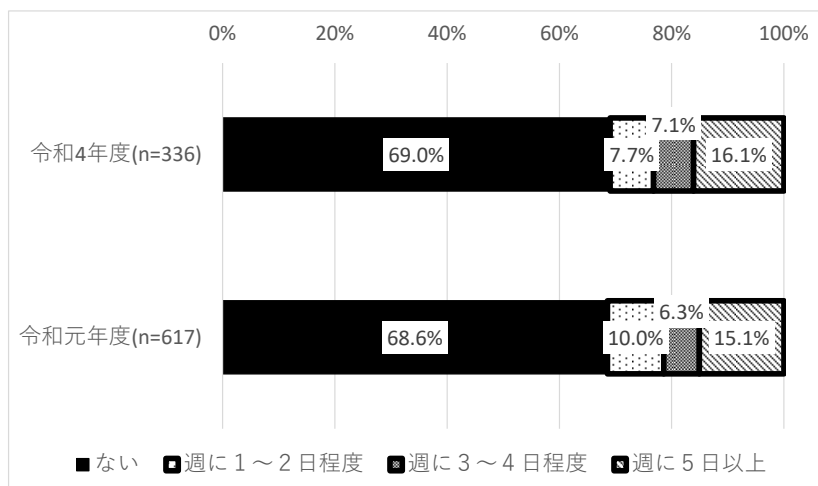
A票-問 19 新型コロナウイルス感染症の影響によるサービス利用の変化の有無について、ご回答ください。なお、一時的にサービス利用を減らした/止めた、増やした場合であっても、回答時点でコロナ禍前の状態に戻っている場合は「1. コロナ禍を理由としたサービス利用の変化はない」を選択してください。(複数選択可)



新型コロナウイルス感染症の影響によるサービス利用の変化は、「サービス利用の変化はない」が89.9%、「通所系サービスの利用回数を減らした/利用を止めた」が6.8%となっている。

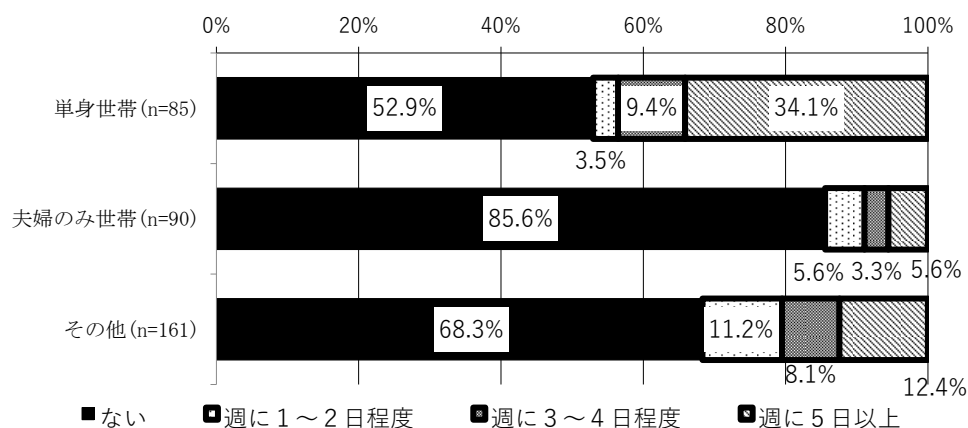
3. 在宅生活の状況

A 票-問 10 日中・夕方時間帯（9～19 時頃まで）において、介護や見守りが必要にもかかわらず、4 時間以上介護や見守りをしてくれる人（ヘルパー等も含む）がそばにいない日が、週に何日程度ありますか。（1 つを選択）



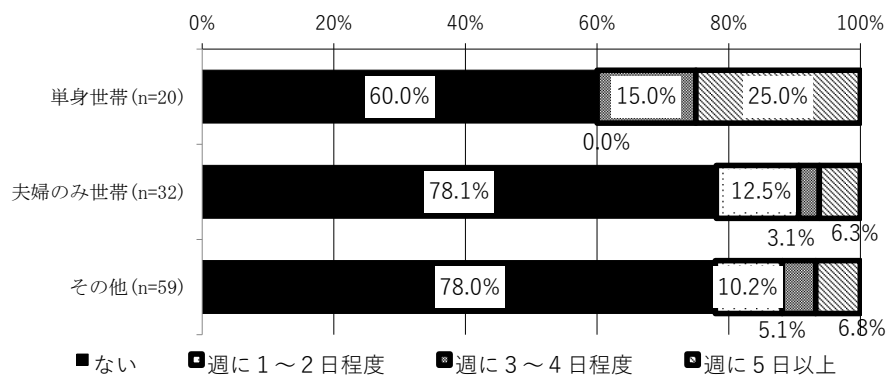
日中独居の頻度は、「週に1日以上日中独居である（週に1～2日程度・週に3～4日程度・週に5日以上）」割合の合計（グラフ内太線）が30.9%である。

< 世帯類型別・日中独居の有無 ※無回答を除く >



世帯類型別の日中独居の有無について、「週に1日以上日中独居である（週に1～2日程度・週に3～4日程度・週に5日以上）」割合の合計（グラフ内太線）は、「単身世帯」が47.0%、「夫婦のみ世帯」が14.5%、「その他の世帯」が31.7%である。

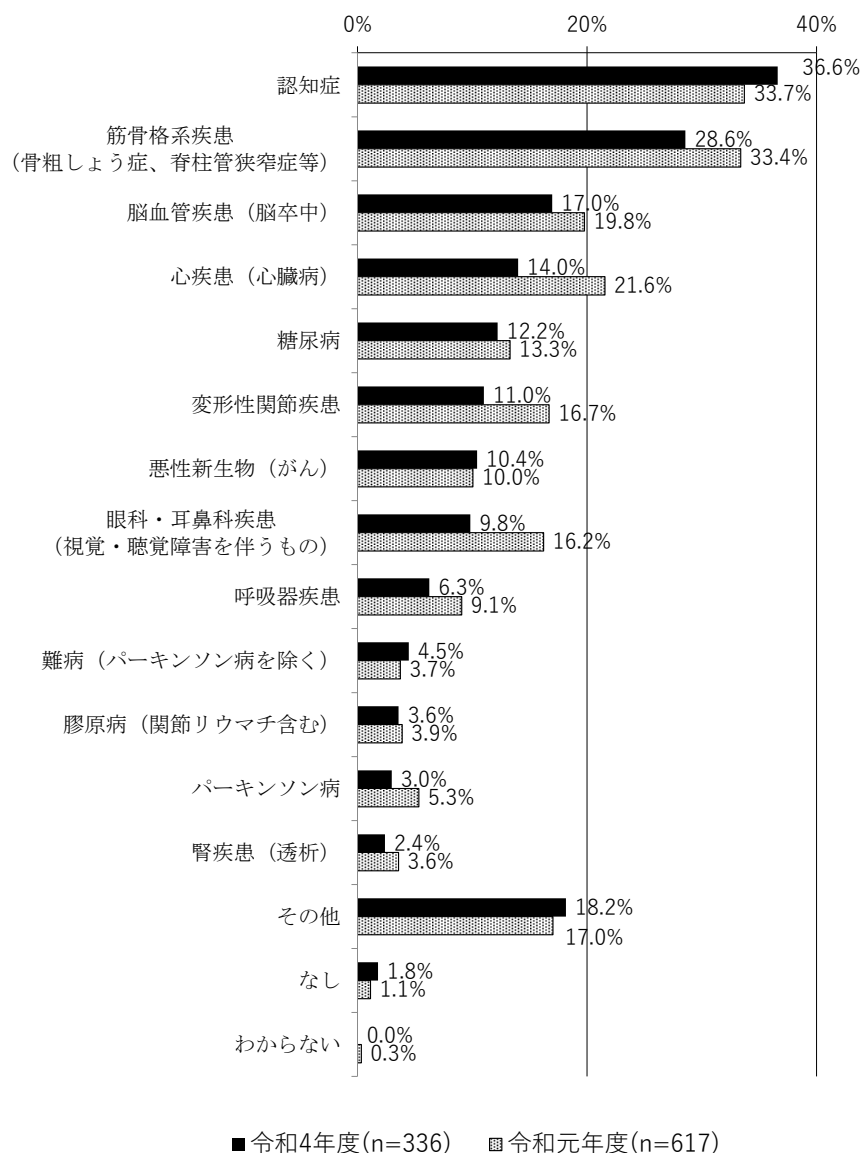
<世帯類型別・日中独居の有無（要介護3以上）>



要介護3以上の世帯類型別の日中独居の有無について、「週に1日以上日中独居である（週に1～2日程度・週に3～4日程度・週に5日以上）」割合の合計（グラフ内太線）は、「単身世帯」が40.0%、「夫婦のみ世帯」が21.9%、「その他の世帯」が22.1%である。

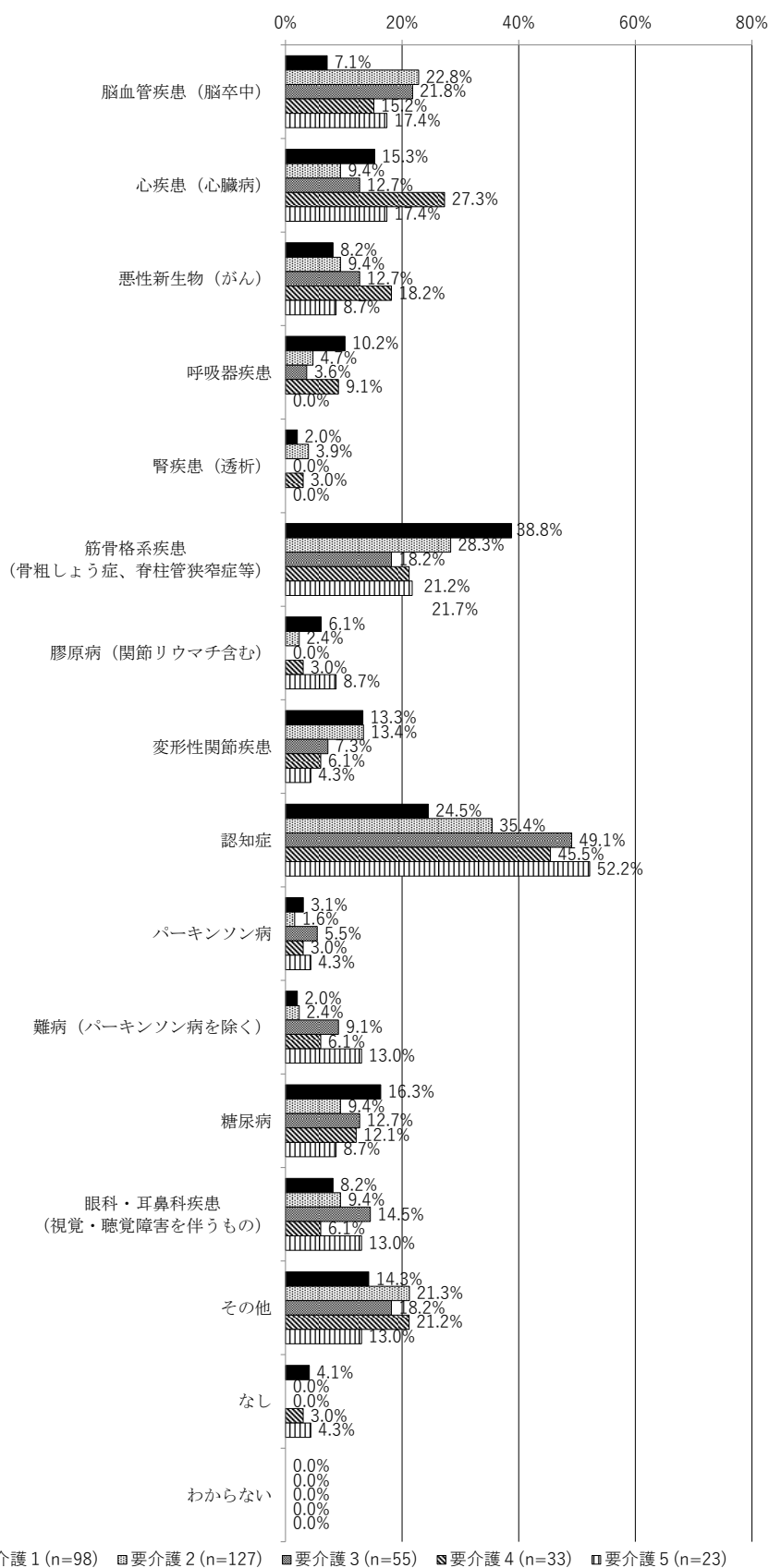
4. 傷病状況など

A票-問9 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）



抱えている傷病は、「認知症」が36.6%と最も多く、次いで「筋骨格系疾患」が28.6%、「脳血管疾患」が17.0%となっている。

< 要介護度別・抱えている傷病 >

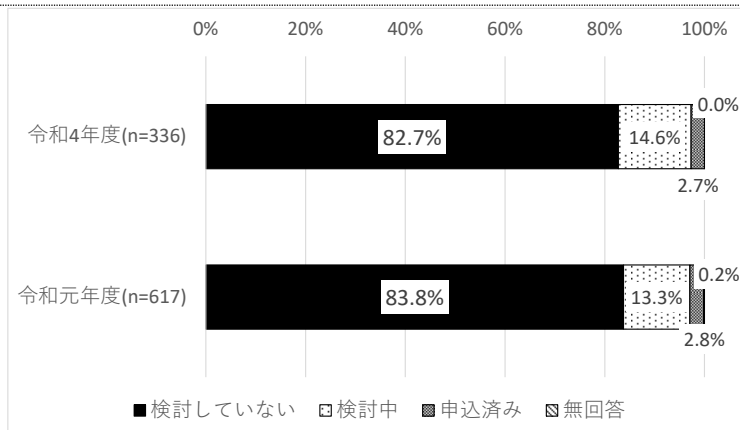


要介護度別の抱えている傷病は、「要介護5」では、「認知症」が52.2%と最も多く、次いで「筋骨格系疾患」が21.7%、「脳血管疾患」と「心疾患」が17.4%であった。

5. 施設等への入所・入居の検討状況

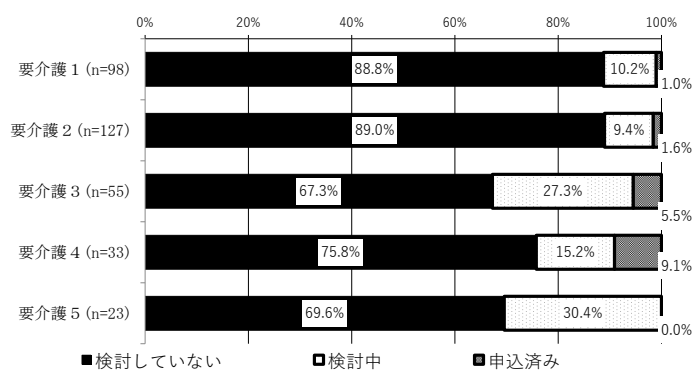
(1) 施設等検討の状況

A票-問 13 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)



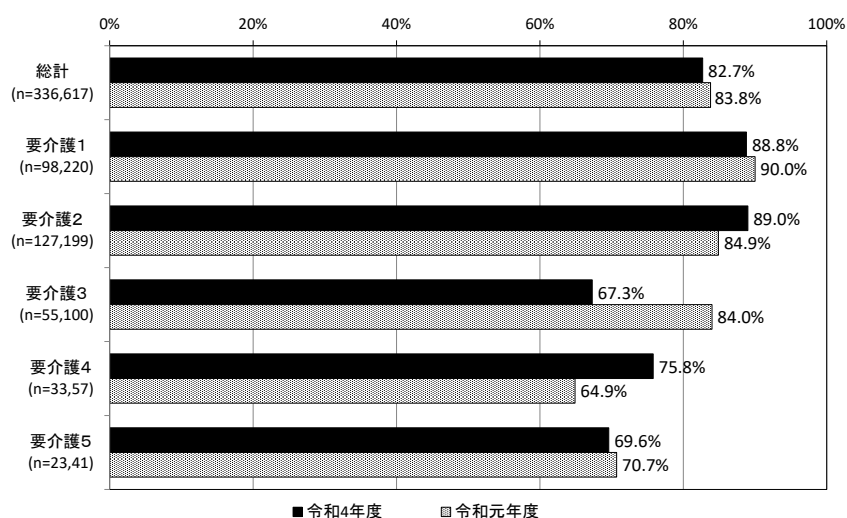
施設等検討の状況は、「検討中」が14.6%、「申込済み」が2.7%である。

< 要介護度別・施設等検討の状況 >



施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「要介護1」が11.2%、「要介護2」が11.0%、「要介護3」が32.8%、「要介護4」が24.3%、「要介護5」が30.4%である。「検討中」と「申込済み」の割合の合計が最も多いのは「要介護3」であった。

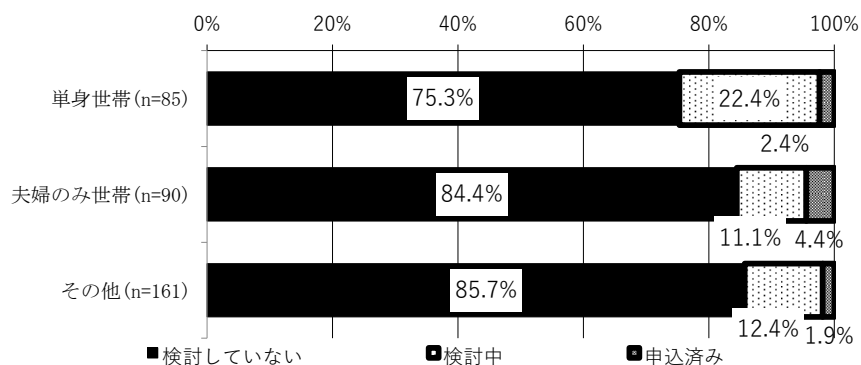
<要介護度別・施設等検討を「検討していない」割合>



施設等を「検討していない」の割合を、令和元年度調査と比較すると、「総計」については、令和元年度調査では83.8%、令和4年度調査では82.7%であった。

※ n数は、「(n=令和4年度のn数, 令和元年度のn数)」である。

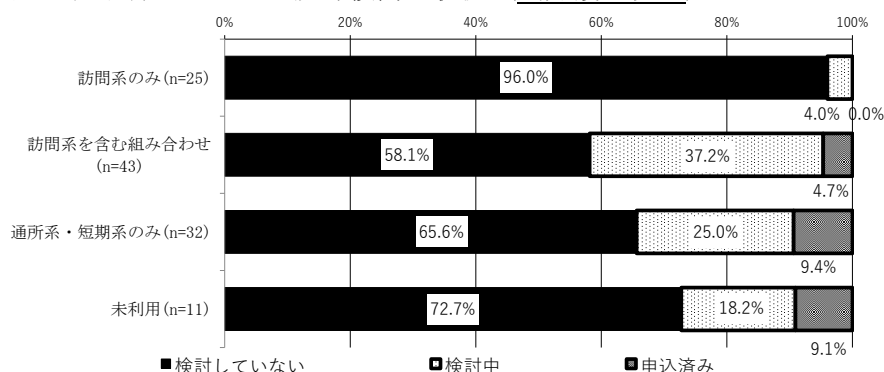
<世帯類型別・施設等検討の状況>



世帯類型別の施設等検討の状況について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「単身世帯」が24.7%、「夫婦のみ世帯」が15.6%、「その他の世帯」が14.3%である。

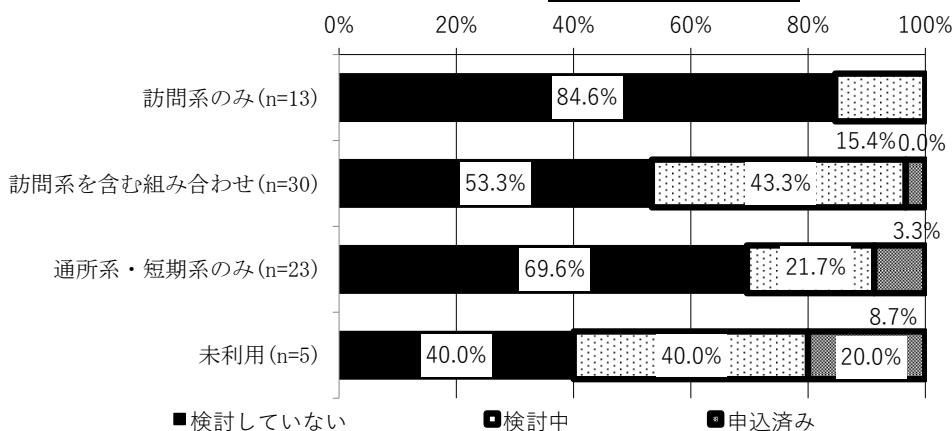
(2) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況

< サービス利用の組み合わせ別・施設等検討の状況（要介護3以上） >



サービス利用の組み合わせ別の施設等検討の状況（要介護3以上）について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系のみ」が4.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が41.9%、「通所系・短期系のみ」が34.4%、「未利用」が27.3%である。「訪問系を含む組み合わせ」のサービス利用では、約4割が施設等を「検討中」もしくは「申込済み」であった。

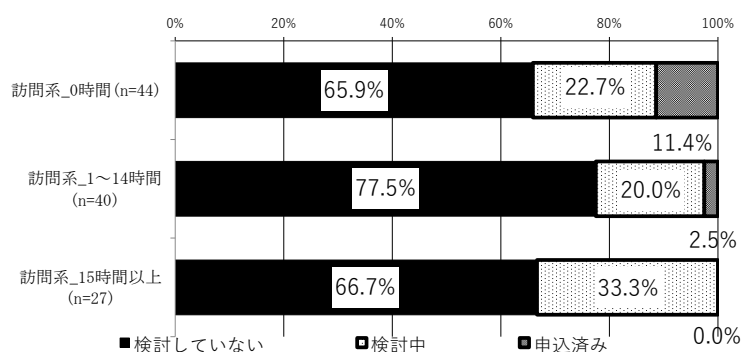
< サービス利用の組み合わせ別・施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上） >



サービス利用の組み合わせ別の施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系のみ」が15.4%、「訪問系を含む組み合わせ」が46.6%、「通所系・短期系のみ」が30.4%、「未利用」が60.0%である。

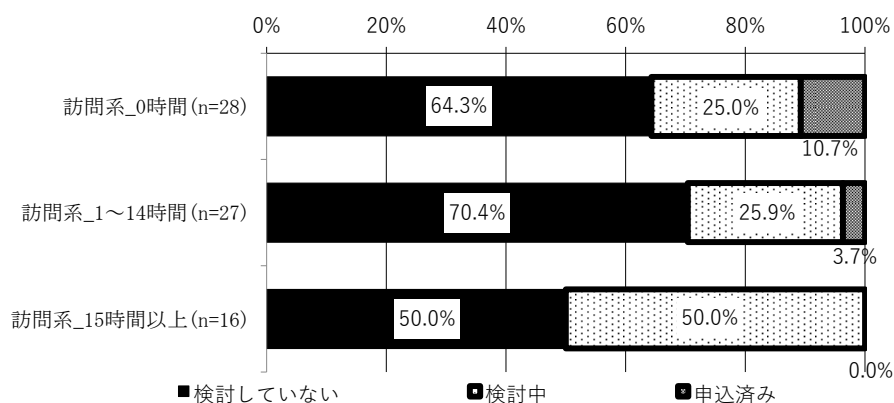
(3) サービス利用の回数と施設等検討の状況

< 訪問系サービスの利用時間別・施設等検討の状況（要介護3以上） >



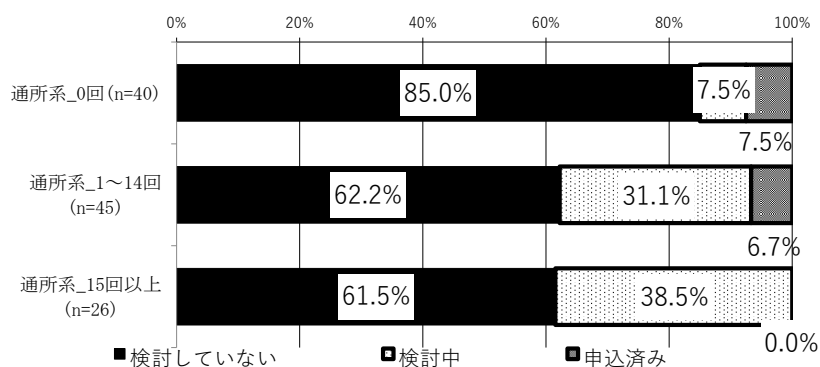
訪問系サービスの利用時間別の施設等検討の状況について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系0時間」が34.1%、「訪問系1～14時間」が22.5%、「訪問系15時間以上」が33.3%である。

< 訪問系サービスの利用時間別・施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上） >



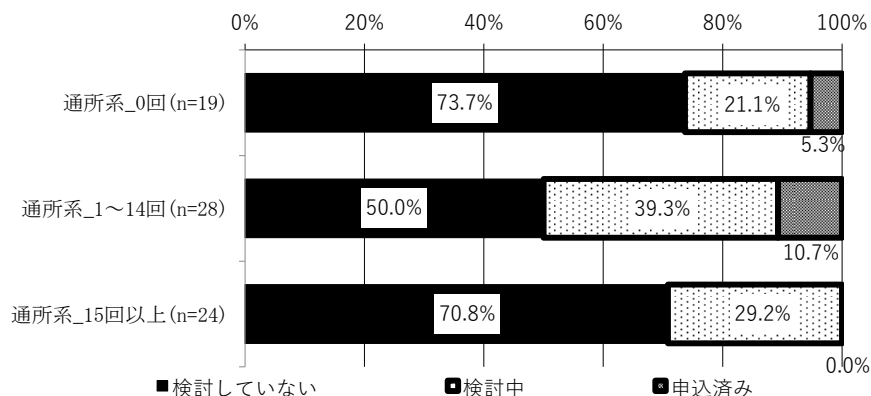
訪問系サービスの利用時間別の施設等検討の状況について、認知症自立度Ⅲ以上の施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系0時間」で35.7%、「訪問系1～14時間」で29.6%、「訪問系15時間以上」で50.0%である。

<通所系サービスの利用回数別・施設等検討の状況（要介護3以上）>



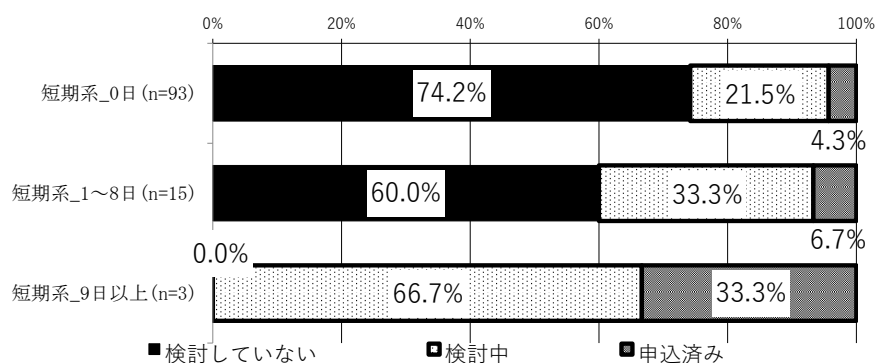
通所系サービスの利用回数別の施設等検討の状況について、要介護3以上の施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「通所系0回」で15.0%、「通所系1~14回」で37.8%、「通所系15回以上」で38.5%である。

<通所系サービスの利用回数別・施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）>



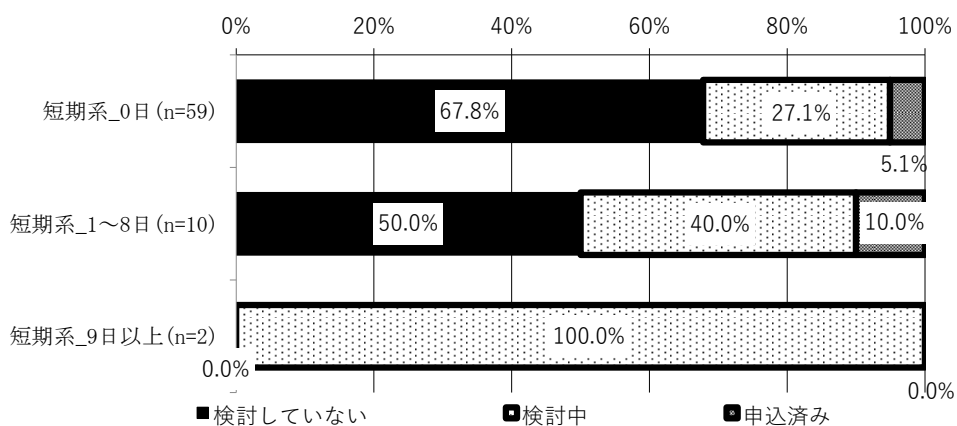
通所系サービスの利用回数別の施設等検討の状況について、認知症自立度Ⅲ以上の施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「通所系0回」で26.4%、「通所系1~14回」で50.0%、「通所系15回以上」で29.2%だった。

<短期系サービスの利用日数別・施設等検討の状況（要介護3以上）>



短期系サービスの利用日数別の施設等検討の状況について、要介護3以上の施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「短期系0日」で25.8%、「短期系1~8日」で40.0%、「短期系9日以上」で100.0%である。

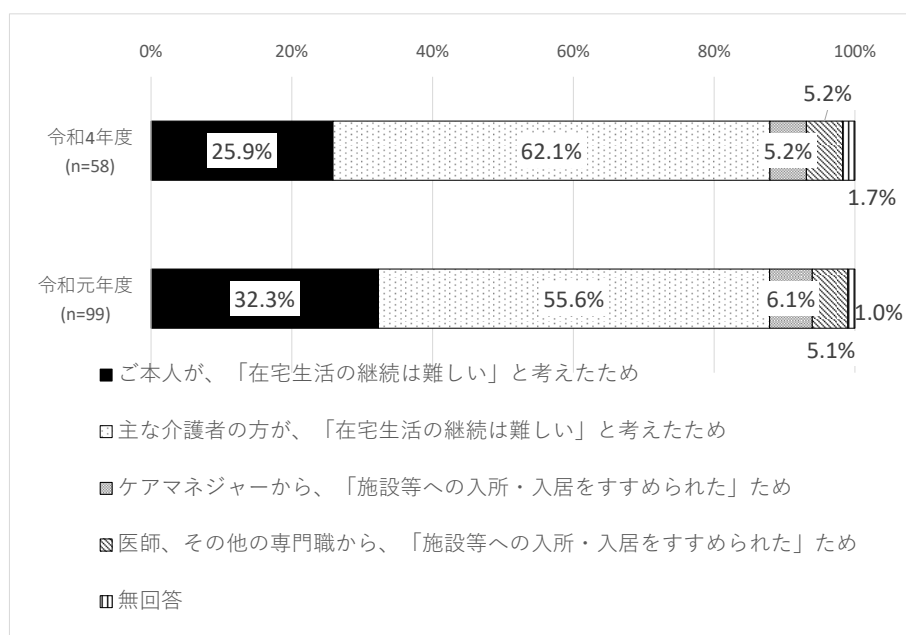
<短期系サービスの利用日数別・施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）>



短期系サービスの利用日数別の施設等検討の状況について、認知症自立度Ⅲ以上の施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「短期系0日」で32.2%、「短期系1~8日」で50.0%、「短期系9日以上」で100.0%である。

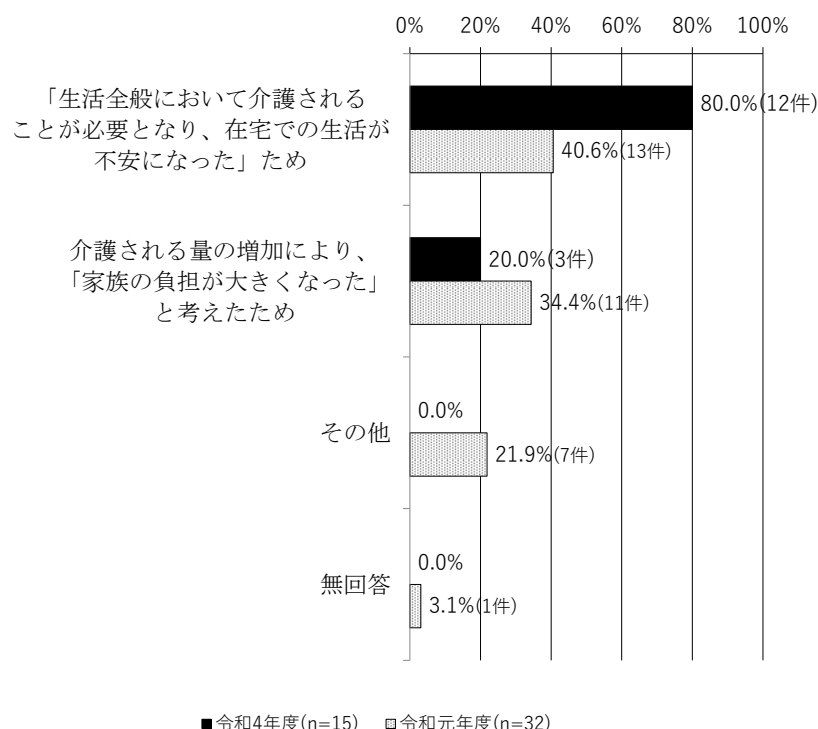
(4) 施設等検討の理由など

A 票-問 14 問 13 において「検討中」「申込済み」と回答した方にお伺いします。入所・入居を検討された一番大きなきっかけをご回答ください。(1つを選択)。



施設等への入所・入居を「検討中」及び「申込済み」の方(58名)が、入所・入居を検討した一番大きなきっかけは、「主な介護者の方が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が62.1%、「ご本人が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が25.9%、「ケアマネジャーから、『施設等への入所・入居をすすめられた』ため」が5.2%である。

A票-問15 問14で「ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため」を選択された方にお伺いします。ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください。(1つを選択)。

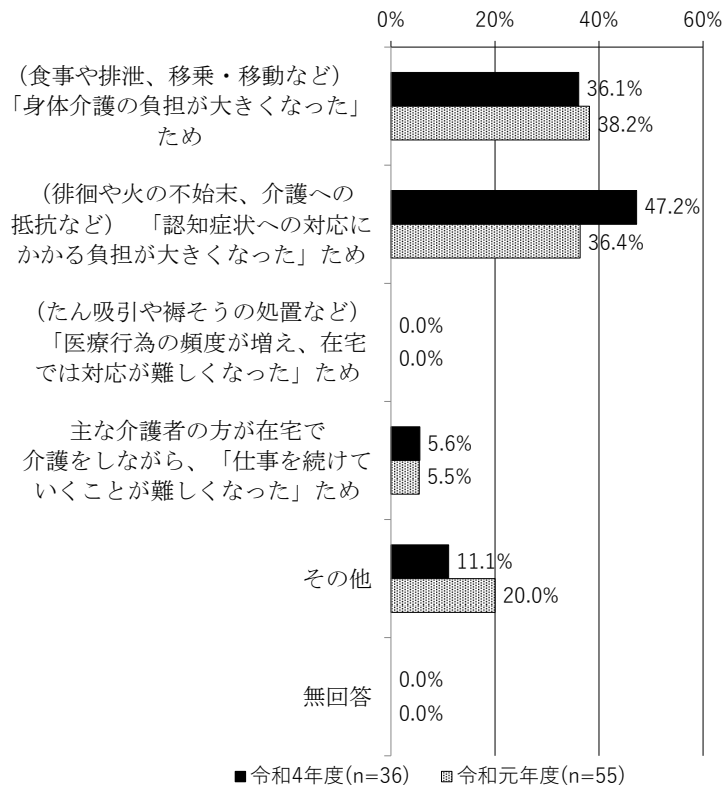


本人が、「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由は、『生活全般において介護される必要となり、在宅での生活が不安になった』ため』が80.0%と最も多い。

なお、「その他」についての具体的な内容は、以下の通りである（「その他」を選択した回答者はいなかったが、自由回答欄に記載があったもの）。

- ・ 自身で身体が動かせなくなった点
- ・ 認知症
- ・ 転倒をきっかけに心身のおとろえを感じ独居生活に限界を感じ始めたことによる

A 票-問 16 問 14 で「主な介護者の方が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」を選択された方にお伺いします。主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください。(1つを選択)。



主な介護者が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由は、『「認知症状への対応にかかる負担が大きくなった」ため』が47.2%と最も多い。

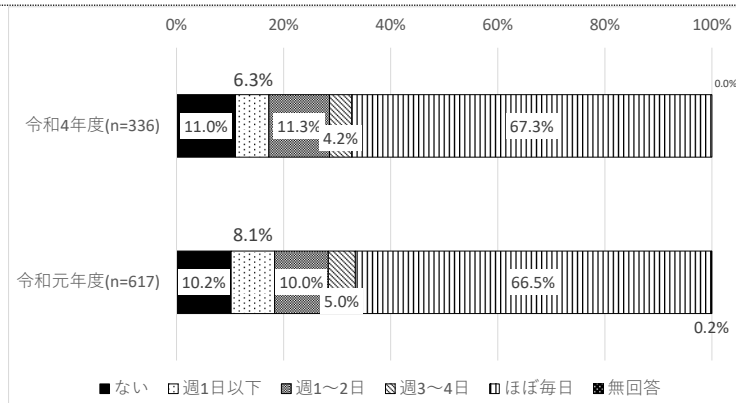
なお、「その他」についての具体的な内容は、以下の通りである。

- ・ 本人 102 才、介護者 80 才近くになり、介護者自身が高齢者になった為。
- ・ 自身で身体が動かせなくなった点
- ・ 同居家族の体調不良・生活状況の変化があり、物理的に同居が困難になったため
- ・ 排泄ケアの負担が特に重く感じるが、その他日常生活全般において、目が離せなくなった。
- ・ 介護者の高齢と肺疾患の悪化
- ・ 現状では在宅生活を続けられているが、本人が家族を含めた他者の支援を拒みサービスを利用できないため、生活が難しくなっている。本人が認知症を認めない。このままでは早晚生活がたちゆかなくなるのではと心配。
- ・ 1人で介護しているため限界がある。トイレ介助の時に一緒に倒れこみ身動きをとれなくなった。隣人に助けを求め事なきを得た。

6. 主な介護者の状況

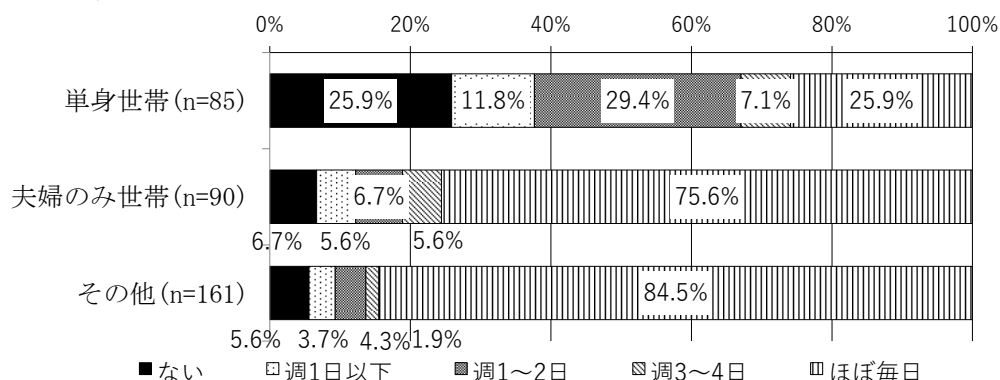
(1) 家族や親族による介護の頻度

A票-問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（1つを選択）



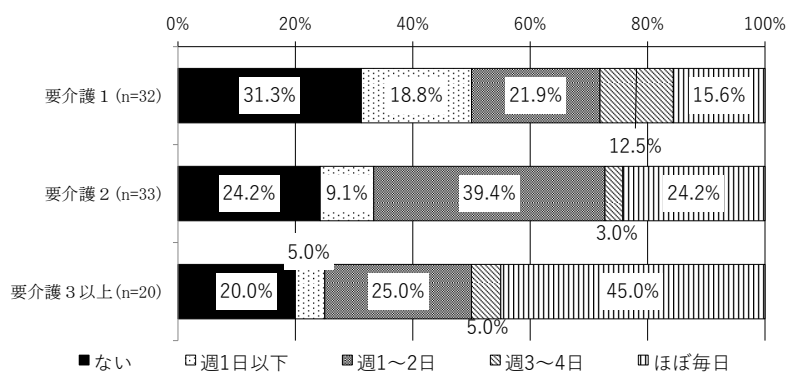
家族や親族による介護の頻度は、「ほぼ毎日」が67.3%と最も多く、次いで「週1~2日」が11.3%、「ない」が11.0%となっている。

<世帯類型別・家族等による介護の頻度>



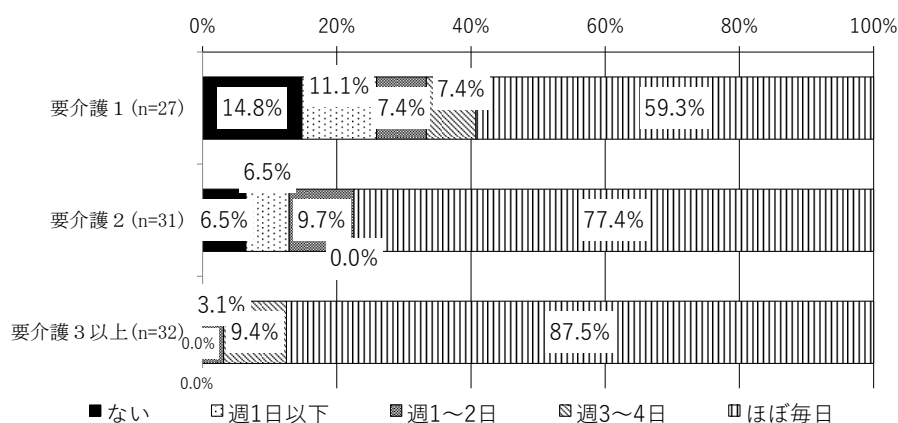
家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は、「単身世帯」が25.9%、「夫婦のみ世帯」が75.6%、「その他の世帯」が84.5%である。

<要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）>



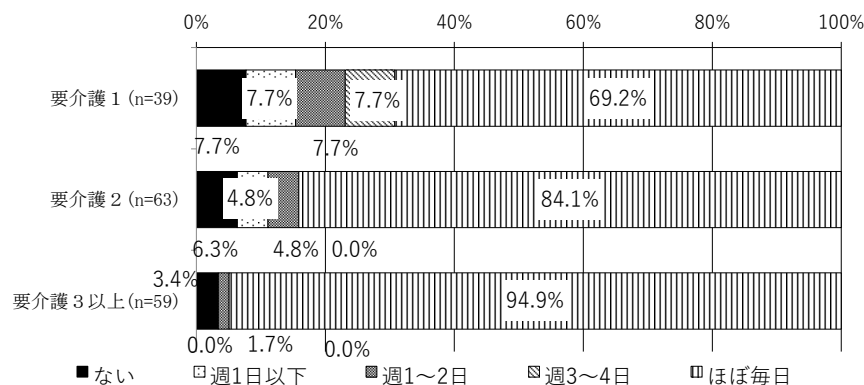
単身世帯での家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は「要介護1」が15.6%、「要介護2」が24.2%、「要介護3以上」が45.0%である。

< 要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯） >



夫婦のみ世帯での家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は「要介護1」が59.3%、「要介護2」が77.4%、「要介護3以上」が87.5%である。

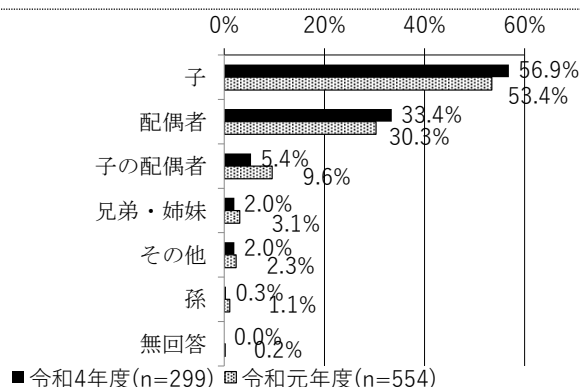
< 要介護度別・家族等による介護の頻度（その他の世帯） >



その他の世帯での家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は「要介護1」が69.2%、「要介護2」が84.1%、「要介護3以上」が94.9%である。

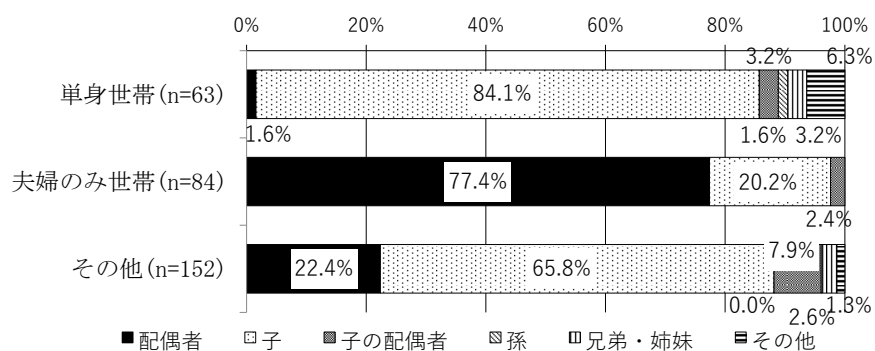
(2) 主な介護者の属性

A票-問3 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)。



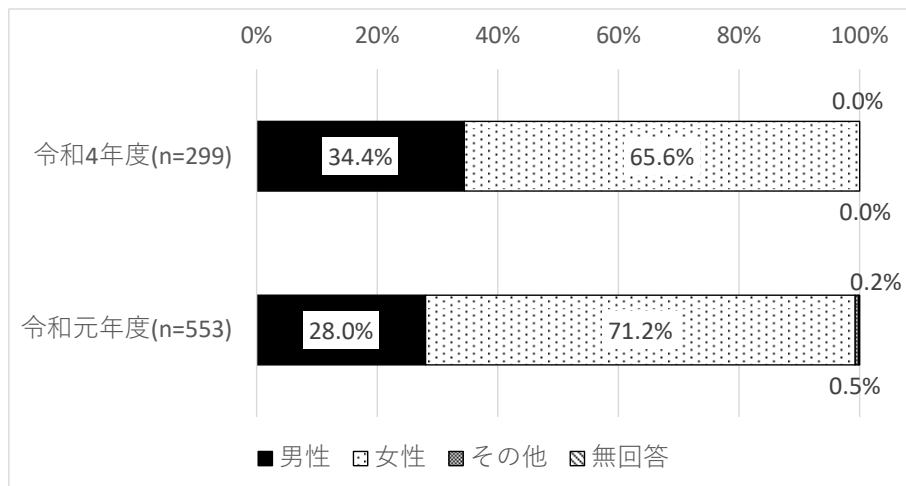
本人と主な介護者の関係は、「子」が56.9%と最も多く、次いで「配偶者」が33.4%となっている。

<世帯類型別・要介護高齢者と主な介護者との関係>



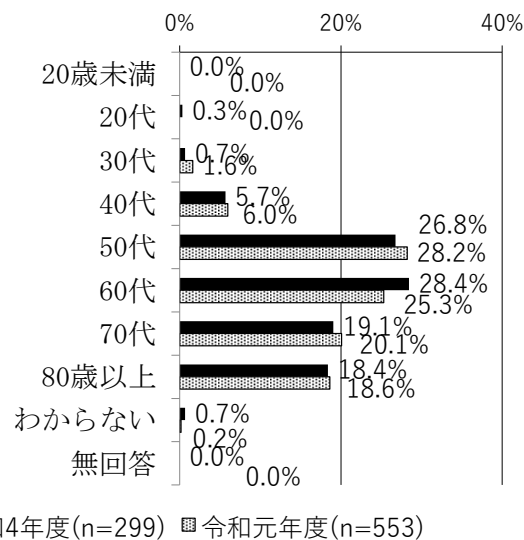
本人と主な介護者の関係は、「単身世帯」は「子」が84.1%、「夫婦のみ世帯」は「配偶者」が77.4%、「その他」は「子」が65.8%と最も多い。

A票-問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)。



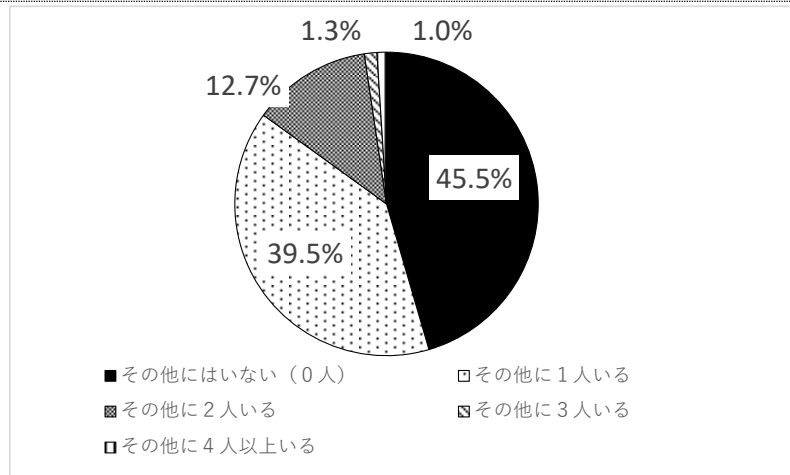
主な介護者の性別は、「女性」が65.6%、「男性」が34.4%である。

A票-問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)。



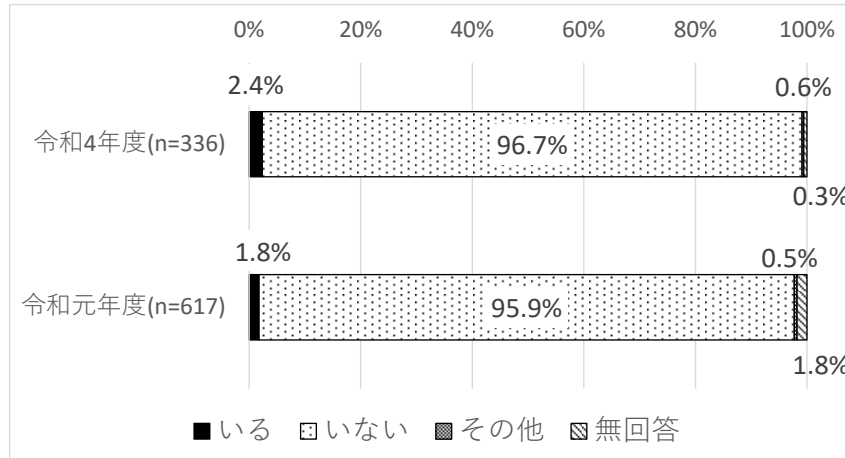
主な介護者の年齢は、「60代」が28.4%と最も多く、次いで「50代」が26.8%、「70代」が19.1%である。主な介護者のうち、「70代以上」の割合は37.5%となっている。

A票-問 6 主な介護者の方がケアをする、その他（認定調査対象者以外）の家族・親族の人数について、ご回答ください（1つを選択）。



主な介護者のケアする、その他の家族・親族の人数は、「その他にはいない（0人）」が45.5%、「その他に1人いる」が39.5%であった。

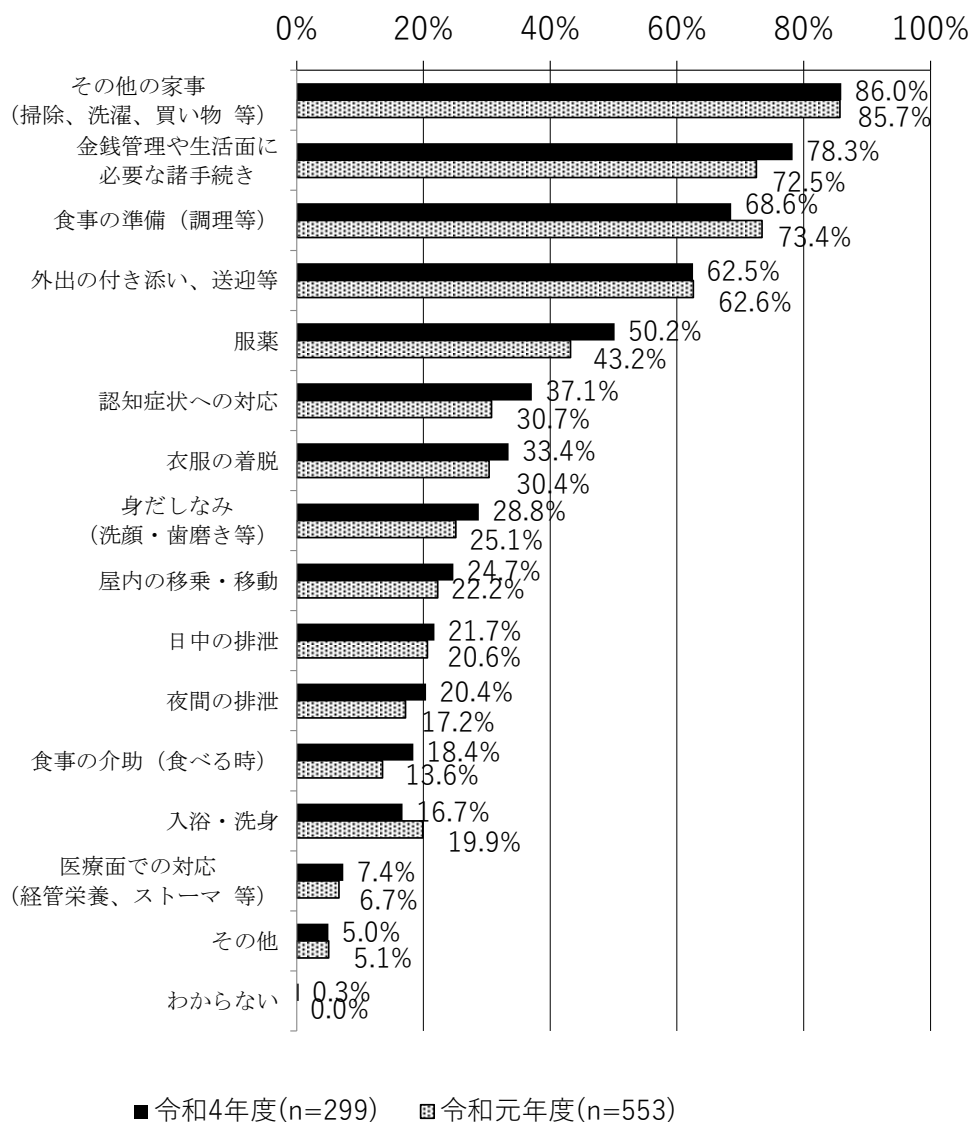
A票-問 22 同居のご家族の中に、「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6ヶ月以上続けて自宅に引きこもっている」状態の方はいますか。（1つを選択）



同居のご家族の中に、「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6ヶ月以上続けて自宅に引きこもっている」状態の方は、「いない」が96.7%、「いる」が2.4%であった。

(3) 主な介護者が行っている介護の状況

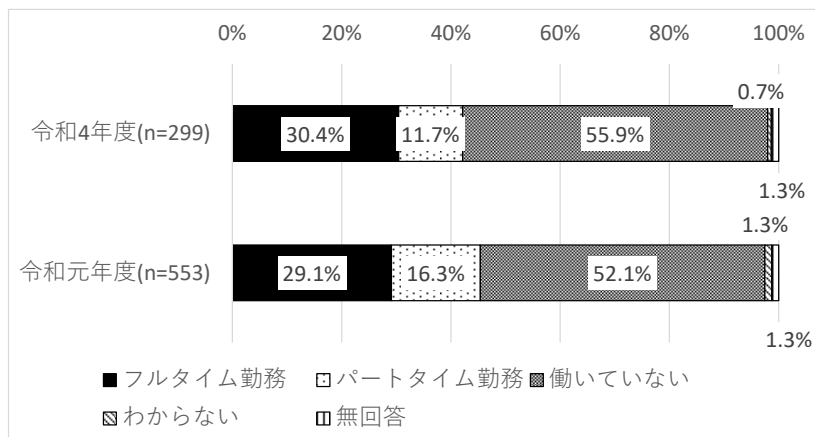
A票-問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)。



主な介護者が行っている介護は、「その他の家事」が86.0%と最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が78.3%、「食事の準備」が68.6%となっている。

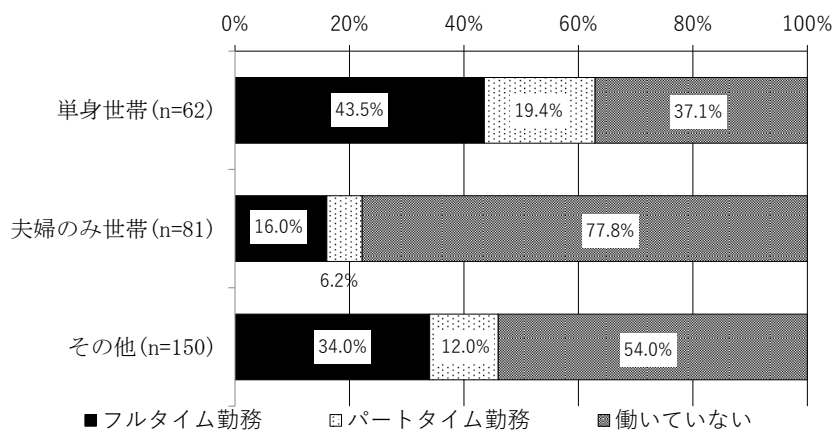
(4) 主な介護者の就労状況、介護と仕事の両立状況

B票-問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)



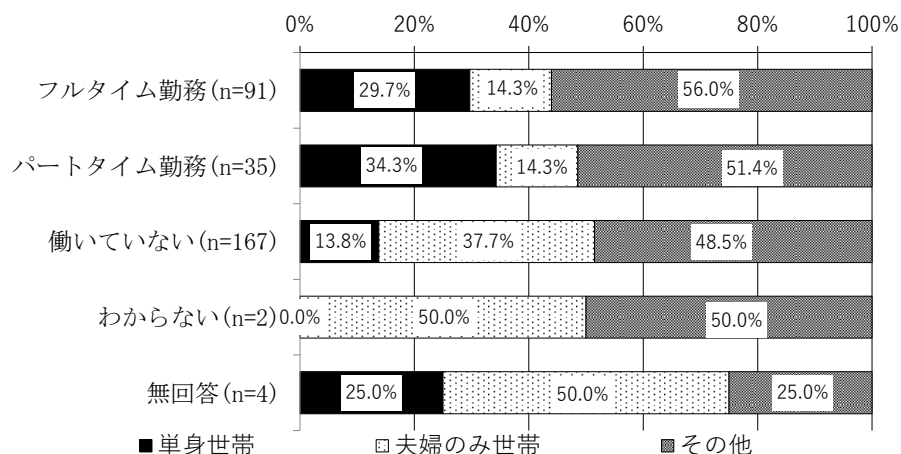
主な介護者の就労状況は、「働いていない」が55.9%、「フルタイム勤務」が30.4%、「パートタイム勤務」が11.7%である。

<世帯類型別・主な介護者の就労状況 ※「わからない」と「無回答」を除く>



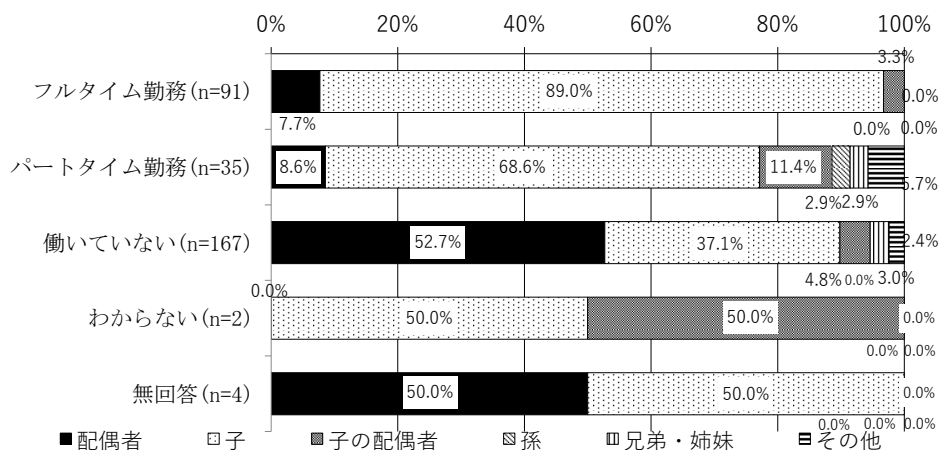
世帯類型別の主な介護者の就労状況については、単身世帯では「フルタイム勤務」が43.5%、夫婦のみ世帯では「働いていない」が77.8%、その他の世帯では「働いていない」が54.0%とそれぞれ最も多い。

<主な介護者の就労状況別・世帯類型>



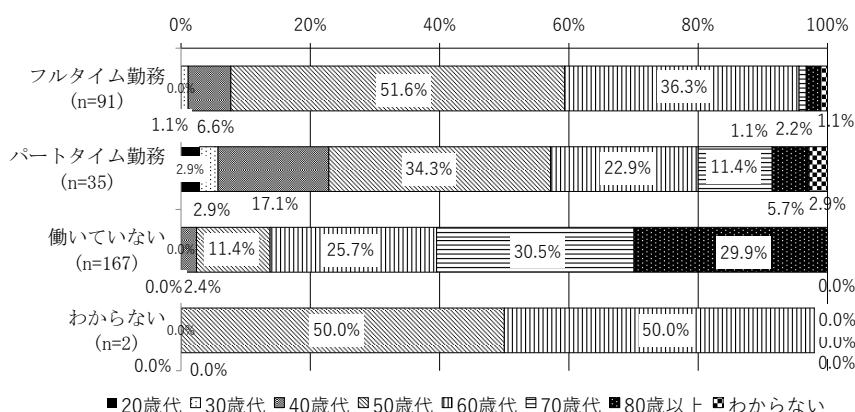
主な介護者の就労状況別の世帯類型について、「フルタイム勤務」は、「単身世帯」が 29.7%、「夫婦のみ世帯」が 14.3%、「その他の世帯」が 56.0%である。また、「働いていない」は、「単身世帯」が 13.8%、「夫婦のみ世帯」が 37.7%、「その他の世帯」が 48.5%である。

<主な介護者の就労状況別・主な介護者と本人の関係>



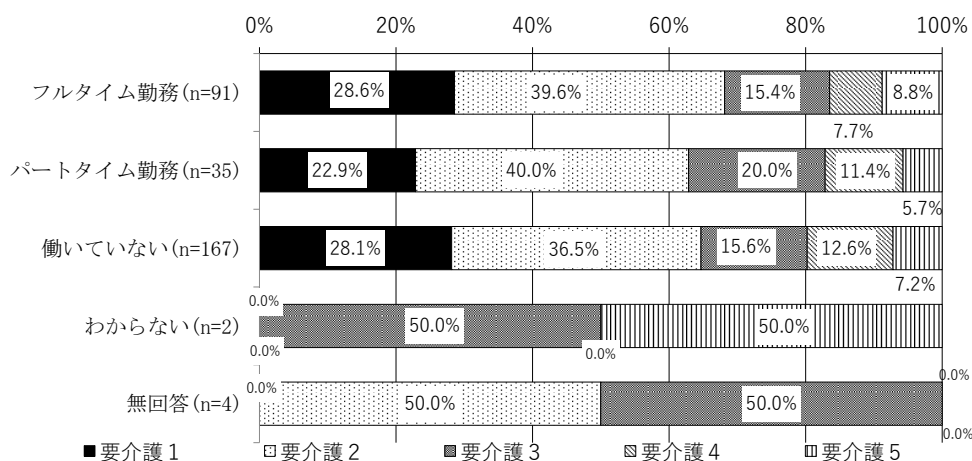
主な介護者の就労状況別の主な介護者と本人の関係について、「フルタイム勤務」は「子」が 89.0%、「パートタイム勤務」は「子」が 68.6%、「働いていない」は「配偶者」が 52.7%とそれぞれ最も多い。

<主な介護者の就労状況別・主な介護者の年齢 ※無回答除く>



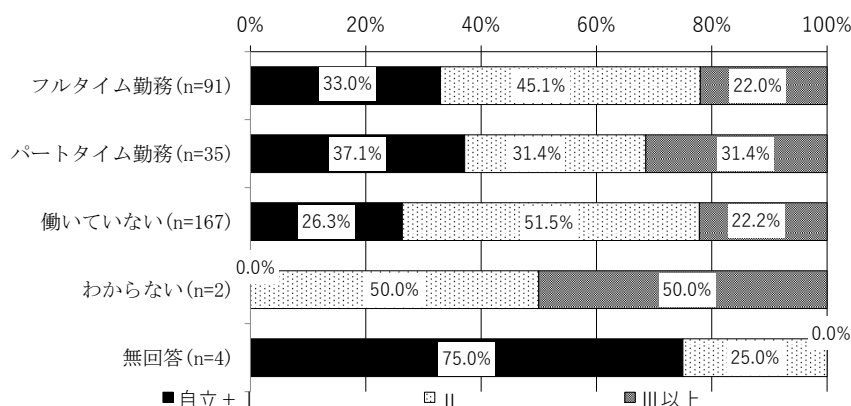
主な介護者の就労状況別での主な介護者の年齢について、「フルタイム勤務」は「50歳代」が51.6%、「60歳代」が36.3%、「パートタイム勤務」は「50歳代」が34.3%、「60歳代」が22.9%である。

<主な介護者の就労状況別・本人の要介護度>



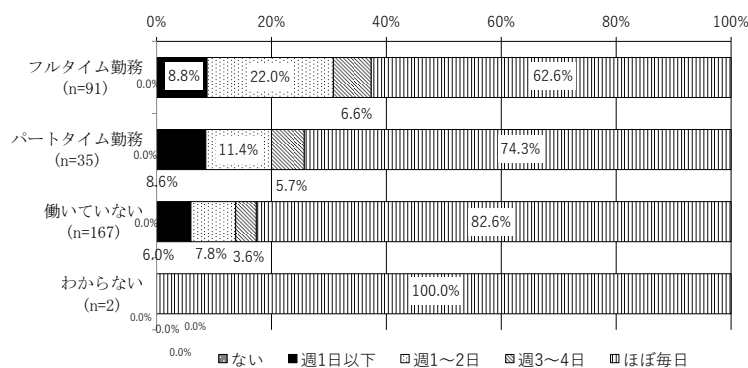
主な介護者の就労状況別での本人の要介護度について、「フルタイム勤務」、「パートタイム勤務」、「働いていない」では「要介護2」の割合が高く、それぞれ39.6%、40.0%、36.5%であった。

<主な介護者の就労状況別・本人の認知症自立度>



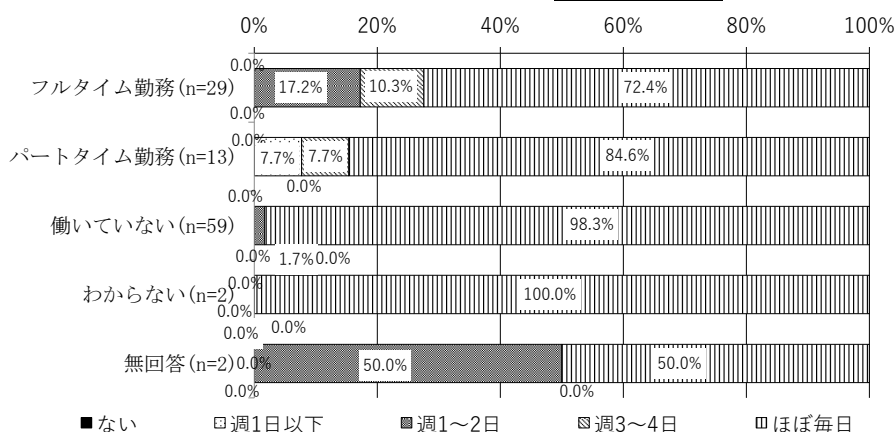
主な介護者の就労状況別での本人の認知症自立度について、「認知症自立度Ⅲ以上」は、「フルタイム勤務」が22.0%、「パートタイム勤務」が31.4%、「働いていない」が22.2%である。

<主な介護者の就労状況別・家族等による介護の頻度_※無回答除く>



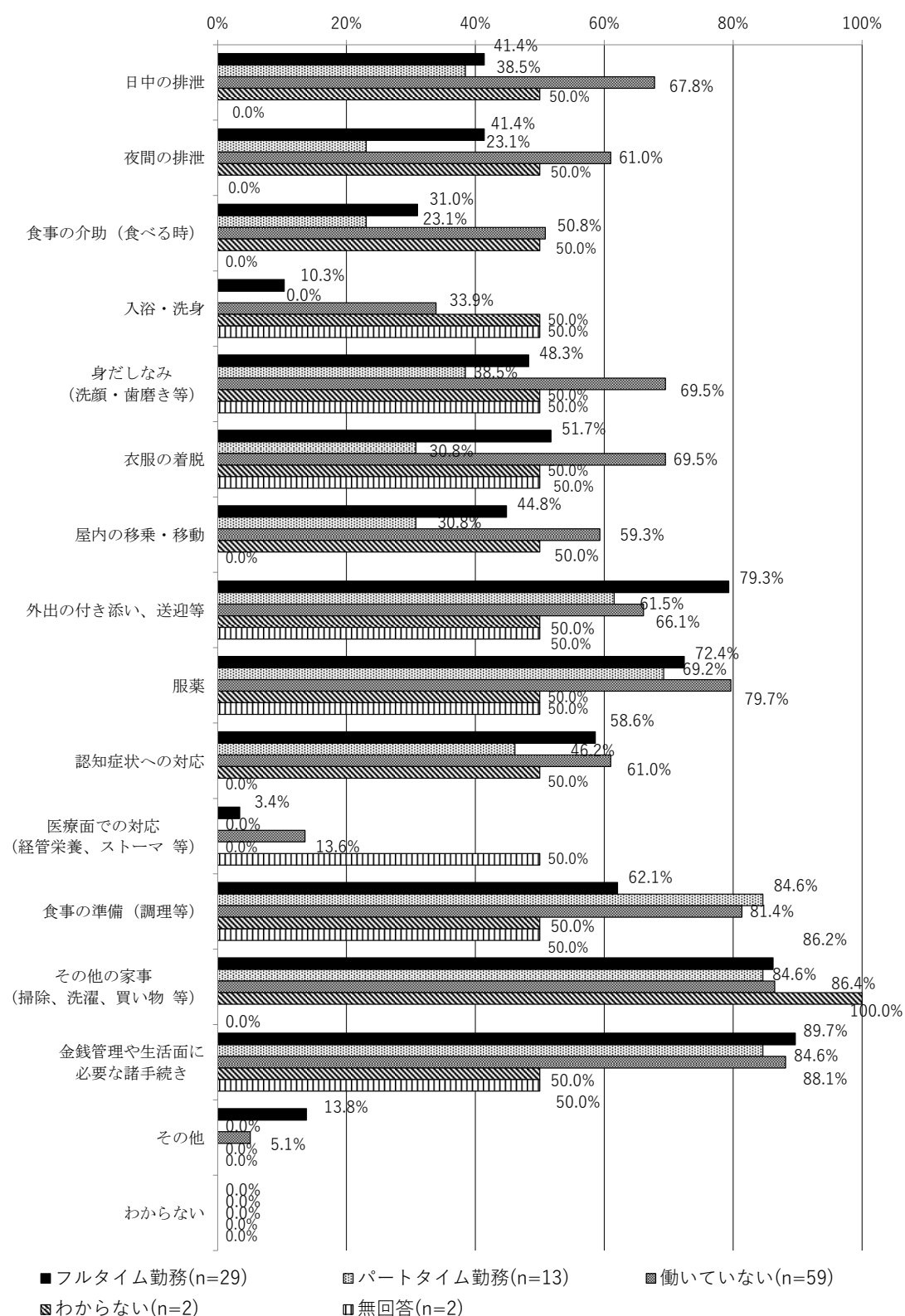
主な介護者の就労状況別での家族等による介護の頻度について、「ほぼ毎日」は、「フルタイム勤務」が62.6%、「パートタイム勤務」が74.3%、「働いていない」が82.6%である。

<主な介護者の就労状況別・家族等による介護の頻度（要介護3以上）>



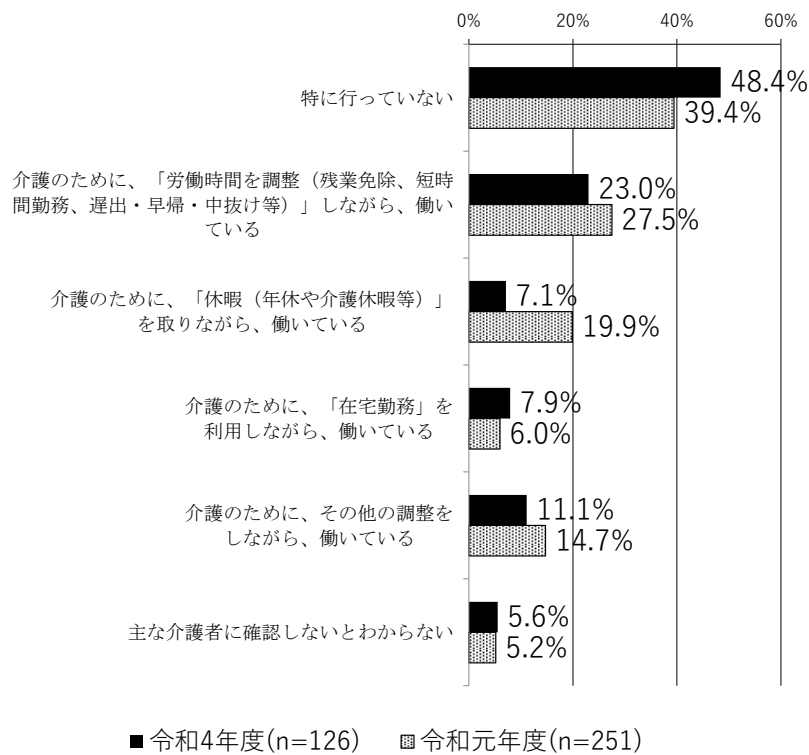
主な介護者の就労状況別での家族等による介護（要介護3以上）の頻度について、「ほぼ毎日」は、「フルタイム勤務」が72.4%、「パートタイム勤務」が84.6%、「働いていない」が98.3%であった。

<主な介護者の就労状況別・主な介護者が行っている介護（要介護3以上）>



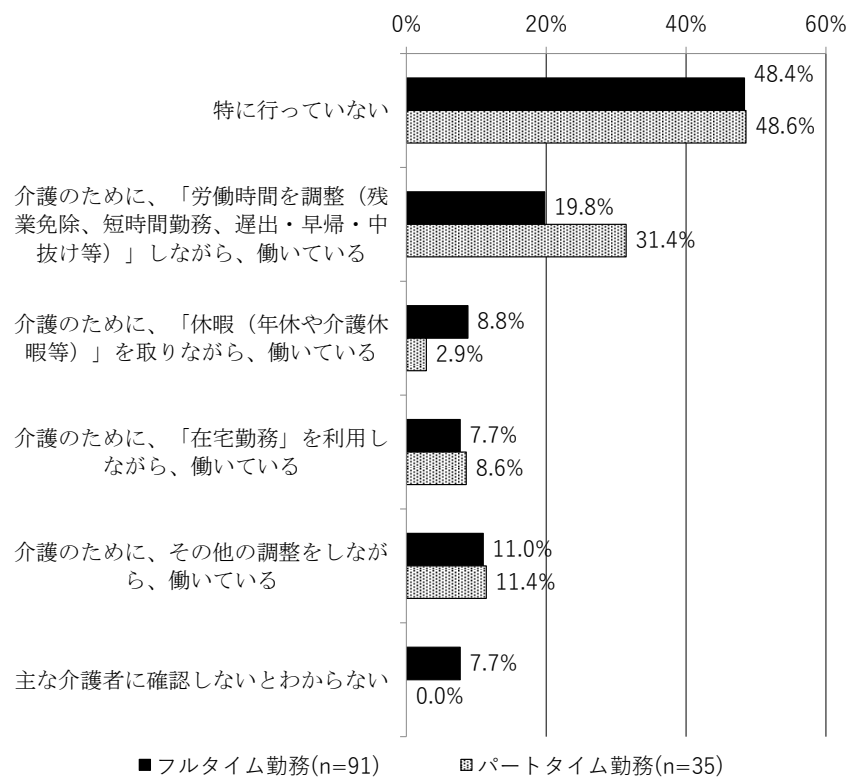
主な介護者の就労状況別での主な介護者が行っている介護（要介護3以上）は、「フルタイム勤務」については、「働いていない」と比較して「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助」、「入浴・洗身」、「身だしなみ」、「食事の準備」などで割合が低い。

B票-問2 問1で「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数回答可)



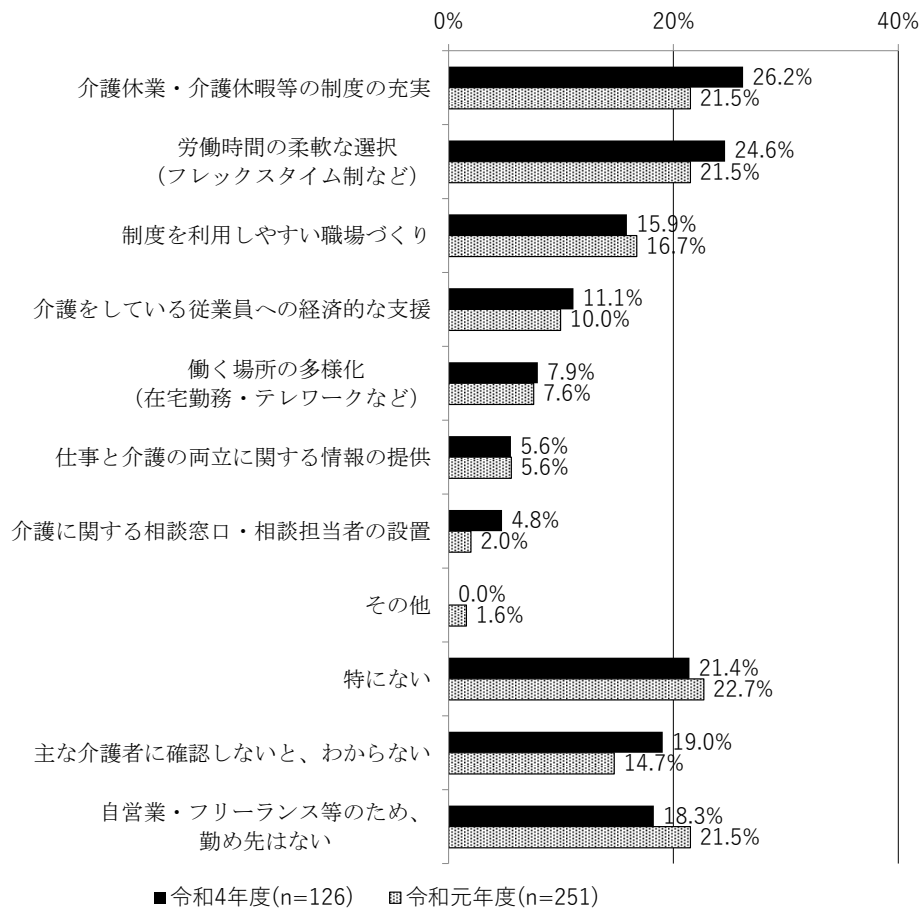
主な介護者の働き方の調整等の状況は、「特に行っていない」が48.4%と最も多く、次いで「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が23.0%となっている。

<就労状況別・介護のための働き方の調整 ※無回答除く>



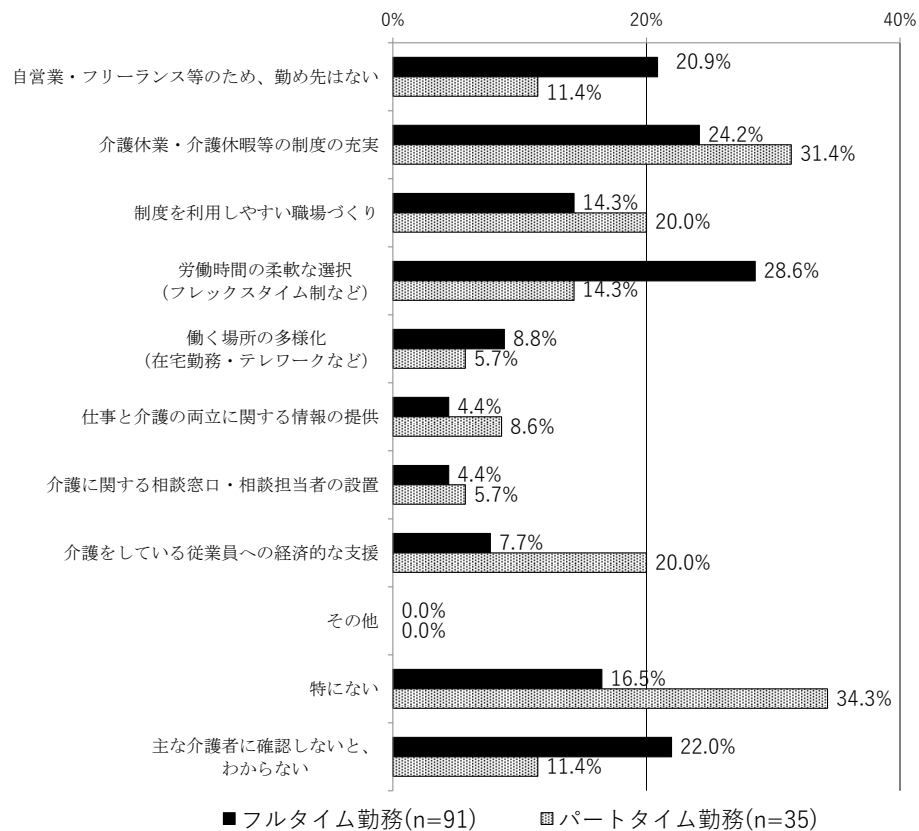
就労状況別の介護のための働き方の調整は、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が48.4%と最も多く、また、「パートタイム勤務」でも「特に行っていない」が48.6%と最も多くなっている。

B票-問3 問1で「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。
(3つまで選択可)



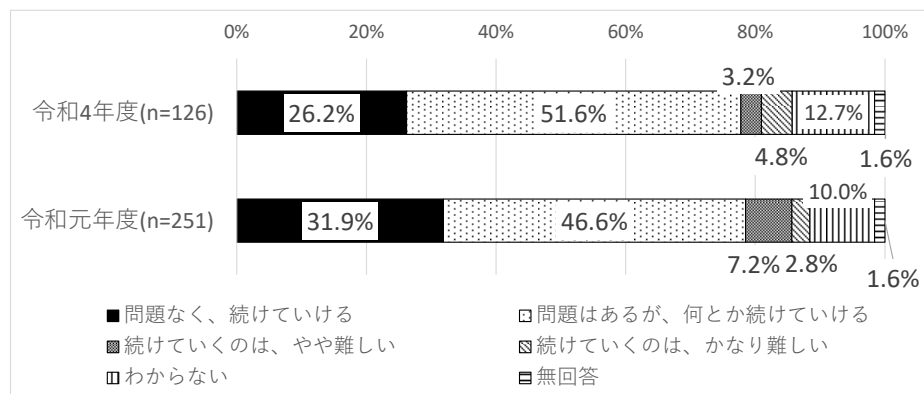
勤め先から受ける仕事と介護の両立に効果があると思う支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が26.2%と最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択」が24.6%となっている。

＜就労状況別・効果的な勤め先からの支援 ※無回答除く＞



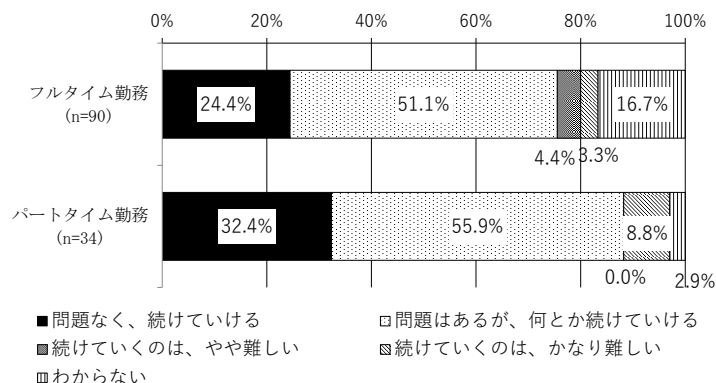
就労状況別の効果的な勤め先からの支援は、「フルタイム勤務」は「労働時間の柔軟な選択」が28.6%と最も多く、「パートタイム勤務」は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が31.4%と最も多かった。

B票-問4 問1で「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)



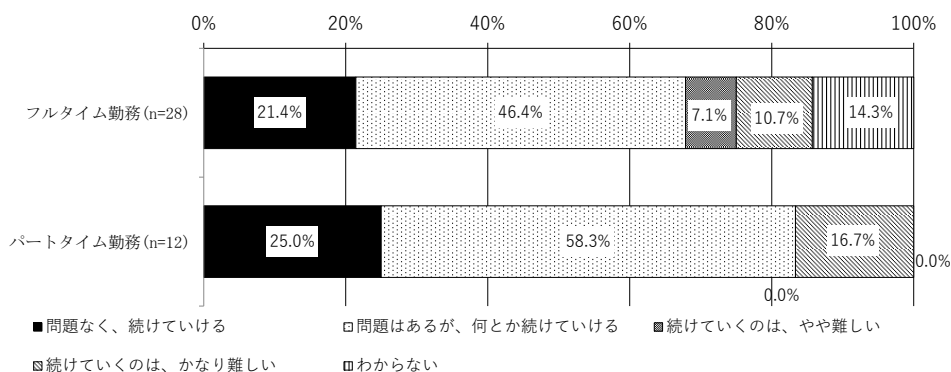
今後の就労継続の可否に係る意識は、「問題はあるが、何とか続けていける」が51.6%と最も多く、「続けていくのは、やや難しい」は3.2%、「続けていくのは、かなり難しい」は4.8%となっている。

<主な介護者の就労状況別・就労継続の見込み ※無回答除く>



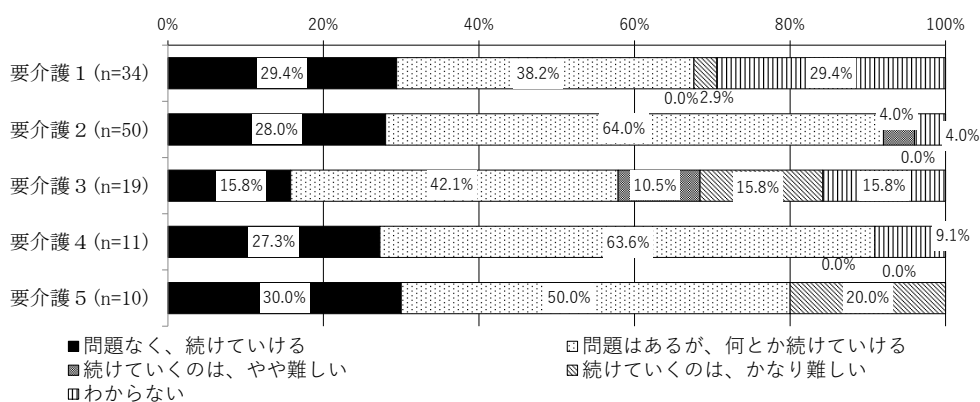
主な介護者の就労状況別での就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」は、「フルタイム勤務」が 3.3%、「パートタイム勤務」が 8.8%である。また、「問題なく、続けていける」は、「フルタイム勤務」が 24.4%、「パートタイム勤務」が 32.4%となっている。

<主な介護者の就労状況別・就労継続の見込み (要介護3以上) ※無回答除く>



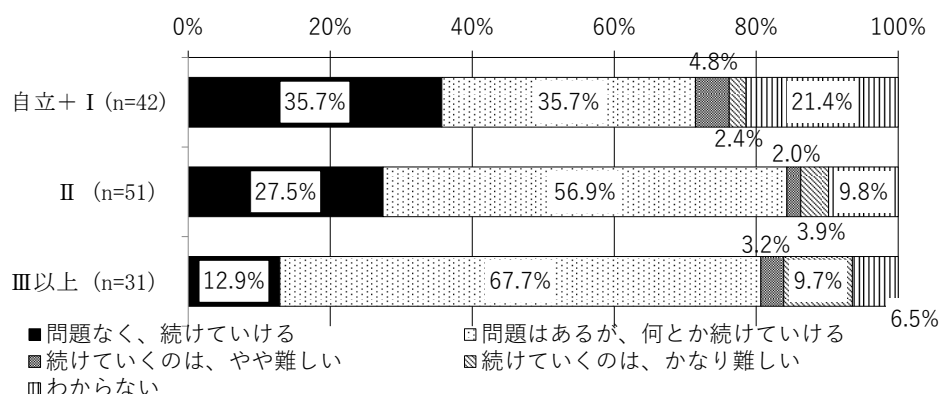
要介護3以上の主な介護者の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」は、「フルタイム勤務」が 10.7%、「パートタイム勤務」が 16.7%である。また、「問題なく、続けていける」は、「フルタイム勤務」が 21.4%、「パートタイム勤務」が 25.0%となっている。

<要介護度別・就労継続の見込み (フルタイム+パートタイム勤務) ※無回答除く>



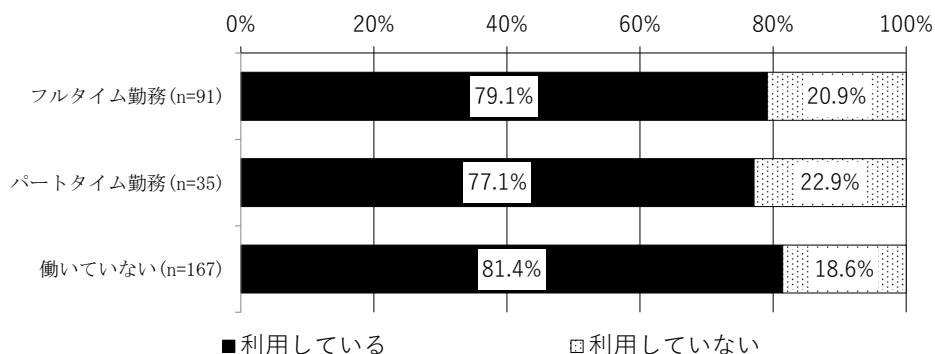
要介護度別の主な介護者の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」の割合は、「要介護3」が 15.8%、「要介護4」が 0.0%、「要介護5」が 20.0%である。

<認知症自立度別・就労継続の見込み（フルタイム+パートタイム勤務） ※無回答除く>



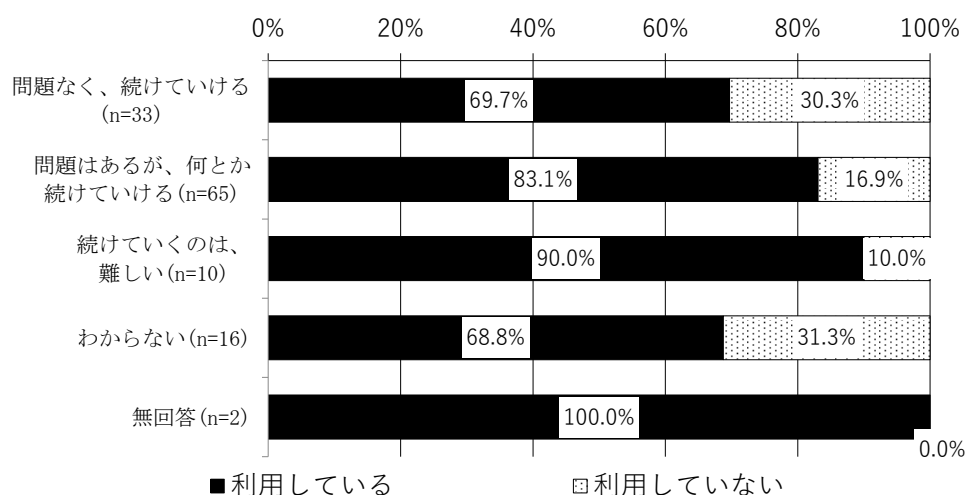
認知症自立度別の主な介護者の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」は「自立+ I」が2.4%、「II」が3.9%、「III以上」が9.7%である。また、「問題なく、続けていける」は、「自立+ I」が35.7%、「II」が27.5%、「III以上」が12.9%となっている。

<就労状況別・介護保険サービス利用の有無 ※無回答除く>



主な介護者の就労状況別での介護保険サービスの利用の有無について、「利用している」は、「フルタイム勤務」が79.1%、「パートタイム勤務」が77.1%、「働いていない」が81.4%である。

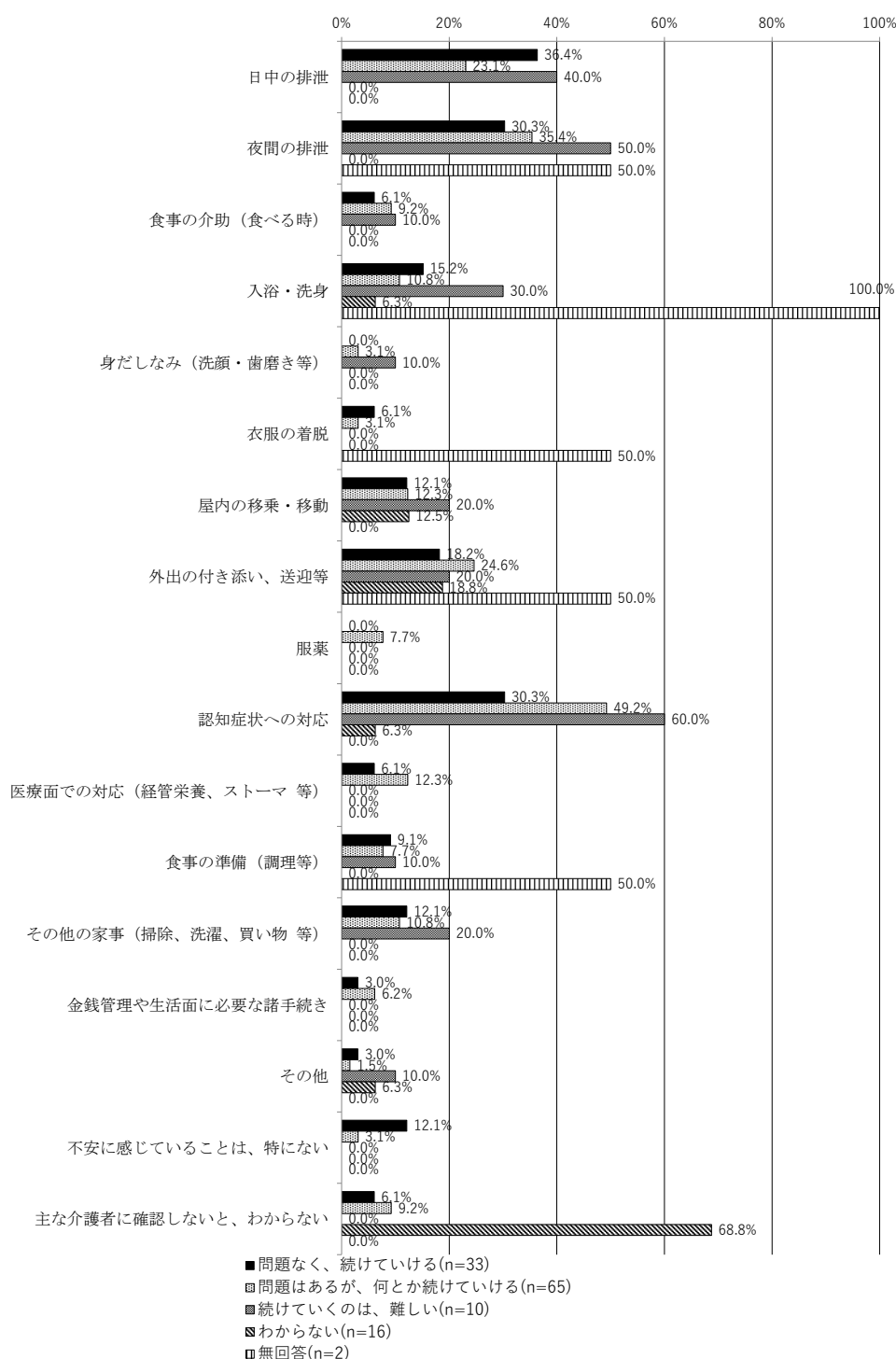
< 就労継続の見込み別・介護保険サービス利用の有無（フルタイム＋パートタイム勤務） >



就労継続の見込み別での介護保険サービスの利用の有無について、「利用している」は、「問題なく、続けていける」が69.7%、「問題はあるが、何とか続けていける」が83.1%、「続けていくのは難しい」が90.0%である。

(注) 「続けていくのは、難しい」は、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の回答の合計である。

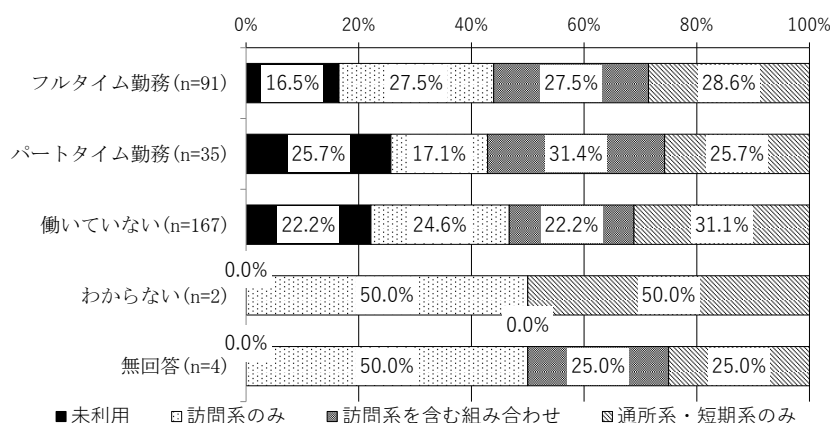
<就労継続の見込み別・主な介護者が不安を感じる介護（フルタイム+パートタイム勤務）>



就労継続の見込み別での主な介護者が不安を感じる介護について、就労継続の見込みが「続けていくのは、難しい」では、「認知症状への対応」が60.0%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が50.0%となっている。

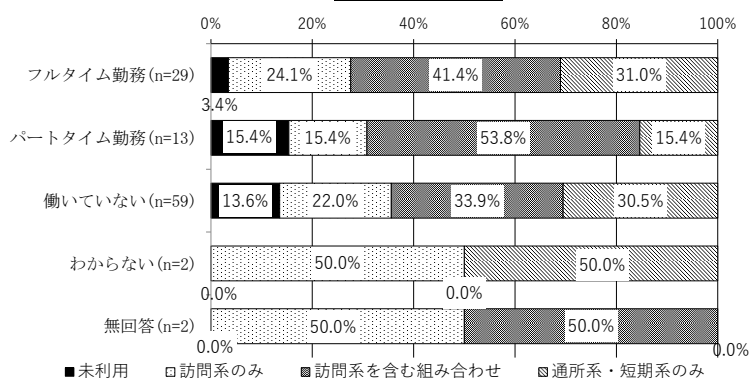
(注) 「続けていくのは、難しい」は、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の回答の合計である。

<就労状況別・サービス利用の組み合わせ>



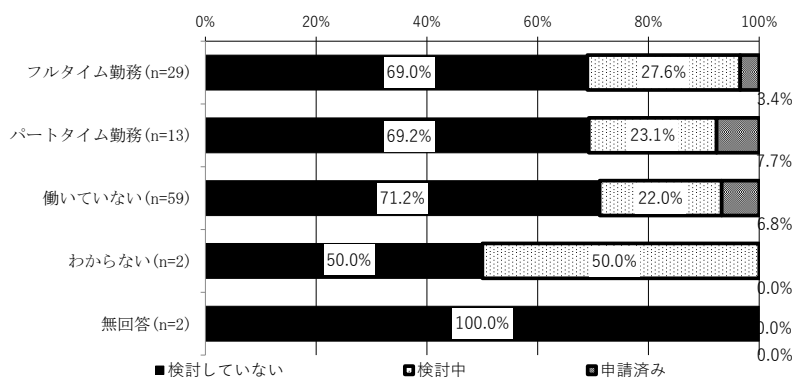
就労状況別でのサービス利用の組み合わせについて、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が28.6%、「パートタイム勤務」では「訪問系を含む組み合わせ」が31.4%、「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が31.1%とそれぞれ最も多かった。

<就労状況別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）>



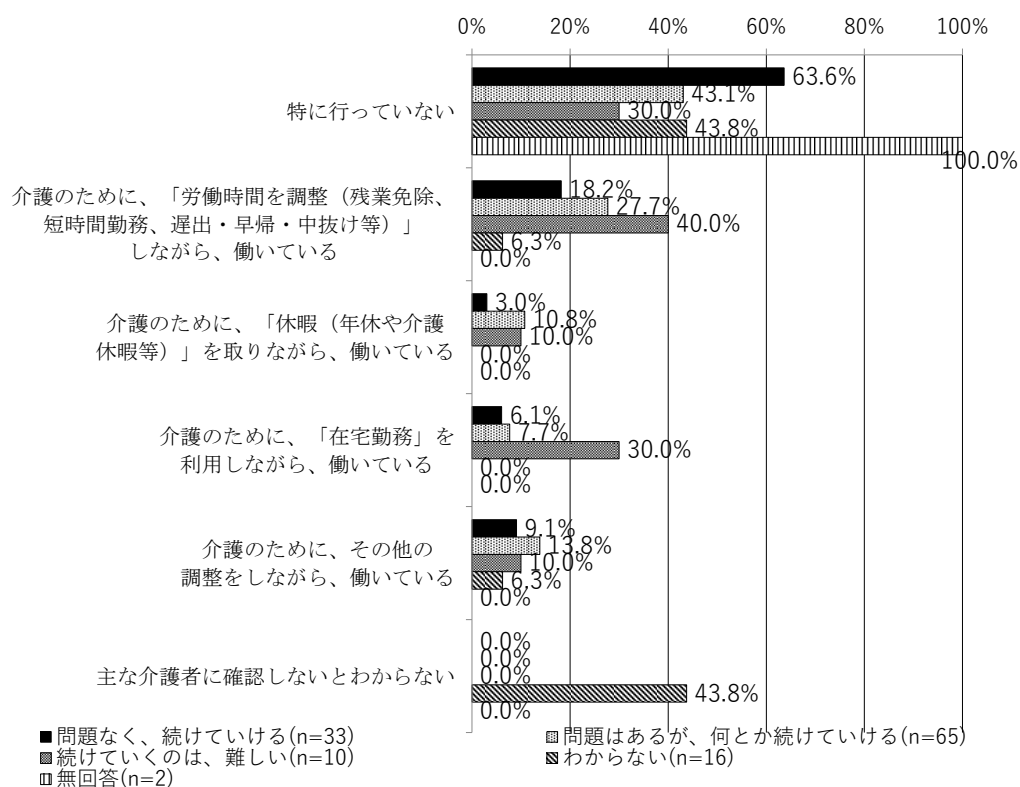
就労状況別でのサービス利用の組み合わせ（要介護3以上）について、「フルタイム勤務」、「パートタイム勤務」、「働いていない」では「訪問系を含む組み合わせ」が最も多く、それぞれ41.4%、53.8%、33.9%である。

<就労状況別・施設等検討の状況（要介護3以上）>



就労状況別での施設等検討の状況（要介護3以上）について、「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「フルタイム勤務」では31.0%、「パートタイム勤務」では30.8%、「働いていない」では28.8%である。

<就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）>

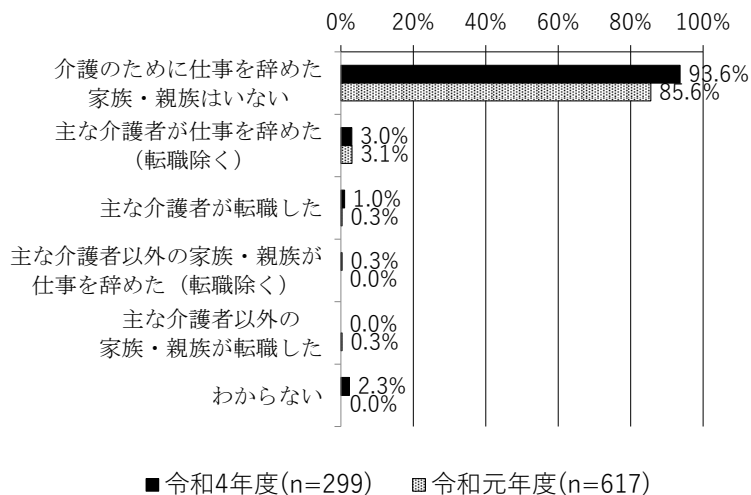


就労継続見込み別での介護のための働き方の調整について、「続けていくのは、難しい」では「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が40.0%と最も多く、次いで「介護のために、『在宅勤務』を利用しながら、働いている」、「特に行っていない」が30.0%となっている。

(注) 「続けていくのは、難しい」は、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の回答の合計である。

(5) 家族や親族の介護事由での離職経験

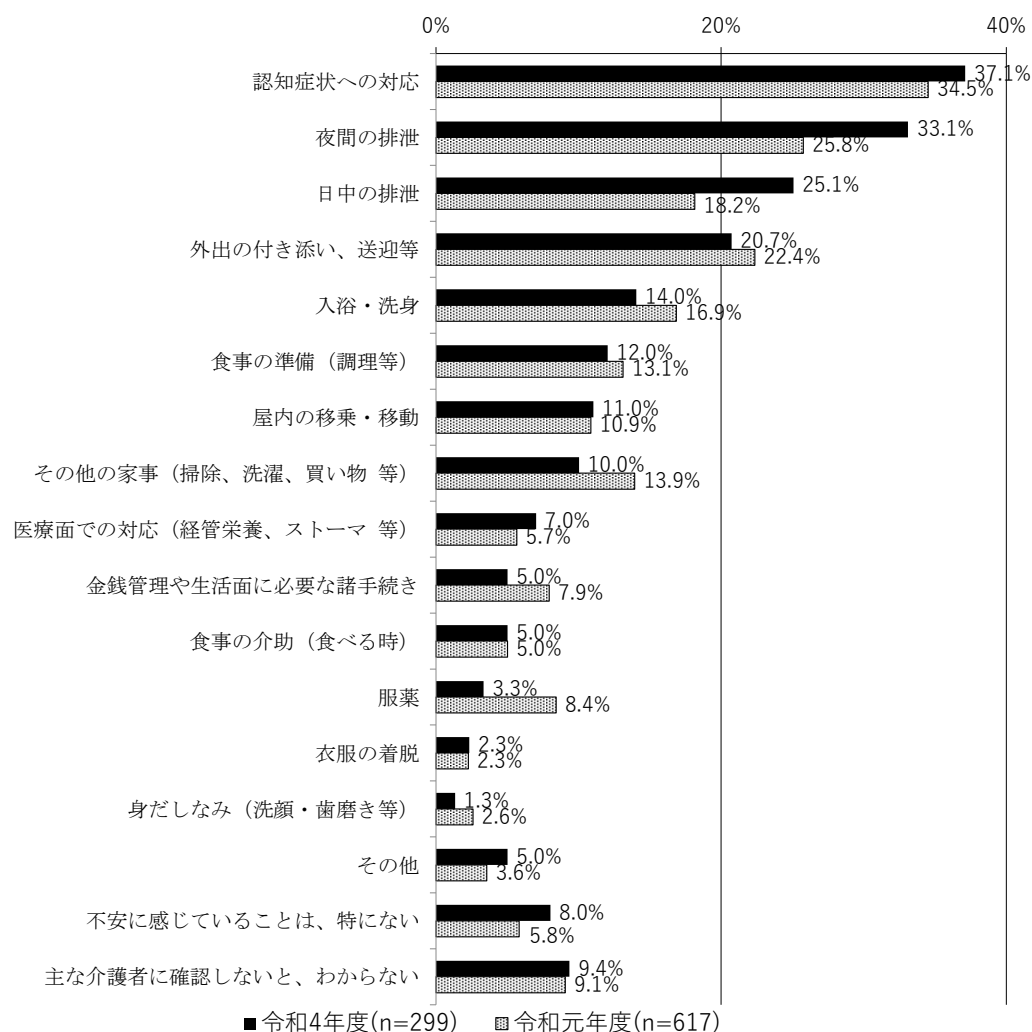
A票-問8 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（複数選択可）



家族や親族で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方の有無について、「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」は3.0%となっている。

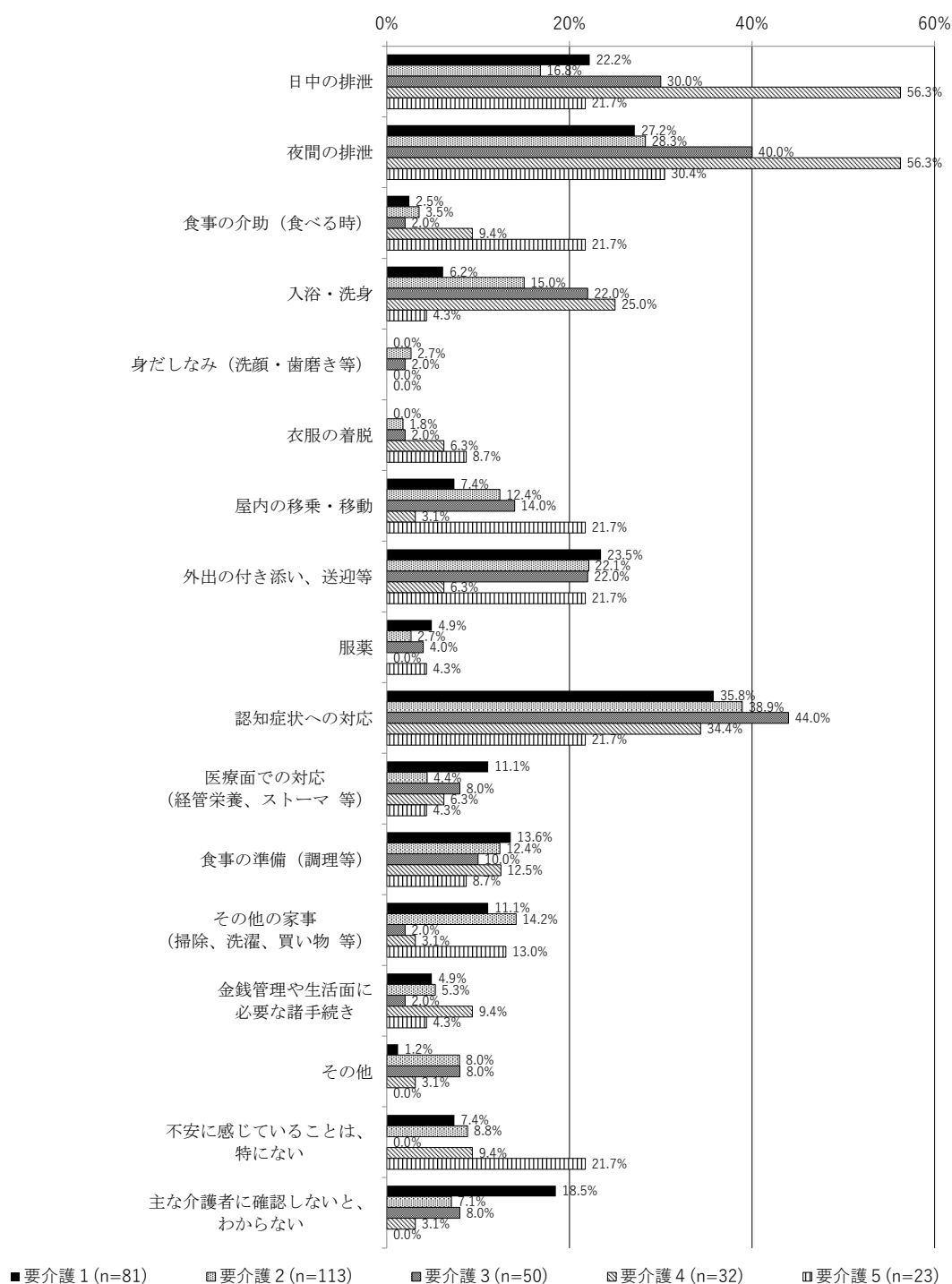
7. 在宅生活の継続に向けて介護者が不安に感じる介護

B票-問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（3つまで選択可）



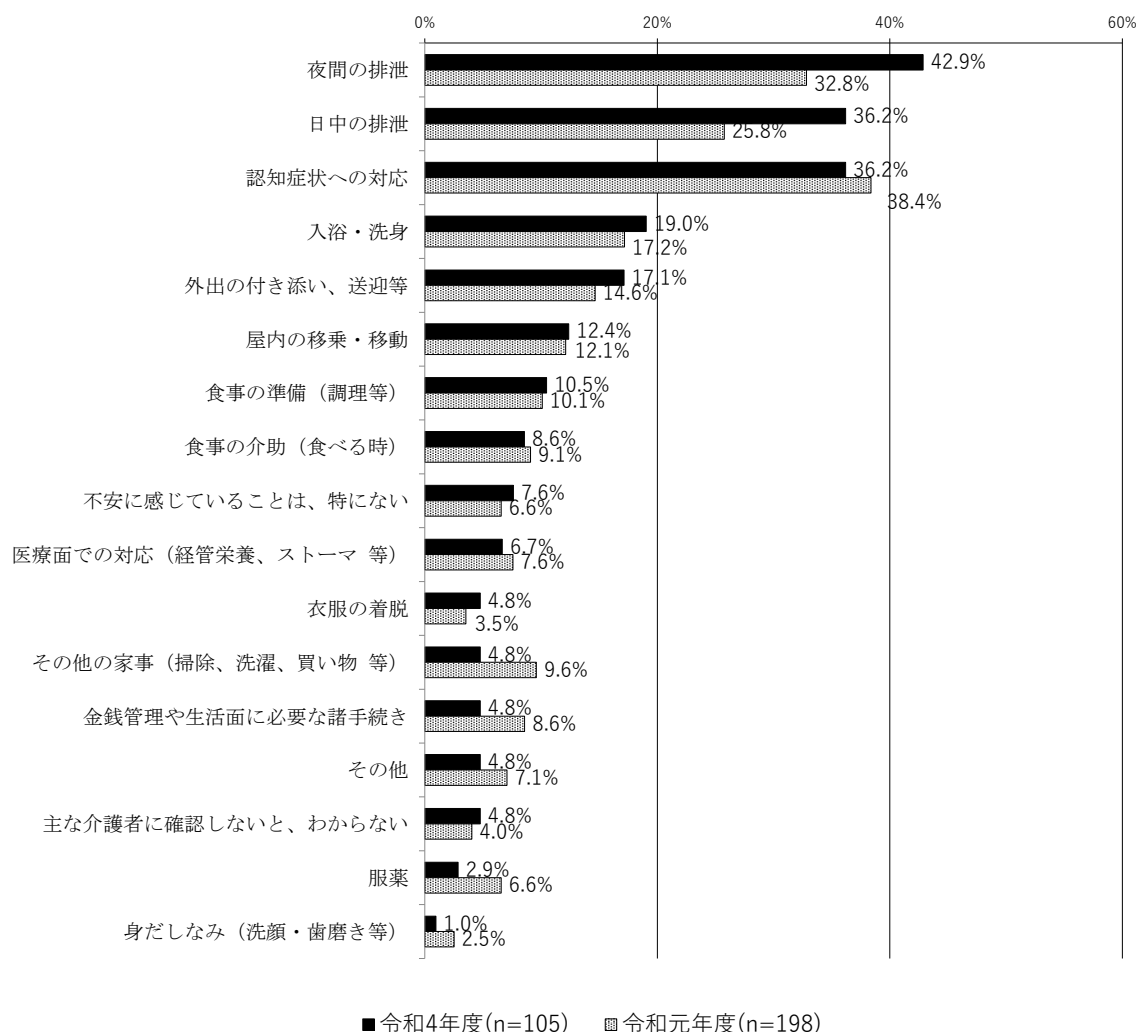
現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が37.1%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が33.1%、「日中の排泄」が25.1%となっている。なお、「不安に感じていることは、特にない」は8.0%である。

< 要介護度別・介護者が不安に感じる介護 >



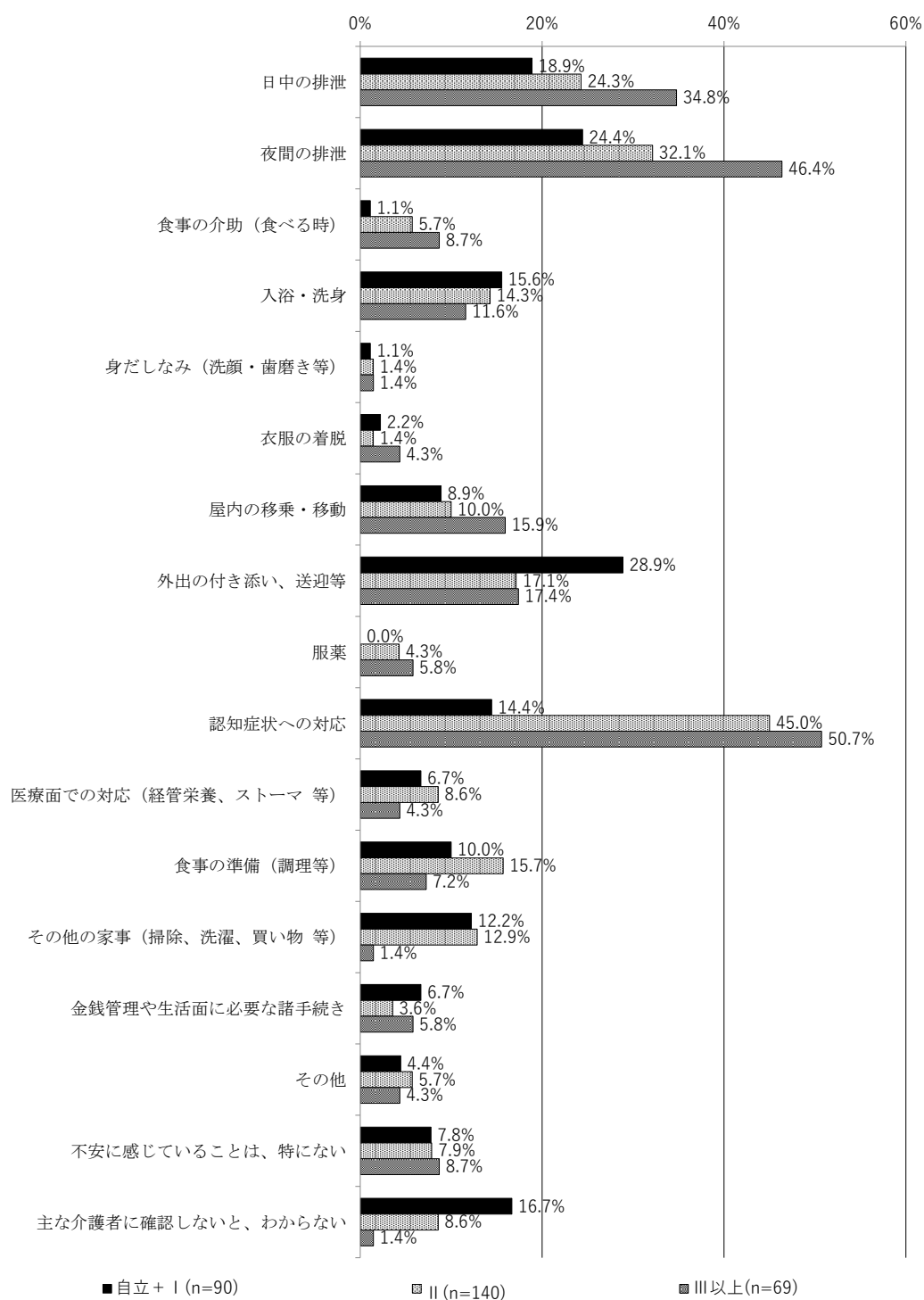
要介護度別での、現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、「要介護1」から「要介護3」は「認知症上への対応」がそれぞれ35.8%、38.9%、44.0%と最も多い。「要介護4」は「日中の排泄」と「夜間の排泄」が56.3%、「要介護5」は「夜間の排泄」が30.4%で最も多い。

<介護者が不安に感じる介護（要介護3以上）>（3つまで）



要介護3以上について、主な介護者が不安に感じる介護等をみると、「夜間の排泄」が42.9%、「日中の排泄」が36.2%、「認知症状への対応」が36.2%、である。

<認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護>

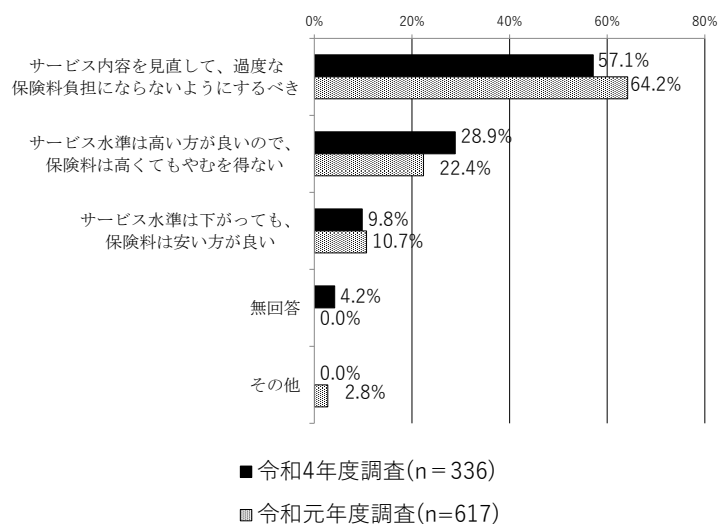


認知症自立度別での、現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、認知症自立度の重度化に伴い多くなる項目としては、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助 (食べる時)」、「認知症状への対応」、などが挙げられる。認知症自立度Ⅲ以上では、半数以上が「認知症状への対応」と回答している。

8. サービス水準と保険料の関係に係る希望

A 票-問 20 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、また、要介護高齢者が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。

これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。(1つを選択)



(注) 令和4年度調査、令和元年度調査では「その他」の選択肢は設けなかった。

介護サービスの水準と保険料の関係は、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにすべき」の割合が57.1%と最も多く、次いで「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない」が28.9%となっている。

9. 介護保険制度及び本市の高齢者施策等について

A 票-問 22 介護保険制度及び本市の高齢者施策等について、ご意見等あればご記入ください。

【介護保険サービスについて】

- ・ 問20について、家事や身の回りの世話を誰かにやって欲しいという気持ちはあるが、手伝ってもらえると、自分の気力がなえてしまい良くないと思う。なので、無理をしてでも自分で頑張っていきたいと考えている。費用の高い安いが問題ではない。
- ・ 〈問20に関して〉サービスはそのまま費用が安くなるとありがたい。紙オムツ支給は住民税非課税世帯が対象との事。対象にならない。紙オムツの購入補助があると助かる。
- ・ 現金がないのに資産があるため3割負担→なんとかしてほしい。精査するところがほしい市民の意識を持つ
- ・ 問20、問21に対して、「現状に満足している。今のままで良い」との返答でした。
- ・ 問20について、今のサービス内容で満足している。

【サービス水準と介護保険について】

- ・ (問20について) 現在要介護4だが、既に限度額を超過している。家政婦も利用している(日中の見守りのため)。1-3を選択できない。介護保険でまかなえる範囲を増やして欲しい。
- ・ 同居家族の考え方について。同じマンションの別階に親を呼び寄せて介護をしている。加齢に伴い、家族や見守りの時間が増加しているが、介護者の高齢化や家族の病気で介護が難しくなった時が心配。同じマンションであっても生活は独立しているので、別世帯として生活援助が利用できるとありがたい。
- ・ 短時間(半日)のデイケア(通所リハビリ)を増やしてほしい。駅前を車イスで自由に行けるようにしてほしい。
- ・ 利用したい人が容易にサービスを利用できるような制度になって欲しい(利用までに時間を要したり、煩雑な印象があるとの事です)
- ・ 介護保険外であるのは理解し病院内の受診同行は、何時間もかかるときもあり自費だと高額なのでなんとかならないものかと考えます。
- ・ ヘルパーが食事を作る+食事を見守るだけでなく「一緒に食べる」ことが制度の中でできたらいいのと思います。一緒に食事をしてくれる人を必要としている高齢者の方が多いと思います。
- ・ グループホームと有料老人ホームの中間のような施設があると良いと思いました。

【市の高齢者施策について】

- ・ 近隣で談話・折り紙等できる集まれる場所が欲しい。孤立感あり訪問しておしゃべり相手が欲しい
- ・ 車いすでも利用しやすい街作り、道路整備を希望します。老々介護で年々車いす介助が大変になっています。2割負担で費用負担は現状が精一杯です。サービスを減らすことも考えています。質の低下は困るので量を調整。
- ・ 道にイスを設置してほしい。疲れた時に座れるように学校や保育園などの前に…

【その他】

- ・ 食事、排泄、入浴など具体的な介護の方法や介護用品の選び方などを助言してくれたり、相談にのってもらえる機関がほしい。
- ・ 妻以外の支援者不在。本人は呼吸器疾患でHOT利用中。妻もガンあり。妻がコロナ、ガンに倒れる。本人を介護する人がいない。
- ・ 今はケアマネジャーに相談しているが、介護がはじまったばかりの頃は細かな事をどこに相談したらよいかわからなかった。相談先がもっとわかりやすいとよかった。
- ・ 高齢夫婦で今は妻が元気で本人を支援できているが、妻も要介護状態となったら子供たちに迷惑かけたくない。それが不安です。
- ・ いつもありがとうございます。長く地域包括の職員さんにはよくしてもらっています。

資料：使用した調査票

武蔵野市高齢者の介護予防・日常生活アンケート

日頃から、武蔵野市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、令和5年度に「高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）」の策定を予定しています。

この調査は、市の高齢者施策がより充実したものとなるよう、日頃の生活状況や市の高齢者施策に対するご意見・ご要望等をお聞きするために実施するものです。

調査の対象者として、本年10月1日現在、市内にお住まいの65歳以上の方々から1,500人を無作為で選び、調査票を送付させていただきました。

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年12月

武蔵野市長

松下 玲子

ご記入にあたってのお願い

1. この調査票は、できるだけ宛名のご本人がご記入ください。ご本人によるご記入が難しい場合は、ご家族の方が一緒に回答されたり、代理で回答いただいても構いません。
2. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。質問によっては選択肢に「○は1つ」だけのもの、「あてはまるものすべてに○」をするものがありますのでご注意ください。また、数字記入欄には数字をご記入ください。
3. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**令和4年12月23日（金）までに**ポストへ投函してください。返信用封筒に切手を貼る必要はありません。
4. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

お問い合わせ先

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課

相談支援係 金平、山内

電話：0422-60-1846（直通）

1 あなたご自身のことについてお伺いします

問 1. あなたの性別と年齢、身長・体重等について教えてください。

(令和4年12月1日時点。それぞれ○は1つ)

(1) 性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
(2) 年齢	1. 65～69歳 4. 80～84歳	2. 70～74歳 5. 85歳以上	3. 75～79歳
(3) 身長・ 体重	身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm 体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg		
(4) お住まい の地域	1. 吉祥寺東町 4. 御殿山2丁目 7. 中町 10. 八幡町 13. 境南町	2. 吉祥寺南町 5. 吉祥寺本町 8. 西久保 11. 関前 14. 桜堤	3. 御殿山1丁目 6. 吉祥寺北町 9. 緑町 12. 境
(5) 要支援 (介護)認定	1. 要支援1 3. 総合事業対象者	2. 要支援2 4. 認定を受けていない(非該当を含む)	

2 あなたのご家族や生活状況についてお伺いします

問 2. 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

1. ひとり暮らし	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4. 息子・娘との2世帯
5. その他 ()	

問 3. 現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建て)	2. 持ち家(集合住宅)
3. 民間賃貸住宅(一戸建て)	4. 民間賃貸住宅(集合住宅)
5. 都営・市営・公団・シバ・ピア等の集合住宅 6. その他 ()	

問 4. 現在のお住まいに住み続けたいですか。(○は1つ)

1. 住み続けたい	2. 住み替えたい
-----------	-----------

問 5. 現在のお住まいに住み続けるうえでの困りごとは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. ひとりで住むのが不安	2. 玄関周りの段差
3. 住居内の部屋・廊下等の段差	4. 階段の昇降
5. 浴室・トイレに手すりがないこと	6. 耐震性
7. 住宅の老朽化	8. 広くて管理しきれない
9. 家賃(更新料)が高い	10. その他 ()
11. 特に困りごとはない	

問 6. 生活費等を何から支出していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 年金 | 2. 賃金・給与（自営による収入含む） |
| 3. 不動産等資産からの収入 | 4. 家族等からの仕送り |
| 5. 預金・貯金 | 6. その他（ ） |

問 7. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問 8. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 介護・介助は必要ない |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む） |

問 9. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 10. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 11. 65歳未満の家族の中に「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている」状態の人がいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 12. 日常生活の中で困っていること（支援が必要だと思っていること）はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 買い物 | 2. 料理 |
| 3. ごみ出し | 4. 掃除・洗濯 |
| 5. 外出時の移動 | 6. 入浴 |
| 7. 金銭等の管理 | 8. その他（ ） |
| 9. 特に困っていることはない | |

3 からだを動かすことについてお伺いします

問 13. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 14. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 15. 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 16. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

問 17. 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |

問 18. 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 |
| 3. 週2~4回 | 4. 週5回以上 |

問 19. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 |
| 3. バイク | 4. 自動車(自分で運転) |
| 5. 自動車(人に乗せてもらう) | 6. タクシー |
| 7. 電車 | 8. 路線バス |
| 9. ムーバス | 10. レモンキャブ |
| 11. 車いす | 12. 電動車いす(カート) |
| 13. その他 () | |

問 20. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

→問 20-1. 問 20 で「1. とても減っている」「2. 減っている」と回答した方にお伺いします。外出が減っているのは何故ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 病気 | 2. 障害（脳卒中の後遺症など） |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配（失禁など） |
| 5. 耳の障害（聴こえの問題など） | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. 新型コロナウイルス感染症の予防のため |
| 11. その他（ | ） |

問 21. 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 取り組んでいる | →問 22 へ |
| 2. 取り組んでいない | →問 21-1、問 21-2 へ |

→問 21-1. 問 21 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 特に必要と思わないから | |
| 2. 面倒だから | |
| 3. きっかけがないから（参加できる活動が近くで行われていないなど） | |
| 4. 仕事や趣味の活動等で忙しいから | |
| 5. その他（ | ） |

→問 21-2. 問 21 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。どのような内容のものがあれば取り組んでみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 専門の指導員による運動機能維持の活動 | |
| 2. 身近な地域に集まって運動・体操する場 | |
| 3. 食事や栄養バランスを学習できる講座 | |
| 4. 歯や口腔のケアを学習できる講座 | |
| 5. 認知症のことを学習できる講座 | |
| 6. その他（ | ） |
| 7. 取り組んでみたいとは思わない | |

4 食べることについてお伺いします

問 22. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問 23. お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問 24. 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問 25. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (○は1つ)

1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

問 26. 6 か月間で 2～3 kg の体重減少がありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ 3. わからない

問 27. どなたかと食事をともにする機会がありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

5 毎日の生活についてお伺いします

問 28. もの忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問 29. バスや電車を使って 1 人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 30. 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 31. 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 32. 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問 33. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

6 地域での活動やたすけあいについてお伺いします

問 34. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(それぞれについて○は1つ)

	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤(地域健康クラブ、テンミリオンハウス、不老体操、いきいきサロンなど)介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦コミュニティ活動	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問 35. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者、企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(それぞれについて○は1つ)

	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している
①参加者として	1	2	3	4
②企画・運営(お世話役)として	1	2	3	4

問 41. タバコは吸っていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

問 42. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. ない →問 43 へ | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症 (脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等) | 12. がん (悪性新生物) |
| 13. 血液・免疫の病気 | 14. うつ病 |
| 15. 認知症 (アルツハイマー病等) | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他 () | →問 42-1、問 42-2 へ |

→ 問 42-1. 問 42 で 1 つ以上に該当した方にお伺いします。その病気の悪化、再発を予防するために取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 医師に決められた通院頻度を守る | 2. 医師の指示通りに薬を飲む |
| 3. 病気について理解する | 4. 血圧、体重、血糖値等を測定する |
| 5. 生活習慣を見直す | 6. その他 () |
| 7. 特に取り組んでいることはない | |

→ 問 42-2. 問 42 で 1 つ以上に該当した方にお伺いします。(その病気の悪化、再発を予防するために) 取り組んでいることを継続するには、どのようなことが必要だと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 家族からの声掛け等の支援 | 2. 医師からの指示や情報提供 |
| 3. 薬剤師からの確認や情報提供 | 4. ケアマネジャーからの確認 |
| 5. ヘルパーからの声掛け | 6. その他 () |
| 7. 特に必要なことはない | |

8 今後の暮らしについてお伺いします

問 43. 今後、住み慣れた地域で暮らし続けるために、高齢者に対する施策や支援として、充実してほしいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症になった時の、見守りや生活の支援等
2. 認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場所
3. 判断能力が低下した時の、金銭管理や福祉サービスの利用援助等
4. 介護する家族の休息等のため、短期間施設に入所するサービス
(ショートステイ)
5. 24 時間電話を受け付けて、悩みごとや相談を聞いてくれるサービス
6. 急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助(掃除、洗濯、調理、買い物など)を行うサービス
7. 身体機能が低下しないための運動指導や健康体操教室
8. 健康を維持するための栄養指導等
9. 口腔機能の維持や食べること・飲み込むことへの支援
10. 耳の聴こえの問題への支援
11. いきいきサロンやテンミリオンハウスのような身近な場所で集まり、交流できる通いの場
12. 食事を共にしながら交流できる身近な場所
13. 生きがいを持って生活するための生涯学習や仲間づくりへの支援
14. ムーバスやレモンキャブ等の外出支援
15. 自宅にいながら診療を受けられる医療体制
16. 病気・けが等で入院した後でも、安心して在宅に復帰できるよう、医療と福祉の連携
17. 見守りのある高齢者専用住宅
18. 住み替えのための支援や情報提供
19. 終末期医療や没後等に関する不安についての相談窓口や、終活(老いじたく)等に関する情報提供
20. その他 ()

問 44. 次のサービスについて知っていますか、また、利用したいと思いませんか。

(それぞれについて○は1つ) ※のついているサービスの詳細は同封のチラシをご覧ください。

	すでに利用している	知っているし、利用したい	知っているが、利用したいとは思わない	知らないが、利用したい	知らないし、利用したいと思わない	
①いきいきサロン ※ 団地集会室等で定期的に健康体操等を行う、地域住民等が運営する通いの場です。	1	2	3	4	5	
②デンミリオンハウス ※ 地域住民等が昼食の提供や、ミニデイサービス、世代間交流等様々なプログラムを行う通いの場です。	1	2	3	4	5	
③レモンキャブ ※ 公共交通機関を利用することが困難な高齢者や障害者の外出を、地域の方が運転し支援します。	1	2	3	4	5	
④シニア支え合いポイント ※ 介護予防等を目的に、ボランティア活動に参加した方へ商品検討と交換できるポイントを付与します。	1	2	3	4	5	
⑤高齢者安心コール ※ 専門職が毎週電話をし、身体や暮らしで困ったこと等がないか確認します。	1	2	3	4	5	
⑥レスキューヘルパー事業 ※ 急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助(掃除、洗濯など)を行います。	1	2	3	4	5	
要支援・要介護状態になった場合	⑦認知症高齢者見守り支援ヘルパー事業 ※ 認知症の高齢者に専門のヘルパーが話し相手や散歩の付添等の支援を行います。	/	2	3	4	5
	⑧訪問介護 食事や排泄、通院介助等の「身体介護」や、掃除、洗濯、買い物等の「生活援助」を行います。	1	2	3	4	5
	⑨通所介護 デイサービスセンターや施設等に日帰りで通い、入浴や食事等のサービス提供を行います。	1	2	3	4	5
	⑩看護小規模多機能型居宅介護 デイサービスを中心にショートステイや訪問介護、訪問看護を1つの事業所が一体的に提供します。	/	2	3	4	5
	⑪介護老人福祉施設 特別養護老人ホームに入所して入浴や食事等の日常生活上の支援や、機能訓練、療養上の支援を提供します。	/	2	3	4	5
	⑫認知症高齢者グループホーム 認知症の高齢者が共同で生活する住居において、介護、その他日常生活上の世話、機能訓練を行います。	/	2	3	4	5

問 45. あなたに介護が必要となった場合、どのような状態になったら施設入所を希望すると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ひとり暮らしで生活全般に介護が必要となった場合
2. 必要とする介護量が増え、家族の肉体的・精神的負担が大きくなった場合
3. 必要とする介護量が増え、経済的な負担が大きくなった場合
4. たん吸引等の医療行為の頻度が増え、家族の介護技術だけでは対応できなくなった場合
5. 認知症で徘徊をしたり火の始末ができなくなるなど、周囲に迷惑をかける状態になった場合
6. 希望しない
7. その他 ()
8. まだ分からない

問 46. 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。(もっともお考えに近いもの1つに○)

1. サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない
2. サービス水準は下がっても、保険料は安いほうが良い
3. サービス水準を見直して、過度な保険料負担にならないようにするべき

問 47. 最後に、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

アンケート調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、12月23日(金)までにポストへ投函してください。

**『高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画策定のための
要介護高齢者実態調査（在宅介護実態調査）』
ご協力をお願い**

武蔵野市

日頃より、武蔵野市の介護保険行政につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、武蔵野市では、「高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画策定のための要介護高齢者実態調査（在宅介護実態調査）」を実施することとなりました。市の高齢者施策がより充実したものとなるよう、要介護認定を受けている方の日頃の生活状況やご家族からの介護の状況等をお聞きして把握した上で、高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定に向けた基礎資料にさせていただきます。

また、本調査の際に、同席されているご家族やご担当ケアマネジャー等の皆様にも、ご協力をいただければ幸いです。

なお、ご回答いただいた内容の取りまとめ作業は、武蔵野市から委託を受けた調査分析事業者（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株）が行います。調査結果は、統計的に処理され、ご回答内容につきましては個人が特定される形での公表や、本調査の目的以外での使用はいたしません。調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

※ 本調査内容は、認定調査員が聞き取り、調査票へ記入します。ただし、一部の設問について、ご本人様やご家族様に調査票への記入をお願いさせていただく場合がございます。ご回答いただいた結果は、調査票とは別の回答票（マークシート方式）に調査員が転記いたします。

※ 本調査へのご意見やご質問等がございましたら、下記までご連絡ください。

<お問い合わせ先>

■ 武蔵野市健康福祉部高齢者支援課介護認定係（担当：瀧井・渡邊）

TEL：0422-60-1866 FAX：0422-51-9218

<お預かりする情報の取扱いについて>

- ・本調査へのご協力は皆様の自由な意思に基づくもので、ご協力いただけない場合でも不利益を被ることはありません。
- ・お預かりする情報は、武蔵野市「個人情報保護条例」及び三菱UFJリサーチ&コンサルティング株の「個人情報保護方針」「個人情報の取扱いについて」に従って適切に取り扱います。<https://www.murc.jp/corporate/privacy/>。ご不明な点は上記お問合せ先までご連絡ください。
- ・調査票には、介護保険の被保険者番号を記入します。これは回収後、要介護認定データと関連付けた分析を行うために利用します。
- ・分析結果は、個人が特定されないよう加工、集計・分析した上で、報告書として取りまとめ、高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定に向けた基礎資料として活用する予定です。

在宅介護実態調査 調査票

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問9（裏面）へ

問3へ

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

1. 男性
2. 女性
3. その他

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

問6 主な介護者の方がケアをする、その他(認定調査対象者以外)の家族・親族の人数について、ご回答ください(1つを選択)。

1. その他にはいない(0人)
2. その他に1人いる
3. その他に2人いる
4. その他に3人いる
5. その他に4人以上いる

※ここでの「ケア」とは、高齢者や障害児・者、病気等で療養中の方の介護、未就学児の育児などが含まれます。

問7 現在、主な介護者の方が行っているご本人(認定調査対象者)の介護等について、ご回答ください

(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | | |
|--------------|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 | 3. 食事の介助(食べる時) |
| 4. 入浴・洗身 | 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 | 9. 服薬 |
| 10. 認知症状への対応 | 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問8 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

問9 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | | | | |
|----------------------------|--------------------|---------------------------|------------------|------------|--------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) | 3. 悪性新生物(がん) | | | |
| 4. 呼吸器疾患 | 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) | 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 | 9. 認知症 |
| 10. パーキンソン病 | 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 | | | |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他 | 15. なし | 16. わからない | | |

問 10 日中・夕方の時間帯(9~19 時頃まで)において、介護や見守りが必要にもかかわらず、4時間以上介護や見守りをしてくれる人(ヘルパー等も含む)がそばにいない日が、週に何日程度ありますか(1つを選択)

- | | | | |
|-------|-------------|-------------|-----------|
| 1. ない | 2. 週に1~2日程度 | 3. 週に3~4日程度 | 4. 週に5日以上 |
|-------|-------------|-------------|-----------|

問 11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|------------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 介護・福祉タクシー(レモンキャブなど) | 8. 見守り、声かけ | |
| 9. 通いの場(テンミリオンハウスなど) | 10. その他 | 11.利用していない |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問 12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|------------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 介護・福祉タクシー(レモンキャブなど) | 8. 見守り、声かけ | |
| 9. 通いの場(テンミリオンハウスなど) | 10. その他 | 11.利用していない |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問 13 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|----------------------|---|-----------|
| 1. 入所・入居は検討していない | } | 問 17(裏面)へ |
| 2. 入所・入居を検討している | | |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | } | 問 14 へ |

※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 14 問 13 で「2.」「3.」と回答した方にお伺いします。入所・入居を検討された、一番大きなきっかけをご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|---------------------------------------|---|-----------|
| 1. ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため | } | 問 15 へ |
| 2. 主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため | | |
| 3. ケアマネジャーから、「施設等への入所・入居をすすめられた」ため | } | 問 16 へ |
| 4. 医師、その他の専門職から、「施設等への入所・入居をすすめられた」ため | | |
| | } | 問 17(裏面)へ |

問 15 問 14 で「1.」と回答した方にお伺いします。ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください(1つを選択)

1. 「生活全般において介護されることが必要となり、在宅での生活が不安になった」ため
2. 介護される量の増加により、「家族の負担が大きくなった」と考えたため
3. その他(※ その他の具体的な回答がある場合はP. 6に記入)

問 16 問 14 で「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください(1つを選択)

1. (食事や排泄、移乗・移動など)「身体介護の負担が大きくなった」ため
2. (徘徊や火の不始末、介護への抵抗など)「認知症状への対応にかかる負担が大きくなった」ため
3. (たん吸引や褥そうの処置など)「医療行為の頻度が増え、在宅では対応が難しくなった」ため
4. 主な介護者の方が在宅で介護をしながら、「仕事を続けていくことが難しくなった」ため
5. その他(※ その他の具体的な回答がある場合はP. 6に記入)

● **ここから再び、全員に調査してください。**

問 17 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している } 問 19 へ

2. 利用していない } 問 18 へ

問 18 問 17 で「2. 」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか
(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

● **ここから再び、全員に調査してください。**

問 19 新型コロナウイルス感染症の影響によるサービス利用の変化の有無について、ご回答ください。

なお、一時的にサービス利用を減らした／止めた、増やした場合であっても、回答時点でコロナ禍前の状態に戻っている場合は「1. 」を選択してください。(複数選択可)

1. コロナ禍を理由としたサービス利用の変化はない
2. コロナ禍を理由に、訪問系サービスの利用回数を減らした／利用を止めた
3. コロナ禍を理由に、通所系サービスの利用回数を減らした／利用を止めた
4. コロナ禍を理由に、短期系サービス(ショートステイ)の利用回数を減らした／利用を止めた
5. コロナ禍を理由に、訪問系サービスの利用回数を増やした
6. コロナ禍を理由に、通所系サービスの利用回数を増やした
7. コロナ禍を理由に、短期系サービス(ショートステイ)の利用回数を増やした

問 20 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、また、要介護高齢者が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。

これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか(1つを選択)

1. サービス水準は高い方が良いので、保険料は高くてもやむを得ない
2. サービス水準は下がっても、保険料は安い方が良い
3. サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにするべき

問 21 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービスはどのようなものですか。(複数選択可)

サービス内容		サービスの例
1	自宅での介護・家事の手助け	ホームヘルプ(訪問介護)・訪問入浴介護 ・夜間対応型・定期巡回・随時対応型の訪問介護看護 等
2	医療関係者の訪問支援・指導	訪問看護・訪問リハビリテーション 等
3	施設に通って受ける介護・機能訓練	デイサービス(通所介護)・デイケア(通所リハビリテーション) ・認知症対応型デイサービス(認知症対応型通所介護) 等
4	介護施設での短期間の宿泊	ショートステイ(短期入所生活介護・短期入所療養介護) 等
5	自宅への訪問・施設への通い・短期間の宿泊の複合サービス	小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護
6	介護環境の整備	福祉用具のレンタル・購入補助、住宅改修費支給 等
7	認知症の方に特化した施設への入居	認知症グループホーム(認知症対応型共同生活介護)
8	特別養護老人ホーム等への入所	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 等
9	有料老人ホーム等への入居	特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム) 等
10	その他	※ その他の具体的な回答がある場合はP. 6に記入

問 22 同居のご家族の中に、「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせず、6ヶ月以上続けて自宅に引きこもっている」状態の方はいますか。(1つを選択)

1. いる 2. いない 3. その他

◎ 介護保険制度及び本市の高齢者施策等について、ご意見等あればご記入ください。

<p>※ 具体的なご意見等がある場合はP. 6に記入</p>

- 問2で「2. 」～「5. 」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方に B 票へのご回答・ご記入をお願いしてください。
- 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

■ 自由回答票

以下の設問について、具体的な回答・ご意見等があった場合は、被保険者番号をご記入頂いたうえで、「自由回答欄」に具体的な内容をご記入ください。

なお、このページに自由回答をご記入された場合は、本調査票からこのページのみを外していただき（左上のホチキス部分を破って外して頂いて結構です）、同意書・回答票と併せてご提出ください。

【被保険者番号：_____】

設問	自由回答欄
問 15 ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由	【「3. その他」を選択し、具体的な回答がある場合に記入】
問 16 主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由	【「5. その他」を選択し、具体的な回答がある場合に記入】
問 21 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービス	【「10. その他」を選択し、具体的な回答がある場合に記入】
介護保険制度及び本市の高齢者施策等についてのご意見等	【具体的なご意見等がある場合に記入】

在宅介護実態調査 調査票

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問4へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

ご協力ありがとうございました。

高齢者の介護予防・日常生活アンケート調査
要介護高齢者・家族等介護者実態調査
(武蔵野市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画策定に係る調査)
報告書

令和5年3月発行

編集・発行

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課

〒180-8777

武蔵野市緑町 2-2-28

電話 0422-60-1846